

米國に於ける十月中の生糸消費量は二萬八千依に落ち滞荷九萬二千依に激増、これに内地滞荷を合して優に四ヶ月分の消費量を擁するに至り、市價は横濱神戸共六百圓割れに惨落し、生産費七百九十圓に對し二百圓の採算割れを示した

米國に於ける十月中の生糸消費量は二萬八千依に落ち滞荷九萬二千依に激増、これに内地滞荷を合して優に四ヶ月分の消費量を擁するに至り、市價は横濱神戸共六百圓割れに惨落し、生産費七百九十圓に對し二百圓の採算割れを示した

明年度の私鐵買収四路線決定

鐵道省は明年度行ふべき私鐵買収につき検討の結果左の如く決定した

- ▽秋田鐵道(大館・花輪間)▽佐久鐵道(長野縣小諸・小海間)▽篠ノ上鐵道(島根縣宍道・木次間)▽新宮鐵道(和歌山縣勝浦・新宮間)

丸善石油會社の創立

同社(資本金二百萬圓)は創立總會を開き左の役員を選任した

- ▽取締役 松村善藏(代表)、新津恒吉、桑山茂作▽監査役 清水正藏
- ▽アフガニスタン國王贈される アフガニスタン王ムハメット・ナチール・ジャー・ガージ陛下は本日午後三時首都カブールに於て暗殺せられ、皇太子ザヒール・シ

元帥陸軍大將正二位勳一等功二級子爵上原勇作は胃潰瘍に心臓病を併發して本日午後七時四十五分東京品川區大井鹿島谷の自邸で死去した。享年七十八。元帥は安政三年十一月長崎縣に生れ、士官學校卒業後フランスに留學、果進して陸軍大將となり、陸軍大臣、教育總監、參謀總長に歴任し、元帥府に列せられ生前の功により従一位に敘せられた

元帥陸軍大將正二位勳一等功二級子爵上原勇作は胃潰瘍に心臓病を併發して本日午後七時四十五分東京品川區大井鹿島谷の自邸で死去した。享年七十八。元帥は安政三年十一月長崎縣に生れ、士官學校卒業後フランスに留學、果進して陸軍大將となり、陸軍大臣、教育總監、參謀總長に歴任し、元帥府に列せられ生前の功により従一位に敘せられた

露領漁區安定問題解決す

邦人經營露領漁區安定問題に關し昭和七年八月廣田・カラハン協定により二百八十二漁區に對し昭和十一年まで借區契約延長を認められたが手續未了の二百二十一漁區中二百十九漁區の延長手續が本日完了し漁區安定問題は解決した

邦人經營露領漁區安定問題に關し昭和七年八月廣田・カラハン協定により二百八十二漁區に對し昭和十一年まで借區契約延長を認められたが手續未了の二百二十一漁區中二百十九漁區の延長手續が本日完了し漁區安定問題は解決した

養蠶組合聯合會、全國蠶絲操縦に反對

生糸の恐慌に直面せる各地の製糸業者は需給調節、糸價維持のため全国的に操縦休業を提唱せるに對し、全國養蠶組合聯合會は絕對反對を聲明した

生糸の恐慌に直面せる各地の製糸業者は需給調節、糸價維持のため全国的に操縦休業を提唱せるに對し、全國養蠶組合聯合會は絕對反對を聲明した

製紙聯合會は前月の賣越九百萬ポンドに對し差當り五百萬ポンドの封印解除と減産緩和をなすに決し即日實施した

大同電力舊債の社債化計畫諒解成立

同社が住友銀行との間に交渉を進めつゝあつた舊債の社債化計畫は大要左の如く銀行側との諒解が成立した

- 一、現在借入金五千三百萬圓及び傍系會社短期借入金約五百萬圓合計五千八百萬圓の内擔保付二千七百萬圓を社債に借替へ、殘額三千百萬圓は社内保留並に保有傍系會社の株式賣却金を以て償還す
- 一、内債現在三千五百萬圓と前記二千七百萬圓合計六千二百萬圓は借替を限度として財團擔保付オープン・エンド・モーゲージ法により二十五ヶ年減債の社債を發行する

五・一五事件海軍側被告の判決  
五・一五事件海軍側被告の最終第二十九回公判は本日横須賀鎮守府軍法會議法廷に開廷し、高須裁判長より左の如く判決言渡があつた

- ▽禁錮十五年 古賀清志▽同十年 中村義雄▽同十五年 三上卓▽同十三年 黒岩勇▽同十年 山岸宏▽同十年 村山格▽同二年 伊藤龜城▽同二年 大庭春雄▽同二

年 林正義(以上三名五年間執行猶豫)▽同一年 塚野道雄(執行猶豫二年)

十日(金)

社會教化事業に二十萬圓下賜

天皇陛下には國民精神作興詔書發後十周年記念日に當り財團法人中央教化團體聯合會その他の社會教化團體に對し御内帑金二十萬圓を下賜あらせられた

滿三鐵の一二月分生産割當決定

綿織物聯合會は昭和九年一、二月分綿三綾生産割當高を一月五十萬反、二月三十萬反と決定した

十一日(土)

關東廳・在滿機關統制案を立案

滿鐵改組問題に併行し關東廳は本日三位一體の擴大強化を基調とし左の在滿機關統制案を立案し、拓務省に報告すると同時に軍部、大使館方面と折衝することとなつた

- 一、在滿統制機關は現行三位一體制の下に軍事と行政を畫然と分離す
- 一、關東軍特務部を更に強大ならしめ純然たる行政最高機關とし、現在關東廳の機構をこれに併合せしめて國策遂行上最善の機能發揮する機關たらしむ

新機關の名稱は別として實質上關東廳の延長及び擴大されたものたらしむること

一、滿鐵附屬地行政は新統制機關に移すと同時に滿鐵の委任經營に屬する滿洲國各鐵道に對しては新條約を締結し附屬地を設定し新統制機關に於て行ふこと

一、行政機關確立と同時に滿鐵を統制下に置き行政を一元的機關とすること

一、新機構實現に要する經費は成るべく地方費を以て充當すること

ウルグアイに日ウ商業會議所創立

ウ國政府援助の下に日ウ交換貿易機關たらしむべく同國の一流實業家を網羅した半官半民の日本ウルグアイ商業會議所が南米ウルグアイのモンテビデオ市に創立された

東阿・名古屋間に無線取扱開始

名古屋無線電信局は同局・ロンドン間直通無線電信を活用して本邦とポルトガル領東アフリカ間に發着する電報取扱を行ふこととなり、本日から事務を開始した

故子爵澤澤榮一翁の銅像除幕式

故子爵澤澤榮一翁の銅像(朝倉文夫製作)が東京丸の内常盤橋公園に建設され、財界名士多數參列の下に除幕式が舉行された

十三日(月)

埼玉縣製絲業組合、三ヶ月全体を決議

埼玉縣製絲業組合は熊谷市公會堂に協議會を開き採業短縮問題につき協議の結果、十二月一日より九年二月二十八日迄の三ヶ月間全体をなすことに決定した

東株の整理案認可さる

東株整理問題につき長滿常務理事は本日商工省を訪問し同社整理の最後の具體策として實株市場の振興を名目とする證券金融會社を設立し、これを東株に合併する變遷増資策を提出したが、翌十四日商工省は改正取引所法實施以來の傳統方針を破り認可することに決定した

獨逸國粹社會黨、ヒ政權支持を聲明

ドイツ總選舉並に人民投票に國民總意の支持を獲得した國粹社會黨は本日深更聲明書を中外に發しドイツ國民が一致してヒトラー政府の政策を支持したことを強調した

中央製糖社長牧山清砂死去

中央製糖社長牧山清砂は胃潰瘍にて本日午前七時四十五分東京築地の聖路加病院で死去した、享年五十九。長崎縣の生れ代議士牧山耕造の實兄で三井物産を振出しに鐵山業、製



糖業に従事し十数會社の重役を兼ねてゐた

十四日 (火)

五分利公債百二十萬餘圓發行

政府は第四回五分利公債百二十萬六千九百五十圓を左の條件で發行した

△償還期限 五年据置後五十年内

實業界の長老原六郎死去

我が國實業界の長老、東京貯蔵銀行頭取原六郎は慢性腎臓炎で本日午前一時十分東京市品川区北品川三丁目の自邸で死去した、享年九十二。弘化元年兵庫縣に生れ、維新前後は武人として轉戦、後實業界に轉じて第百銀行東京貯蔵銀行を設立して頭取となり、横濱正金銀行頭取、富士製紙、横濱船渠社長、山陽東武、北越各鐵道、東洋汽船、帝國ホテル、猪苗代水電、汽車製造各社重役を兼ねてゐた

十五日 (水)

日印デリー會商、妥協成らず

デリーに於ける第十二次日印會商本會議は本日開催され、左の日本側提案に對し詳細な回答を提示したが妥協成立に至らず物別れとなつた

△綿製品に對してなされるべき割當を諸種の種目に別つこと(原則的に日本案を認む)

△割當との差額を次年度に繰越すこと(日本側一期二割に對し依然上期一割下期五分を主張)△綿製品に對する重量税の限度(現行生地綿布従量税撤廃は印度側認めず)△棉花の買付(綿布四億ヤードの時の日本案百三十七萬五千依に對し印度側百五十萬依を主張して譲らず)

人絹市場一變八圓餘の暴落

東西人絹清算市場は雄氣投げを呼び新規賣物も注がれて杉ノ森市場は後場、先物大引百五圓十錢と前日に比して八圓三十錢の暴落を演じた

足利人絹綿紗同業會、無期同盟休業

足利人絹綿紗同業會は緊急總會を開き人絹暴落對策として十一月十六日より無期同盟休業を斷行することに決定した

東株全重役、引責辭任に決す

東株整理問題に關聯し東京株式取引所は重役會を開き協議の結果、全重役引責總辭任をなすことに決定した

三島徳七博士、強力永久磁石を發明

東京帝大教授工學博士三島徳七は非常に強力な永久磁石を發明し、鋼と命名、日本並に歐米八ヶ國の特許を得たが、マグネット製作

で世界一の稱ある獨逸ロバート・ボツシニ會社が歐洲に於ける製作權を獲得した

支那、關稅休戰協定より脱退

支那の南京政府は世界經濟會議開催に當り成立した關稅休戰協定より脱退に決し各關係國に通告を發した

十六日 (木)

潜水母艦大鯨の進水式舉行

我海軍に一威力を加へる潜水母艦大鯨(一萬トン)の進水式は本日横須賀海軍工廠第一船臺に於て舉行された。同艦は砲四門、機銃十二門を備へ二十ノットの速力を有し世界優秀の母艦である

洋灰冬期限産、五割二分に擴張

セメント聯合會は昭和八年十二月以降九年二月迄の生産制限率を現行率より二分擴張して各月五割二分に決定した

司城元義、日銀理事に就任

日本銀行營業局長司城元義は同行理事に就任した

米國、ソ聯を承認す

七日以來ワシントンに於て米國大統領ルーズヴェルトとソヴェト外務人民委員長リトヴィノフとの間に連續交渉の結果、日本の會談

に於て米國はソヴェト聯邦を承認することとなり兩國の國交は完全に復活した

無電王マルコ二侯爵夫妻來朝

伊太利の無電王グリエルモ・マルコ二侯爵夫妻は本日横濱入港の秩父丸で來朝した

十七日 (金)

新潟縣製絲業、三ヶ月間休業に決す

蠶糸暴落による新潟縣下置糸業組合の對策協議會は本日三十餘名の代表工場主出席の下に新潟に於て開催、十二月十五日から三ヶ月間休業の申合せをなした

大阪機械製作所二百五十萬圓に増資

同社(資本金七十五萬圓)は本日資本金を百七十五萬圓増額して二百五十萬圓とした

帝國人絹社長の更迭

同社社長佐藤法洞辭任し、専務取締役内海静太郎が後任社長となつた

星見舞等賭博で留置さる

不良マダム吉井伯夫人吉井とく始め不良ダンス教授、有附マダム等の不良行爲摘發取調べから端を發して警視廳檢舉網に引かゝり、賭博現行の文壇人里見諒及び同夫人、久米正雄夫妻、佐々木茂作夫妻等多數著名の作家達は本日警視廳に留置された

十八日 (土)

日滿實業協會の成立

日滿實業協會創立總會は東京商工會議所に於て永井拓相臨席の下に開會、左の役員を選任した

△會長 齋誠之助△副會長 結城豊太郎、稻畑勝太郎、李明遠、張本政

長野縣製絲業組合、四ヶ月間採短を決議

長野縣製絲業組合は臨時總會を開き採短問題を協議の結果、十二月一日より昭和九年三月迄四ヶ月間採短實施を決議した

東北製絲部會、任意休業を決議

東北製絲部會は任意休業を決議した

東北製絲部會は任意休業を決議した

全英商業聯盟の創立

マンチエスター紳業聯盟と對外共同戦線を張り日本品に對抗するため、本日ロンドン有力商工業家及び貿易業者より成る全英商業聯盟が創立された

二十日 (月)

津、四日市兩米取の營業繼續不認可

十一月二十九日營業期限満了となる津米穀

取引所及び十二月四日満期となる四日市米穀取引所は、營業繼續認可申請中のところ本日商工省から兩取引所とも却下された

學習院中心の上層階級子弟の赤化事件

學習院を中心とする名門名家子弟の赤化事件は昭和七年末新生共產黨家屋資金局資金部書記局員石井滋がブルジョア班のキャップとなり、學習院出身八條隆孟を中心に資金網を結成し女子學習院出身岩倉靖子を始め名家名門の男女子弟三十餘名が關係してゐること判明し、本日八條隆孟、森俊守、岩倉靖子の三名は東京地方裁判所において起訴收容されその他二十數名は一切を清算して起訴保留となつた

日出紡績社長大川英太郎死去

膽囊炎にて本日午前八時四十分大阪天王子區北山町の自邸で死去した、享年七十五。大川平三郎、田中榮八郎の令兄で、東洋紡の前身大阪紡績を起し、わが紡績界の先進で一人一業主義に終始した

二十一日 (火)

若槻民政黨總裁登壇に懸はる

民政黨總裁若槻禮次郎は本日午前六時五十分上野驛着、驛前自動車口に出る際、短刀と



自決動告状を手にした無頼の巨漢に襲はれたが犯人は警戒の上野署員に取押へられた

◇日本鋼材職工の同盟罷業

同社職工、鐵板、扉、CPの四部従業員百五十名は本日野田四部職長の更迭発表に反対し職長留任を要求すると同時に午後一時同盟罷業を決定した

二十一日(水)

◇産金買上値段の引上

大蔵省は金地金買上價格算定方法につき従来日英為替相場を基準としたものを、ロンドン金塊相場及び日英為替相場を基準とするに改正し、産金買上値段は一瓦二圓六十五錢(一瓦九圓九十四錢)とし二十四日から實施することに決定した

◇大蔵省證券六千萬圓現金償還

大蔵省は本月二十四日償還期限の第二十七回大蔵省證券六千萬圓は現金償還をなす旨本日官報で告示した

◇生絲新産値に騰落

横濱の生糸市場は内外の悪材料山積のため本日一節は各限二十圓内外下放れ先物は五百五十七圓と十五圓方暴落し、二節は五百五十五圓と更に惨落し昨年七月以来の新産値を現

出した

◇晒粉限産率四割五分に擴張

晒粉聯合會は十二月の限産率現行四割を四割五分に擴張することに決定した

◇瀋陽毛織百貨、七十萬圓に債額増資

同社(資本金三十五萬圓)は臨時總會を開き、資本金を七十萬圓に倍額増資の件を可決した

◇貴金屬密輸の外人を檢査

警視廳は全国の貴金屬商が集合して寶石貴金屬の秘密市場を開いてゐる事件につき密輸犯人は神戸在住佛國人ヌーレ・タクラ及び歸國中の同國人シヤール・ホーブの兩名なることを探知シタクラを本日檢査した

◇滿洲採金會社の設立要綱決定

關東軍特務部では日滿合辦の滿洲採金會社の設立準備中であつたが左の通り決定した  
(一)滿洲に於ける砂金及び金礦を開發するため日滿合同により滿洲採金會社を設立す  
(二)會社は滿洲國法人の特殊會社とし、滿洲國政府之を監督す  
(三)會社設立當初の資本金は滿洲國幣一千二百萬圓とし出資者を滿洲國政府、滿鐵、東拓その他とし將來増資する場合は公募によるものとす  
(四)社長

は滿洲國人とし副社長は日本人、その他は日滿兩國人折半とすること

◇福建省に獨立政府樹立さる

福建獨立派は本日新政府成立の典禮を行ひ名稱を人民革命政府とし政府の上に人民革命大同盟會を設け、舊福建省は三分して閩北、閩中、閩南の三省とすることに決定、首腦者陳銘樞等は國民政府離脱の通電を發した

二十三日(木)

◇滿洲區舊軍債償五百十五萬圓清算

滿洲國政府は缺損公債總額五百十五萬六千八百九十九圓を本日新京及び奉天の中央銀行本支店を通じて交付した。これにより政府は舊軍閥時代の債務清算を完了した。國籍別内譯左の如し(單位千圓)

▽滿洲國人九三七〇日本人一、五四四〇英國人一九一〇米國人四八〇獨逸人二、〇八七〇佛國人九四〇和蘭人二五〇丁抹人三〇無國籍人五〇

◇社會事業團體に七萬圓下賜

天皇 皇后兩陛下には東京府細民救恤金として二萬圓、全國優良社會事業團體十數團體に對し約五萬圓下賜の旨御沙汰あらせられた

◇全米の貨幣學者、金政策に互對聲明

米國各大學貨幣學教授四十四名はニューヨークに會合、全米貨幣學者を糾合して政府の金融政策に對しインフレーションは國民に有害であるとの聲明をなし、反對運動を開始することに決定した

◇東京朝日新聞社長村山龍平死去

東京朝日新聞社長村山龍平は糖尿病にて本日午前三時二十五分阪神沿線御影の自邸で死去した。享年八十四

二十五日(土)

◇東電電燈の役員更迭

東電社長齋藤之助の勧めに應じ同社副社長小林一三は社長となると共に常務總務部長本間利雄並に同工務部長太刀川平治は辭任、後任總務部長は新常務河西豐太郎、營業部長は營業部次長新井章治、調査部長は調査課長岡部榮一、工務部長は村尾發電課長が就任に決定の旨發表された

◇東信電氣、東洋水力を合併、増資

同社(資本金四千五百五十三萬五千圓)は臨時總會を開き半額増資して資本金を六千八百三十萬二千五百圓とし、更に傍系の東洋水力電氣會社(資本金百萬圓)を合併して四萬

七千五百圓を増資し、資本總額六千八百三十五萬圓となす件を可決した

◇山梨縣生糸同業組合、全体を決議

山梨縣生糸同業組合は糸價對策臨時總會を開き十二月一日より一月末日まで二ヶ月間操業を全休することに決定した

二十七日(月)

◇米穀貯藏獎勵規則の改正

米穀貯藏獎勵規則は改正され本日公布、即日施行された

◇大阪バルカン近東輸出組合の設立認可

バルカン近東諸國輸出貿易の振興を圖るため共同の施設をなす目的を以て設立された大阪バルカン近東輸出組合は商工省から認可された

◇大同洋灰會社の發起人總會

同社(資本金滿洲國幣三百萬圓)は滿洲に設立することとなり本日發起人總會を開き左の役員を決定した

▽社長 淺野良三▽専務取締役 兒玉國雄  
▽常務取締役 河野喜作▽取締役 艾通芳  
その他五名▽監査役 常務臣外一名▽相談役 淺野總一郎

◇元選相男爵村義朗死去

元選相貴族院議員村義朗は食道潰瘍にて本日午後二時二十分東京市中野區上ノ原町の自邸で死去した。享年六十四。明治五年熊本藩士藤村紫朗男の長男に生れ、二十三年ケンブリッジ大學を卒業し歸朝後三井物産に入り取締役に累進、大正七年政治生活に入り公正會最初の幹事となり、清浦内閣のとき逓信大臣として入閣した

二十八日(火)

◇特殊度量衡規定の一部改正

特殊度量衡の檢定合格條件を規定せる大正六年農商務省令の一部が改正され、十二月一日より實施の旨本日官報を以て公示した

◇東京府製糸業者五ヶ月間操業休止

東京府製糸業者組合は濱糸相場暴落に對する應急策を講ずるため、臨時總會を開き十一月三十日より明年三月一日まで操業休止を決議した

◇綿業三團體、日印會商に強硬聲明發表

二十一日のデリー日印會商に提出した我最後の譲歩に對する、二十七日の印度側強硬回答に對し紡聯、輸出糸糸布、棉花の三團體は本日緊急聯合特別委員會を開き印度側が無條



件にて承認せぬ限り印棉不買を續行し、我代  
表の引揚を辭せずとの聲明を發表した

二十日 (木)

◇産銀中央金庫の利下

産業組合中央金庫は金融の情勢に鑑み貸出  
利率の大幅引下を行ひ左の如く決定した

◇道府縣信用組合聯合會

年五分五厘▽組合の組合員への貸  
出 年六分一厘

◇手形貸付、手形割引、當座貸越

日歩五  
毛乃至一厘▽定期證書貸付 年六分一厘▽  
年賦貸付 年六分一厘

◇通運倉庫、運賃倉庫を買収、増資

同社(資本金二百萬圓)は臨時總會を開き  
浪華倉庫會社(資本金三百萬圓)を二百五十  
萬圓で買収し、資本金五十萬圓を増資し二百  
五十萬圓となす件を可決した

◇關西共同火力、擴張資金五百萬圓借入

同社(資本金一千萬圓)は第一期前半十五  
萬圓設備のため約二十萬圓の費用の一部と  
して興銀外六行と五百萬圓の借入契約を締結  
した

◇五・一五事件民間團體報告に求刑

五・一五事件中愛郷塾長橋孝三郎等農民別  
働隊並にこれ等の行動を補助した神武會頭大  
川周明博士、天行會長頭山秀三、紫山塾頭本  
間憲一郎等二十名にかゝる殺人、殺人未遂、  
爆発物取締罰則違反乃至同教唆及び補助事件  
は東京地方裁判所に於て第二十三回公判開廷  
の後求刑に入り橋は無期懲役、大川は十五年  
頭山、本間は十年の懲役を求刑された

【十二月】

一日 (金)

◇ジュネーヴに帝國總領事館設置

瑞西國ジュネーヴに帝國總領事館を設置開  
館すると同時に、同地帝國名譽領事館を閉鎖  
した

◇米穀證券八千八百萬圓借發行

大藏省は本日支拂期日の米穀證券八千八百  
萬圓を左の條件で借發行した  
割引歩合日歩六厘▽支拂期日 昭和九年一  
月二十五日▽發行方法日本銀行引受

◇廣島電氣、太田川發電所を買収

廣島電氣會社(資本金六千萬圓)は太田川  
發電所を六百萬圓を以て出雲電氣會社から買

收した

◇鹽口商業銀行の閉業

銀廢止による鹽口財界の混亂を救済すべく  
設立された資本金百萬圓の同銀行は頭取に王  
季榮就任して本日營業を開始した

◇ジャヴァ海運同盟、運賃三割引上

ジャヴァ運賃同盟は燃料高騰、ジャヴァ着  
砂糖の減荷等の關係から日本ジャヴァ航路の  
運賃を昭和九年三月から三割方引上げ實施す  
ることに決定した

二日 (土)

◇滿鐵改組の準備協議會開催

關東軍立案の滿洲産業開發根本方針に従ひ  
滿鐵改組の實現を見る運びとなつたので特務  
部、滿鐵及び大使館關係者列席し滿鐵改組の  
準備につき協議の結果、左の大綱を決定した  
一、滿鐵附屬地行政權は原則として之を滿  
洲國に返付する  
二、返付時期は明年七月一日を目標とす  
三、右に關する一切の最後の實行項目は滿  
鐵改組問題調査委員會に於て立案する

◇五分利公債四百二十萬圓發行

政府は第四回五分利公債四百二十萬一千九百  
五十圓を左の條件で發行した

▽發行價格 百二圓十錢▽償還期限 五年

据置後五十年内

◇砂糖供給組合、解散に決定

砂糖供給組合再建問題に關し武智直道(臺  
灣製糖)、藤山雷太(日本製糖)、相馬半治(明  
治製糖)の三巨頭が個別的會見の結果、同組  
合の存続は効果なしとの理由で本月二十八日  
の組合存続期限後は解散することに決定した

◇昭和製糖五百萬圓に増資

同社(資本金三百萬圓)は株主總會を開き  
資本金二百十萬圓を増加し五百十萬圓となす  
件を可決した

◇東京市會大廳事件の求刑

瓦斯問題に絡まる瀆職事件の檢舉に端を發  
し東京市會議長選舉、東京市營墓地問題、市  
長選舉等の大疑獄事件は半歳に亘り東京地方  
裁判所に於て審理をなし本日第三十五回の公  
判開廷、五代議士、二十市議、二元市助役等  
三十名に對し求刑があつた。主なるもの左の  
如し

代議士、前東京市會議長大神田軍治(懲役一  
二年)、元東京市第一助役白上佑吉(懲役一  
年六ヶ月)、代議士、前東京市常務鈴木寅  
彦(懲役八ヶ月)、代議士、前東京市會議員

高橋義次(懲役六ヶ月)、元東京市保險局長

石橋政治(懲役六ヶ月)、前貴族院議員奥田

龜造(懲役五ヶ月)、元東京市第三助役十時

尊(懲役四ヶ月)、

四日 (月)

◇澤田・ホア會談に印所側強硬決意表明

デリーの日印會商に於て澤田代表は印度側  
の強硬回答に對し遺憾の意を述べ再考を促し  
たところホア長官は印度側は二週間も熟考し  
た結果、最大限の譲歩であるから再考の餘地  
なしとの決意を表明した

◇全國製絲聯合會、製絲對策を決定

全國産業組合製絲聯合會は東京丸の内  
の産糸會館に臨時總會を開き(一)絲價の情勢  
に鑑みこれが對策の件(二)産業組合製絲に關  
し國策樹立要望の件(三)産業組合製絲應急資  
金融通要望の件等を可決し、濱庄左衛門外六  
名の代表者は低資融通を農林省に陳情した

◇七尾洋灰社債二百萬圓發行

同社は臨時總會の決議に基きオープン・エ  
ンド・モーゲーチ制による社債三百萬圓中、  
二百萬圓を舊債(年六分五厘)の借替償還に  
充當するため川崎信託引受の下に左の條件で

發行することに決定した

▽利率 五分▽償還期限 一年据置後六ヶ

年間に隨時償還▽擔保物 七尾工場財團

◇農村問題解決期成同盟の設立

帝國農會其他農村關係團體は本日帝國農會  
事務所に協議會を開き農村問題解決期成同盟  
を設立に決定し、翌六日帝農ビルに初會合を  
なし政府の農山漁村救済策實現を要する聲  
明書を發表した

◇中島商相に露油抗爭の調停を懇請

石油協定六社對松方露油抗爭問題につき鐵  
山懇話會委員長田中隆三は中島商相を訪問し  
て右抗爭は内地石油業の根本を危くするもの  
なりとの見地から商工省の積極的調停方を懇  
請した

◇小倉正恒、貴族院議員に勸選

住友會社社長理事小倉正恒は貴族院議員  
に勸選された

六日 (水)

◇内鮮米三百二十二萬石買入發表

農林省は米穀統制委員會を開き季節的出廻  
り調節につき協議の結果、内地米百七十萬石  
朝鮮、臺灣米を通じ百五十二萬石の限度内に  
於て昭和八年産米の買入を行ふことに決定發



表した

紡績委員会、操短率提議に決定

紡績聯合会は明年二、三月の紡績操短率を現行率二割七分六厘据置に決定した

リンデイ夫妻、南大西洋横断に成功

西アフリカ英領ガンビアのバサリストから南米ナタールに向つた米國飛行家リンデイ夫妻は約一千六百哩を翔破しナタールに着、南大西洋横断飛行に成功した

七日(木)

電力聯盟外債非償支拂の申合せ発表

電力聯盟は東京銀行集會所に定例會議を開き外債支拂の選擇條項否認問題に對する五大電力の態度につき意見交換の結果、非償債利子の支拂については全部非通貨にて米國代人に送金し今後も同一の取扱をなす旨の申合せを発表した

日本染料製造、二千五百萬圓に増資

同社(資本金七百萬圓)は十一月の株主總會の決議に基き八百萬圓を増資して總資本金一千五百萬圓となつた

關門船頭組合の同盟罷業

關門船頭組合の従業員は大正十五年の三者協定(船主と運送業者と船頭組合)の賃

銀復活を要求して拒絶されたため同盟罷業を決定したので今朝關門海運業三十餘軒の荷役作業は中絶し外國船二隻は停船したが九日に至り組合の結束固く郵船、商船等大會社を除き荷役は殆んど中止となり、門司港仲仕四百名は失業状態に陥つた

八日(金)

商權擁護聯盟、産組の特典撤廢を陳情

全日本商權擁護聯盟の委員六名は高橋藏相を官邸に訪問、産業組合の進出に伴ふ中小工業者の窮状を説き組合に對し所得税、營業收益税、地方營業税、家屋税、登録税、印紙税等が免除されてゐることの不當を指摘して各種補助金の即時撤廢と免除特典を漸次廢止され度き旨陳情した

松岡洋右、政友會を脱黨、代議士職任

政友會代議士松岡洋右は鈴木總裁を訪問脱黨届を提出すると同時に衆議院議員辭任の手續をとり國內の對立抗爭を解消すべしとの聲明を発表した

海軍大將伯爵山本權兵衛死去

海軍大將大勳位伯爵山本權兵衛は本日午後十時五十二分東京市芝區高輪臺町の自邸で死去した、享年八十二。嘉永五年鹿兒島に生れ

明治三年海軍兵學校に入學七年征臺の役に従ひ二十年海軍傳令使として歐米に派遣せられ歸朝後、天城その他の艦長を経て海軍省に入り日清の役には西郷從道の副官兼參謀として出征、三十一年海相となり、日露役には樞機に參與し、三十五年男爵を授けられた。三十七年海軍大將、四十年伯爵を授けられた。大正二年内閣を組織したがシーメンス事件で失脚鎌倉に閉居し雌伏、同十二年九月關東震災のとき再び首相の印綬を帯びたが虎の門事件で引責辭職した。恩給は年額六千圓で全國三十三萬人の筆頭であつた

九州財界の巨頭麻生太吉死去

元貴族院議員麻生太吉は膽石病に肝臓病を併發して本日午前四時飯塚市柏森の自邸で死去した、享年七十七。炭礦經營の外九州水力電氣社長をはじめ多數會社銀行の社長頭取その他の重役を兼ね九州財界の巨頭として知られ、衆議院議員及び貴族院議員に各一回當選した

九日(土)

排日貨の形勢に鑑み經濟外交方針聲明

最近歐洲主要國を始め各地に於て日本商品排撃を企圖する傾向あるに鑑み外務省は無條

約國及び本邦品に對し不當の壓迫を加ふる國の商品に對し差別的税率關稅を賦課し報復手段をとる旨の經濟外交に關する聲明をなした

輸出綿ネルの二月生産割當決定

輸出綿織物工業組合聯合會は綿ネルの昭和九年二月の生産割當を生地十萬反、製品十萬反と決定した

三和銀行の創立

三十四、山口、鴻池の三銀行の合併による三和銀行(資本金一億七百二十萬圓)は創立總會を開き左の役員を選任した

頭取 中根貞彦 常務取締役 森信敬二 佐野政清、松野龍雄、下山元一 取締役 菊池恭三、山口吉郎兵衛、鴻池善右衛門、一ノ瀬榮吉、佐々木駒之助、加藤晴比古、尼崎伊三郎、弘世助太郎 監査役 田中栗(常任)、三崎伊太郎、前田雄之助

血盟團事件の酒巻裁判長辭職

井上日召等の血盟團事件係裁判長酒巻貞一郎は、裁判忌避の申立から公判は暗礁に乘上げると至つたので、忌避申立は却下されたが深くその責任を感じ、健康を理由に辭表を提出中の處本日聽許された

金塊引揚事件で江連力一郎等召喚

黄金狂時代の波に乗つて續出した金塊引揚會社のインテキ性暴露し東京丸の内昭和ビルに事務所を置くアンナ・ローザヌ號引揚後授會顧問江連力一郎、同會計係高田松太郎兩名は横領詐欺の嫌疑で警視廳に召喚された

十一日(月)

支那、邦品十品目に投資税賦課

支那財政部領銷稅委員會は本邦より輸入する棉花、綿絲、綿製品、生絲、絹織物、茶、木材、海産物、マツチ、電球の十品目に對しダンピング税を賦課するに決した

前松原常務内藤一死去

神兵隊事件渦中の重要人物として知られた東京銀座松原の前常務取締役内藤一は胃癌にて本日午前六時東京銀座六丁目の自邸で死去した、享年六十九。山梨縣の生れで明治二十二年米國から歸朝して横濱市鶴屋吳服店の支配人となり、大正三年松原の取締役に轉じ後常務取締役に就任して手腕を揮つた

十二日(火)

獨原前勳鑑、東條理事長に決定

東京株式取引所後任理事長銓衡につき委員會を設置物色中のところ男爵郷誠之助の推薦により前日本勳業銀行總裁獨原仲治を推すこ

とに決定した

日本團體生命保險の發起認可

商工省保險部は郷誠之助外三十九名の發起による我國最初の日本團體生命保險會社(資本金二百萬圓)の設立計畫を内認可した

同社の株式は一般募集をなさず全部發起人及び地方産業團體聯合會賛助員にて引受け被保險團體は五十名以上、保險金額は一人五百圓以上三千圓以下で、保險料は千圓に付、三十五歳の加入者は年八圓の割である

九州水力社長に太田黒重五郎決定

九州水力電氣會社は重役會を開き麻生社長の後任として九州軌道社長太田黒重五郎を社長に選任した

十三日(水)

東京中央卸賣市場の落成式

築地の東京中央卸賣市場落成し本日完成式を舉行した。工費一千五百萬圓、五ヶ年を費して竣工した東洋一の市場である

電氣協會、水利使用課税反對を陳情

電氣協會は理事會を開き發電用水車の課税をなすは水利使用税と重複し且つ無配當電力會社にも水利使用税を課するは不當であると反對陳情をなすことを決定した



産鋼水曜會、生産協定を撤廃

産鋼水曜會は東西聯合協議會を開き協議の結果十一月、十二月は軍需關係の需要により在庫品の減少を來すに至つたので、九年一月より生産協定を廢し自由生産を行ふことに決定した

學位賣買事件で長崎醫大教授收容さる

長崎醫大の多年に亘る學位賣買の醜職嫌疑で長崎醫大教授勝矢信司博士を始め教授數名及び地方開業醫學博士數名は本日長崎地方檢察所に召喚、起訴前の強制處分により浦上刑務所に收容されたので十五日同大學の副手助手百名は學園改革のため關係教授の自決その他の決議をなし、十九日に至り勝矢信司、淺田一、赤松宗二の三醫學博士は責任を感じ辭表を提出した

自動車共同賣買會社の創立

同社(資本金百萬圓)は自動車工業、瓦斯電氣工業の兩社等分出資の下に設立され、會長に加納友之介(自動車工業社長)、社長に松方五郎(瓦斯電氣社長)、支配人に弓削靖が就任した

十五日(金)

政府、農村對策の根本方針を決定

第六回内政會議は首相官邸に開催し農家負擔軽減、蠶絲對策、肥料對策の三案につき審議の結果、左の申合せをなした

- 一、農家負擔軽減問題については特に審議機關を設けて速かに調査に着手する事
- 一、蠶絲對策問題については原蠶種國家管理案を農林豫算の組替へによつて實施する事に正式決定、蠶絲業全體を養蠶、製絲、生絲輸出の全過程から見てもこれが統制改善を計る事
- 一、肥料對策問題については金肥の價格を適當に調整する事、配給改善の方策を講ずる事、輸入肥料の國家的統制を行ふ事、自給肥料の奨励を行ふ事

東條常務理事に立石信郎就任

元東京市電氣局長立石信郎は東京株式取引所理事長梶原仲治の推薦により東條常務理事に就任した

新興商船會社の創立

安田系の東洋商事及び神戸の橋本汽船の共同出資の下に設立された同社(資本金五十萬圓)は創立總會を開き左の役員を選任した

社長 高橋勇 取締役 吉原政智、永田

米三郎、松浦恒吉、橋本喜久雄 監査役

安念精一、西正次郎

モロツコの輸入業者代表來朝

北アフリカのモロツコ國輸入業者代表ビエル・バーナードは日本品大量仕入の目的で本日神戸入港の白山丸で來朝した

十六日(土)

永井拓相、滿鐵改組に關し反對聲明

永井拓相は首相官邸に於て林、八田滿鐵正副總裁と協議の後、關東軍特務部と滿鐵首腦部との合議になる所謂滿鐵改組案に反對の旨聲明をなした

駐米大使に齋藤博就任

オランダ公使從四位勳二等齋藤博は前駐米大使出淵勝次の後任として駐米大使に親任された

米穀統制法による標準價格決定

農林省は米穀の最高、最低價格を左の如く決定した

▽標準最高價格 三十圓五十錢▽標準最低價格 二十三圓三十錢

米穀輸入税増徴を一ヶ年延期

米穀統制法による米穀その他の輸入税増加は本年末日を以て満了のところ一ヶ年延期す

ることになり、本日勅令を以て公布された

十八日(月)

日印會商、最後の難關に達す

日印會商は既に關稅引下、棉花、綿布の關聯的數量及び増減の比率、再輸出の除外、品種別割當、期別割當及び移讓率、從量稅による雜貨の最惠國待遇、ビルマの除外、人絹割當除外、將來の關稅引上に關する協議條項等は諒解済となり、移讓率と爲替問題が残されたが、印度側は爲替條項を重大視し日本の主張たる二割以上の低落繼續二ヶ月後協議するとの提案を退け専門委員會の開會を提議するに至り日印會商は難關に直面した

興業交付公債の利率引下

大藏省は舊韓國關係英貨債償還に伴ふ爲替差損金として興業銀行に對する交付公債八百萬圓の利益を五分から四分に引下ることに決定した

洋紙限産庫三百萬ポンド緩和

製紙聯合會は商議員會を開き市況對策につき協議の結果、更に洋紙三百萬ポンドの生産制限緩和を決定し即日實施した

東大名譽教授失作藥癡死

本日午前四時半腦溢血で東京千駄ヶ谷の自

全國製絲組合聯合會は總會を開き操業休止に關し協議するところあつたが、二ヶ月間全國強制休業案は委員附託の結果否決された

十九日(火)

東神倉庫の神戸大倉庫落成

建設中の東神倉庫の神戸大倉庫は本日落成した。同倉庫は鐵筋鐵骨コンクリート六階建高さ百二尺一萬坪、主として棉花の貯蔵に適し一時に三十萬俵を保管し得る東洋一の最新式倉庫である

二十日(水)

日英製糖協会の準備會議開催

同會議は日本側から岡田、三宅綿業代表の外、松山商務官がオブザーヴァとして出席、イギリス商業會議所に於て開催された

第二回朝鮮米六十萬石買上發表

政府は第二回米穀統制委員會の決議に基き

朝鮮支米五十萬石及穀十萬石を明年一月十二日買入決定の旨發表した

出雲電氣、匹見川水力を合併・増資

同社(資本金一千百十萬圓)は株主總會を開き匹見川水力工業會社(資本金百萬圓)を合併し百萬圓を増資し、更に資本金を二千萬圓に増資する件を可決した

内海紡績、五百萬圓に借額増資

和歌山縣の同社(資本金二百五十萬圓)は株主總會を開き資本金五百萬圓に借額増資の件を可決した

長崎醫大、學長以下全教授退職

同大學々位疑獄事件に絡り學内淨化運動の激化に伴ひ教授會は緊急會議を開き學長以下連袂退職に決し左の聲明書を發表した

事件發生以來隱忍自重して事に當りたるも今日の事態に立ち至りたるは余らの負へる國家の重責に鑑み甚だ遺憾の次第である。不明を天下に謝すると共に本日こゝに重大處決をなした。しかれども冷靜忠實に事務に従事し大學及び附屬醫院の機能に支障なからしめんことを期す



セメント聯合會は蘭領印度の日本セメント輸入割當制度實施を機として日本セメント輸出協會を設立することに決定し總會を開き施行細則を可決し左の役員を選任した

理事 磐城、小野田、齋業、七尾、宇部 淺野▽幹事 日本、大分

○農務省議會、華族界廓清を申合

有閑マダム吉井勇伯爵夫人徳子のダンスホール出入に端を發し華族の亂倫放縱を暴露した事件に引續き近藤滋彌男の令弟廉治、同夫人泰子等の華族の體面を汚辱する行爲と柳原義光伯の家庭不取締等に關し宗秩寮審議會を開き、華族の品位向上のため徹底的調査をなし華族界廓清を期することを申合せた

二十一日 (金)

○メートル法實施五年間延期さる

昭和九年七月一日より實施されるメートル法は豫算の都合上實施困難となつたので政府は第一次施行猶豫期間を向ふ五年間延期することに決した

○關西新生共產黨事件で百八十六名起訴

大阪に於ける新生共產黨は大阪府廳内社會課を舞臺として暗躍中大阪検事局の手により千五百三十名檢舉され内百八十六名は起訴された

二十三日 (土)

○皇太子殿下御誕生

皇后陛下には本日午前六時三十九分御分婉親王御誕生あらせられたが、二十九日宮内省告示を以て「本月二十三日午前六時三十九分御誕生アラセラレタル親王姓名ヲ明仁ト命セラレ繼宮ト稱セラル」と發表された

○松岡洋右、政黨解消聯盟組織を聲明

政友會を脱黨、代議士を辭任した松岡洋右は、政黨解消聯盟組織に關する聲明書を發表した

○生糸の出荷制限、三割に決定

中央蠶絲會總會は輸出生絲出荷制限につき協議の結果、昭和九年二月一日より九月三十日迄昭和八年各月に於ける各製絲業者の出荷數量を基準として三割を制限することに決定した

○東洋、東洋證券金融を合併

東京株式取引所(資本金四千七百萬圓)は定時總會を開き東洋證券金融會社(資本金三百萬圓)を合併、三百萬圓を増資し五千萬圓となす件を可決した

○住友財團、愛國恤兵會に三十萬圓寄附

住友財團は 皇太子殿下の御誕生を記念し財團法人愛國恤兵會に三十萬圓を寄附した

○米國絹業、一ヶ月二割五分減産断行

米國産業復興局長官ヒュー・ジョンソンは絹業協會の要求を容れて米國絹業全般に對し向ふ一ヶ月間全能力の二割五分減産を行ふべき旨命令を發した

○東大名譽教授藤澤利喜太郎死去

東大名譽教授貴族院議員理學博士藤澤利喜太郎は心臟辨膜症にて午後八時十分東京品川區五反田の自邸で死去した、享年七十三。數學の權威として知られ、斯學に關する著書がある

二十四日 (日)

○鹿兒島島の孤島口の永良部島爆發

鹿兒島縣熊毛郡口之永良部島が本日午前四時頃大鳴動と共に爆發し數十丈の火炎が天に押し凄慘を極めた。噴火口に近い七釜村の八十餘戸は降灰のため全滅、山林二百餘町歩埋没した。死者八名、重傷者十名、輕傷者三十名、牛馬壓焼死二十頭、損害額は約十萬圓である

二十五日 (月)

○政黨聯携滿踏みの政民懇談會開催

政黨聯携運動の瀕路みとして中島商相の仲介による政民兩黨首腦部の懇談會は東京芝紅葉館において政友會側床次、望月、久原、山本(条)、秋田、濱田、川村、島田、山崎、松野、山口、内田等、民政黨側町田、頼母木、川崎(卓)、櫻内、富田、依、小泉、小橋、松田等出席懇談を重ねて散會した

○日英米領事、福建總督の南京政府に警告

二十五日朝來中央、福建の兩軍が浙江、福建省境に對峙し三百哩に亘り主力戦が展開されたので福建總督に關し日、英、米各領事は南京外交部に對して居留民の生命財産に危害を加ふることなきやう注意を喚起した

○日滿航空郵便新料金の制定

日滿聯絡航空郵便の取扱料金は從來書狀三十錢、葉書十五錢であつたが、兩政府協議の結果書狀三十五錢、葉書八錢、滿洲、朝鮮間書狀二十錢、葉書十錢に制定された

二十六日 (火)

○農家負擔調査會の設置

政府は農家負擔軽減につき審議機關を設け調査を開始することとなり、農村負擔調査會規程を決定發表した

○四分利付公債八百十餘萬圓發行

政府は第十三回英貨興業債券元利支拂に對する爲替差損金補給として日本興業銀行に交付するため四分利公債八百十四萬五千五百五十圓を左の條件で發行した

▽交付價格 九十八圓三十錢▽償還期限 昭和十二年迄据置後三十年内

○東洋モス、第二東洋モスリンを創立

同社(資本金九百二十七萬八千五百圓)は變態増資の目的で第二東洋モスリン(資本金五百八十二萬一千五百圓)を創立した

○古河電工、日本伸銅・尼崎伸銅を合併

古河電氣工業會社(資本金二千萬圓)は臨時總會を開き日本伸銅(資本金二百二十五萬圓)及び尼ヶ崎伸銅(資本金百九十六萬八千七百五十圓)の兩會社を合併し、二千二百六十五萬圓に増資の件を可決した

○小池銀行、小池證券を合併

小池銀行(資本金三百萬圓)は昭和五年二月小池證券會社(資本金二百萬圓)を設立して證券業務を經營して來たが、本日臨時總會を開き同銀行を證券に合併し資本金を三百五十萬圓とする件を可決した

○自動車製造會社の創立

自動車製造會社(資本金一千萬圓、日産自

動車の前身)は創立總會を開き左の役員を選任し、戸畑鑄物自動車部の業務及び同部大阪工場(舊ダット自動車製造)を譲り受け營業を開始した

▽取締役 鮎川義介、山下興家、山本惣治 久保田篤太郎、矢野美章、淺原源七▽監査役 片山義勝、山田敬亮

二十七日 (水)

○昭和九年上半年の不動産貸付利下發表

大藏省は昭和九年上半年の不動産貸付利率を前期に比して最低二厘下げ、勸業銀行の公同體貸付だけは年賦定期を通じて五厘下げ宅地建物擔保貸付は定期に限り四厘引下げ左の如く決定した旨發表した

▽勸業銀行公共團體五分五厘、各種組合六分四厘▽農工銀行公共團體各種組合七分二厘▽北海道拓殖銀行公共團體七分四厘、各種組合又はその聯合會七分四厘

○鹽津洋灰社債二百五十萬圓發行

同社は擔保付社債七百萬圓限度の内第二回社債二百五十萬圓を左記條件で發行することに決定した

▽發行價格 額面▽利率 五分▽償還期限 七ヶ年▽發行期日 九年二月五日▽受託及



び引受 三井信託  
 ◇日埃貿易協会の創立  
 エチプトよりの申出並に貿易發展を目的として設立準備中であつた日埃貿易協会は本日東京丸の内生命保険協會に於て創立總會を開き會則及び左の役員を決定した

三井物産、三菱商事、大日本紡績聯合會以下十六團體  
 ◇ホルネオ水産會社の創立  
 同社(資本金五十萬圓)は總立總會を開き左の役員を選任した

▽代表取締役 成瀬正忠▽取締役 朝倉傳治郎、矢部又吉、折田一二、片山駿太郎、和田重次郎▽監査役 千野米作、園田武彦、井坂秀雄  
 ◇臺灣銀行理事高木復享は帝國人協會社長就任のため同行理事を辭任した

二十八日(木)  
 ◇國債標準價格の決定  
 國債優遇法により大藏省は本年七月以降發行した國債の標準價格を左の通り決定し官報を以て告示した

▽四分利公債(一號)九十八圓三十錢▽四分利國庫債券(一號)九十八圓五十錢▽四分利公債三號九十八圓五十錢

分利國庫債券(一號)九十八圓五十錢▽四分利公債三號九十八圓五十錢  
 ◇帝都電鐵一千六百萬圓に減資  
 同社(資本金三千八百萬圓)は買入銷却に依り一千六百萬圓に減資した

二十九日(金)  
 ◇私設無線電信・電話規則の公布  
 同規則並に附則は本日逕信省令を以て公布され、昭和九年一月一日より施行

◇外國電報規則の公布  
 同規則並に附則は本日逕信省令を以て公布され、昭和九年一月一日より施行  
 ◇外國無線電報規則の公布  
 同規則並に附則は本日逕信省令を以て公布され、昭和九年一月一日より施行

◇製鐵六社合同の假契約成立  
 商工省が製鐵合同の急速的達成のため民間八社代表と資産評價について接衝の結果、八社の内富士製鐵、九州製鐵、釜石鐵山、三菱製鐵、東洋製鐵、輪西製鐵の六社の間に合同の假契約が成立した

◇ルーマニア首相被殺さる  
 ルーマニア首相イオン・デユカは本日シナイヤの離宮に皇帝カロール陛下訪問の歸途午後十時二十分ピストル四發を發射され頭部に貫通銃創を受けて即死した。犯人はブカレスト大學々生コンスタン・テイネスクで直ちに逮捕された

三十日(土)  
 ◇愛國貯金、小口拂出を發表  
 鳥德藏の不正手形事件により被害を受けた同行の多數預金者に對し、大阪府知事等の斡旋で同人の親戚から私財を提供することとなり關係者が知事官邸に集合協議の結果、整理中にある大阪東區愛國貯金銀行(資本金百二十萬圓)の預金に對し明年一月八日から二十圓以下の小口預金全額拂戻しをなす旨知事談話の形式で發表した

◇滿洲國、重大國策委員會を設置  
 滿洲國は重大國策委員會を設置し左の委員を決定した

▽委員長 國務總理鄭孝胥  
 △委員 民政部總長臧式毅、外交部總長謝介石、軍政部總長張景惠、財政部總長熙洽、實業部總長張燕卿、交通部總長丁鑑修、司

法部總長馮滄清  
 三十一日(日)  
 ◇印度鋼、條件附て日本承認  
 折衝中の日印會商細目協定は本日に至り印度側より日本案の棉花數量百五十萬俵、綿布四億ヤードに對し條件付承認の回答があつた

### 昭和八年統計

#### 日本銀行兌換券發行高

| 月  | 發行高<br>萬圓 | 準備<br>萬圓  | 保證<br>萬圓  | 制限外<br>發行<br>萬圓 |
|----|-----------|-----------|-----------|-----------------|
| 一月 | 1,115,000 | 1,115,000 | 1,115,000 | 0               |
| 二月 | 1,150,000 | 1,150,000 | 1,150,000 | 0               |
| 三月 | 1,160,000 | 1,160,000 | 1,160,000 | 0               |
| 四月 | 1,170,000 | 1,170,000 | 1,170,000 | 0               |
| 五月 | 1,180,000 | 1,180,000 | 1,180,000 | 0               |
| 六月 | 1,190,000 | 1,190,000 | 1,190,000 | 0               |
| 七月 | 1,200,000 | 1,200,000 | 1,200,000 | 0               |
| 八月 | 1,210,000 | 1,210,000 | 1,210,000 | 0               |
| 九月 | 1,220,000 | 1,220,000 | 1,220,000 | 0               |
| 十月 | 1,230,000 | 1,230,000 | 1,230,000 | 0               |

#### 東京總合銀行金利表

| 月   | 證券貸付金   |         |         | 割引      |         |         |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
|     | 最高<br>錢 | 最低<br>錢 | 平均<br>錢 | 最高<br>錢 | 最低<br>錢 | 平均<br>錢 |
| 十一月 | 1.10    | 1.00    | 1.05    | 1.00    | 0.90    | 0.95    |
| 十二月 | 1.10    | 1.00    | 1.05    | 1.00    | 0.90    | 0.95    |
| 一月  | 1.10    | 1.00    | 1.05    | 1.00    | 0.90    | 0.95    |
| 二月  | 1.10    | 1.00    | 1.05    | 1.00    | 0.90    | 0.95    |
| 三月  | 1.10    | 1.00    | 1.05    | 1.00    | 0.90    | 0.95    |
| 四月  | 1.10    | 1.00    | 1.05    | 1.00    | 0.90    | 0.95    |
| 五月  | 1.10    | 1.00    | 1.05    | 1.00    | 0.90    | 0.95    |
| 六月  | 1.10    | 1.00    | 1.05    | 1.00    | 0.90    | 0.95    |
| 七月  | 1.10    | 1.00    | 1.05    | 1.00    | 0.90    | 0.95    |
| 八月  | 1.10    | 1.00    | 1.05    | 1.00    | 0.90    | 0.95    |
| 九月  | 1.10    | 1.00    | 1.05    | 1.00    | 0.90    | 0.95    |
| 十月  | 1.10    | 1.00    | 1.05    | 1.00    | 0.90    | 0.95    |
| 十一月 | 1.10    | 1.00    | 1.05    | 1.00    | 0.90    | 0.95    |
| 十二月 | 1.10    | 1.00    | 1.05    | 1.00    | 0.90    | 0.95    |



東京交易所手形交換高

| 一月          | 二月          | 三月          | 四月          | 五月          | 六月          | 七月          | 八月          | 九月          | 十月          | 十一月         | 十二月         |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 110,117,700 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 |

外國為替相場

| 一月  | 最高          | 最低          | 最高          | 最低          | 最高          | 最低          |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 倫敦宛 | 110,117,700 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 |
| 紐約宛 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 |

| 一月  | 二月          | 三月          | 四月          | 五月          |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 倫敦宛 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 |
| 紐約宛 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 |
| 上海宛 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 |

| 六月  | 七月          | 八月          | 九月          |
|-----|-------------|-------------|-------------|
| 倫敦宛 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 |
| 紐約宛 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 |
| 上海宛 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 |

| 十月  | 十一月         | 十二月         |
|-----|-------------|-------------|
| 倫敦宛 | 110,350,000 | 110,350,000 |
| 紐約宛 | 110,350,000 | 110,350,000 |
| 上海宛 | 110,350,000 | 110,350,000 |

外國貿易月表

| 一月 | 二月          | 三月          | 四月          | 五月          | 六月          | 七月          | 八月          | 九月          | 十月          | 十一月         | 十二月         |
|----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 倫敦 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 |
| 紐約 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 |

| 二月 | 三月          | 四月          | 五月          | 六月          | 七月          |
|----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 倫敦 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 |
| 紐約 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 |
| 上海 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 | 110,350,000 |











|       |     |            |        |        |        |     |            |        |        |
|-------|-----|------------|--------|--------|--------|-----|------------|--------|--------|
| 東洋紡績  | 五〇  | 一八〇・一七六・一〇 | 一七一・〇〇 | 一七三・九〇 | 日本鋼管   | 五〇  | 一七〇・二四〇・八〇 | 一三三・一〇 | 一三六・〇六 |
| 帝國製糖  | 五〇  | 一五九・五〇     | 一五九・〇〇 | 一五八・一八 | 鐘淵紡績新二 | 五〇  | 一三三・〇〇     | 一三〇・七〇 | 一三三・六〇 |
| 帝國人絹  | 五〇  | 一五〇・〇〇     | 一八〇・〇〇 | 一八〇・九五 | 東洋紡績   | 五〇  | 一八〇・一六七・〇〇 | 一六三・五〇 | 一六五・七〇 |
| 大日本製糖 | 五〇  | 八〇・八一〇     | 七二・一〇  | 七八・九一  | 帝國製糖   | 五〇  | 一五九・九〇     | 一五三・〇〇 | 一五四・八三 |
| 大日本麥酒 | 五〇  | 一三〇・三三〇    | 一七三・一〇 | 一七〇・五三 | 帝國人絹   | 五〇  | 一五〇・一八〇・一〇 | 一六七・四〇 | 一七三・六二 |
| 日清製粉  | 五〇  | 八〇・八二〇     | 七九・五〇  | 八・七一   | 東洋     | 五〇  | 八〇・七五・九〇   | 六六・五〇  | 七一・三三  |
| 王子製紙  | 五〇  | 一〇〇・一〇九・一〇 | 一〇三・〇〇 | 一〇八・〇一 | 大日本製糖  | 五〇  | 八〇・七六・五〇   | 七三・三〇  | 七五・三九  |
| 電氣化學  | 五〇  | 八〇・五七・九〇   | 四六・一〇  | 五五・〇八  | 大日本麥酒  | 五〇  | 一三〇・一三三・〇〇 | 一八〇・〇〇 | 一八二・三四 |
| 品川白煉瓦 | 五〇  | 一六〇・〇〇     | 一五〇・〇〇 | 一五〇・八四 | 日清製粉   | 五〇  | 八〇・八二・〇〇   | 七九・四〇  | 七九・八〇  |
| 淺野    | 五〇  | 七〇・七二・〇〇   | 六三・六〇  | 六九・九五  | 王子製紙   | 五〇  | 一〇〇・一〇六・三〇 | 一〇五・〇〇 | 一〇五・四三 |
| セメント  | 五〇  | 七〇・七二・〇〇   | 六三・六〇  | 六九・九五  | 電氣化學   | 五〇  | 八〇・五三・五〇   | 五〇・〇〇  | 五三・五三  |
| 松竹キネマ | 五〇  | 四〇・四二・〇〇   | 三三・六〇  | 三五・四〇  | 昭和肥料   | 五〇  | 一三〇・八三・二〇  | 七九・四〇  | 八一・三三  |
| 日本郵船  | 五〇  | 四六・四〇      | 四二・四〇  | 四四・九三  | 品川白煉瓦  | 五〇  | 一三〇・八三・二〇  | 七九・四〇  | 八一・三三  |
| 大阪商船  | 五〇  | 三三・三〇      | 三三・〇〇  | 三三・三三  | 淺野     | 五〇  | 六〇・六八・二〇   | 六五・六〇  | 六七・五   |
| 日魯漁業  | 五〇  | 八〇・四〇      | 三八・〇〇  | 四一・三六  | セメント   | 五〇  | 四〇・三九・九〇   | 三五・〇〇  | 三五・四五  |
| 熱帶産業  | 四・三 | 一三六・三〇     | 一三〇・一〇 | 一三四・九二 | 松竹キネマ  | 五〇  | 四〇・三七・九〇   | 三五・〇〇  | 三五・四五  |
| 東京株式新 | 五〇  | 一七〇・一七〇・一〇 | 一七〇・九〇 | 一六六・四七 | 日本郵船   | 五〇  | 四七・七〇・〇〇   | 四三・九〇  | 四四・七二  |
| 十一月   |     |            |        |        | 大阪商船   | 五〇  | 四四・四四・〇〇   | 三三・六〇  | 三三・三三  |
| 東京電燈  | 五〇  | 一・二九・九〇    | 二四・〇〇  | 二七・八一  | 日魯漁業   | 五〇  | 四〇・四九・三〇   | 四二・四〇  | 四六・六七  |
| 東邦電力  | 五〇  | 五〇・四六・〇〇   | 四一・一〇  | 四四・六七  | 熱帶産業   | 四・三 | 一三二・四〇     | 一三〇・一〇 | 一三〇・三三 |
| 南滿洲鐵道 | 五〇  | 三〇・六二・〇〇   | 五九・〇〇  | 六一・二二  | 東京株式新  | 五〇  | 一七〇・一七〇・一〇 | 一七〇・九〇 | 一六六・四七 |
| 日本石油  | 五〇  | 三〇・三〇      | 三〇・三〇  | 三〇・三〇  | 一月     | 一月限 | 二月限        | 三月限    | 四月限    |
| 三菱礦業  | 五〇  | 一〇〇・一〇〇・〇〇 | 一〇六・八〇 | 一一〇・二七 | 平均     | 最低  | 最高         | 平均     | 最低     |
| 日本産業  | 五〇  | 一〇〇・一〇〇・〇〇 | 一〇六・八〇 | 一一〇・二七 | 五月     | 五月限 | 六月限        | 七月限    | 八月限    |

|     |    |       |      |       |      |       |    |       |     |    |       |      |       |      |       |    |       |     |        |
|-----|----|-------|------|-------|------|-------|----|-------|-----|----|-------|------|-------|------|-------|----|-------|-----|--------|
| 六月  | 最高 | 三三・七六 | 七月限  | 三三・六〇 | 八月限  | 三三・五五 | 平均 | 二二・二六 | 十一月 | 最高 | 三三・三三 | 十一月限 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 平均 | 三三・六六 | 八月  | 一八〇・〇〇 |
| 六月  | 最低 | 三三・三三 | 七月限  | 三三・三三 | 八月限  | 三三・三三 | 平均 | 二二・二六 | 十一月 | 最低 | 三三・三三 | 十一月限 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 平均 | 三三・六六 | 九月  | 一八二・四四 |
| 七月  | 最高 | 三三・三三 | 八月限  | 三三・三三 | 九月限  | 三三・三三 | 平均 | 二二・二六 | 十二月 | 最高 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 一月限  | 三三・三三 | 平均 | 三三・六六 | 十月  | 一八〇・四四 |
| 七月  | 最低 | 三三・三三 | 八月限  | 三三・三三 | 九月限  | 三三・三三 | 平均 | 二二・二六 | 十二月 | 最低 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 一月限  | 三三・三三 | 平均 | 三三・六六 | 十一月 | 一七八・七七 |
| 八月  | 最高 | 三三・三三 | 八月限  | 三三・三三 | 九月限  | 三三・三三 | 平均 | 二二・二六 | 十二月 | 平均 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 一月限  | 三三・三三 | 平均 | 三三・六六 | 十二月 | 一七五・五五 |
| 八月  | 最低 | 三三・三三 | 八月限  | 三三・三三 | 九月限  | 三三・三三 | 平均 | 二二・二六 | 十二月 | 平均 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 一月限  | 三三・三三 | 平均 | 三三・六六 | 八月  | 一八〇・〇〇 |
| 九月  | 最高 | 三三・三三 | 九月限  | 三三・三三 | 十月限  | 三三・三三 | 平均 | 二二・二六 | 十二月 | 平均 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 一月限  | 三三・三三 | 平均 | 三三・六六 | 九月  | 一八二・四四 |
| 九月  | 最低 | 三三・三三 | 九月限  | 三三・三三 | 十月限  | 三三・三三 | 平均 | 二二・二六 | 十二月 | 平均 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 一月限  | 三三・三三 | 平均 | 三三・六六 | 十月  | 一八〇・四四 |
| 十月  | 最高 | 三三・三三 | 十月限  | 三三・三三 | 十一月限 | 三三・三三 | 平均 | 二二・二六 | 十二月 | 平均 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 一月限  | 三三・三三 | 平均 | 三三・六六 | 十一月 | 一七八・七七 |
| 十月  | 最低 | 三三・三三 | 十月限  | 三三・三三 | 十一月限 | 三三・三三 | 平均 | 二二・二六 | 十二月 | 平均 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 一月限  | 三三・三三 | 平均 | 三三・六六 | 十二月 | 一七五・五五 |
| 十一月 | 最高 | 三三・三三 | 十一月限 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 平均 | 二二・二六 | 十二月 | 平均 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 一月限  | 三三・三三 | 平均 | 三三・六六 | 八月  | 一八〇・〇〇 |
| 十一月 | 最低 | 三三・三三 | 十一月限 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 平均 | 二二・二六 | 十二月 | 平均 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 一月限  | 三三・三三 | 平均 | 三三・六六 | 九月  | 一八二・四四 |
| 十二月 | 最高 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 一月限  | 三三・三三 | 平均 | 二二・二六 | 十二月 | 平均 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 一月限  | 三三・三三 | 平均 | 三三・六六 | 十月  | 一八〇・四四 |
| 十二月 | 最低 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 一月限  | 三三・三三 | 平均 | 二二・二六 | 十二月 | 平均 | 三三・三三 | 十二月限 | 三三・三三 | 一月限  | 三三・三三 | 平均 | 三三・六六 | 十一月 | 一七八・七七 |

東京卸賣物價指數  
(明治三十三年十月—一〇〇)

總平均指數 前年 同月



昭和九年 (紀元二五九四年)

【一月】

一日 (月)

◇蒙古王、佐々木安五郎死去

蒙古王照山佐々木安五郎はアルコール中毒で死去、享年六十三。山口縣に生れ、救回代議士に當選、議會の名物男であつた。又日露戦争前後五六年間を滿蒙に過し、滿蒙通として知られ、蒙古王の稱があつた。

◇小倉石油會社社長小倉常吉死去

熱海の別邸にて病氣療養中のところ本日死去、享年七十。埼玉縣に生れ、上京して油屋の小僧となり、明治二十二年獨立して石油業を開き、漸次油田を買収して遂に新潟縣刈羽郡を根據地として今日の大をなした。

二一日 (火)

◇ソ聯、露領漁區換算率を通告す

浦鹽のソ聯國立銀行は我漁業代表に對し、本年度漁區借區料は一ルーブル換算率を七十五錢とする旨通告、換算率問題紛擾の端をなした。

昭和九年一月

五日 (金)

◇日印會商、協定成立す

印度デリーに於ける日印會商本會議に於て大要左の如き協定成立、折衝三ヶ月に亘つた同會議は終了を見た。尙協定全文は七日外務省から發表された。

一、兩國の物品に相互的に與へらるべき最惠國待遇

二、兩國の貿易の利益に悪影響を及ぼすことあるべき關稅變更に關して行はるべき協議

三、爲替相場變動による影響を是正すべき處置

四、印度に輸入せらるる日本綿布に適用せらるべき關稅

五、右日本綿布に適用せらるべき割當量

六、本協定の實施

尙同會議に於て(一)日本側は印棉不買を撤回する事(二)インド政府は綿布關稅現行生地七割五分又は一ポンドにつき六アンナ七五、其他綿布七割五分を生地五割又は一ポンドに付五アンナ四分の一、其他綿布を五割に引下げること(三)綿布數量割當を開始する事の三項を八日から實施することを宣言した。

◇法政大學の紛擾

法政大學豫科教授四十七名は豫科科長野上豊一郎の休職から結束して辭表を提出した。

六日 (土)

◇紡聯、印棉不買撤回を聲明

紡聯聯合會は昨年六月十三日以降決行中の印棉不買決議を來る八日から撤回する事に決定し、聲明書及左の決議をなした。

一、紡聯聯合各社は日印兩國政府代表者間に於て近く成立すべき協定に基き印度政府が關稅引下を行ふ事を前提としその當日を以て印棉買入停止に關する申合せを解除す

二、本決議實行に關する善後處置は委員會に一任する事

◇對印雜貨關稅引上反對聯盟の設立

大阪、京都、名古屋、神戸を中心とする雜貨業者は大阪に大會を開き、日印協定が綿絲布關稅引下げで雜貨を犠牲とするのを不滿とし、對印雜貨關稅引上反對聯盟を組織、印度政府の關稅引上に反對し公正なる關稅改正を期する旨の決議をなした。

八日 (月)

◇對印輸出綿布の統制法公布さる

日印會商成立の結果、綿布、棉花協定が本

—(五九九)—



日から実施されるため、商工省は對印輸出綿布に對する暫定的統制法として、綿布輸出證明規則省令及告示を公布し即日施行した。同法は印度に九ヤード以上の綿織物を輸出する場合、商工大臣の證明書を要する旨規定せるものである

○臺灣、神鋼株二十二萬株を賣却  
臺灣銀行は同行所有の神戸製鋼所普通株式二十七萬株中二十二萬株を下期配當付五十五圓の割合、總額一千二百十萬圓で長崎英造シチケイト、第一生命、山一證券、住田シチケイトの引受團に賣却した

○酒田米穀事務所、賣米受付を拒絶  
酒田市の酒田米穀事務所は倉庫充満を理由に賣米受付を拒絶した。斯る拒絶は政府倉庫として最初の事として注目を惹いた

○二代目片倉兼太郎死去  
長野縣の多額納税者で製絲王の片倉兼太郎は牛込加賀町の自邸で死去した、享年七十。先代の養子として大正六年家督を相續、現に片倉製絲、日本紡績、天龍川船渠運送、川岸製煉の各社長で其他數社の重役を兼ね財界の重鎮であつた

○輸出生糸の出荷制限實施細目決定  
二月一日から實施決定の輸出生糸三割出荷制限は農林省から認可があり、日本中央製絲會はその實施細目を決定した

○日電社債一千五百萬圓發行  
日本興業銀行は日本電力社債七千四百萬圓の内、第一回賣出一千五百萬圓を年利率五分一ヶ年据置後五ヶ年間償還、額面發行の條件で引受け發行に決定した

○朝鮮殖産債券一千萬圓發行  
朝鮮殖産銀行は債券一千萬圓を利率年四分五厘、額面發行、十三ヶ年償還の條件で山一野村、藤本、小池の引受で發行に決定した

○日本郵船社債三千萬圓發行  
日本郵船第五回社債三千萬圓の中二千萬圓を三菱、興銀、三井、安田、第一、川百、住友、三和の各銀行引受けの下に利率年四分五厘、償還期限二ヶ年据置後八ヶ年間の條件で發行、残り一千萬圓は繰放先引受けに決定した

○日本藍毛工業會社の創立  
同社(資本金百萬圓)は、新興毛織岸和田紡績を中心に三井物産も参加して計畫、本日

創立總會を開き社長に河崎助太郎、常務取締役役に鷲尾三三が就任した

○關印の關稅引上  
關領印度政府は贅澤品關稅を二割に、贅澤品原料及非贅澤品中従前一割二分以下のものは一割二分に引上げ、本日から實施した

○紡績、印棉の積取開始を決定  
紡績聯合會は印棉積取を二十二日から開始することに決定した

○米國海軍機、桑港ハワイ回飛  
米海軍機六機は桑港、ハワイ間無着水飛行に成功した。飛行距離二千八十九海里、所要時間二十四時間四十九分である

○農村負擔調査會、小委員會を設置  
農村負擔調査會第一回會合を首相官邸に開催、農家負擔の現狀を究明して負擔軽減對策を講ずる事に決定し、その調査のため小委員會を設置することとした

九日(火)

十日(水)

十二日(金)

米國は日本製綿織物進出防止のため外國製綿織物輸入税を従價三割から四割五分に引上げ實施した

十三日(土)  
○産額中央金庫、米穀證券貸出利率引下  
産額中央金庫は米穀證券買取及び同證券擔保貸出利率を日歩八厘から七厘五毛に引下げた

○福澤重命政府倒閣す  
陳銘樞の福建革命政府は中央軍のために壊滅し、十九路軍は一齊に閩南に退却した

十四日(日)  
○帝國産金興業會社の創立  
帝國産金興業會社(資本金五十萬圓)は創立總會を開き左記役員を選任した

△社長 星野錫▽専務取締役 石川博資▽取締役 押本勇平、渡幸吉、吉田東馬、遠藤莊次郎▽監査役 小澤浩、下村鹿次郎▽相談役 市來乙彦、技術顧問 河村小二郎  
十五日(月)  
○輸出絹織物の國營検査實施  
輸出人絹織物の國營検査が本日から實施された

○露大使、紙幣圖使用提案に同意

廣田外相はユレニエフ露國大使と會見して北鐵交渉に紙幣圖を用ひることを提案、ユ大使もこれに同意した

○東阪電鐵社債二千萬圓借替發行  
京阪電鐵では舊六分五厘債を左記條件で借替發行に決定した

△發行限度 五千八百萬圓▽第一回發行 二千萬圓▽利率 年五分▽發行價格 額面▽償還期限 七ヶ年▽引受 三井、第一兩銀行▽擔保 鐵道軌道財團

○富士電力社債一千二百萬圓發行  
富士電力は社債一千二百萬圓を利率年五分額面發行、二ヶ年据置後八年間償還、財團擔保の條件で三菱銀行引受の下に發行に決定

○日本水産、二百萬圓に借額増資  
同社は資本金百萬圓を倍額増資して二百萬圓となした

○赤色リンチ事件發覺す  
共產黨再建委員長宮本顯治及秋佐正之輔の指揮により、黨員山畑達雄が裏切者として東京渋谷區幡ヶ谷本町のアチトで殺殺され、黨員大泉兼藏夫婦が同様殺殺されんとした所謂赤色リンチ事件が發覺檢擧された

ルーズヴェルト大統領は米國議會に對しドル平價切下を勧告する大要左の如き教書を發した。又大統領は行政命令を以て銀の輸出又は取引を禁止した

(一)ドル貨の金純分を最小限度四割、最大限度六割迄切下げ(二)國內の貨幣用金を全部財務省に移管す(三)平價切下によつて生じた資金を以て外國爲替市場に於ける金の賣買資金二十億弗を設置する

○キユーバに軍命勃發  
キユーバ軍部のクーデターによりサン・マルチン大統領は辭職した

○昭和八年度産額高發表  
農林省は昭和八年度産額額一千六百六十九萬六千六百九十四圓で前年に比し一割三分増、價格二億三百八十二萬二千三百四十二圓で六割八分七厘増であると發表した



▽監査役 宮田敏夫  
 ◇太陽レヨン會社の創立  
 同社(資本金一千萬圓)は創立總會を開き左記役員を選任した

▽取締役 田村駒治郎(社長)、田附政次郎、高田榮治郎、川崎助太郎、常田健次郎、平松徳三郎▽監査役 伊藤萬助、田附竹治郎、阿部市太郎、濱崎定吉  
 十七日(水)

◇高橋蔵相、平價切下解黨準備を表明  
 高橋蔵相は米國金政策の變革に關し意見を述べ將來我國も國際的大勢に順應して平價切下解黨に進む準備のあることを明かにした

◇鮮米五十萬石の買上決定  
 政府は第二回米穀統制委員會の決議に基き本年度第三回朝鮮米五十萬石を一月二十七日から買上げを開始するに決定した

◇發送費定計畫の通信省案成る  
 逓信省は全國電力統制の基準となるべき昭和九年度以降十三年度に至る發送電費定計畫の原案を決定した  
 ◇村松時計店主等拘引さる  
 東京銀座の村松時計店主村松憲一等は金貨偽造し嫌疑で警視廳に拘引留置された

十八日(木)  
 ◇中島商相、麥酒値上に警告  
 ビール共販會社が獨占的立場を利用して一面一圓乃至一圓五十錢の値上げを企圖し、産業合理化乃至統制經濟の弊害を暴露するに至つたため、中島商相は大日本麥酒會社社長大橋新太郎に對し嚴重警告を發した

◇イタリ下院、職業代表制を可決  
 イタリ下院は職業別代表法案を可決し、下院は自動的に消滅した  
 十九日(金)

◇黒田雅子、工團王子花嫁候補に選定  
 エチオピア王子リヂ・アラヤ殿下の花嫁第一候補に東京世田谷區若林町子爵黒田廣志次女黒田雅子が選定されたとの報道があり、世間に話題を提供した

◇安川雄之助、三井物産を離任  
 三井物産の筆頭常務安川雄之助は任期満了の理由で辭職に決定、後任には常務南條金雄を推し、從來の徹底的商業主義に立脚する經營方針に大轉換を行ふ事となつた

◇日本電氣證券會長養賢吾死去  
 病氣中のところ本日六十歳で死去した。佐賀縣に生れ東大卒業後大藏省に入り、海外駐

在財務官として英佛米に活躍し、震災復興外債募集に功があつた。昭和二年勅選議員となり財界に轉じ日本電氣證券會社社長となつた  
 二十日(土)

◇商工省、對印綿布輸出統制要綱を決定  
 商工省官民懇談會は對印綿布輸出の統制要綱を決定した。同要綱は對印輸出綿織物の統制事項を審議するため對印輸出綿織物統制協議會を設置し、輸出統制は對印綿織物輸出組合が實施し、生産統制は紡績聯合會及日本綿織物工業組合聯合會が實施する事を規定するものである

◇外務省、米糧東局長の演説に反駁聲明  
 アメリカ國務省極東局長は十八日にスチュムソン・ドクトリンを蒸し返し、モンロー主義を東亞に當てはめんとする演説を行つたが、我外務當局は東亞に於ける日本の立場を故意に閉却するものであるとの反駁的聲明書を發表した

◇富士實業フィルム會社の創立  
 同社は資本金三百萬圓にて創立し役員を左の如く決定した  
 △専務取締役社長 淺野修一△常務取締役 作間政介△取締役 平田篤次郎、西宗茂二

井上選吉▽監査役 伊藤吉次郎、酒井雪介  
 ◇滿洲國、帝制實施に決定  
 滿洲國政府は三月一日を以て帝制を布き、執政溥儀は滿洲國皇帝の位に即く旨發表した  
 二十一日(日)

◇政友會、政黨の反省を力説  
 政友會大會は芝の本部に開催、鈴木總裁は一部の政黨消滅論を非難して立憲政治の發揚と政黨の反省を力説した

◇民政黨、財政直直しを強調  
 民政黨は東京上野精養軒に大會を開き、若槻總裁は政黨の更生を説き、更に赤字公債の慢性化を憂慮し財政直直しを強調した  
 二十一日(月)

◇陸相、教育總監の更迭  
 陸軍大臣荒木貞夫は年初以來肺炎に罹り議會に出席不能のため辭表を提出し、二十三日教育總監林銑十郎大將が陸相に親任され、教育總監には眞崎甚三郎大將が親補された

◇外務省、日露の危機につき聲明  
 日露關係の危機が各方面で宣傳されてゐるのに鑑み、外務省は我平和的意圖を無視して挑發的態度を採る露國のため第三國に利用せられざる様聲明を發表した

◇運賃審議會、答申案を決定  
 鐵道省運賃審議會は國有鐵道の現行運賃を改正し、貨物は實費主義を加味して一般的運賃を削減し、定期券は割引率を整理すべき旨の答申案を可決した

◇東京徳田銀行の解散  
 東株取引員の機關銀行たる東京徳田銀行、(資本金二百萬圓)は這般東株共榮會社設立以來存立意義を失つたため、株主總會に於て解散に決定した

◇和蘭政府、人絹に輸入制限  
 オランダ政府は本日勅令を以て一九三四年一月一日から一ヶ年間人絹織物及人絹交織物に一九三一及三二年の平均輸入額の二割以上の輸入を禁止する旨公布した  
 二十三日(火)

◇議會再開と政府の施政方針演説  
 第七十五議會が開會され、齊藤首相は施政演説に於て學國一致により難局打開を説き、廣田外相は平和主義を基調とする外交政策を述べ、東亞の平和維持は日本の責任であると演説、高橋蔵相は我經濟界は好轉の兆はあるが前途多難である旨演説した

◇床次竹二郎、政黨の大團結を主張

政友會の長老床次竹二郎は衆議院本會議に於ける質問で、政黨が更生改善の實を擧げれば議會政治の面目は革る、政黨は大團結して學國一致國難に當るべきであると説いた

◇牧田環、三井鑛山會長に就任す  
 三井鑛山社長三井守之助は第一線を退き、牧田環が取締役會長に就任した

◇英國鑛業者、日本品排斥を決議  
 日英鑛業協議會開催を前に、英國鑛業者は日本品の徹底的驅逐を行ふべくマンチエスタに日本品競争對策示成大會を開催し、日英通商條約中最惠國約款の廢棄、英國製中古機械類の對日輸出阻止、英國資本の對日投資禁止等の實現を期する旨の決議をなした  
 二十四日(水)

◇大同電力社債二千七百萬圓發行  
 同順位擔保付社債制による大同電力社債總額六千二百萬圓の内、第一回分二千七百萬圓を利率年五分、二ヶ年据置後五ヶ年間償還の條件で三井、三菱、住友、興銀、三和の各銀行及三井信託引受の下に發行に決定した

◇國用生糸業者、生糸の出荷制限に反對  
 長野、静岡、岐阜、愛知、群馬、三重各縣の製絲業組合代表者約六十名は、二月一日か



ら實施される輸出生絲三割出荷制限は生産制限を伴はないため、その過剰生産能力は國用生絲業を壓迫するとの理由で反對聲明をなした。尙同問題は出荷制限委員会と國用製絲側と協議の結果、暫定的の條件で出荷二割を承認することに落着した

◇晒粉聯合會は二月の限産率を五分擴張して五分五分とすることに決定した

晒粉聯合會は二月の限産率を五分擴張して五分五分とすることに決定した

◇齊藤首相、軍部改組を懇請

齊藤首相は政友會總務局長田代俊雄に對し、徒らに軍部を刺戟する様な言論は出來るだけ避けられる様盡力ありたいと懇請した

◇米穀證券八千八百萬圓發行

第十九回米穀證券の借替として第二十回米穀證券八千八百萬圓を割引日歩六厘、支拂期日昭和九年四月廿五日の條件で日銀引受の下に發行した

◇製鐵合同五社の正式調印

商工省は製鐵合同參加の輪西、釜石、九州製鐵、富士、三菱の民間五社との間に合同の正式調印を行った。尙二十六日決定した出資評價は次の如くである(單位千圓)

▽製鐵所現物出資 二三九、一九五、流動資産 四五、〇〇〇、輪西 一一、六一二、釜石 二二、九九四、富士 二、七七三、九州製鐵 七、二〇四、三菱 一七、〇五七、繰放募集する重役持株 一〇五、合計 三四五、九四〇

◇全國產物會議、互産運動擯棄を決議

第一回全國產物組合長會議を東京丸の内製絲會館に開催、反産運動擯棄決議をなした

◇瀧毛織物會社百萬圓に増資

同社(資本金四十萬圓)は資本金六十萬圓を増額して百萬圓となった

◇瀧毛織物會社の創立

同社は資本金一千萬圓にて創立し役員を左の如く決定した

◇代表取締役 佐藤治郎▽取締役 竹村信一、野瀬七郎平、加藤正人、門田秀、川畑恒二、酒井宗吉▽監査役 中島理一、安本吉次郎、武田鐵吉

◇西鮮合同電氣會社の創立

西鮮朝鮮の朝鮮送電(資本金五十萬圓)、西鮮電氣(資本金百二十四萬圓)、鎮南浦電氣(資本金十五萬圓)、沙里院電氣(資本金二百萬圓)の四社を東拓系朝鮮電氣會社(資本金四百萬圓)に合併し西鮮合同電氣會社(資本金七百八十七萬三千圓)を創立、社長に總督府通信局長山本厚藏、常務取締役吉田英三郎を選任した

華族子弟赤化事件の判決書讀  
華族子弟の赤化事件として注目された元貴族院議員子爵八條隆正次男八條隆孟、森子爵長男森俊守兩名に係る治安維持法違反事件は東京地方裁判所に於て八條に懲役三年、森に同二年の判決言渡しがあつた

◇東京市電に女車採用

東京市電は最初の試みとして女車掌二百名を募集、本日その採用試験を行った。廣募者は千三百三十五名

◇農村産物協會、互産擯棄を決議

昨年十月成立した全國農村産物協會は九ノ内製糸會館に第一回總會を開き、日本商工會議所指導の反産運動を徹底的に排除し、農業者の自主的經濟組織たる農村産物協會の強化を期する旨決議した

◇全國酪農大會、大合同を提唱

中央畜産會主催の下に全國酪農家大會を帝國農會に開催、ネッスル(鷲印)ミルクの本

邦進出に對し、本邦既設煉乳會社の大合同を提唱した

◇東京麥酒會社の創立

壽屋鶴見工場を分離して大日本麥酒と共同出資のもとに東京麥酒會社(資本金百五十萬圓)を設立、本日創立總會を開き取締役會長島居信次郎(壽屋代表)、取締役田口邦重(大日本系)、中山太八、監査役 中村喜太郎、岡本賢康を選任した

◇昭和製糖會社の創立

同社は資本金三百萬圓にて創立し役員を左の如く決定した

◇代表取締役 表蓋起▽取締役 安田直一、森 輝、野田武雄、森 曉▽監査役 岩瀬亮、濱野佐一郎

◇東洋毛織工業會社の創立

同社は資本金一千萬圓にて創立、役員を左の如く決定した

◇代表取締役 河崎助太郎▽取締役 伊藤竹之助、平松徳三郎、高橋幸三、藤井松四郎、岡田彦次郎▽監査役 廣澤耕作、松田辰治郎、石井鐵太郎、加藤益藏

◇スターリン、日露關係改善を提唱

第十七回共產黨大會でソ聯邦のスターリン

は日露關係改善の必要を強調した

◇中島商相、製鐵合同問題等て陳腐運動

中島商相は貴族院公正會員全部を帝國ホテルに招待し、東株整理、製鐵合同、帝人問題、神鋼肩替問題等に關し諒解を求めた

◇農村負債整理資金二千萬圓の割當決定

農林省は本年度農村負債整理資金二千萬圓の各府縣割當額を決定發表した

◇對印輸出總物の割當決定

第一回對印輸出總物官民協議會を大阪に開催輸出總量の八割を輸出組合員に割當て、二割は新規輸出業者及組合のため保留し、これを共同入札で決定、割當基準は七下期から八年上期に至る一ヶ年間の輸出數量による事其他を決定した

◇品川白煉瓦二百五十萬圓に減資

同社(資本金三百五十萬圓)は本日資本金百萬圓を減じて二百五十萬圓となした

◇全國農會大會、農村救済を決議

全國道府縣都市農會長大會は東京赤坂の三會堂に開催、農村救済の實現及び商工團體の反産運動に反對の決議をなした

浅野造船所(資本金五千萬圓)は、株主總會に於て一千二百五十萬圓に減資の件を可決した

◇土木事業界の權威、古市公威死去

樞密顧問官男爵工學博士古市公威は八十一歳で死去した。姫路藩に生れ佛國に留學歸朝して官途についたが、韓國統監府鐵道管理局長官辭任後財界に入った。日本最初の工學博士で東京帝大名譽教授であり、我國土木事業の恩人である

◇日本製鐵會社、二百萬圓に増資

同社(資本金百萬圓)は臨時總會に於て百萬圓を増資し二百萬圓となすことに決定した

◇日本製鐵會社の創立

日本製鐵會社(資本金三億四千五百九十四萬圓)は東京丸の内日本工業俱樂部に創立總會を開催、創立委員長中島久萬吉に選定を一任せる同社役員を左の如く正式に決定し、二月一日營業を開始した

◇社長 中井勲作 製鐵所

▽常務取締役 野田鶴雄(製鐵所)、保倉藤三郎(大藏省)



▽取締役 黒田泰造(製鐵所)、景山齊(同) 渡邊義介(同)、米山辰夫(鐵道省)、吉田豊彦(陸軍省)、荒城二郎(海軍省)、井上匡四郎(拓務省)、牧田環(釜石)、香村小峰(同) 磯村豊太郎(輪西)、松田貞次郎(三菱)、松本健次郎(九鋼)、滝澤正雄(富士)

▽監査役 太田嘉太郎(大藏省)、西村小次郎(釜石)、横山愛輔(輪西)、濱田彪(三菱) 三十日(火)

◇治安維持法の改正案成る

思想対策委員会で作成した治安維持法改正法律案は閣議で衆議院提出に決定した。同案要點は國體變革行為と私有財産制度否認を別條に規定し、前者に對し特に嚴罰主義をとつたものである。

◇製鐵合同問題、貴院で追究さる

貴族院本會議で同和會上山滿之進は製鐵合同評價の不當、其他糾紛問題を携けて中島商相を追究した。同氏は翌三十一日も同問題につき論究、中島商相は合同製鐵會社も必要あらば減資を行ふ旨答辯した

◇中央電氣工業會社の創立

秩父電氣工業系の同社(資本金百萬圓)は創立總會を開き左記役員を選任した

▽取締役會長 森藤規▽社長 今井眞平▽専務取締役 芝辻正晴▽取締役 瀨黒幸一 國友末藏▽監査役 佐野精一 三十一日(水)

◇軍需工場の具利取締規定公布

陸軍では昭和九年度陸軍資材整備費一億二千三百萬圓の八割が民間各軍需工場で調達されるに鑑みその調達單價の適正を期するため具利取締規定を公布した

◇外相、南洋委任統治權確立を聲明

廣田外相は貴族院本會議に於て、南洋委任統治地は最早我領土であると聲明した

◇全農聯五ヶ年計畫初年度前期の成績

全農聯の肥料及糞肥配給五ヶ年計畫は本日を以て初年度前半を完了したが、同期間内の実績は肥料三十六萬四千石で、初年度全期豫定量の五一・九%、糞肥は三萬三十三萬二千石で五一・七%といふ好成绩であつた

◇原首相を暗殺した中岡良一は十一月三ヶ月の刑を終へ宮城刑務所を釋放された

◇英國、新軍縮案を日本に提出 駐日英國大使リンドレーは廣田外相を訪問し、英國政府の新軍縮案を提出し、軍縮問題解決に關する日本政府の援助を求めた

米國大統領ルーズヴェルトは弗平價を切下げ、弗平價を舊金貨純分の五九・〇六パーセントに改定、即日施行の旨公布した

◇尼ヶ崎製鐵所、百五十萬圓に増資

同社(資本金三十萬圓)は資本金を百五十萬圓に増資することに決定した

◇日本人遺業毛會社の創立

同社は資本金一千萬圓を以て創立され、役員を左の如く決定した

一日(木)

◇東亞金屬工業、百萬圓に増資

同社(資本金六十萬圓)は臨時總會に於て四十萬圓増資して資本金百萬圓とすることに決定した

◇日本人遺業毛會社の創立

同社は資本金一千萬圓を以て創立され、役員を左の如く決定した

▽社長 金光庸夫▽専務取締役 杉浦文一▽常務取締役 青木一葉▽取締役 本多貞次郎、井上篤太郎、植村俊平、鈴木伊十、洲戸吉潮、竹村房吉、河邊辨之助、徳倉光治、溝口新平、中根一二▽監査役 佐々田憲、荒川寅之丞、内山榮次郎、伴野賢造

◇経育聯邦準備銀行の利下

経育聯邦準備銀行は政府の平價切下及信用擴張政策に協調して公定割引歩合を二分から一分半に引下げた

二一日(金)

◇大角海相、勸諭解釋を聲明

衆議院豫算總會で政友會宮脇長吉の質問に對し、大角海相は軍人に賜つた勸諭中の「軍人は政治に拘らず」は政治に關係せぬとの意であると聲明した

◇關直彦、朝記問題で政府を追究

貴族院本會議で同和會の關直彦は憲法擁護フアツシヨ排撃を力説、更に朝記問題に關し帝國人網、神戸製鋼兩株肩替問題及び南洋興發株買却問題で政府を追究した

◇日英會商對策の官長協議會開催

日英會商對策第一回官民協議會を商相官邸に開催、民間側の具體的對策樹立に特別委員會を組織し、事務所を大阪におくことに決定した

◇預金部、朝鮮貯蓄資金を融通

預金部は朝鮮貯蓄資金として二千七百萬圓を左の條件で融通に決定した

▽朝鮮銀行百五十萬圓▽朝鮮殖産銀行二百

五十萬圓▽東拓一千三百萬圓▽預金部の融通利率四分五厘、一ヶ年内償還▽上記三會社の一一般への貸付利率五分四厘以内

◇生糸限産對策實行委員會の對策決定

全國養蠶業組合聯合會は九之内蠶糸會館に生糸限産對策實行委員會を開催、政府の産額買上、前共同保管獎勵助成費の増額、養蠶應急低利資金五千萬圓融通、製糸業者に購置資金五千萬圓融通其他の對策を決定、當局に陳情した

三一日(土)

◇中島商相「憲法論」で論議さる

衆議院豫算總會で國民同盟の栗原彦三郎は中島商相が某雜誌に「自分は京氏の人物に傾倒してゐる」と述べた點を指摘論議したのに對し、商相は恐縮陳謝したが、七日の本會議に於て菊地武夫男、三室戸敬光子も論議して辭職を迫つた

◇朝鮮無煙炭の出炭量決定

朝鮮無煙炭組合は本年度の出炭量を八十萬トン、内地移出量を五十萬トンに決定した

◇聯合紙器、三百萬圓に増資

同社(資本金百二十萬圓)は臨時總會に於て三百萬圓に増資する事に決定した

◇五・一五事件民間側の判決

五・一五事件に民間側別働隊として東京市内外の變電所を襲撃し帝都暗黒化を企てた愛郷塾關係の農民決死隊及右翼三巨頭合計二十名の公判は東京地方裁判所神垣裁判長係りで開廷、愛郷塾頭橋本三郎に無期懲役(求刑通り)、神武會頭法學博士大川周明に懲役十五年(求刑通り)、天行會長頭山秀三に懲役八年(求刑通り)、紫山塾頭本間重一郎に懲役十年(求刑通り)を始め其他何れも實刑の旨渡しがあつた

四日(日)

◇暹田代表、印度新關稅法案に抗議

澤田日印會商日本代表はボーア商務長官を訪問し「印度政府が絹、人絹織物、雜貨の關稅引上を議會に提出せんとしてゐるのは日印新協定の最惠國條款違反である」と嚴重抗議した

五日(月)

◇製絲業共同施設獎勵規則の改正

中小製絲業者の製絲共同施設に對する獎勵金交付規則の一部を改正し即日施行された

◇外地米移入管理案成る

外地米移入管理の農林省案が作成され、後



農相は永井拓相にこれを提示して諒解を求めた。同案要綱は左の如し

- (一)米移入を政府独占とす(二)政府は外地米移入見込数量に應じて朝鮮及臺灣で米買上を行ふ(三)買上価格は外地生産費と内地公定価格を参酌して決定す(四)政府は内地米穀事情に應じ買上米を移出賣却す(五)朝鮮及臺灣に各々獨立の米穀特別會計を設く
- (六)資金限度は朝鮮臺灣を通じ三億圓
- 昭和八年度日債公債賣却高發表

二ヶ年据置後五ヶ年償還、オープン・エンド・モーゲーチ制の條件で興銀、安田銀行、三井信託、安田信託引受の下に發行した

○危險物船運送及貯蔵規則の制定  
右規則は本日逕信省令を以て公布、三月一日より施行された

○三井倉名、北海炭礦を公開  
三井倉名會社は同社保有の北海道炭礦汽船會社株二十七萬五千餘株中、舊株二萬、新株七萬、合計九萬株を舊株六十九圓、新株三十圓で千代田、第一、帝國、安田、愛國、昭和の六生命保險會社へ賣却するに決定した

○南海化學工業、三百萬圓に増資  
同社(資本金百三十五萬圓)は株主總會の決議により三百萬圓に増資した

○再禁止後の金買上高及輸出高發表  
大藏省は金輸出再禁止以後、昭和八年末迄の政府の産金買上高は一萬五千四百六十六圓四百五十三匁、一億二千六百七十六萬二千圓、金貨及金地金輸出高は一萬一千六百四十八圓八十七匁、一億八千三百五十四萬七千圓であると發表した

○神戶美濃地事件の記者解説  
共産黨神戶地方委員長京大生方波忠三郎を中心に昨年のメーデーを赤化し兵庫縣廳、神戶地方裁判所、神戶市役所等の擧擧を企圖し四百七十六名檢束された事件は四十八名の起訴を見て本日記事解禁となつた

○西宮國會議員田吉死去  
西宮國會議員田吉は慶應病院で死去した享年七十八。紀州藩に生れ慶應義塾に入り福

○大日本人肥田社債一千二百萬圓發行  
大日本人造肥料會社は社債低利借替のため第十二回物上擔保附社債二千五十萬圓の中第一回分一號一千二百萬圓を利率年五分パー、

○巴里に暴動勃發、内閣倒閣す  
パヨク市會質屋債券偽造に關する大官政黨の腐敗に憤慨した巴里市民、極右王黨派極左共産黨員等は本日夜暴動を起し、自動車燒打を行ひ議會に對し示威運動をなし遂に軍隊の出動を見るに至つたが、ダラディエ内閣は七日引責辭職し、九日ゾーメルグ内閣が成立した

○昭和八年度の朝鮮米賣收高發表  
朝鮮總督府は昭和八年度朝鮮米賣收高は一八八十九萬二千七百二十石、前年に比し一割一分三厘の増加であると發表した

○帝都の教育廳廳長退任  
帝都教育界の疑獄事件が進展し、東京市教育局長務課長肥後盛熊は收賄嫌疑で警視廳に召喚された

八日(木)  
○岡本代議士、續紀問題を暴露

政友會代議士岡本一巳は本日の衆議院本會議に於て憲法の帝人及神戸製鋼兩株譲渡に關する内幕を暴露し、憲銀理事者と所謂審判會との關係をもさらけ出したため同問題につき調査委員會の設置を見るに至り、事件發展の端をなした。尙同代議士はその演説中、同黨代議士林謙治、米田規矩馬兩名の名前を擧げて論難したため、十日政友會を除名された

商工省は輸出組合法改正案の原案を決定したが、改正要點は次の如し

(一)現行法は一輸出組合の取扱商品を一種に制限するが、これを異種同一系統のものを取扱ひうることにする(二)商工大臣は輸出價格及數量變更を命じうる

○北樺太石油の露油輸入契約  
北樺太石油會社は露領北樺太産油を九年度十萬トン乃至十二萬五千トン購入の契約をなした

○鳳興炭礦會社の創立  
同社(資本金五百萬圓)は創立總會を開き左記役員を選任した

○産金國內保有の大藏省案決定  
大藏省議に於て産金國內保有を目的として日本銀行の計算で買上げ、日銀正貨準備に充當せしめんとする案を決定した

○多摩川砂利採掘禁止の反對陳情  
東京府下多摩川一帯の砂利採掘が禁止に決定したため多摩川砂利採掘業者の代表約三百名は關係當局を訪問、従業家族三萬人の死活問題として反對陳情をなした

○社長 中澤庄平▽取締役 福井武次郎、人見次郎、伊東菊之助、福川忠兵衛▽監査役 渡邊勝三郎、片山義勝

○實業家久米作死去  
病氣療養中のところ本日鎌倉の別邸で死去した、享年六十七。埼玉縣兒玉町の豪農の家に生れ、慶應義塾に學び、實業界に入つて活躍し、嘗て東京瓦斯會社社長たり、現に帝國火藥工業、平和海上火災、北海道瓦斯各社長であつた

○農林省、輸出組合法改正案を作成  
農林省は輸出生糸販賣統制機關として輸出生糸共同金庫を設け、輸出生糸問屋を免許制とし、輸出生糸取引を登録制とする等の案

○内外地米賣收高の大綱決定  
閣僚會議に於て、外地米の需給調節のため外地に外地米需給調節特別會計法を設置し、特別會計資金を一億五千萬圓とし、内地九年度豐作に備へるために内地米需給特別會計資金を二億五千萬圓増額することに大綱が決定した

○赤化判事等に判決  
「赤化判事」その他八名に對する公判は東京地方裁判所に開廷、元東京地方裁判所民事部判事尾崎陸に對し懲役八年の判決言渡しがあつた

○鳳城の大詔發せざる  
紀元の佳節に方り、皇太子殿下御降誕の御祝を頒たせらるゝため、恩赦の大詔が發せられ、減刑及び復權令其他が公布された。また社會事業團中優良七百八十七團體に對し御内帑金下賜の御沙汰があつた

十一日(月)  
○農林省、輸出生糸販賣統制案を作成  
農林省は輸出生糸販賣統制機關として輸出生糸共同金庫を設け、輸出生糸問屋を免許制とし、輸出生糸取引を登録制とする等の案



系根本對策大綱を決定した  
○佛國對英通商條約廢棄を通告  
佛國政府は英國政府の關稅引上通告に對する報復手段として、一八二六年の英佛航海條約並に一八八二年の通商條約廢棄を通告した

○澳大利に海軍擴張を強要す  
澳大利リソツ市で警察の社會黨手入から社會黨を中心とする暴動が勃發、各地に波及して澳國全土總罷業に入り、政府は各地に戒嚴令を布いた。特にウキーンでは暴動激化のため十四日動員令が下り二個師の出動を見たが騷擾による死者は約一千名、戒嚴令は二十一日撤廢された

十三日(火)  
○滿洲軍變一時賜金の内容發表  
陸海軍兩省は滿洲事變一時賜金として交付する公債、勳賞其他を左の如く發表した  
▽公債金五四、六〇〇千圓、内陸軍三九、九〇〇千圓、海軍一〇、八〇〇千圓、文官三、七〇〇千圓▽物によるもの二、九〇〇千圓

○昭和九年度豫算案 衆議院を通過  
昭和九年度豫算案二十一億一千二百萬圓は政民兩黨支持のもとに本日衆議院本會議を通過した

○確定の輸出協定成立  
本邦確定業者と歐洲窒素シンヂケート間に大要左の如き確定輸出協定が成立した  
(一)九年度内の輸入を十萬トンとす(二)外安の内地販賣條件は日本側へ一任(三)本年六月迄は一切輸出せず(四)七月以降十二月迄は五萬トン以内とす(五)輸出先は米、支南洋とす(六)値段は歐洲シンヂケート賣値より四パーセント以下の安値たるを得ず

○關稅印度、織物輸入取締令を公布  
關稅印度政府は非常時織物輸入取締令を發布し、適當輸入品に對する輸入價格又は輸入量を定め、向ふ三ヶ月間實施に決定した  
十四日(水)

○廣田外相、滿鐵附屬地不返還を聲明  
貴族院豫算總會に於ける公正會大藏公衆男の質問に對し、廣田外相は滿鐵附屬地不返還を聲明した

○商工省、石油事業統制法を決定  
商工省は石油事業統制法を決定したがこれは原油精製又は輸入業を免許制とし、政府補償の下に民間會社に石油類一定數量の保有義務を負はしめ、輸入數量割當を政府管理とす

し、販賣價格、輸入割當數量等の變更權限を主務大臣に付與せんとするものである  
○國產電線海外輸出統制法の實施  
國產電線の海外輸出統制法が實施され、日本電球工業組合の成立を見た

○日英綿業協議會開催さる  
日英綿業協議會第一回會議は倫敦の商務省に於て開催されたが兩國委員は左の如し  
▽日本側綿業代表 岡田源太郎、三宅郷太三村知義、川口正雄、玉垣徳藏、人組代表 島田勝之助▽英國側綿業代表サー・トーマス・パーロー他四名、人組代表ハムブリー・ウキリアムス、モリス・スピルマン

○昭和九年度海外拂金額發表  
大藏省は昭和九年度豫算案中、海外拂金額は二億二千五百十萬一千圓、爲替差損金額は九千二百七十六萬二千圓であると發表した  
十五日(木)

○鳩山支那の勞工濶間問題  
政友會を除名された岡本一巳は衆議院本會議に於て樺太工業濶間事件の五萬圓行方不明に文相鳩山一郎が關係ありと暴露し、岡本を擁護する久原派と幹部派との黨内抗争は漸次激化するに至つた

○セメント限産率決定  
セメント聯合會は三月以降九月迄の限産率を五割二分据置と決定した

○住友肥料製造所の借額増資と改稱  
住友肥料製造所(資本金一千萬圓)は二千萬圓に借額増資し、住友化學工業會社と改稱した

○印度の排日雜貨關稅法案成立す  
印度政府提出の排日貨を目的とする雜貨關稅法案は本日成立した  
十六日(金)

○關稅、比例代表制を削除に決定  
政府提出の選舉法改正法案の比例代表制は樞府側の反對が高いため、政府は之を削除するに決定した

○紡績の次期繰短率決定  
紡績聯合會は四月以降六月末迄の紡績繰短率を据置とし、七月以降九月末迄は五分緩和と決定した。その結果四晝夜休業を基準として休鍾一割九分となる

○英露通商協定の成立  
最惠國條款を基礎とする英露通商協定は倫敦で正式調印された  
十七日(土)

○南阿羊毛買入に決定す  
外務省では南阿聯邦が片貿易を理由に關稅引上げを行はんとする形勢に鑑み、濠洲羊毛代用として南阿羊毛を輸入し、損失差額は羊毛工業會積立金、政府獎勵金及び同地向け輸出商品運賃引上げによつて生ずる益金を以て充當する方針を決定、片貿易を調整する事としたが、二十四日の官民協議會に於て補償による買入數量を最高一萬二千俵、濠毛との値額は二十四圓とし、損失補償は輸出業者、羊毛工業會の折半とすることに決定した  
十八日(日)

○白耳義皇帝帝廟を贈る  
白耳義皇帝アルベール一世陛下はブラツセル東南にあるマルシュ・レ・ダム山に御登山中、誤つて谷間に墜落崩御遊ばされた  
十九日(月)

○日本綿織物對印輸出組合の創立  
日本綿織物對印輸出組合は大阪に創立總會を開き、理事長に伊藤竹之助(伊藤忠)を選任した  
○東京丸鋼販賣組合の改組  
東京丸鋼販賣組合は資本金百萬圓の東京丸鋼共販會社に組織を變更するに決定した

○木村増太郎、東商理事に就任  
東京商工會議所理事渡邊鐵藏博士の後任として木村増太郎が東商理事に決定した

○政友會紛争で望月圭介辭任を決定  
政友會院内總務望月圭介は黨内の鈴木總裁系と床次久原兩系の對立紛争に關し責任を負ひ、秋田衆議院議長の手許に議員辭任の書面を提出したが、周囲からの懇願で二十五日に辭表を撤回した

○樞密顧問官伊東巳代治死去  
東京麹町永田町の自邸で胃潰瘍のため本日死去した、享年七十八。長崎に生れ關學を修め、伊藤博文に見出されて内閣書記官長、樞府書記官長を歴任、憲法制定及政友會創立には伊藤公を助けて活躍した。第三次伊藤内閣に農商務大臣となり、明治三十二年樞府に入つて今日に至つた

○共産黨委員長野呂榮太郎死去  
昨年十一月輪擧され東京の太平署に留置中の日本共産黨中央委員長野呂榮太郎(三十二)は肺結核のため死去した  
二十日(火)

○露領漁區の日本側入札に無効宣言  
露領漁區本年度競争入札の結果、日本側は



八十四漁区を入札したが、保証金を前年通り一ループル三十二銭五厘換算で入札したため露國側主張の七十五銭と大差を生じ、露國は日本側入札を全部無効と宣言した

東京市有力銀行は今後貯蓄の擔保としては公社債に限り、株式は除外することに決定、即日施行することとした

民間の團體保險と並行して立案された逓信省の團體保險國營案は松本商相の反對で流産し、單獨法規として明年提案に決定した

滿鐵は滿洲に内地資本家の直接的進出を促進するため、傍系會社の持株開放の方針を決定した旨發表した

全日本肥料聯合會は日本商權擁護聯盟を支持し、極力反産運動の貫徹を期する旨の決議をなした

逓商審議會は本邦品に對する各國の輸入防遏的措置の甚しいのに鑑み、通商擁護のため通商關稅の増減輸出入の制限又は禁止をなす權限を政府に附與すべき答申案を可決した

昭和製糖、新竹、沙糖兩製糖を合併  
昭和製糖會社(資本金五百十萬圓)は新竹製糖(資本金百二十萬圓)及び沙糖製糖(資本金七十萬圓)の兩社を合併し總資本金七百萬圓となつた

對印輸出綿布の品種別數量決定  
第二回對印輸出綿織物統制協議會は對印輸出綿布統制手數料を生無地及兼付生地は一ヤ一ル四厘以下、晒其他は六厘以下とし、輸出總數量は晒二割増加、兼付生地二割減少、生無地殘額全部に決定した

大藏省は産金保有法案の大綱を發表した。同法は金の國內保有を目的とし、日銀をして金買入及び保有を行はしめ、金買入價格と法定平價との差額を政府は日銀よりの借入金で以て一億圓を限り補償するもので、内地産金獎勵と金集中策を眼目とする

岡山縣教育總督の記者解談  
岡山縣下に於ける小學校長及び教員等が異動期に際して榮轉、留任其他の運動で賄賂を行ひ、二百三十名の召喚を見るに至つた事件が記事解禁となつた

關內幣金七十五萬圓下賜  
天皇陛下には皇太子殿下御誕生記念として兒童及母性として對する教化獎勵費に御内幣金七十五萬圓を下賜あらせられた

北鐵露人從業員釋放さる  
前年九月二十三日北鐵の機關車盜引問題でハルビン檢察廳内に捕縛された北鐵露國人從業員六名は溥儀執政恩赦令適用の形式で釋放

支那共産軍が九江附近に迫り、在留邦人が危険に瀕したので、漢口碇泊の我砲艦保津は同地に急行した

御内幣金七十五萬圓下賜  
天皇陛下には皇太子殿下御誕生記念として兒童及母性として對する教化獎勵費に御内幣金七十五萬圓を下賜あらせられた

北鐵露人從業員釋放さる  
前年九月二十三日北鐵の機關車盜引問題でハルビン檢察廳内に捕縛された北鐵露國人從業員六名は溥儀執政恩赦令適用の形式で釋放

された。尙滿洲國當局は右釋放は北鐵交渉と何等の關係なしと聲明した

二十六日(月)

輸出生絲販賣統制調査會は輸出生絲問屋免許制度及び輸出生絲取引登録制を創設し、蠶絲局原案の共同金庫制を削除する旨の答申案を可決した

駐日露國大使、北鐵交渉再開を提議  
駐日露國大使ユレニエフは廣田外相を訪問し北鐵交渉再開を提議した

全國製絲業組合聯合會は輸出生絲販賣統制と共に産前處理統制施設を要望する決議を行つた

勤業、貸出緩和方針を決定  
日本勤業銀行は低金利情勢に鑑み、物的擔保の外に人的信用をも考慮し貸出緩和を行ひ貸付利率も公共團體五分五厘と五厘方、其他も二厘方引下げ三月一日實施に決定した

米穀證券七千萬圓借替發行  
第二十一回米穀證券(第十二回の借替)七千萬圓は割引日歩七厘、支拂期日昭和九年八月

月二十七日、預金部引受の條件で發行した

滿洲炭礦會社法の公布  
滿洲國政府は國內石炭鑛業の開發統制をなすため資本金一千六百萬圓の滿洲炭礦會社を設立に決し、本日同會社法を公布した

大塚惟精、編纂問題で論議す  
貴族院本會議に於て研究會大塚惟精は長野縣下小學校教員の赤化問題、京都大學問題、長崎醫大の學位賣買事件、東京府下及岡山縣下の二大教育疑獄、鳩山文相の樺工事件等の編纂問題に關し首相に善處を要望、鳩山文相は樺工問題については明鏡止水の心持で善處すると言明した

農林、拓務兩省、外地米對策で對立す  
外地米需給調節策に關し、農林省は移入米數量限定に法的強制を主張し、拓務省は買上第一主義による移入米數量確保を主張、見解の對立を見るに至つたため、三土鐵相は斡旋に乗出したが、八日に至り後藤農相が折れて妥協成立した

【三月】

一日(木)

東洋株式取引所長期取引の四部制が本日から實施された

石川島自動車、ダット自動車買収、改稱  
石川島自動車製作所(資本金二百五十萬圓)は臨時總會を開きダット自動車を買収して三百二十萬圓に増資し、自動車工業會社と改稱取締役に能村巖夫、小川鐵五郎、長谷川正五村上義壽、監査役に新井源水、加納友之介、鮎川義介を選任した

山田炭礦會社の創立  
日本産業は福岡縣嘉穂郡の田富、志免兩炭坑を基本として山田炭礦會社(資本金百二十萬圓)を創立し、株式を全部日産保有となし左の役員を選任した

取締役 鮎川義介(會長)、島本島三郎、興沼友登、山本平八、鈴木貞次、監査役 野上辰之助、有吉滿

理研ピストリング會社の創立  
同社(現在理研重工業)は資本金百六十萬圓を以て創立され、左の役員を選任した

社長 大河内正敏、専務取締役 岡秀實、取締役 福岡成一、井田榮造、矢部又吉、安藤兵部、監査役 山田多計治、西郷佳夫



▽支配人 兵頭正治▽顧問 海老原敬吉、大越諒

▽溥儀執政、滿洲國皇帝に即位

本日（期して新興滿洲國に帝政實施され、溥儀執政は滿洲國初代皇帝に即位あらせらる。又新年號を康徳と稱する旨宣布された

◇時計王服部金太郎死去

東京芝白金三光町の自邸で死去した。享年七十五歳。名古屋に生れ江戸に出て露店商人から時計修繕職工となり、明治二十年銀座に開店し、精工舎を設立し現在の大家をなした。第一生命、目蒲電機、重役を兼ね昭和二年貴族院議員に勅選され、三百萬圓を寄附して服部報公會を興し公共事業にも多大の貢獻をなした

◇在米同胞の成功者長澤鼎死去

米國加州サンタローザに廣大な葡萄園を経営、葡萄酒醸造者として有名な長澤鼎翁は八十三歳で死去した。本名は磯長彦助、鹿兒島藩に生れ幕末時代に藩から英佛留學を命ぜられ維新後、米國に渡航して定住、在米六十年に及ぶ最古参同胞であり、成功者である

二一日（金）

◇鮮米の生産費公表さる

衆議院豫算總會で今井田朝鮮政務總監は、朝鮮穀一石當り庭先生産費九圓九十四錢、玄米採算石當り二十四圓九十八錢、集敷地における生産費は二十一圓十錢、反當り生産費は三十三圓二十七錢であると發表した

◇大阪商工會議所、對關稅抗議を陳情

大阪商工會議所は關稅印度における本邦麥酒、洋灰、晒綿布に對する割當制に嚴重抗議をなす様當局に陳情した

三一日（土）

◇衆議院で關稅問題事實無根と決定

衆議院本會議は岡本一巳に對する關稅問題調査委員會で「その事實なし」との報告を可決した

◇鳩山文相引責辭職す

文部大臣鳩山一郎は樺工問題の責を負つて辭職し、齋藤首相が文相を兼攝した

四日（日）

◇東京市教育疑獄の中心人物檢査さる

東京市視學課長廣田傳藏、社會教育課長藤岡眞一郎兩名は市教育疑獄の中心人物として警視廳に檢査された

五日（月）

◇青木周三、三土鐵相を糾弾

貴族院本會議で同成會の青木周三は鐵道敷設法改正案の不當を糾弾、黨利黨略の建設線であると三土鐵相を痛撃した

◇廣田外相、北鐵問題で露國大使と會見

廣田外相はユレニエフ露國大使と會見して北鐵讓渡東京會商再會に關する意見交換を行つた

◇大藏省、正金不償利得問題で聲明

正金銀行の臨時國庫證券整理借入金善後處理問題が衆議院決算委員會に於て不當利得として問題となつたので、大藏省は公債政策上妥當の處置であるとの聲明書を發表した

◇川崎車輛、一千萬圓に減資

川崎車輛會社は資本金一千二百萬圓を一千萬圓に減資した

六日（火）

◇内地米・臺灣米の生産費發表

貴族院豫算分科會で農林省當局は内地米生産費を石二十二圓十七錢反當り五十五圓六十錢と發表し、臺灣總督府當局は臺灣米庭先生産費を十七圓二十六錢反當り三十一圓九十七錢と發表した

◇帝國農會、外地米移入統制を決議

帝國農會は東京赤坂三會堂に外地米對策緊

急農會大會を開催、外地米移入は法令を以て統制せよと決議した

◇北海道ビートの販賣協定成立

北海道及び明治兩製糖會社は北海道ビートの販賣數量を協定し、兩社販賣は全部明治商店が行ふことになつた

◇日本産業會議會社の創立

日本産業の事業を分離して獨立した同社は創立總會を開き左の役員を選任した

▽専務取締役 下河邊健二▽取締役 田中誠吉、伊藤文吉▽監査役 片山義勝、山田敬亮

◇佛國女流飛行家再び帝都訪問

佛國女流飛行家マリーズ・イルズ嬢はパリ東京間一萬七千五百キロを飛んで本日午後三時羽田に到着した。二度目の訪日飛行である

◇元鐵道大臣原備次郎死去

民政黨の長老として重きをなした同氏は本日六十四歳で死去した。丹波綾部町に生れ苦學して中央大學の前身英吉利法律學校を卒業官界から實業界に轉じ、茨城縣から代議士に當選、第二次若槻内閣に拓相となり後、鐵相に轉じた

七日（水）

◇東京商工會議所、關稅制に抗議

東京商工會議所は關稅印度の邦品輸入割當制度に對する抗議文をオランダ官民に對し打電した

◇岡本代議士、小山法相を告發す

代議士岡本一巳は憲兵隊に出頭し、法相小山捨吉を瀆職罪で告發した

八日（木）

◇國民同盟の現内閣不信任案否決さる

國民同盟は齋藤内閣不信任案を衆議院本會議に提出したが、國民同盟と無産黨の賛成に對し、政・民提携してこれを否決した

◇農林省、過剩商持越高を發表

農林省は昭和八年過剩商持越高を八百十萬貫と發表した

◇關稅日貨對策の官民協議會開催

關稅日貨對策協議會のため外務商工兩省主催の第一回官民懇談會が外務省に開催された

九日（金）

◇通商保護法案を閣議通過

閣議に於て通商保護法案を決定した。同法案は外國との通商を擁護するため輸入税の賦課減免、輸出入税の禁止、制限等の權限を政

府に賦與するものである

◇日本實業社債二千二百萬圓發行

日本實業會社は社債低利借替のため第一回物上擔保付社債總額六千萬圓中、第二回分として二千二百萬圓を年四分五厘パー、二ヶ年据置後六年内償還の條件で日本興業銀行引受の下に發行に決定した

◇輸出綿布の統制要綱決定

日本輸出綿織物同業組合聯合會は輸出加工綿布需給調節を計り、取引先に制限を加へ、加工賃協定乃至加工操業短縮を命ずる事等の統制要綱を決定、四月一日から實施することになつた

◇日本團體生命保險會社の創立

日本團體生命保險會社（資本金二百萬圓）は創立總會を東京丸ノ内日本工業俱樂部に開催、左記役員を選任した

▽取締役會長 郷誠之助（關東）▽専務取締役 勝桂之助（同）▽取締役 藤原銀次郎（同）、井坂孝（同）、宮島清次郎（同）、小畑源之助（關西）、吉野孝一（同）、青木鎌太郎（中部）、松本健次郎（西部）▽監査役 橋本圭三郎（關東）、阿部房次郎（關西）、岡谷敬助（中部）



十日 (土)

◇農業倉庫法の改正

農業倉庫法の一部が改正されて本日公布された。施行期日は追つて勅令を以て定められる。

◇輸出生絲の購買統制案決定

輸出生絲販賣統制案を閣議で決定した。同案は輸出生絲問題を期間十ヶ年内の免許制とし、輸出生絲の販賣を政府の嚴重なる統制下におくものである。

◇日本沃度の借額増資と社名改稱

昭和肥料の姉妹会社たる日本沃度会社(資本金六百萬圓)は臨時總會を開き資本金を一十二百萬圓に倍額増資し、社名を日本電氣工業会社と改稱する件を可決した。

◇日本精工會社百五十萬圓に増資

資本金七十萬圓の日本精工會社は、八十萬圓を増資し、資本金百五十萬圓となつた。

◇東洋工業、二百萬圓に増資

同社(資本金五十萬圓)は臨時總會を開き二百萬圓に増資する件を可決した。

◇明正レィオン會社の創立

同社は資本金五百萬圓を以て創立され左の役員を選任した。

▽社長 堀文平▽取締役 山本發次郎、峰谷徑一、田中徳藏、伊東義人、中島朝次郎  
▽監査役 坂口清太郎、松井萬雄、南郷三郎▽相談役 長尾良吉  
◇日本産業汽船會社の設立  
同社は資本金五十萬圓を以て設立され左記役員を選任した。

▽常務取締役 吉川小三郎▽取締役 推名芳胤、船越申二郎、福田貞助▽監査役 保田宗治郎、吉田寅五郎

◇武蔵山治、狙撃されて死去

前鐵紡社長、現時事新報相談役武蔵山治は九日朝大船町の別邸から北鎌倉驛へ向ふ途中福岡市生れの福岡新吉のため私怨からピストルで狙撃され重傷、本日六十八歳で死去した。岐阜縣の生れで慶應義塾を卒業後米國に留學歸朝後新聞記者、三井銀行員を経て明治二十六年鐵紡に入社、富士紡の和田豊治と共に紡績界の二巨頭として知られたが、後政界に轉身して實業同志會を組織し活躍、昭和七年政界を引退して時事新報を經營した。

十一月 (月)

◇水雷艇友誼遭難す

水雷艇友誼は長崎志々伎灣で訓練中遭難頭

覆し、乗組員艇長岩瀬典市少佐以下百十三名中百名が殉職した。

十四日 (水)

◇日英綿業會商決裂す

日英綿業會商は市場の範圍問題に關する兩國の意見が一致せず、本日の第六回會商を最後として決裂した。

◇昭和九年年度豫算案成立す

昭和九年年度豫算案二十一億一千二百餘萬圓は貴族院本會議で可決され、本日成立した。

◇産銅水曜會、自由生産に決定

産銅水曜會は内需激増に鑑み減産協定を撤廢して自由生産とするに決定した。

十六日 (金)

◇外地米買上及び移入見込量發表

農林省は本年度内の臺灣米買上豫定は二百五十九萬石、明年三月末迄の來年度分は四百四十萬石で、本年三月一日以降十月末迄の鮮米移入見込四百七十五萬石、灣米二百六十八萬石であると發表した。

◇日本電機、一千萬圓に増資

日本電機會社は臨時總會を開き、資本金三百六十萬圓を一千萬圓に増資する件を可決した。

◇第一次國立公園發表さる

内務省は雲仙、霧島、瀬戸内海の三ヶ所を第一次國立公園指定地とする旨發表した。

◇警視廳、麻雀賭博狩を開始

警視廳は文士、實業家、女優其他のマジジャン賭博狩を開始、菊池寛、福田蘭童初め多数を檢挙した。

十七日 (土)

◇農林省、全國在米高を發表

農林省は三月一日現在内地の米穀現在高は五千四百六萬四千四百三十三石で、前年同期に比し約一割六分五厘の増加であると發表した。

◇政府、關稅休戰を脱退

我が政府は輸出入の禁止制限撤廢條約からの義務免除及び關稅休戰決議からの脱退を聯盟に通告した。

◇露國の遷步で漁區問題解決

大田駐露大使、ソコルニコフ露國外務次長會談の結果、ソ聯側は本年度前半期の借區料を従前の換算率三十二錢五厘として認め、四十二優良漁區を提供することとなり、漁區問題は一應解決した。

◇國際労働會議の我が代表決定

來る六月四日から蘇府で開催の第十八回國

際労働總會の我國代表は政府側は國際労働機關帝國事務所長吉阪俊蔵、社會局書記官北岡壽逸、使用者側は淺野セメント副社長淺野良三、労働者側は全國労働組合同盟主事菊川忠雄と決定した。

◇大同機寸、マツチ統制から脱退

大同機寸會社は、生産割當數量問題から日本機寸工業組合を脱退した。

十九日 (月)

◇豊田自動機、三百萬圓に増資

同社(資本金百萬圓)は臨時總會の決議に基き三倍増資して資本金三百萬圓となつた。

◇東洋ベアリング製造會社の創立

同社は資本金三百萬圓を以て創立された。

◇宮内省審議會、赤化華族を離隔

宮内省宗秩寮審議會は赤化華族懲戒のため初會議を開き、東京市會議長森俊成子爵嗣子俊守を華族から除籍に決定した。

二十日 (火)

◇東電、社債一億七千萬圓分割發行に決定

東京電燈會社は臨時總會に於て、社債整理及び事業資金捻出のため一億七千萬圓を限度とする擔保付社債を數回に分割發行する件を可決した。

◇神戸電機製作所、二百萬圓に増資

同社(資本金五十萬圓)は臨時總會に於て二百萬圓に増資する事に決定した。

二十一日 (水)

◇日米觀音の交換文書を發表

廣田外相は日米關係打開の平和工作として二月二十一日ハル米國々務長官に非公式親善メツセーヂを送り、ハル長官は三月三日メツセーヂで答へたが、我外務當局は米國と打合せの上本日その全文を發表した。

◇東京市の山口貯水池完成す

東京市の山口貯水池は四年十ヶ月の時日を費して完成、本日その完工式を舉行した、満水面積五十萬一千坪、貯水量六億三千六百萬立方尺である。

◇函館の大火、全市焦土と化す

午後七時頃函館市谷地頭町から出火、風速三十米の烈風に煽られ、末廣町と辨天町を残して全市殆んど焦土と化し二十二日午後漸く鎮火した。二十二日現在の全焼二萬三千餘戸死者六百餘名、罹災者九萬餘名、火災保險契約高は全市五千三百十萬圓、罹災契約高は内地會社一千三百三十萬圓、外國會社四百五十萬圓外國再保二百九十萬圓、合計一千八百七十



萬圓である

二十三日 (金)

○函館市の罹災者を免額

衆議院に於て函館市罹災者免租法案が可決された

○日本産業、四會社を合併増資

日本産業會社(資本金七千五百萬圓)は臨時株主總會を開き共同漁業(拂込資本金一千二百六十八萬五千圓)、東洋捕鯨(拂込資本金三百七十五萬圓)、大阪鐵工所(拂込資本金一千二百萬圓)、大日本製氷(拂込資本金二千八百六十七萬六千四百二十五圓)の四會社を合併し、資本金二千六百二十三萬五千四百五十圓増加に決定した

○樞密顧問官岡田夏平死去

元文相岡田夏平は東京小石川原町の自宅で死去した。享年七十一。遠州掛川藩の出身、一木喜徳郎の實兄、帝大卒業後一高教授を振出しに文部卿に育ち京大總長、文部次官を経て寺内内閣及び三派聯立内閣に文相となり、又明治三十七年貴族院議員に勅選、文相辭任後は樞密顧問官となつたが、産業組合中央會會頭でもあつた

二十四日 (土)

○政友會、五大國策遂行を要求

政友會は政府の施設は國防充實以外殆んど見るべきものなしとし、貿易關稅政策、日滿經濟提携方針確立、産業及び金融の助長統制行財政及び稅制の改革、思想及び教育對策の確立の五大國策遂行を政府に要求するに決定した

○健康保險法の改正

健康保險法の一部が改正されて本日公布、昭和十年四月一日より施行される事となつた

○倉敷紡織、三千萬圓に増資

同社(資本金二千萬圓)は株主總會の決議に基づき一千萬圓を増資して三千萬圓となつた

○ラサ島礦産の減資及び社名改稱

ラサ島礦産會社(資本金七百五十萬圓)は臨時總會に於て資本金を二百八十五萬圓に減資し、社名をラサ工業と改稱する件を可決した

○米大統領、比島獨立法案に署名

米大統領ルーズヴェルトは上下院を通過した比島獨立に關するマクダワイ・タイディングス法案に署名可決した。同案は比島に十年乃至十二年以内に獨立を許可し同島の米陸軍根據地を放棄し比島側は来る十月一日迄に

憲法會議を開いてこれが諾否を決定するを要するとするものである

二十五日 (日)

○元内務大臣中澤五郎死去

病氣のところ本日東京麹町中六番町の自宅で死去した。享年七十一。金澤藩に生れて中橋家を繼ぎ、帝大法科卒業後官界に入つたが明治三十一年實業界に轉じ大阪商船社長となり財界に重きをなした。其後政界に入り政友會の長老で代議士當選六回、原内閣に文相となり、田中内閣の商工大臣に就任、犬養内閣には内相となつた

二十六日 (月)

○不正競争防止法の公布

同規則は本日公布された。施行期日は追つて勅令を以て定められる

○預金部資金三千六百萬圓融通決定

第五十回預金部資金運用委員會は三千六百萬圓の新融資を決定したが大要は左の如し  
▽海軍工廠資金臨時補足の資金として一般會計に對し三千萬圓以内を貸付、利率年四分五厘、償還期限十ヶ年内▽昭和八年度災害復舊資金として六百萬圓以内を融資、融通利率年三分二厘、償還期限二十ヶ年内

○農林省、鮮米五十萬石買上を發表

農林省は朝鮮玄米約五十萬石を四月二日に買入を行ふ旨發表した

○日電社債五千萬圓分割發行に決定

日本電力は臨時總會で無擔保舊債並に借入金借替のため、擔保付社債五千萬圓を分割發行に決定した

○宇治川電氣社債二千萬圓發行

宇治川電氣は社債一億圓を分割發行に決し第一回分二千萬圓を年利四分八厘パー、償還期限七ヶ年、興銀、三菱、住友、三和其他の引受で發行に決定した

○九州電氣軌道債八百萬圓發行

九州電氣軌道は第七回物上擔保付社債を二千八百萬圓を限度として發行に決したが、その第一回分八百萬圓を興銀、三井、第一、住友各銀行引受の下に年利四分五厘パー、償還期限五ヶ年、擔保軌道財團第二順位等の條件で發行した

○東拓、滿洲開發政策に轉向

東拓拓殖は本日より支店長會議を開催したが、従来の朝鮮主義から滿洲開發積極政策に轉向する方針を決定した

○東京市議選の上告棄却さる

東京市會大疑獄事件たる魚市場板舟權補償京成電車乗入、市營バス購入、江東青物市場の四事件上告審は大審院で上告棄却の判決言渡しがあり、代議士三木武吉懲役三月、代議士中島守利懲役五月追徴四千圓、其他總て前審通り刑の確定を見た

○滿洲國特派郵船一行入京す

國賓滿洲國特派郵船孝香、照治の一行は二十五日神戸に上陸、本日東京驛着入京した

二十七日 (火)

○原電種管理法の公布

同規則は本日公布され施行期日は追つて勅令を以て定められることとなつた

○石油業法の公布

同規則は本日公布された。施行期日は勅令を以て定められる

○同和自動車會社の設立

日滿合辦の同和自動車會社(資本金六百二十萬圓)が設立され、社長に谷田繁太郎、専務取締役に大家敷正平、常務取締役に佐久間明、監事に松方五郎其他が就任した

二十八日 (水)

○商工省、疏安島噴火防止を要求

議會で問題となつた疏安の市價が議會中十

貫目三圓五十錢のものが二十七日には七錢方騰貴し、續騰の氣勢があるのに鑑み、商工省は本日當業者に昂騰防止方を要求した

○政府所有米穀特別處理法の公布

同規則は本日公布された。施行期日は勅令を以て定められる

○臨時米穀移入調節法の公布

同規則は本日公布、施行期日は勅令を以て定められる

○大阪市債三千三百餘萬圓發行に決定

教育費、都市計畫費、街路改良費、電氣事業費として大阪市債三千三百五十七萬二千圓を各々年利四分五厘で發行に決定した

○輸出組合法の改正

輸出組合法の一部が改正されて本日公布された。施行期日は追つて勅令を以て定められる

○輸出水産物取締法の公布

同規則は本日公布され施行期日は勅令を以て定められる

○横濱神戸兩生糸輸出業組合は生糸の品質向上を計り人絹進出を阻止するため現行生糸検査法改正の官民合同格付調査會設置を當局に



要望した

○羊毛工業會、繰返率を決定

羊毛工業會は四月十日以降三ヶ月間の繰返率を協議、毛糸紡績専門會社は一ヶ月四日半休業(工場法による二晝夜休業を含む)、其他會社は四日休業に決定した

○對米鉛筆輸出組合の成立

商工省は鉛筆生産業者及び輸出業者を招き官民協議會を開催し、對米鉛筆輸出組合を設立、四月一日から統制實施に決定した

○日本染織サロン輸出同盟會の創立

關領向サロン類の輸出統制機關たる日本染織サロン輸出同盟會は大阪に創立總會を開催、四月十五日から輸出統制を實施に決定した

○淺野セメント、販賣權を擴張

淺野セメントは高知、愛媛兩縣下を除き土佐セメントの製品一手販賣權を獲得し、從來の日本セメント販賣權と合して全國總生産高の四割の販賣權を掌握することとなつた

○東洋鋼鐵會社の創立

三井物産は東洋鋼鐵會社(資本金百萬元)を名古屋に創立、本日創立總會を開き左記役員を選任した

▽取締役 堀尾末吉(代表)、吉田初次郎、

赤井久義▽監査役 柴崎繁治郎、橋本克亮

二十九日(木)

○三菱、時勢善慮の根本方針を樹立

三菱では四月一日岩崎彦彌太が合資副社長就任を期に、時勢變遷對處の根本方針として企業の大衆化を行ひ、富豪の利益擯斷の非難を緩和する方針を樹立、先づ事業會社方面の統制合理化を圖るため第一着手として三菱造船と三菱航空機を合併して新會社を設立し、株式を公開することに決定した

三十日(金)

○永井拓相、滿鐵中心主義を力説

永井拓相は將來の我對滿經濟政策は滿鐵を根幹として實行する旨開議で力説した

○四分利國債一億六千萬圓發行

政府は本年度最終公債たる四分利國庫債券(は號)一億六千萬圓を日銀引受の下に發行價格九十八圓五十錢、利率年四分、償還期限昭和三十四年九月一日迄の條件で發行した

○四分利國債一億六千萬圓借替發行

政府は四分利國債一億六千四百四十五萬七千五百圓預金部引受を以て借替發行した

○産糧中央金庫の利下

利率を證書貸付及び年賦貸付年六分九厘以内と各一厘方引下げに決定した

三十一日(土)

○通信事業特別會計規則の公布

昭和九年度から獨立する通信事業特別會計規則は本日公布され四月一日から實施された

○昭和九年度の産糖協定成立

昭和九年度産糖協定成立、期間内の供給數量を一千二百七十八萬九千九百キログラムを内地、臺灣、朝鮮、北海道とし、各社別割當は濃糖三百三十八萬キログラム、明糖二百三十三萬三千ピクル、日糖二百三十八萬八千ピクル、豊糖百六十二萬四千ピクル、帝糖百六十六萬三千ピクル其他である

○東京市電氣委員會、多摩電氣買収を可決

東京市電氣事業常設委員會は多摩川電力會社買収案を可決した

○東電、社員の大體解雇を斷行

東京電燈會社は事業整理のため社員四百三十八名の解雇を發表した

○日本ステインレス・スチール會社の創立

秩父電氣及中央電氣工業を中心とする同社は資本金五百萬元を以て東京京橋の片倉ビルに創立總會を開き、左記役員を選任した

▽取締役 今井五介、瀧黒幸市、今井直平

芝辻正晴、樋口六、高島順作、石井祐助

國友末藏▽監査役 武田徳三郎、山本彦太郎

○鈴木不政友誼贈送贈送事件の記事解説

昭和八年十一月十四日川越市で開催の政友會關東大會に出席の鈴木不政友誼贈送を企て、未だに檢舉された救國培玉青年挺身隊一味三十餘名中、吉川豊隆等七名が有罪と決定本日記事解説となつた

○富士山電鐵五十五萬七千圓を増資

同社(資本金四百三十六萬圓)は臨時總會に於いて五十五萬七千圓を増資し四百九十一萬七千圓となす件を可決した(日不詳)

【四月】

一日(日)

○齋藤首相、内閣居擱りを決定

齋藤首相は興津に西園寺公爵を訪ひ國際外交事情六十五議會の經過並に政黨の動向、軍部一般の政情等を報告し荒木、中島、鳩山各閣僚更迭の内面的事情を説明、政府の所信を披瀝した結果、西園寺公は時局の重大性を語り既定方針で政局擔當の任に當らねたいと激

勵したので内閣居擱りを決定して辭去した

二日(月)

○米穀證券二億五千八百萬圓發行

大藏省は本日左の三米穀證券を發行した

▽二十二回米穀證券五千八百萬圓 割引歩合 日歩六厘五毛、支拂期日 昭和九年六月二十五日

▽二十三回米穀證券一億圓 割引歩合 日歩七厘、支拂期日 昭和九年九月二十五日

▽第二十四回米穀證券一億圓 割引歩合 日歩七厘五毛、支拂期日 昭和九年十二月二十六日

○東電第三次社債三千萬圓發行

東京電燈は一億七千萬圓を限度とする擔保付社債の第三次分割發行を左の如く決定した

▽發行額 三千萬圓▽利率 年四分八厘▽發行價格 額面▽償還期限 二ヶ年据置後八ヶ年▽拂込期日 五月三日▽引受銀行 三井、三菱、第一、安田、興業、川崎第百住友

○錦華紡績、福井紡績を合併

同社(資本金一千五十萬圓)は三月二十四日の株主總會の決議に基き福井紡績(資本金三百萬圓)を合併し二百七十萬圓を増資して

總資本金を一千三百二十萬圓とした

○函館大火の保險會社實損一千六百萬圓

函館大火に對する各保險會社の損害査定を行つた結果、總支拂保險金額は約一千六百四十萬圓と判明したが、本日緊急協議會を開き手持實損負擔額を決定し、五日より一齊に支拂を開始することになつた

三日(火)

○星製糖、低温工業を合併

同社(資本金一千三百萬圓拂込済)は臨時總會を開き低温工業會社(資本金一千五百萬圓、内三百七十五萬圓拂込)を二對一の割合で合併し資本金一千六百七十五萬圓となす件を可決した

四日(水)

○割引興業債券一千萬圓發行

日本興業銀行は第三十三回割引興業債券一千萬圓を左の條件で發行する旨發表した

▽割引歩合 日歩八厘五毛▽乘替庫券第三十回興業債券▽償還期限 昭和十年四月十三日▽利廻 三分二厘一毛餘▽拂込期日 四月十四日

○合同電氣社債一千五百萬圓發行

同社は擔保付社債第二回分一千五百萬圓を



左記條件で發行するに決した

▽利率 年四分八厘▽償還期限 二年据置  
八年▽引受三井、三菱、興銀、三和各銀行

◇帝國農會、昭和八年米の生産費發表

帝國農會は昭和八年米確定生産費の調査を進めてゐたが七年度に比し一圓二十七錢高の二十三圓十錢であると發表した

◇東洋モス、第二東洋モスを合併

東洋モスリン會社(資本金九百七十七萬八千五百圓)は本日第二東洋モスリン會社(資本金五百八十二萬一千五百圓)を對等條件で合併し資本金一千五百萬圓となす件を可決した

◇日魯漁業、本年度漁區入札を放棄

同社は北洋向第一船を來る十二日兩館發カムチャツカ漁場に出すこととなつたが、二月二十日の入札漁區は放棄して既得安定漁區にのみ集中する方針に決定した

五日(木)

◇山陽水電社債九百萬圓發行

同社はオープン・エンド・モーゲーチ制社債二千四百萬圓の内、第二回分として九百萬圓を左の條件で發行することに決定した

▽利率 年四分八厘▽償還期限 三ヶ年据置後七ヶ年▽發行價格 額面▽引受興銀、

三和

◇經濟團體、關印對策を決定

東京商工會議所、經濟聯盟、南洋協會、貿易協會の四經濟團體代表より成る關印對策委員會は向井委員長外各 出席協議の結果、左記二方策を決定した

一、日關會商開催促進方に關し六大會議所と連絡して政府に陳情すること

二、輸出統制及び關印の日本人排斥に對し、通商上の修交關係を適當の方法により同國官民の反省を促すこと

◇綿織の生産割當決定

日本綿織聯合會は大阪に縮縮商議會を開き六月分生産割當を輸出向十六萬反(前月より一萬反増)内地向三萬反(前月同量)と決定した

◇關東鋼材販賣組合、丸鋼値引上

關東鋼材販賣組合は四、五月渡し丸鋼標準物(二十五ミリ)トン三圓上げの九十圓丁度に改訂した

◇華北銀行、奉天で業務開始

天津に於ける日支合辦の華北銀行は滿洲國幣制統一と地方治安の確立に鑑み滿洲進出のため奉天城内大東銀行の一部を借受け當分の

間出張所として各種銀行業務を取扱ふことに決定した

六日(金)

◇日滿經濟提携の意見一致

我對滿經濟工作については既に開議に於て意見の一致を見たが日滿協同工作に關し本日滯京中の滿洲國財政部大臣熙洽と永井拓相との間に重要會談が行はれた結果、兩國の共同防衛、協同産業の確保開發は建國の實情に照し全面的提携によつて完成せねばならぬとの理由の下に完全な意見の一致を見た

◇貿易關節及通商權讓法の公布

同規則は本日公布され、五月一日より實施された

◇農會法の改正

農會法は改正され本日公布された

◇輸出生絲取引法の公布

同規則は本日公布された

◇糖業聯合會、原糖價值協定の假決議

糖業聯合會は協議會を開き原料糖價值につき協議した結果、中央製糖は親會社たる帝國製糖に一任し、帝國製糖は委員會案に賛成を保留したので左の假決議をなした

昭和九年十二月分の原料糖價值を一ビク

ル十圓丁度とし毎月十二分の一づゝ受渡しすること

◇綿織の生産割當續置

日本綿織物聯合會は大阪に商議會を開き六月分の生産割當につき協議の結果、前月同様五十萬反と決定した

◇對米鉛筆輸出協會の設立

日米兩國及び當業者の間に諒解成立し日本側は對米鉛筆輸出協會を設立して輸出統制を行ふことに決定した。尙米國産業復興局は七日日本製鉛筆の輸入高を毎年十二萬五千グロスに制限する旨指令を發した

◇日本銀行金買入法の公布

同規則は本日公布即日施行されたが、日銀では同法實施に伴ひ、七日より産金價段を一圓十五錢引上げ、一匁十一圓九錢と決定發表した

◇日産、大同機寸の債務再構成

日本産業(資本金七千五百萬圓)は大同機寸會社の債務百四十萬圓の肩替りにつき奥村大同機寸社長及びスエーデン・マツチ・トラストの債權者たる英國金融代表カーターと折衝した結果、債務の半額を切捨て半額七十萬圓を日本産業が肩替りすることに本日交渉成

立した

◇藤田組社長の秘藏美術骨董品の賣立

大阪の藤田組社長藤田平太郎男秘藏の美術骨董品二百五十點の賣立は五日から大阪美術俱樂部に於て行はれたが總賣上高二百五十二萬五千圓に達した

七日(土)

◇矢作水力社債八百萬圓發行

同社擔保付借替社債限度二千七百萬圓の内第二回分八百萬圓は左の條件で發行することに決定した

▽利率 年四分七厘▽發行價格 額面▽償還期間 三年据置後七年▽引受 興業銀行、川崎第百銀行、三菱銀行▽擔保 工場財團

▽申込期間 四月十七日より十九日迄▽拂込期限 五月一日

◇關西業者、關印の輸入制限撤廢を要望

關西貿易關係業者の關印問題對策考究委員會は大阪商工會議所に開會、關印の輸入制限令撤廢を要望する申合せをなした

◇石川島造船所の減資

同社(資本金三百萬圓)は臨時總會を開き資本金を二百萬圓に減資し、更に二百萬圓増資して四百萬圓となす件を可決した

◇堀切善兵衛、文相就任を拒絶

專任文相補充につき齋藤首相は高橋藏相を通じ堀切善兵衛に交渉したが黨情に顧み文相就任を拒絶した

九日(月)

◇東拓債券一千五百萬圓發行

東洋拓殖會社は第五回債券一千五百萬圓を左の條件で發行に決した

▽利率 年四分五厘▽發行價格 額面▽乘替 十年三月十日▽償還期限 二年据置後

七年▽拂込期限 四月二十日▽引受銀行、興銀、第一、三井、三菱、安田、川崎

第百住友、三和、日本信託

◇京阪電鐵社債一千萬圓發行

同社は物上擔保付社債限度五千八百萬圓中第一回二千萬圓は既に發行したが、第二回一千萬圓を左の條件で發行することに決定した

▽利率 年四分七厘▽償還期限 七ヶ年▽擔保 鐵道財團▽引受銀行 第一、三井▽受託 三井、三菱兩信託

◇對英電球輸出統制の大綱決定

英國電球業者は對日競争上政府に日本電球關稅の引上を陳情の結果、同政府から關稅引上の交換條件として自發的輸出制限を要請し



て来たので外務、商工兩省協議の結果、年輸出額を百萬圓に制限すべき旨回答し、更に本官民協議会を開き左記大綱を決定した

- 一、輸出数量は一九三一年下半年乃至一九三三年上半期の輸出数量の平均を基準として七割五分に制限する
- 一、統制品種は家庭用、自動車用、フラツシュライト、變り型の四種
- 一、統制機關として電球輸出組合を至急設立すること

十日(火)

○齊藤首相、諸政策進行を聲明

内閣居寄りを決意した齊藤首相は政局の暗影を一掃すべく本日閣議申合せの形式で左の聲明をなした

政府は目下内外の情勢に鑑み庶政の更張を圖ると同時に從來聲明せる諸政策を遂行すべきは勿論、特に左記事項實現に邁進せんことを期す

- (一)財政税制の整理刷新(二)教育の革新並に思想對策の確立(三)農村對策の樹立
- 國際労働總會に對する政府の態度決定

五月ジュネーブに開催される第十八回國際労働總會に於ける議題に關し内務省社會局は

關係者協議の結果左の方針を決定した

- 一、労働時間短縮に關する件(反對又は棄權)
- 二、失業保険及び各種失業扶助方法に關する件(反對又は棄權)
- 三、自動式板硝子製造業に於ける休息及び交替方法に關する件(反對又は棄權)
- 四、労働者職業病補償に關する條約の一部改正に關する件(賛成)
- 五、一切の種類の礦山に於ける婦人の地下労働に關する件(勞資双方認むれば賛成)
- 六、夜間に於ける婦人使用に關する條約の一部改正に關する件(監督の地位にあるものは夜業可賛成)

○日本電力社債二千萬圓發行

同社は社債發行限度五千萬圓中、第一回分二千萬圓を左記條件で發行することに決定した

- ▽利率 年四分七厘▽償還期限 十年▽擔保 關東財團▽引受 三井銀行、三菱信託
- ▽受託 三井信託、興銀

○各經濟團體、日商會商促進を建議

日本商工會、東京商工會、南洋協會、日本貿易協會は常議員

會役員會を開き日商會商の促進に關し總理大臣以下關係大臣に建議することに決定した

○三菱造船、三菱航空機を合併・改稱

同社(資本金五千萬圓)は四月六日臨時總會を開き三菱航空機(資本金一千萬圓)を合併、資本金五百萬圓増資の件を可決したが、本日更に臨時總會を開き、合併による新會社の名稱を三菱重工會社と改稱することに決定した

○新東自轉車製造、二百萬圓に増資

同社(資本金百四十二萬五千圓)は五十七萬五千圓を増資して資本金二百萬圓となつた

○滿洲國一億五千萬斤の對日輸出決定

滿洲國は昨大同二年には滿洲國一億斤を工業原料として日本に輸出したが本年は一億五千萬斤とし、内地各工業會社に本日割當を決定した

十一日(水)

○林相辭職を提出、留任と決定

林相は令弟前東京市助役白上佑吉氏が東京市疑獄事件第一審に於て有罪と決定したので國務大臣の責任ある立場から恐懼に堪へずとして本日齊藤首相を訪問辭職を提出したが十五日閣院參謀總長宮殿下の御慰留により辭

意を減し留任と決定した

○資金六社、資金全部日銀に納入を決議

日本銀行金買入法の實施に伴ひ日本鐵業、三井、三菱、古河、住友、藤田の六大産金業者は水曜會事務所に協議會を開き産金納入法につき協議の結果、政府の金買入趣旨に基き産金全部を納入し買上手數料一萬分の一を徴収する場合はこれに應ずること並に造幣局東京出張所に於ても金買入事務をとられ度き旨請願することを決議した

○戸畑綿物社債四百萬圓發行

同社は物上擔保付社債殘額四百萬圓を左の條件で發行することに決定した

- ▽利率 年四分五厘▽發行價格 額面△償還期限 八年▽引受 三井銀行、興業銀行
- ▽受託 興業銀行

○染織サロンの輸出統制實施

關領印度の品種別輸入制限に對抗して輸出業者は日本輸出染織サロン同盟會を結成し、また日本輸出綿織物工業組合聯盟會はサロンの生産統制につき研究中のところ本日右二團體は聯合サロン統制協議會を開き協議の結果盟約當該組合員は製造した染織サロンを會員以外に販賣せざること其他十項に亘る盟約

を締結し、五月二日より實施した

○磁器鐵器生産の割當續發

西部磁器鐵器工業組合は、製産統制第六期四月の生産割當につき協議の結果、前月より二百六十割増の二萬一千二百九十四割と決定した

○全國紙器紙箱組合會の設立

東京、大阪、名古屋、横濱、神戸の六大都市の紙器業者九商工組合三千の同業者を打つて一丸とする全國紙器紙箱組合聯合會發會式は東京江戸橋の實業聯合館に舉行され、會長岩井東京組長の開會の辭、竹原大阪組長の経過報告あり定款草案を審議して閉會した

○姫路・岐阜兩米穀取引所營業繼續却下

商工省は營業繼續免許出願中の姫路米穀取引所及び岐阜米穀取引所に對し不免許の指令を發した

○東洋鋼鐵會社の創立

東洋製鐵系の同社(資本金五百萬圓)は創立總會を開き左の役員を選任した

- ▽社長 小野耕一▽専務取締役 高崎達之助▽常務取締役 進藤義輔▽取締役 濱口富士三郎、松岡潤吉▽監査役 岸本吉右衛門、木村幸次郎

十二日(木)

○京都綿織物輸出組合の設立

同組合では商工省から設立を認可され、本日創立總會を開いた

○吳羽紡績、富山紡績を合併・増資

同社(資本金一千萬圓)は臨時總會を開き富山紡績會社(資本金二百三十萬圓)を合併し、同時に資本金を二千萬圓となす件を可決した

○日糖社長に藤山愛一郎就任

大日本製糖社長藤山雷太は引退して相談役となり常務取締役藤山愛一郎が後任社長に選任された

十三日(金)

○内務省、七十四港を指定港灣に編入

内務省は昨年来各地方府縣よりの申請百二十餘港に對し編入指定港灣につき銓衡の結果東京の岡田、神湊以下七十四港灣を新に指定港灣に編入した

○磯村合名社長磯村晉介死去

腸疾患のため本日午後八時四十分東京芝區白金三光町の自邸で死去した。享年六十八。明治三十九年大日本製糖會社の取締役に就任し同四十二年同社破綻のため責任を問はれ一



時失脚したが其後再起し程ヶ谷實達社長、東洋實達専務を兼ねてゐた

十四日 (土)

農林省、共同保管の助成要綱決定

農林省は本年前出通季節に於て不自然の商價低落を防止するため養蠶實行組合の行ふ共同保管施設の奨励に九年度豫算として二百六十五萬圓を計上之が運用條件につき大蔵省と折衝の結果、助成交付並に實施要項が決定され助成金額は經費の十分の八以内とし、保管前一貫匁につき保管期間六ヶ月未満のものに對し三十錢以内、六ヶ月以上のものに對して四十錢とし前價平均相場一貫匁三圓五十錢以下となり、且つ養蠶經濟を脅かす虞れある場合にこれを發動し四圓五十錢を越ゆるに至つた場合停止する旨各府縣知事に通達した

十六日 (月)

國債總額八十億圓を突破

昭和九年三月來現在國債の總額は米穀證券及び大蔵省證券の短期債を除き内外國債は合計八十一億三千九百三萬八千圓で前年同期に比し十億八千四百八十四萬三千圓の激増を示した

大東京小賣市場組合の創立

同組合は小賣市場の連絡強調を圖り營業上の改善發達を期する目的を以て本日商工獎勵館に創立總會を開き規約を作成し左の役員を選任した

▽組合長 中原啓造(東京府商工課長)▽副組合長 益田友之助、塚崎萬次郎、渡邊彦三郎▽議長 井上賢次▽副議長 春川武雄

野村合名、共保生命を買収

野村合名(資本金二千萬圓)は臨時總會を開き共保生命(資本金百萬圓)を買収する件を可決し共保生命の役員を左の如く選任した

▽代表取締役 柴山篤雄(社長)▽取締役 西村勝太郎(専務)、野村元五郎、片岡音吾、山内貞梅、上原融、富成宮吉(兼支配人)、▽監査役 松島準吉、野村憲二

十七日 (火)

我政府、對支援本方針を聲明

最近列國の對支援助運動が蜂骨となりつゝあるに對し帝國政府は根本方針として日本は諸外國に對しては常にその友好關係の維持に努力するが、東亞に於ける使命並に責任に於て單獨になすことは當然であつて全力を盡して遂行せんとするものである。東洋の平和維持のためには支那と共にその責任を分擔せん

とするもので支那以外の國を相手とせぬ旨外務省談の形式を以て發表した

山形電氣社債六百二十五萬圓發行

同社は舊債償還並に借入金返済のため第三回擔保附社債六百二十五萬圓を興業銀行及び住友信託引受の下に左の條件で發行することに決定した

▽發行價格 額面▽利率 年五分▽償還期限 七ヶ年▽發行期日 五月一日

カナダ燃料組合、瀋陽購入船隻を依頼

カナダ、ハミルトン市のハミルトン燃料供給組合から同地駐在の大沼出張員に對し世界的に優良廉價、運賃割安に着目して本年夏季に於て一船(二千五百トン)の瀋陽炭輸入の斡旋を依頼した

十八日 (水)

船舶改善協會、助成繼續を建議

船舶改善協會は東京丸の内の日本工業クラブに管理委員會を開き船舶改善助成施設繼續に關し日本船主協會會長並に造船聯合會、船舶改善協會各理事長の名を以て現行船舶改善助成施設は昭和七年十月二年半の繼續事業として實施されたものであるが永續的の制度として次期議會に豫算を提出されたいとの建議案を

總理大臣以下各關係大臣宛送達することに決した

日滿棉花・綿羊兩協會の設立認可

拓務省は日滿棉花協會・日滿綿羊協會の設立を認可した

十九日 (木)

對印輸出統制の要綱決定

對印輸出統制協定會議は商工省に於て協議の結果、輸出數量の割當、輸出證明書發給、統制手数料及び輸出取締等の輸出統制要綱を決定したが輸出數量の割當比率は各品種別に第一年度は各組合員の昭和七年七月一日より同八年六月三十日に至る一年間の輸出數量、第二年度以降は前年同期の輸出數量に應じて定むることとし、輸出數量の割當は各品種別に總數量八割を割當比率に、殘餘は入札の方法に依りこれを爲すこととなつた

日印通商條約の履印

日印新通商條約は本日帝國代表澤田節藏公使並に印度政廳代表商務長官サー・ジョセフ・ボアの間に假調印を了した

大同電力、社債二千萬圓發行

同社は社債低利借替のため第一回社債二千萬圓を左の條件で發行するに決定した

昭和九年四月

▽利率 年四分七厘▽發行價格 額面▽乗替庶務 第七回社債▽償還期限 八ヶ年▽拂込期限 六月一日▽受託會社 日本興業銀行

洋紙三百萬ポンドの限產緩和

日本製紙聯合會は商議員會を開き市況對策につき協議の結果、五月より更に三百萬ポンドの限產緩和をなすことに決定した

富士製鋼、富士興業と改稱

同社(資本金三百五十萬圓)は日本製鐵への合同参加により特殊會社に組織を變更したので本日臨時總會を開き社名を富士興業會社と改稱し、現在の優先配當年一割を昭和十年下期より年六分に引下げることと決議し、次で役員の変更を行ひ左の如く決定した

▽取締役 益澤正雄(社長)、淺野良三、永野重雄▽監査役 新井源水、林廣治

二十日 (金)

大阪・大連に滿洲國領事館開設に決定

外務省は滿洲國から大阪、新潟、門司、函館、大連、基隆、清津等に領事館開設を要請せるに對し省議の結果、差當り大阪及び大連の二ヶ所に開設を承認した

宇治電氣社債二千三百五十萬圓借替發行

宇治川電氣會社は起債一億圓中、既に四千五百萬圓の社債を發行したが第三回分として十三年四月及び十四年五月期限合計二千三百五十萬圓借替のため左記條件で同額の社債を借替發行することに決定した

▽利率 年四分七厘▽償還期限 十年▽引受 興銀、三菱、住友、三和各銀行、住友三菱兩信託▽受託 興銀

滿鐵、滿洲國鐵道七線の建設費

滿洲國政府は建設費一億四千四百二十萬圓を以て左記鐵道七線の建設を滿鐵に請負はしむることとなつた

▽牡丹江—佳木斯線▽遼原—承德線▽葉柏壽—赤峰線▽二站—黑河線▽新京—大賚線▽大賚—洮安線▽懷遠—索倫線

日本共産黨轉向總の控訴要求刑

日本共産黨運動最高首腦部の内、昨年六月切迫せる民族主義の衝動をうけ獄中からコミンテルン離脱、一國社會主義建設の轉向聲明書を發した佐野學、鍋山貞親、三田村四郎、高橋貞樹、杉浦啓一にかゝる治安維持法違反事件控訴公判は三月三十日より東京控訴院において開廷審理中のところ本日立會檢事は左の求刑をなした



▽佐野、鍋山無期から十五年▽高橋十五年から十二年▽杉浦十年から九年▽三田村は検事控訴があつたため一審通り無期  
二十一日(土)

◇日産護謨、ジヨホール護謨を合併

日産護謨會社(資本金三百五十萬圓)はジヨホール護謨栽培會社(資本金二百萬圓)を合併し八十萬圓を増資して四百三十萬圓とすることに決定した

二十三日(月)

◇電力外債買入二千二百三十萬圓認可

電力會社の減債基金額以上の自社外債買入の新規許可額につき大藏省は本日豫定より二百三十萬圓を増額して總計二千二百三十萬圓を許可した。割當は左の如し  
▽東電一千五百萬圓▽東邦三百萬圓▽宇治電二百五十萬圓▽日電百八十萬圓

◇絹紡繰短率措置に決定

絹紡工業會は大阪絹業會館に定時總會を開き六月以降の繰短につき協議の結果、十一月三十一日迄の基本繰短は四晝夜休業を基準とし賣糸一割八分、織布原糸九分、非常時繰短(六月三十日迄)は賣糸一割五分、織布原糸一割二分と現行率据置に決定した

◇日東製粉五百萬圓に増資  
同社(資本金二百三十五萬圓)は臨時總會を開き五百萬圓を増資する件を可決した  
二十四日(火)

◇工業研究獎勵金交付規則の公布

同規則は本日商工省令を以て公布され即日施行された

◇商工省、ビールを重要産業に指定

商工省はビールの制限撤廃による實質的値上に關し産業合理局顧問會議に諮り協議の結果、大藏省とも諒解を得たので統制委員會に附議しビール醸造業を重要産業に指定することに決定した

◇陸軍、國家總動員の平常化を提唱

陸軍省は一九三五、六年の國際危局に備ふべき國家總動員を提唱し廣義の國防の見地に立脚して歐洲大戰に伴ふ列強の國民總動員による戰時經濟編成準備に對する立遅れを訂正し現存經濟機構の缺陷を調整するを目的とし左記大綱を發表した  
一、大綱「國家總動員」の平常化、即ち一旦緩急ある場合直ちに非常時經濟編成に轉化し得るやうに素地を作り各般の産業内政を軍事的立場から整備擴充することを主眼

とする  
一、思想對策の確立については日本精神強化を圖り外來思想の機械的輸入に對して之を極力鎮壓する。殊に忠孝思想の國民的教化に對して各教育教化機關との聯絡統制を圖ること  
一、教育の革新については日本精神の教化徹底を主眼とし軍事教育の改善を期するため教育系統の改善又は實學教育を提唱する  
一、農村對策の樹立に關しては農民の生活を安固ならしめ銃後工作を強化し肥料國營農産物保險制度設置、米の貨幣的流通、税制改革による公課負擔の軽減等  
一、財政税制整理刷新に關しては主として國防費調達の財源として税制改革を要求し軍事産業の非常時利得に對する課税等

◇米穀證券八千八百萬圓借替發行

大藏省は四月二十五日支拂期日の米穀證券八千八百萬圓(第二十回)を左の條件で借替發行することに決定した

▽名稱 第二十五回米穀證券▽割引歩合 日歩七厘四分の一▽發行期日 四月二十五日▽支拂期日 九年九月二十五日▽引受 日本銀行

◇期米二十六圓を突く

東米取引所の清算米相場は過日來強調の一途を辿り前日既に二十六圓臺に肉迫したが本日第一節六月限は二十六圓一錢と六圓臺一錢を乗せ、年初統制法悲觀人氣の安値二十二圓六七錢に比し三圓三四錢高を告げた  
二十五日(水)

◇商工省、石炭業を重要産業に指定

商工省は商相官邸に産業合理局委員會を開き石炭の市價昂騰に關し對策協議の結果、石炭業を重要産業統制法の指定産業となすことに決定した

◇瀧島電燈社債一千百萬圓發行

同社は第八回擔保附社債一千百萬圓を興銀引受の下に、左記條件で發行することに決定した

▽利率 年五分▽發行價格 額面▽乘換應募 第七回物上擔保付社債▽償還期限 七ヶ年▽發行期日 五月二十五日▽拂込期日 六月五日

◇五月の晒粉限産率三分緩和

晒粉販賣會社は東京丸之内會館において聯合委員會を開き五月中の限産率を前月より三分緩和して五割二分と決定した

◇日滿亞紡績會社の創立

同社(資本金六百萬圓)は創立總會を開き左の役員を選任し本社を東京に置き紡績工場を富山市、原料工場を滿洲國に設置することに決定した

▽代表取締役 中川正左(會長)、木場貞一郎▽取締役 田邊七六、鷲尾勘解治、伊地知虎彦、木村治助、瀨川彌右衛門、佐藤潤象▽監査役 佐々木久二、久野訶雄、岩橋幸之助

◇瀧洲國實業團の入京

去る十五日門司に上陸し各地の視察を了へた瀧洲國各都市より選抜された實業團新京市商會執行委員趙水純等の一行は午後八時二十五分東京驛着列車で入京した  
二十六日(木)

◇米穀證券六千二百萬圓借替發行

大藏省は五月一日期限の第十八回米穀證券六千二百萬圓を左記條件で借替發行することに決定した

▽割引歩合 日歩七厘四分の一▽發行期日 五月一日▽支拂期日 十一月二十六日▽引受 日本銀行

◇産銅水曜會、下半年生産高割當決定

東西産銅水曜會は同會加盟五社の内地産銅本年下半期の生産高を三萬三千五百トンと決定左の如く割當てをなした(單位トン)  
▽藤田四、五六〇▽三菱六、〇〇〇▽古河六、三〇〇▽住友六、七四〇▽日本鐵業九、九〇〇

◇自動車工業確立の官民協議會

自動車工業の確立振興に關する官民協議會は自動車工業、川崎車輛、日本自動車、日本車輛、東京瓦斯電工、三菱重工業自動車部、自動車製造の七社代表に商工省、關東軍陸軍當局關係官出席の下に商工省に於て開催し意見交換の結果、新たに民間出資による株式會社を設立することに方針を決定した

◇大隈鐵工所、二百萬圓に増資

名古屋の同鐵工所(資本金百萬圓)は株主總會を開き二百萬圓を増資する件を可決した  
二十七日(金)

◇日本電力一億四千萬圓に増資

同社(資本金一億二千九百五十萬圓)は鐘釣發電所工事費及一般擴張費に當てるため臨時株主總會を開き資本金一千九百四十萬圓を増資して、一億四千萬圓となす件を可決した



二十八日(土)

日本電氣工業、石炭液化事業に進出

日本電氣工業は國産アルミニウム事業がその緒に付いたので石炭液化事業に進出の方針を決定しその前提として傍系棒炭業(資本金百萬元)を創立し、取締役森嶋、監査役小玉美雄の兩名を歐米に派遣し獨逸の水素添加法、英國の低温乾餾法を研究せしめることとなつた

二十九日(日)

勤勞國民黨の結成

日本國家社會主義新黨結成準備會の殘留派の間に結成準備中であつた勤勞國民黨は本日結成大會を東京芝の協同會館において開き大矢省三を議長に推し黨名及び綱領を決定、中央執行委員長に松谷與二郎を推挙した

三十一日(月)

滿洲製糖會社の創立

同社(資本金一千六百萬圓)は新京で創立總會を開き左の役員を選任した  
▽理事長 十河信二▽副理事長 鶴立崗▽常務理事 竹内徳三郎、栗野俊一、長井租平、白路章▽理事 高畑新三、王瑞廷▽幹事 山鳥登

特種製糖、百萬圓に借額増資

同社(資本金五十萬圓)は臨時總會を開き借額の百萬圓に増資する件を可決した

加島製糖工務、株式組織に變更

從來個人經營の恩加島鐵工所は資本金二百萬圓の株式會社に組織を變更し、左の役員を選任した(日不詳)

▽取締役 柴柳新二(社長)、加藤毅(専務) 久保田静一、金丸喜一、藤野勝太郎▽監査役 島田徳太郎、藤田伊三次

【五月】

一日(火)

日本合同工船一千四百萬圓に増資

蟹工船漁業の日本合同工船會社(資本金七百五十萬圓)は東京丸ビル事務所に臨時總會を開き、資本金一千百萬圓に増資の件を可決した

東滿洲人絹パルプ會社の創立

同社(資本金一千五百萬圓)は東京丸の内日本工業俱樂部に創立總會を開き左の役員を選任した  
▽取締役 大川平三郎(社長)、松本眞平(副社長)、大川義雄、森本喜太郎、(以上専務)

入江魁、藤田謙一、藤田好三郎、井上源之丞、常田健次郎、瀬尾喜一郎、上田源三郎 佐々木義彦▽監査役 岩崎清七、下郷傳平 田中榮八郎、石川正作、松本留吉、河崎助太郎、森平藏、濱崎定吉

左右對立の東京のメーデー

右翼の日本労働組合會議派八團體約三千八百人は東京芝公園廣場に、左翼の關東労働組合會議派約二千人は芝浦埋立地に集合し右翼の「赤色メーデー粉碎」に抗して左翼は「階級的勝利の榮光」を絶叫、左右分裂の示威運動行はれ相前後して會場を出發、總勢三千の警官動員に新選組を交へて警戒したが思想的對立の泥合戦もなく上野公園へ行進し檢束者も出さず平穩に終つた

二日(水)

興業兩銀行引受の下に借替二百萬圓、新規三百萬圓合計五萬圓の社債を左の條件で發行することに決定した

▽利率 年四分五厘▽償還期限 八ヶ年▽拂込期限 六月一日

日本製糖三百八十八萬一千圓を増資

同社(資本金三億四千五百九十四萬圓)は

製鐵會社合同に参加して持株會社となつた東洋製鐵の現物出資により三百八十八萬一千圓を増資の結果、總資本金三億五千九百八十二萬一千圓となつた

臺灣銀行頭取島田茂辭任

臺灣銀行頭取島田茂は辭任し、後任決定まで暫定的に同行理事吉田勉をして頭取事務を代行せしむることとなつた

三日(木)

樞密院議長の更迭

樞密院議長倉富勇三郎は昨年來病氣のため辭表を提出中のところ西園寺公の上京を機會に辭任を認め一木喜徳郎男を後任に推すことに決定した

滿洲鐵道三千萬圓發行

同社は新年度事業計畫資金として一億四千萬圓の社債發行を計畫し第一回分三千萬圓を左記條件で發行することに決定した

▽利率 年四分五厘▽發行價格 額面▽償還期限 十二年▽引受 シンヂケート團

生糸北米輸送に運費契約採用

太平洋運賃同盟は大陸鐵道運賃引下げに對抗し現行六ドルの生糸を四ドルに引下げ同時に多年の懸案たる運費契約制を採用すること

となり大同、三井兩社も加盟したので六月一日より實施することに決定した

東電十四萬五千キロ發電計畫を申請

東京電燈は電力需要の増加に應ずるため鶴見發電所七萬五千キロの外、更に五萬三千キロ二臺の火力發電計畫と共に群馬縣小野川に三萬九千キロの水力發電を開發出力するに決定、認可申請をなした

明治商店、五百萬圓に増資

明治製糖の子會社で同社の販賣機關である明治商店(資本金三百萬圓)は販賣高の増加と手許資金充實に應ずるため臨時總會を開き資本金を五百萬圓に増資に決した

滿洲採金會社の設立

滿洲産金會社法は本日勅裁を経て公布され同法に基き滿洲國政府、滿鐵各五百萬圓、東拓二百萬圓の共同出資により日滿合辦の滿洲採金會社(資本金一千二百萬圓)が設立され十五日新京に於て創立總會を開き、理事長に張弧を選任した

四日(金)

日本郵船、七期繰りに三分配當

日本郵船會社は重役會を開き今期利益金の處分案を査定したが、インフレーションによつて

純益金前期に比し四十萬圓増の百十五萬六千圓を得、無配を續けて以來七期繰りに三分を配當することに決定した

關西對界の重鎮牛尾梅吉死去

本朝朝神濱菅屋の別邸で死去した。享年七十一。日本電氣社長、姫路銀行頭取、堂島取引所理事、中國合同電氣副社長を兼ね關西對界の重鎮として知られた

五日(土)

帝都電鐵一千二百八十萬圓に減資

帝都電鐵會社(資本金一千六百萬圓)は一千二百八十萬圓に減資した

橫濱取引所理事長に福田英助辭任

同取引所は臨時總會を開き理事長及び理事一名の補缺選舉を行ひ理事長に福田英助、理事に中村房次郎を選任した

東洋セメント工業會社の創立

同社(資本金二百五十萬圓)は大阪日簡ビルに創立總會を開き左の役員を選任した

▽社長 阿部美樹志▽取締役 上田寧、淺利三郎、南宮三郎、川上高帆▽監査役 井上周、岩田常右衛門

米國、日本二枚貝總詰の關稅を引上

米國關稅委員會は二枚貝の日本製總詰に對



する開税を従價三割五分に引上げカナダ製鐵詰に對しては従價三割五分を二割三分に引下げ來る五月三十一日より實施する旨發表した

六日(日)

日本鑛業、金・銅の増産計畫に着手

同社(資本金五千萬圓)は産金市價昂騰と銅需要の旺盛に應ずるため金及び銅の増産計畫を進めてゐるが、朝鮮平安北道の發銀鑛山(金鑛山)を買収した外、北海道大金鑛山、福島の高玉鑛山、臺灣の金爪石鑛山に精鍊設備をなし、金爪石鑛山には銅鑛の探掘選鍊設備を増設し、將來産金額日産一千キロ(現在八百キロ)産銅日産二千トン(現在一千六百五十トン)を目標として増産計畫に着手した

七日(月)

内閣統計局、國富一千二百億圓と發表

内閣統計局は昭和五年に於ける日本の國富總計一千二百億圓と發表した

六、七月の染色加工割當數量決定

染色加工改善協議會は六、七月の染色加工割當數量を無地染百六十萬反、捺染二百萬反と決定した

對印總輸出の割當決定

日本綿織物對印輸出組合は五日商工省より

統制事務を引継ぎ取扱を開始したが、初年度第一期特別割當數量を左の如く決定した(單位ヤード)

▽生無地二二、五〇〇▽縁付生地五、五〇〇▽晒四、六〇〇其の他一八、〇〇〇

太平洋セメント操業を開始

小野田係の同社(資本金三百萬圓)は昨年來大分縣徳浦に工場建設中であつたが完成し本日操業を開始した

八日(火)

朝鮮殖産債券一千萬圓借替發行

朝鮮殖産銀行は第七十四回殖産債券借替のため殖産債券一千萬圓を左記條件で發行することに決定した

▽利率 年四分三厘▽償還期限 十五年▽引受 山一、野村、藤本、小池

尙年利率四分半以下の發行は同債券がトツプで起債界に新局面を開いた

機寸輸出組合の設立

スエーデン代表カーターの機寸協定提案を繞つて機寸輸出組合設立問題が具體化し本日兵庫商工獎勵館に官民協議會を開き協議の結果、事務所を神戸に置き發起人に三井、三菱大同マツチ、中村、岩井、井畑、桑原、土井

を決定して機寸輸出組合設立を決定した

九日(水)

英國の輸入割當制に對し我政府聲明

英國政府は植民地及び保護法に輸入される外國の綿製品及び人絹に對し七日割當制を實施したので本日外務省は英國政府の措置は日英會商に基く日本の責任なりとしてゐるが元來日英會商は英國側の發議に基くもので一方的處置に出でた態度は非友誼的であるとの當局談を發表したが、更に十六日、帝國政府は最惠國條款に違反する點を指摘して英國政府の注意を喚起すべく松平駐英大使に訓令を發した

日蘭會商の帝國代表決定

六月四日よりパタビアに於て開催される日蘭會商の帝國代表は本日左の如く決定し十九日東京驛發で出發した

▽政府代表 長岡春一(前駐佛大使)越田佐一郎(パタビア總領事)▽顧問 木村鏡一、山中清三郎(三井物産パタビア支店長)

滿洲國の駐日公使更迭

滿洲國政府は駐日公使丁士源の辭意を容れ奉天市長岡傳波を後任に決定した

島津製作所、四百萬圓に借額増資

同社(二百萬圓)は臨時總會を開き二百萬圓を増資し、資本金四百萬圓となす件を可決した

中央製糖社長に松方正義就任

同社々長牧山清砂死去につき同社監査役松方正義(帝國製糖社長)が本日後任社長に決定した

三大騒動事件控訴審の求刑

小川平吉外十八名にかゝる五私鐵、勳章、合同毛織三騒動事件の控訴公判は東京控訴院において村上檢事の二日に亘る論告の後左の如く求刑があつた

▽私鐵關係 小川平吉(懲役二年六月)、春日俊文(同)、守矢一太郎(同一年)、白井勘助(同六月)、犬上慶五郎(同八月)、田中元七(同十月)、伊坂秀五郎(同八月)

月、太田清藏(同八月)、長田桃藏(同八月)、吉田義照(同六月)、角谷光次郎(同六月)

▽勳章關係 天岡直嘉(懲役二年)、嶋原亮暢(同一年六月)、渡邊孝平(同八月)、丘藤榮作(同八月)、熊澤一衛(同十月)

横田永之助(同三月)

▽合同毛織關係 藤田謙一(懲役二年)、神

川宗富(同三月)三年間執行猶豫

濠洲親善使節濠洲聯邦政府副總理レーサム

外相は本日神戸入港の郵船長崎丸で來朝し、翌十日入京、來朝の使命に關し貿易の調整と兩國の親善を圖る旨の談話を發表した

富士紡重役伊藤重慶死去

直腸癌で本日午前十一時四十分東京品川區五反田町の自邸で死去した。享年七十一。明治十四年慶應義塾卒業、富士紡重役たること三十三年、その他多數會社銀行の重役を兼ね貴族院議員に當選すること二回、實業界に盡すこと妙くなかつた

十日(木)

輸出水産物検査規則の公布

同規則は農林省令を以て公布、二十日より施行された

日本・ウルグワイ通商條約調印

日ウ間の關稅、通商取引の相互的最惠國待遇を規定した有効期間二ヶ年の日本ウルグワイ同最惠國約款通商條約は本日調印を了した

濱邊同族會社々長濱邊三郎死去

風邪に肺炎を併發して本日午後四時濱邊中區本牧の自邸で死去した。享年八十。東京に

生れ明治初年濱邊に貿易商を營み四十五年渡邊銀行を創立し、渡邊銀行頭取、渡邊同族社長、横濱正金銀行重役その他の會社重役を兼ね貴族院議員にも當選したことがある。生前の功により從五位に叙せられた

十一日(金)

五分利公債一千萬圓現金償還

政府は九月一日期限の第二十一回五分利公債一千萬圓を現金償還となすことに決定した

共産黨轉向組巨額の控訴判決

共産黨首腦部轉向組五名の控訴併合審は東京控訴院赤羽裁判長係で審理中のところ、本日左の判決言渡があつた

▽佐野學懲役十五年(求刑十五年)鍋山貞親同十五年(求刑同)▽三田村四郎同十五年(求刑無期)▽高橋貞樹同九年(求刑十二年)

▽杉浦啓一同九年(求刑十年)

十二日(日)

米穀證券六千五百萬圓借替發行

大藏省は五月十四日支拂期限の第十五回米穀證券六千五百萬圓を左の條件で借替發行することに決定した

▽割引歩合 日歩七厘四分の一▽發行期日 五月十四日▽支拂期日 昭和九年十一月二



十六日▽引受 日本銀行  
十四日(月)

九州軌道社債二千萬圓借替發行

同社は六月十日償還期限の第六回社債二千  
萬圓借替のため發行總額二千八百萬圓のうち  
第二回分二千萬圓を左の條件で發行することに  
決定した

▽利率 年四分五厘▽償還期限 八年▽申  
込期限 五月二十八日▽拂込期日 六月十  
一日▽受託 興銀▽引受 三井、第一、住  
友各銀行

伊太利政府、生糸輸入を禁止

伊太利政府はフランス及び日本を目標とす  
る生糸輸入禁止令を發布、即日施行した  
十五日(火)

鉄鋼共販、印度鉄鋼輸入数量を決定

鉄鋼共同販賣組合は本年度印度鉄鋼輸入量  
を半期七萬トン、下半期六萬トン、合計十三  
萬トンに決定した

對米マツチ輸出組合の設立認可

商工省はマツチの對米輸出貿易振興を圖る  
ため共同施設をなすことを目的とする日本對  
米マツチ輸出組合の設立を認可した  
◇番町會、世評に鑑み解散

郷誠之助を會長とする番町會(社交機關)

は本日東京電燈會談室に幹事會を開き會員中  
帝人事件に關係し兎角の世評あるに鑑み善後  
策協議の結果、世の誤解を避けるため解散す  
ることに決定した會員は左の十名であつた

河合良成(帝人監査役)、永野護(同取締役)  
後藤國彦、中野金次郎、伊藤忠兵衛、金子  
喜代太、澁澤正雄、岩倉具光、正力松太郎  
松岡潤吉

米國政府、失業救済に十三億弗追加要求

ルーズヴェルト大統領は公民事業局廢止に  
よる失業救済のため緊急復興資金として十三  
億二千二百萬ドルの追加を議會に提出したの  
で一九三五年六月三十日の年度末に於ける財  
政不足は三百十八億三千四百萬ドルに上り財  
政史上空前の赤字時代を現出した  
十六日(水)

セメント限産率五割七分に擴張

セメント聯合會は需要減退を考慮し六、七  
八月の限産率を五分擴張して五割七分とする  
ことに決定した

日本重運、一千萬圓を増資

同社(資本金三百六十萬圓)は臨時總會を  
開き、六百四十萬圓を増資し一千萬圓となす

件を可決した

米國太平洋沿岸諸港の勞働爭議暴化

米國太平洋沿岸諸港に波止場人夫の同盟罷  
業起り去る九日以來悪化し榮港の發砲事件、  
ポーランドの警官襲撃事件を生み、十五日に  
はサンペトロに流血の慘事を見、本日に至り  
更に榮港七千名の海員組合が賃銀引上を要求  
し罷業は擴大した  
十七日(木)

近衛文相公、私設外交官として進米

貴族院議長近衛文相公は私設外交官として  
日米親善を圖り更に國際文化協會總裁として  
日本文化を紹介するため横濱解纜の渡間丸で  
渡米した

輸出生糸販賣調査會、糸價安定目標を決定

輸出生糸販賣調査會は特別委員會を開き生  
糸價格安定方策につき協議の結果、生産費等  
の標準となる最低價格維持及び内地糸價値幅  
の縮小を糸價安定目標として決定した

團體生命保險の變更免許

日本團體生命保險會社は法定供託金二十五  
萬圓(拂込株金の二分の一)の供託の手續を  
了し營業を免許された。保險種類は普通團體  
保險及び勤続給付團體定期保險の二種である

三井合名常務理事有賀長文外遊

三井合名常務理事有賀長文は經濟事情觀察  
のためアメリカを経て歐洲を廻り五ヶ月間の  
豫定で横濱解纜の郵船、渡間丸で出發した  
十八日(金)

大藏省證券一億一千萬圓發行

政府は專賣局据置運轉資金補足のため第二  
十九回大藏省證券一億一千萬圓を左の條件で  
發行することとなつた

▽割引歩合 日歩七厘▽發行日 五月二十  
一日▽支拂期日 七月二十五日▽引受 日  
本銀行

栗本鐵工所、足田鐵工所を合併・増資

合資會社栗本鐵工所(明治三十九年六月栗  
本勇之助創立)は去る十日株式組織に變更資  
本金二百五十萬圓となしたが本日更に足田鐵  
工所(資本金五十萬圓)を合併、資本金五百  
五十萬圓に増資した

豊田式織機七百五十萬圓を増資

同社(資本金三百萬圓)は資本金を七百五  
十萬圓に増資した  
十九日(土)

杉村陽太郎、駐伊大使に任命

伊太利駐劄大使松島肇は病氣のため辭任し

前國際聯盟事務局長杉村陽太郎が後任大使に  
任命された

日本ゴム靴の輸出統制實施

日本ゴム靴輸出組合は兵庫縣産業獎勵館にお  
いてゴム靴輸出統制につき協議の結果、組合  
内に統制部を設け規約を定め統制を實行する  
ことに決した

日本産業、G.M提携を中止

同社は大阪に工場を有するゼネラル・モー  
タース日本工場(資本金八百萬圓)と對等條  
件で日米資本提携により自動車工業に進出す  
る計畫を樹てたが、軍部方面が國防上の見地  
から内地資本のみによる自動車製造を希望し  
たので中止することに決定した

黒田大藏次官、帝人事件で收容

大藏次官黒田英雄は臺灣銀行の帝國人組株  
肩替事件の中心人物として東京地方裁判所檢  
事局に召喚取調べを受け液職嫌疑のため市ヶ  
谷刑務所に收容された

帝人社長、臺灣頭取等九名起訴收容

臺灣銀行所有の帝國人組株式並に神戸製鋼  
所株式肩替に關し背任の嫌疑で帝人社長高木  
復享、同常務岡崎旭、番町會員たる同社取締  
役永野護、同監査役河合良成、臺灣頭取島田

茂、同理事柳田直吉、同整理課長越藤恒吉、  
旭石油社長長崎英造、富國徴兵支配人小林中  
は本日東京地方裁判所檢事局に召喚取調べの  
結果、いづれも背任罪で起訴、市ヶ谷刑務所  
に收容された

中米サルパドル國、滿洲國を承認

中米サルパドル共和国は東亞の事態を正解  
國際聯盟の承認決議を一蹴し駐日同國總領  
事レオン・シグエンサを通じ駐日滿洲國公使  
に對し正式承認の通告をなした

蘭印政府、支那領事館閉鎖を要求

蘭領印度政府はジャバその他に於ける在留  
華僑が極端な排日運動を行ひ支那領事館がそ  
の後押を策動しつゝあるため、國民政府に對  
し支那領事館の閉鎖を要求した  
二十日(日)

癌研究所、開所式を舉行

東京巢鴨に建築中の癌研究所は完成し本日  
伏見總裁宮殿下の台階を仰ぎ開所式を舉行し  
た。同研究所は財團法人癌研究會(明治四十  
一年創立)が昭和四年下賜された御補助金と  
三井、三菱その他の寄附金を合し工費四十萬  
圓を以て建設されたクリーム色コンクリート  
三階建である



二十一日 (月)

日本共産黨の殘黨七百三十六名檢舉

日本共産黨の殘黨は當局の徹底的彈壓と獄内黨幹部の轉向並に勞農辯護士團解消等で深刻な懷疑に陥り去る一月十五日リンチ事件を曝露し檢舉の進展につれ小畑、大泉、大串に關するリンチ事件の外戦懐すべき輪番リンチ事件宮本顯治等選計畫等の全貌が判明したので新聞記事禁止の上捜査の結果、關係重要人物七百三十六名(内女百三十四名)の殆んど全部が檢舉され、本日記事解禁となつた

大久保銀行局長起訴收容さる

黒田大藏次官に次で召喚された大藏省銀行局長大久保偵次は取調べの結果瀆職罪の嫌疑で起訴、市ヶ谷刑務所に收容された

元大藏大臣片岡直淵死去

鼻癌にて本日午前十一時四十分京都河原町の自邸で死去した、享年七十六。安政六年高知縣に生れ同縣高岡郡書記を振出しに日本生命社長、共同銀行頭取その他の會社重役に擧げられ明治二十五年以來衆議院議員に當選すること八回、大正十四年商工大臣、翌年大藏大臣となり、民政黨の重鎮であり、昭和五年貴族院議員に勅選された

二十二日 (火)

政府、秋田鐵道買収を決定

政府は地方農村疲弊の對策として東北の物産を中央に誘導するため秋田縣の大館・花輪間を運輸中の秋田鐵道(資本金二百萬圓)を百九十一萬八千七百八十五圓で買収し、六月一日から東京直通列車を運輸することに決定した

鐵材共販組合、輸出價格引下

鐵材共販組合は六、七月渡内地向値段百圓据置、輸出向九十七圓(三圓下げ)數量九十九と決定した

瀧洲工廠の創立

奉天大東邊門外に設立された同社(資本金三十萬圓)は創立總會を開き左の役員を選任した

近江信託社長原田金之助死去

病氣靜養中のところ本日滋賀縣大津の自邸で死去した。享年八十二。大津の出身で實業界に身を投じ、日本郵船専務取締役から朝鮮郵船の初代社長に轉じ、京城商工會議所初代

會長をつとめ、近年は第一線を退いてゐた

二十三日 (水)

四分利國庫債券九千餘萬圓償替發行

政府は六月一日期限の五分利國庫債券八千九百九十八萬七千四百二十五圓償還のため本日、日本銀行引受の下に四分利國庫債券を左の條件で借替發行することに決定した

朝鮮合同電氣社債五百萬圓發行

朝鮮平壤の同社(資本金一千萬圓)は事業擴張資金として第一回社債五百萬圓を左記條件で發行することに決定した

西鮮合同電氣社債五百萬圓發行

朝鮮平壤の同社(資本金一千萬圓)は事業擴張資金として第一回社債五百萬圓を左記條件で發行することに決定した

春蘭資金の協定利率一厘引下

東西銀行業者の水曜會は東京丸の内の銀行集會所に例會を開き、本年上期満資金協定利率を左の如く前年同期より各一厘引下げに決定した

一、製糸家振出問屋引受銀行裏書一錢三厘

一、製糸家振出問屋又は銀行裏書一錢四厘  
一、製糸家又は問屋銀行振出一錢五厘  
◇カーバイトの値上實施  
全國炭化石灰共販組合は理事會を開きカーバイトの需要と輸出の順調に鑑み各等品一級(二十二キロ半)につき十錢方値上げして最下級品一級二圓四十錢(トン)換算百五圓六十錢)と決定本日より實施した

小田急社債七百五十萬圓發行

小田原急行電鐵は三井銀行引受の下に第一回物上擔保附い社債七百五十萬圓を左記條件で發行した

利率 年五分▽發行價格 百圓▽乘換應募 昭和三年四月發行第二回社債▽償還期限十年▽擔保 鐵道財團▽拂込提供期日 六月十一日

戸畑鑄物の自動車持株、日産に買替

日本産業は戸畑鑄物との共同出資により昭和八年十二月創立した自動車製造會社(資本金一千萬圓全額拂込)株式の内、戸畑鑄物の出資株總額四百萬圓を肩替りし自己資本の支配下に置くこととなつた

伯國の排日移民法案通過

ブラジルの排日移民法案は憲法審議々會を絕對多數を以て通過した。同法により許可される一ヶ年の移民數は約三千四百人となり、最近の移民數二萬乃至二萬五千人の七分の一に激減する

二十五日 (金)

露領漁區追加競賣、日本側四十二區落札

本年度露領漁區の追加競賣は本日浦鹽極東漁業廳に於て施行、入札の結果日本側は四十二漁區(日魯漁業三十五區、昭和漁業五區、佐野二區)蘇聯側は五漁區を落札した

北千島大同漁業會社の創立

同社(資本金三十萬圓)は東京の大阪ビルに創立總會を開き左の役員を選任した

國民同盟、倒閣臨時大會を開催

國民同盟は東京日比谷公會堂に倒閣臨時大會を開き大竹貫一を座長に推し議事に入り左の内閣彈劾決議を決定した

一、綱紀紊亂は政界、官界、財界各方面に亘つて未曾有の醜態を暴露し國家の根底を腐蝕せんとす、吾人は徹底的に之れが糾弾を要す

一、内閣は現下非常の情勢に對し速かに其職責を明白にすべし

三木武吉、位階勳等を振擧さる

板舟及京成電車乗入れ等の東京疑獄事件に連坐し大審院で瀆職罪により懲役三ヶ月に處せられ服役中の元代議士正五位勳四等三木武吉は判決確定の三月二十六日に通り位階令第八條第一項により振擧された旨宮内省から告示された

二十六日 (土)

代用燃料研究助成費六十餘萬圓交付

商工省は第六十五議會を通過した代用燃料研究助成費として石炭液化研究に二十三萬圓低溫乾溜に二十九萬圓、木炭ガス發生爐研究に九萬圓を交付し、自動車木炭瓦斯發生爐の研究が完成したので三百臺の改装費を補助し石炭液化研究は國立燃料研究所で研究せしめ石炭低溫乾溜の研究は三井、三菱に依頼することとなつた

製鋼原料共同購買會、銑鐵購入値段決定

製鋼原料共同購買會は大阪俱樂部に協議會を開き、七、八、九月渡銑鐵購入値段を四十四圓六十錢に据置き、數量は前回より三萬五千トン増の十五萬二千三百トンと決定した



◇綿織サロンの生産額統制決定

サロン統制協議会は生産割當數量を十三萬  
コージとし左の統制規約を決定し七月一日よ  
り実施することとした

一、本會は輸出綿織サロンの統制を圖るた  
め本規定により生産數量の割當及び販賣業  
者の指定をなすものとす

一、生産數量は關領印度向のものその他の  
ものと区分し毎月分をコージ數によつて  
決定す、生産數量の割當は昭和七年五月よ  
り九年三月までの各生産地組合の検査數量  
を基準とす

一、本會は生産地組合協議委員の諮問を經  
て綿織サロン販賣業者を指定す  
一、指定販賣業者は統制證紙を貼附したる  
物の外取扱をなすことを得ず

◇高崎セロファン二百萬圓に増資

同社(資本金三十萬圓)は臨時總會を開き  
全工場設備改善及び防水セロファン川崎工場  
建設のため資本金を二百萬圓に増資する件を  
可決した

◇モリス式金融會社の業務禁止

大藏省は日本モリス商工助成會社の刑事問  
題惹起から取締に關し司法省と協議の上、川

越銀行局長の名を以て新會社設立不許可並に  
既存モリス式金融會社の業務禁止を決定し加  
入者に損失を與へぬため漸次解散せしめる様  
各府縣知事宛通牒を發した。モリス會社は米  
國人モリスの考案による株式募集を模倣し法  
規に違反せぬ範圍で預金貸出等の銀行業務を  
營み加入者の預金を横領したものである

◇興業監査役添田一死去

賜チブスで東京本郷の帝大病院に入院中の  
ところ本日午前一時死去した。享年四十三。  
故添田壽一の長男で大藏省銀行検査官興業監  
理官を経て現に興業監査役及び大日本人造肥  
料取締役を兼ねてゐた

◇瀋陽パルプ會社の創立

同社(資本金一千萬圓)は子會社瀋陽パル  
プ工業股份有限公司をして生産に當らしめ本  
社は専ら販賣に従事する方針で創立總會を開  
き左の役員を選任した

△取締役 大橋新太郎(會長)、寺田元之助  
(社長)、山田馬次郎、岸本五兵衛、山本留  
次、南郷三郎、赤松範一、尼崎芳雄△監査  
役 寺田其吉、肥塚源次郎、植村家治△相  
談役 植村澄三郎

◇米國、日本綿織物物の輸入制限

米國政府は日本の綿織物物の輸入を制限し  
且つ敷物輸入追加税の賦課を決定せる旨發表  
した

◇日本電力社債七百萬圓發行

同社は日本興業銀行引受の下に第二回物上  
擔保付社債七百萬圓を左記條件で發行するこ  
とに決定した

△利率 年四分七厘△發行價格 額面△償  
還期限 八ヶ年△乗換應募 第一回擔保付  
社債△拂込期日 六月五日

◇帝國製糖、製糖業の兼營を決定

同社(資本金一千八百萬圓)は砂糖生産の  
外アルコール製出を行つてゐたが更に分蜜糖  
を原料として酵母劑の藥品を製造販賣をなす  
こととなり本日臨時總會を開き可決した

◇帝國政府、軍備擴張會商開始に應答

英國政府提議の次期海軍軍縮會議のロンド  
ン豫備會談開始に關し日本の閣議において、  
帝國政府は参加することに決定した

◇沼津商市場の立會停止

二十八日開始された沼津商市場は買調賣商

二圓六十六錢、白蘭二圓九十二錢の安値を告  
げた矢先、同市場と静岡縣信用組合聯合會と  
の間に交渉中の金融問題經まらず立會を中止  
した

◇統鐵共販組合、統鐵賣價決定

統鐵共販組合は業務打合せを開き七、八、  
九月渡しA三號の賣價をトン當り四十四圓六  
十錢据置と決定した

◇購買資金九百二十三萬圓貸出

日本勸業銀行は本年度購買貸出を左の如く  
決定した

△貸出總額 九百二十三萬圓△利率 日歩  
一錢三厘(前年より五毛安)△期間 十二月  
末日

◇合同油商社債二百萬圓發行

同社は日本興業銀行引受の下に借替社債二  
百萬圓を左の條件で發行することに決定した

◇日魯漁業、露領魚族繁殖費十萬圓寄附

日魯漁業會社は二年來露領邦極東漁業廳と  
の間に魚族繁殖寄附問題に就き折衝中のあるこ  
ろ日魯漁業は毎年十萬圓宛魚族繁殖保護費と

して極東漁業廳に寄附することに妥協成立し  
た

◇元帥海軍大將東郷平八郎死去

元帥海軍大將東郷平八郎は二十七日海軍記  
念日當日容態悪化し本日午前七時東京麹町區  
三番町の自邸で死去した。享年八十八。元帥  
は弘化四年十二月鹿兒島藩士東郷吉右衛門の  
三男に生れ、少時藩から選拔され航海、操艦  
術を學び戊辰の役には北越、奥羽に轉戦、明  
治四年英國に留學して海軍研修、日清戰役に  
は浪速艦長として第一遊撃艦隊の先鋒となり  
日露戰役には聯合艦隊司令長官として日本海  
大海戦に大勝を博し、世界の名提督として知  
られたことは餘りにも有名である。戦役中海  
軍大將に陞任、明治四十四年大勳位功一級に  
陞叙、伯爵を授けられ、次いで元帥府に列せ  
られ海軍々令部長、軍事參議官を歴任、東宮  
御學問所總裁を仰付けられ、大正十五年菊花  
章頸飾を賜はり、今回特に侯爵に陞授從一位  
に叙せられた

尙、同元帥の國葬儀は六月五日日比谷齊場  
に於て厳かに執行され長き邊りでは勅使を齊  
場に御差遣に相成り、各皇族殿下にも親しく  
御禮拜あらせられたが、一般奉拜者百八十四

萬七千人の多きに達した  
三十一日(木)

◇静岡縣下の乾藪共同保善助成認可

静岡縣下の集地生藪一貫當り平均相場が  
三四五十錢以下に低落し藪市場の大部分が開  
場不能の状態にあるので田中同縣知事は電報  
を以て助成認可申請をなした結果、農林省は  
同縣下保管豫定數量春藪二十六萬六千貫に對  
し助成金六萬三千九百七十四圓を交付する旨  
認可した

◇獨逸と硫安五千トン引受契約成立

硫安配給組合は供給不足に備へ獨逸アーレ  
ンス社手持品の引受交渉を爲し本日差當り五  
千噸を價格トン當り八十八圓六月中受渡の契  
約が成立した

【六月】

一日(金)

◇白國皇帝登極御披露の特使參内

ベルギー國皇帝レオポルト三世陛下御登極  
御披露のため特派大使ウイリアム・タイスは  
本日午後十時三十分參内、天皇、皇后兩陛下  
に拜謁し、レオポルト陛下の親書を捧呈した  
長きあたりでは特使一行に對し日白親善の思



召を以てタイス外一行四名に御賜勅の御沙汰  
あらせられ、四日まで帝室の貴賓として御優  
遇あらせらるゝことになつた

◇四分利公債四百十餘萬圓發行

政府は生糸買入代金の分利支拂金に充當の  
ため四分利公債(一號)四百十六萬九千圓を  
左記條件で發行することに決定した

▽發行額四百十六萬九千圓の内横濱正金銀  
行へ交付分四百十二萬四千八百七十五圓、  
産業組合中央金庫へ四萬四千二百二十五圓、  
交付價格額面百圓につき九十八圓五十錢、  
償還期限五年据置後三十年内

◇割引興業債券一千萬圓發行

日本興業銀行は六月九日期限の第三十一回  
割引興業債券借替のため第三十四回割引興業  
債券一千萬圓を左記條件で發行することに決  
定した

▽割引歩合 日歩八厘▽發行價格 額面▽  
償還期限 昭和十年六月八日▽申込期日  
六月四日

◇休止中の沼津商市場再開す

僅か二日間開場したのみで五月二十九日よ  
り取引休止中の同市場は休止の原因となつた  
商賈組合の三百八十萬圓の負債中原田積善會

財團が債権百二十萬圓の擔保として商賈組合  
の財産を取得してゐる權利を静岡縣信用組合  
聯合會に引渡すこと等の條件で解決し本日午  
後一時再開した

◇日支直通無線電信の開始

多年の懸案であつた日支間無線連絡は本日  
より東京上海間直通無線電信の連絡開始され  
高速度二重通信法により支那各地宛歐文電報  
及び上海發着和文電報を左の料金で取扱ふこ  
となつた

▽普通報日本上海間一語七十五サンチム  
▽日本青島間一フラン▽日本支那各地間一  
フラン二十五サンチム

◇日本火藥製造會社、火藥工業を合併

同社(資本金二百五十萬圓)は對等條件に  
て火藥工業會社(資本金百萬圓拂込済)を合  
併した

◇自動車製造會社の社名改稱

同社(資本金一千萬圓)は日産自動車會社  
と改稱した

◇大井川開發會社の創立

同社(資本金一千萬圓)は東京丸の内海  
上ビルにおいて創立總會を開き左の役員を選  
任した

▽取締役 松永安左衛門(代表)、小林一三  
坂本正治▽監査役 五十嵐直三、日向利兵  
衛

◇國際絹業協會大會、リオンに開催

國際絹業協會大會は日本との競争對策を重  
要議題とし佛國リオン市に開催された  
二日(土)

◇御名代秩父特使宮殿下御渡瀨

友邦の滿洲國帝制實施康德皇帝登極御慶祝  
の御ため 天皇陛下の御名代として秩父特使  
宮殿下には本日午後六時四十分東京驛御發、  
御渡瀨遊ばされた

◇四分利國庫債券九千百餘萬圓發行

政府は國債整理基金特別會計法により左記  
條件で四分利國庫債券(一號)九千三百五十  
萬七千七百五十圓を發行した

▽發行價格 九十八圓五十錢▽償還期限  
昭和三十五年六月一日迄  
四日(月)

◇原蠶種製造所、三ヶ所に設置

農林省は原蠶種製造所設置箇所につき調査  
中のところ左の三ヶ所に決定した  
▽東北部製造所山形縣最上郡新庄町▽中部  
製造所兵庫縣明石市▽西部製造所宮崎縣宮

崎市

◇養蠶應急資金の府縣割當決定

商工省は本年度養蠶應急資金三千萬圓中、  
二千八百二十九萬七千圓を第一回分として北  
海道外三十六縣に對し割當を決定、本日地方  
廳官宛通牒を發した

◇粉貯蔵倉庫建設低資の地方割當決定

前年十二月より實施中の粉貯蔵獎勵に對し  
總豫算九百萬圓の内六百萬圓は國庫負擔、三  
百萬圓は預金部資金による地方負擔となつて  
みたが、大蔵、農林兩省間に折衝の結果本日  
夫々地方割當を決定した

◇英國資本團、滿洲國に投資權獲得

英國大資本團セレクトション・トラスト(資  
本金二千五百萬ポンド)は英國政府援助の下  
に滿洲國に技師アルネルを代表として派遣し  
日滿兩國の諒解を得、吉林省輝發河谷に投資  
權(第一期二千萬圓)を獲得した

六日(水)

◇酒類輸出組合聯合會の創立

對滿貿易業者の中央機關として計畫中の滿  
蒙輸出組合聯合會は東京丸の内日本俱樂部  
に創立總會を開き左の役員を選任し認可申請  
の手續を取つた

▽會長 星野錫▽副會長 加藤勝太郎▽專  
務理事 倉橋勝治郎▽理事 上甲信弘、橋  
文藏

◇三井信託の職制改革

三井信託會社は今回社長副社長制を廢止し  
て會長制とし、代表取締役中から副社長に代  
るべき常任者一名及び部長數名を置くことに  
決定した。その結果、社長米山梅吉は三井報  
恩會理事長に就任したため社長を辭し新たに  
取締役會長に就任した

◇豊洋水産一千萬圓に増資

日本産業の傍系會社たる豊洋水産(資本金  
二百萬圓)は日産に合併した共同漁業のトロ  
ール事業を譲受けることとなつたので本日重  
役會議を開き、資本金を一千萬圓に増資する  
ことに決定した

◇埃及政府、貿易調整を日本に要請

ハウジイ在神戶埃及領事は商工省に寺尾貿  
易局長を訪問し貿易調整のため埃及商品の輸  
入増加を圖り同國商品輸出の便宜のため日  
本船のアレキサンドリヤ港の寄港回数を増加  
されたいと要請したので寺尾貿易局長は日本  
は兩國貿易改善のため昨年日埃貿易協會を設  
立し努力してゐるが、當業者と交渉し兩國貿

易の緊密を圖るやう考慮する旨回答した  
七日(木)

◇秩父御名代宮殿下、廣徳皇帝に親書捧呈

滿洲國皇帝登極御慶祝の御ため去る二日御  
出發の秩父御名代宮殿下には今朝九時五十五  
分滿洲國宮内府に御參着、沈接伴委員長御誘  
導にて御式場たる階上東殿に進ませられ 天  
皇陛下の親書、勳記並に勳章を御手づから捧  
持し皇帝陛下には大勳位菊花大綬章、鴻秋皇  
妃には勳一等寶冠章を捧呈し、尊き御使命を  
御披露且つ即位大典を慶祝し給へば皇帝陛下  
には我皇室の御教厚なる御交宜並に殿下の遠  
路御渡瀨に對し深甚なる感謝の辭を述べられ  
かくて滞りなく殿下御渡瀨の重大なる御使命  
を果させられた

◇八月の綿三綾生産割當決定

日本輸出織物工業組合聯合會は八月の綿三  
綾生産割當を四十八萬反(七月より二萬反減  
少)と決定した

◇東京綿布人絹織物輸出組合の設立

綿布人絹織物の海外輸出對策として東京  
綿布人絹織物輸出組合を設立することとなり  
本日東京丸の内日本俱樂部に創立總會を開  
き左の役員を選任した



▽理事長 長谷川作次(三井物産)▽理事 鈴木清重、三菱商事、仲谷芳雄(東綿)、村元政治郎、中西商店、小山清藏(宮崎商店)▽監事 淵田太郎(伊藤忠)、杉村虎四郎(杉村貿易)

◇五大電力の電計書決定

電力聯盟は東京銀行集会所に定例委員会を開き、電計書専門委員会の原案に基き昭和九年より十二年まで五ヶ年間に於ける各社電計書につき審議の結果、右五年間に於て五大電力は水力二十五萬七千六百四十八キロ、火力六萬八千キロ、合計三十二萬五千六百四十八キロの出力を増加するを得ることに決定した

◇大同電産會社の創立

同社(資本金三百萬圓)は東京丸の内鐵道協會に創立總會を開き左の役員を選任した

▽社長 國澤新兵衛▽取締役 立花良介、専務、橋本喜作、同、河野久太郎、河野英良、川本祥夫、長、順吉、日置雅章、坂崎謙介、廣久誠治郎▽監査役 菅野長知(常任)、韓錦堂、福島太明、加藤小太郎

◇南阿爾邦政府、應關稅修正法實施

南アフリカ聯邦政府は爲替ダンピング税を

實行することとなり本日右に關する關稅修正法を公布即日實施した

八日(金)

◇日滿間金融統制の原則的協定成立

日滿間金融統制協定問題は滿洲國代表高橋廉順(實業部總務司長)關東軍顧問小池寛日本側代表津島理財局長の間に左記大綱の原則的協定が成立した

一、滿洲國會社法中に特別規定を設け滿洲國內に於て金圓資本の會社設立を認めること

一、滿洲國商法を改正して日本内地と同一の株式會社經營規格を置き滿洲に於ける日本資本會社の株式工場を認めること

一、關東州に於ける金融機關に對しても國幣の取扱ひを許可すること

一、日本資本の滿洲國投資を統制して健全なる投資は助長するも不健全なる投資は排除すること

◇日蘭會商開始さる

日蘭會商は本日バタヴィア市美術協會記念ホールに於て第一次公式會商を開始した

◇瓦斯發生爐設置獎勵金交付規則の公布

瓦斯發生爐設置を獎勵するため本日商工省

令を以て瓦斯發生爐設置獎勵金交付規則を公布即日施行された

◇次期紡績操短率緩和に決定

紡績聯合會は大阪綿業會館に協議會を開き十月以降の紡績操短率につき協議の結果七月以降九月までの一ヶ月四晝夜休業操短率一割五分休鍾の現行率を基準率一割一分二厘に緩和することに決定した

◇大同電力、東電に不可償約破棄通告

大同電力は東京電燈が二萬五千キロの受電に應ぜず同社の東京送電線活用を關しても圓滿な解決を見るに至らぬため東電に對し大正十三年六月三日附契約及び昭和四年十月十一日附契約を破棄する旨通告した

◇服部家、親公會へ三百萬圓寄附

故服部金太郎は昭和五年五百萬圓を投じて服部報公會を創立、各種社會事業に貢献してゐるが、當主服部支三は故人の遺志を繼ぎ、百ヶ日目の本日三百萬圓を同會に寄附する旨發表した

◇英領ジャマイカ、輸入割當制實施

英領ジャマイカ政府(西印度)は本國政府の訓令に基き日本綿織物に對し五月七日に週一ヤード十二セント乃至二十五セントとい

ふ殆んど輸入禁止に等しい高率關稅を課する旨發表した

九日(土)

◇ポクラニチナヤに日本領事館開館

蘇聯邦東部國境線の重要地點ポクラニチナヤに日本領事館が開設され本日より事務を開始した

◇外地電話通話規則の公布

内地朝鮮間並に内地臺灣間に於ける通話種類及び通話料金を規定した外地電話通話規則は逡信省令を以て六月二十日施行、同時に内地電話通話規則は廢止の旨本日公布された

◇廣島文理大學長の後任問題紛糾

文部省の内紛問題に端を發した廣島文理大學長後任問題につき學内代表は西普一郎教授推薦のため上京の折柄、八日の開議に於て局長自身の反對を押し切り文部省普通學務局長を後任學長に決定、即日發令を見るに至つたので、同大學は講師、教職員學生が夫々善後策協議の上、教職員側よりは武部局長に對し辭令承諾拒否依頼の電報を發し、學生側は武部局長に對する辭職勧告外三ヶ條の決議をなし學内代表を加へた實行委員は初志貫徹の目的を以て本日上京したが十二日乾環教授を

後任學長事務取扱に任命し解決した

◇仙台商工會議所會頭伊澤平左衛門死去

本日正午仙臺市の自邸で死去した。享年七十三。仙臺商工會議所會頭の外七十七銀行頭取に就任、宮城縣財界の巨頭として聞え多額納稅貴族院議員、代議士等に當選し政友會仙臺支部の長老として重きをなした

十一日(月)

◇中央電線會生雜費五萬弗送金

日本中央電線會は對米生糸消費増進宣傳費として去る四月二十日三萬ドルを送金したが更に五萬ドル(邦貨換算十六萬六千六百六十六圓六十六錢)を横濱正金銀行を通じて紐育インターナショナル・シルク・ギルド宛送金した

十二日(火)

◇送炭調節のため百萬トン減額

石炭聯合會及び昭和石炭各代表は九州互助會の不需要期に於ける炭價維持に關する提案に基き東京丸の内の日本工業俱樂部に對策協議の結果、送炭調節方針を變更して本年六月より十月に至る五ヶ月間に聯合會は現行月割調節高より毎月二十萬トンづゝ合計百萬トンを減額することに決定、その結果本年度調節

高は二千二百六十六萬七千トンとなつた

◇磁器鐵器減産に決定

磁器鐵器工業組合は大阪實業會館に商議員會を開き第六月目(六月十五日より七月十四日迄)の生産割當につき協議の結果、前月より九十割減の二萬一千七百五割と決定した

◇日本莫大小輸出組合の設立認可

商工省は神戸市の日本莫大小輸出組合の設立を認可した

◇三菱重工業の新首腦決定

同社(資本金五千萬圓)は三菱航空機(資本金一千萬圓)との合併手續が本日完了したので三菱造船と航空機を統轄經營し左の如く會長一名常務三名とし同時に本店の職制を改め總務、會計の二課を部とし新たに技術部を設け營業課を五課に分けることに決定した

▽取締役會長 斯波孝四郎▽常務取締役 伊藤達三、郷古潔、元良信太郎

◇佛國、對米戰債不拂を決定

フランス、ズーメルグ内閣は六月十五日期限の對米戰債不拂を決定した。戰債總額は元利合計三十九億六千七百七十七萬二千弗である

◇英領マルタ、織物輸入割當制布告

英領マルタ島總督は英本國の方針に基き五



月七日より十二月三十一日まで日本織物の輸入を五萬ヤードに制限する旨の布告を發した日本織物輸入数量は既に五萬ヤードに上つてゐるので事實上輸入禁止となつた

○元萬歲生命社長長村義吉死去

病氣静養中のところ心臓病を併發して本日東京澁谷區代官山町の自邸で死去した。享年七十一。静岡縣の出身で東京高等商業を卒業明治三十七年萬歲生命を創立して社長たること二十年に及び、その他國華僑兵保險、復興建築助成、森永製菓等の重役に歴任した

十三日 (水)

○雲南の帝國領事館再開

滿洲事變發生のため昭和六年十月以來閉館中の雲南領事館は再開することとなり本日戸根木領事事務代理は館員と共に赴任開館した

○失踪した藤本書記生生存歸館

去る八日失踪した南京總領事館の藤本書記生は國民政府の捜査によつて南京郊外明の孝陵に生存してゐることが判明本日午後五時十分總領事館に歸館した。原因は過度の神經衰弱から發作的失踪と判明したので日支間の問題となつた同事件は解決した

○西アフリカ、日本綿布の輸入割當決定

西アフリカ英領立法議會は日本綿布及び人絹織物の輸入割當量を一九二八年から三十一年に至る四ヶ年平均の二分五厘に決定公布した。一ヶ年綿布七十二萬五千平方ヤード、人絹織物七萬五千平方ヤード、合計八十萬平方ヤードで輸入禁止に等しいものである

十四日 (木)

○農林省は昭和九年度に於て施行する農林省所管關係時局救農業土木事業資金充當のため豫金部資金中より一千三百八十一萬一千圓を融通することとし各道府縣割當額を決定夫々地方長官に通牒を發した

○日滿棉花、編纂兩協會の會長決定

財團法人日滿棉花協會並に編羊協會は各別に拓相官邸に總會を開き兩會共評議委員會々長に永田秀次郎を推し、理事監事を選舉して棉花協會理事長に福本元之助、編羊協會理事長に鶴見左吉雄を選任した

○商工省、鋼材値上り問題で日鐵に警告

商工省は各種鋼材の値上り問題に關し日鐵販賣部長北村保太郎を本省に招致し左の警告を發した

○日鐵はその創立使命に基き鋼材建値引

(一)日鐵はその創立使命に基き鋼材建値引

下げに關し積極的の方策を講ずべし(二)日鐵は鋼材販賣組合にあつて前項の措置を講ずると共に今後共販加盟各社が日鐵の態度に反して建値引上げを實行する場合は日鐵は共販脱退を賭して反對を斷行すべし

○獨逸、對外債務六ヶ月間不拂を宣言

獨逸中央銀行ライヒス・バンクは本日對外公私一切の長期中期債務に對し七月一日より向ふ六ヶ月間に亘りモラトリアムを施行し現金支拂を禁止する旨宣告した

○伊・波等六國、對米戰債不拂通告

イタリー、ポーランド、ルーマニア、ハンガリー、エストニア、ラトヴィアの六ヶ國政府は米國々務省に來る十五日支拂期限に達する戰債年賦不拂の旨通告した

十五日 (金)

○汎太平洋婦人會議の日本代表決定

八月六日から二十二日までハワイに開催される第三回汎太平洋婦人會議に日本代表として青山學院教授小泉郁子が出席することに決定した

○九州水力社債一千萬圓發行

同社は住友銀行その他の引受の下にオーブ・エンド・モーゲージ制による社債總額五

千萬圓中、第三回分として一千萬圓を左記條件で發行することに決定した

○利率 年四分五厘 償還期限 十ヶ年

擔保 工場財團 發行價格 百圓 引受

住友、三菱、三井、第一、日本興業各銀行及び住友、三菱、安田各信託

○疏安實債及び數量決定

疏安同業組合は阪神甲子園ホテルに定例理事會を開き七月以降九月までの疏安實債及び數量を協議の結果、實債十貫當り三圓五十錢据置、數量は各社自由とすることに決定した

○日産鹽業、大和鹽業栽培を合併

日本産業護謨會社(資本金四百三十萬圓)は大和護謨栽培會社(資本金二十萬圓)を合併し二十萬圓を増資して資本金四百五十萬圓となつた

○東邦人遺囑繼承會社の創立

同社(資本金一千萬圓)は東京丸の内生命協會に創立總會を開き左の役員を選任した

社長 後宮信太郎 常務取締役 大島亮治、笠岡敏男 取締役 赤司初太郎、持田巽、門野重九郎 監査役 山口誠太郎、藤川類藏

○清水澄・藤澤鏡之輔、樞密顧問官に親任

前行政裁判所長清水澄、元商工大臣藤澤鏡之輔は樞密顧問官に親任された

十六日 (土)

○東東汽船、四百萬圓を増資

同社(資本金五百五十萬圓)は定時總會を開き資本金倍額増資の件を附議し株主側の申出でにより二百五十萬圓を増資して四百萬圓となし舊株一株につき新一株半を割當て、残り五千株は従業員に割當てることに決定した

○蘇聯邦、樞密顧問官に親任された

蘇聯邦政府は浦鹽を起點としてサガレン島アヤン、オホツク、ナガエウオ、ハイリユウゾオ、オスチボリシエレツクを経てベトロハヴロフスクに至る極東新航空路を新設、本日より開始した

○ブラジルの新關稅率公表

ブラジル政府は改正新關稅率を公表九月一日より實施することとなつた。その結果日本よりの輸入品ボタンの半製品は三割五分高、陶磁器硬質及半磁器の無地二割高、金色附五割高、磁器二割五分安、電球百ワット迄一割高等に改正された

○トリニダット、輸入割當制實施

西印度のトリニダット政廳は日本品の輸入

制限を目的とした外國製織物類輸入割當制を實施し同時に外國衣類の關稅を引上げた

○米國海運の罷業解決

五月九日以来罷業繼續中の米國太平洋岸一帯に亘る波止場人夫を中心とする海運罷業はシャトルに於て千二百名の波止場人夫と海運會社五社との間に協定成立し一ヶ月に亘る大罷業は解決した

十七日 (日)

○留換算率の日ソ交渉、モスコイに關係

日蘇漁業問題の中心をなすルーブル換算率問題の交渉はアコ債券換算率問題を主要題目として本日モスコイ外務人民委員部極東部に於て開始された

十八日 (月)

○秩父御名代宮殿下、御歸朝

滿洲國康德皇帝登極御慶祝の御名代として御渡滿中の秩父宮殿下には十七日午後三時御召艦足柄にて門司御歸着、本日午後二時四十分東京驛着特別列車で御歸京遊ばされた

○カナダ日本人會に金一封御下賜

在外邦人社會事業御獎勵の御恩召を以てカナダ日本人會に金一封御下賜の旨本日石井領事より花月日本人會長に傳達された



◆養蠶應急資金第二回割當決定

農林省は養蠶應急資金第二回分として秋田縣外六府縣に對する融通額百七十萬三千圓の割當を決定し本日各府縣宛通牒を發した

◆安曇電氣社債五百八十萬圓發行

同社は日本興業銀行引受の下に社債五百八十萬圓を左記條件で發行することに決定した  
▽利率 年五分▽發行價格 額面▽乗換應募 第一回及び第二回物上擔保附社債▽償還期限 七ヶ年▽擔保 同社工場財團第一順位▽發行日 六月二十日

◆愛知織物社債三百萬圓發行

同社は日本興業銀行引受の下に社債三百萬圓を左の條件で發行することに決定した  
▽利率 年四分八厘▽發行價格 額面▽償還期限 六ヶ年▽擔保 愛知織物工場財團第一順位▽發行日 六月二十日

◆津紙限産四百萬ポンド緩和

日本製紙聯合會は東京丸の内の事務所商議員會を開き市況對策につき協議の結果、七月より更に四百萬ポンドの限産緩和をすることに決定した

◆東京石川島造船所二百萬圓に減資

同社(資本金三百萬圓)は臨時總會を開き

三株を二株とし二百萬圓に減資する件を可決した

◆三菱横濱倉庫の火災

本日午後九時五十分横濱市中區海岸通の三菱倉庫横濱一號上屋倉庫トラックから發火し同倉庫を全焼事務所を半焼して十一時半鎮火した。同倉庫には日本、東洋、江商、昭和日瑞、日比谷各會社の棉花價格百三十萬圓が入庫してあつたので棉花損害は約百萬圓、建物損害三萬圓

◆獨逸金準備低下三分を割る

獨逸國立銀行の金準備は激減の一途を辿り先週中更に二千萬マルクの金と外貨が減少し十八日現在國立銀行の金準備は二分九厘に低下し獨逸金本位の危機が叫ばれるに至つた

◆前東京帝大總長古在由直死去

心脏病で本日東京小石川區駕籠町の自邸で死去した。享年七十一。京都の人、明治十九年駒場農學校卒業、二十八年ドイツに留學、三十二年農學博士、農科大學教授となり大正九年東大總長に任ぜられ昭和三年辭し名譽教授であつた

◆産組中央金庫の肥料資金融通割當決定

十九日(火)

農林省は本年度肥料資金として預金部から産業組合中央金庫自己資金により一千六百萬圓以内融通せしむることとし夫々各府縣の割當を決定した

◆毛織機短打切に決定

日本羊毛工業會は大阪綿業會館に理事會を開き毛糸操短問題につき協議の結果、毛糸専門會社は一ヶ月四晝夜、織機工場を有する會社は四晝夜半休業の現行操短率は事實上効果が乏しいので七月九日より打切りと決定した

◆勸業銀行、宮崎農工銀行を合併

同社(資本金一億八百七十五萬圓)は宮崎農工銀行(資本金二百萬圓)との合併談進涉し、本日の重役會に於て宮崎農工銀行株主に現金交附の實質的對等條件で合併する件を可決した

◆田中機械製作所二百五十萬圓に増資

同社(資本金七十五萬圓)は臨時總會を開き二百五十萬圓に増資する件を可決した

◆國際労働會議、四十時間労働制を否決

ジュネーヴの國際労働會議委員會に於て採擇された一週四十時間労働制は本日總會に上程されたが、各國政府代表が投票棄權の結果事實上否決され不成立となつた

◆國際毛織協會大會ローマに開催

世界主要羊毛工業國の關係者を以て組織された國際毛織協會大會は左の事項を協議するため本日よりローマに於て開催された

▽各國間關稅障壁の引下げ問題▽日本品競争問題▽商標侵害問題▽羊毛工業の統計案集問題▽羊毛販賣に關する國際諸情勢▽モンテ・グイデオ羊毛輸出税問題▽クレヂツト制限問題▽格附検査方法の統一問題▽漆洲ニユーキャツスル羊毛競賣市場新設問題▽羊毛纖維の技術的研究

◆門野重九郎、日米通商評議委員に決定

日米通商評議會は東京丸の内の日本工業俱樂部に初顔合會を開き、米國側主席ジェー・シー・グールドの發議により門野重九郎を委員長に推薦し評議會規約を可決、國家主義を排し日米經濟親善に協力することを目的とし毎月一回第二金曜日開催する件を決定した

二十日(水)

◆晒粉限産率四割八分に擴張

晒粉聯合會は東京丸の内の常盤に委員會を開き七月中の限産率は不需用期を見越し三分擴張四割八分に決定した

◆内臺無線電話開通

内地と臺灣を連絡する内臺無線電話は本日開通した。一般通話料三分毎に六圓、至急通話は倍額である

◆日本電氣工業、秩父電氣工業を合併

同社(資本金一千二百萬圓)は東京味の素ビルに臨時總會を開き秩父電氣工業會社(資本金百萬圓)を一對一の割合で合併五十萬圓増資の件を可決した

◆東京電氣、外資支配を脱却

同社(資本金二千九百五十萬圓)は總株式七十九萬株の内三十九萬五千株は米國のインダーナショナル・ゼネラル・エレクトリック會社に保有せられてゐたため資本を本邦人の手に獲得することとなり、社長山口喜三郎渡米交渉の上新株七萬五千株を買収したので同社は過半数を所有し米國系資本の支配から脱却した

◆日本棉花、七百二十萬圓を減資

同社(資本金二千萬圓)は株主總會を開き七百二十五萬圓を減資する件を可決した

二十一日(木)

◆停頓中の日蘭會商再開

停頓状態にあつた日蘭會商は二週間に於て本日バタヴィアにおいて再開、兩代表の私

的會談を行つた

◆松平駐英大使、植民地割當制に抗議

松平駐英大使は英國商務省にランシマン商相を訪問、直轄植民地が相次いで實施しつゝある輸入割當制問題につき抗議的申出をなしイギリス側の注意を喚起した

◆日本・エストニア通商協定取極成立

政府は日本とエストニア兩國の通商關係暫定取極を締結した旨發表した

◆東京地下鐵道、新橋まで開通

昭和二年末上野淺草間を開通した東京地下鐵道は本日新橋まで開通した。工費總額三千二百萬圓、従業員三百四十萬人、九ヶ年半を費した大工事であつた

◆盛岡電燈一千七十八萬五千圓に減資

同社(資本金一千四百三十八萬圓)は臨時總會を開き資本金四分の一を株式買入消却の方法で一千七十八萬五千圓に減資の件を可決した

◆日米親善民間特使松方乙彦歸朝

日米親善民間特使として去る一月十二日出發渡米齊藤大使を援けて活躍した松方乙彦は本日横濱入港の郵船淺間丸で歸朝した

二十一日(金)



輸出生絲登録令の公布

輸出生絲の買取引並に輸出登録に關する輸出生絲登録令は勅令を以て本日公布され、七月一日より施行

日本石油、社債一千萬圓發行

同社は無擔保で社債一千萬圓を左記條件で發行することに決定した  
△利率 年四分五厘▽償還期限 八ヶ年▽拂込期限 七月下旬▽引受 第一、三井兩銀行

東西乙種銀行の預金利下

東西の乙種銀行は預金協定幹事會を開き協議の結果、定期預金利率四分二厘を四分に、特別當座預金利率八厘を七厘に改定、東京は二十五日より大阪は七月一日より實施することに決定した

ガソリン協定成立す

石油六社對松方露油のガソリン協定は昨年九月以來紛争を續けてゐたが本日の圓卓會議で左の如く協定成立調印を了した  
協定値段は六社側一ガロン四十錢、松方側一ガロン一錢安

東洋紡績、昭和レーヨンを含む

東洋紡績(資本金六千四百九十七萬五千圓)

は本日昭和レーヨン(資本金一千二百萬圓)の合併手續を完了して六百萬圓を増資し資本金總額七千九十七萬五千圓となつた

東海船管五百萬圓に増資

同社(資本金六十萬圓)は定時總會を開き業務擴張に件ひ九十萬圓を増資して百五十萬圓となす件を可決した

東信電氣對東電の契約更改成立

來る七月末日満期となる東信電氣對東電の電力三萬五千キロ需給契約更改につき折衝中のところ本日左記條件で成立調印を了した  
▽容量二萬六千六百キロワット料金五十八圓五十錢(舊六千七百七十錢)▽期限八月一日より向十ヶ年  
二十三日(土)

輸出生絲取引法施行規則の公布

輸出生絲問屋の免許營業、賣買取引並に輸出登録申請等を規定した輸出生絲取引法施行規則は農林省令を以て公布され、七月一日より施行

米穀證券五千八百萬圓借替發行

六月二十五日期限の第二十二回米穀證券五千八百萬圓は左記條件で借替發行することに決定した

▽割引歩合 日歩七厘五毛▽發行日 六月二十五日▽支拂期日 昭和十年一月二十五日▽引受 日本銀行

綿本の生産割當決定

日本綿織物工業組合聯合會は綿本統制部商議員會を開き八月の生産割當を生地三十三萬反(七月二十五萬五千反)製品三十七萬五千反(七月二十七萬五千反)と決定した

三菱商事、五常務制を採用

三菱商事會社は社務擴張を目的として二常務制を五常務制とし、新任の三常務は左の如く社務を分掌することとなつた  
早川茂三(總務、船務、監査)、谷田友治(金屬、機械)、柳瀨篤次郎(農産、水産、會計)

日東製粉の役員増員

同社(資本金五百萬圓)は東京丸の内八重洲ビルに株主總會を開き資本金増加に伴ふ役員増員の件を可決、左の如く選任した  
取締役 加藤恭平、堀田鐵三郎、大川義雄  
▽監査役 田中清  
二十五日(月)

丸鋼生産の割當措置に決定

鋼材聯合會は東京丸の内日本工業俱樂部に例會を開き七、八、九月の生産割當につき協

議の結果、五月中の生産高は約五千トンの減産なので据置に決定した

共保生命、野村生命と改稱

同社(資本金百萬圓)は臨時總會を開き九月二十日より共保生命保險社を野村生命保險社と改稱する件を可決した

出雲電氣二千萬圓に増資

同社(資本金一千二百萬圓)は株主總會を開き七百九十萬圓を増資して二千萬圓となす件を可決した

伊奈電鐵、二百六十餘萬圓を減資

伊奈電鐵(資本金二千五百五十六萬五千圓)は東京丸の内海上ビル内に臨時總會を開き不良資産整理のため二百六十二萬二千六百圓減資の件を可決した

大阪シャリング百五十萬圓に三倍増資

同社(資本金五十萬圓)は臨時總會を開き百萬圓を増資することに決定した

大瀧洲ホップ麥酒會社の創立

同社(資本金一千萬圓)は東京丸の内の電氣俱樂部に創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役 石井徹(社長)、堀川新(専務)、貴虎五太郎、小栗復吉、島飼享一、萩野元

太郎、池貝杉二、峰道文藝、河合又男、濱口由次郎、原田義雄、楊貞三、淺野良三▽監査役 山中勇三郎、上田源三郎、李明達

日瀧製粉會社の創立

同社(資本金二百萬圓)は東京麹町内幸町の東洋ビルに於て創立總會を開き左の役員を選任した  
▽社長 松本眞平▽専務取締役 中澤正治  
▽取締役 太田惣衛、加藤徳雄、片岡貞夫、中島義治、野上彦市、増田増太郎、邵慎亭、岩崎直記▽監査役 脇道善、加藤恭平、大志摩孫四郎、向井忠晴、曲子源

滿洲國康徳元年度豫算三億圓に決定

滿洲國康徳元年度豫算は一般會計の外、豫算の技術的統制を計るため十一項目の特別會計を設け本日の閣議で總額三億一千七百六十三圓と決定した  
二十六日(火)

日瀧製粉、副社長制を採用

同社は東京赤坂三會堂に定時總會を開き對外事務繁忙に備へるため副社長制を採用して専務取締役平塚常次郎を昇任、常務取締役眞藤瀧太郎を専務に昇格することに決定した

帝國人造絹絲社長の更迭

同社々長高木復享は帝人事件の責任を負ひ辭任し後任社長に取締役久村清太が就任した

日瀧製粉同防衛費に滿洲國九百萬圓分擔

滿洲國政府は康徳元年度豫算に國防費として日瀧協同防衛經費分擔金九百萬圓を計上日本に提供する旨發表した

文學博士湖南内藤虎次郎死去

病氣療養中本東京都府下の恭仁山莊で死去享年六十九。秋田縣に生れた秋田師範高等師範科を卒業、小學校訓導、雜誌記者を経て東朝に入り、後臺灣日々主筆、萬朝報記者、京大講師、教授を歴任して文學博士の學位を得學士院會員となり退職後京都帝國大學名譽教授となつた。支那の知識が豊富で支那學者として當代の第一人者であつた  
二十七日(水)

淺野セメント社債五百萬圓發行

同社は日本興業銀行引受の下に第十二回擔保付社債五百萬圓を左記條件で發行することに決定した  
▽利率 年四分五厘▽發行價格 百圓▽償還期限 七ヶ年▽乗換換券 第十一回社債  
▽拂込期限 八月十五日

綿織サロンの割當決定



大阪綿織物工業組合聯合會は商議員會を開き綿織サロン八月分生産割當數量につき協議の結果、十三萬圓と決定した

○天満織物一千五十萬圓に増資

同社(資本金七百萬圓)は株主總會を開き三百五十萬圓を増資、資本金を一千五十萬圓となす件を可決した

○英國殖民地輸入割當制問題の對日回答

英國植民地輸入割當制問題に關し數回に互る日本の注意喚起に對し英國は去る二十二日一旦拒絶的回答をなしたが、本日イギリス商務省産業顧問フオーレス・ウィルソンは松山商務參事官を招き前回の補足的回答として今回の割當制實施により日本品の輸入數量皆無の地方に對しては特に考慮し、五月七日前積出したものに對しては割當より除外するの二項目を補足し英國の立場を説明して諒解を求めた

○中米サルバドル、新關稅法を制定

中米サルバドル國はコーヒー販路擴張のため左記方針による新關稅法を制定二ヶ月後實施する旨發表した

一、サ國のコーヒー輸入國には現行稅率を維持する(日本は第一項の適用を受ける)

一、サ國と條約關係國に對しては一刻五分増率

一、其の他の諸國に對しては十乃至二十割を増率する

二十八日(木)

○目黒田電鐵、池上電鐵を合併

同社(資本金一千三百二十五萬圓)は本日の定時總會に於いて池上電鐵(資本金七百萬圓)を合併し三百八十五萬圓を増資、資本金を二千七百十萬圓となす件を可決した

○大阪商船正副社長の変更

同社は本日重役會を開き社長堀啓次郎辭任につき、後任に副社長村田省藏を、副社長後任に専務取締役太田丙子郎を昇任することに決定した

○關門海峡で衝突し順吉丸沈没

本日午後三時關門海峡で鹿兒島郵船貨物船順吉丸(備船一、六三六ト)と神戸甲斐汽船所有貨物船、大速丸(二、四七〇ト)と衝突し順吉丸は船首右側ハッチ附近に大龜裂を生じて沈没した。阪神方面の雜貨、洋紙材料等約千五百トンの貨物は沈んだが船長木場進以下二十五名は救助された

○奉天、北平間の直通列車問題解決

過去一年に亘る滿支兩國關係當局の折衝により奉天、北平兩線の直通列車問題は解決し七月一日より滿支國際列車は奉天、北平兩驛を發車することとなつた

○國際毛織物會議、邦品對抗策を決議

ローマに開催中の國際毛織物會議は日本品の競争問題を討議した後左の決議をなした  
日本品の競争は國際的社會的問題なるに鑑み關係國政府をして勞働者の生活程度及び工業狀態擁護のため適切なる處置を國際的に講ずるに至らしむる目的を以て資料の審議をなすべき特別委員會に任命すべきことを決議す

二十九日(金)

○農林省、内地貯蔵穀類解除に決定

農林省は米穀事情、地方事情を考慮し、七月一日以後貯蔵穀類解除の申請ありたるものに對し米價に影響を與へざる程度に於てこれを許可する旨發表した

○日本ベイント、日滿塗料を合併

同社(資本金五百萬圓)は臨時總會を開き日滿塗料會社(資本金百萬圓)を對等條件で合併し資本金六百萬圓となす件を可決した

○日本絹織、四百五十萬圓に減資

同社(資本金七百五十萬圓)は大阪工商ビルの臨時總會を開き、四百五十萬圓に減資する件を可決した

○日本産業子會社の當歸部役員決定

日本産業會社は合併決議をなした左記子會社四社を來る七月一日合併實施直後分離經營することとなり左の役員を選任した

日本捕鯨(資本金二百萬圓)の會長 鮎川義介、社長 原萬一郎、常務 桑田透一、今井直城、澁谷辰三郎

日本食料工業(資本金一千五百萬圓)の會長 鮎川義介、社長 伊吹震、専務 村山武士、三浦計、常務 加藤茂治、長崎茂

日産大阪鐵工所(資本金一千二百萬圓)の會長 鮎川義介、社長 原田六郎(専務常務 缺員)

豊洋漁業(資本金一千萬圓)の會長 鮎川義介、社長 田村敏三、専務 荻田静夫、常務 竹崎正丑

○小山法相、大藏省事件の内容を報告

黒田大藏次官收容に端を發した帝人問題に關する大藏省事件取調べ内容につき小山法相は首相、藏相に對し本日閣議前口頭を以て左の重大報告をなした

大藏省事件は證據關係から判斷して必らず有罪の決定を與へられる確信を有すること及び今後に於ける取調べの結果一部關係に對する犯罪の嫌疑は極めて濃厚である

三十日(土)

○東京市、財政整理で四百四十名淘汰

東京市は行財政整理のため人員費四十萬圓節約決議の結果、退職希望者を募ると同時に休職者の銜衡をなし本日四百四十名の淘汰を斷行即日發令した

○東京府農工銀行は下期貸付利率を左の如く

三厘乃至一分引下げを決定、七月一日より實施することとなつた

▽一般貸付市街地最低六分八厘、最高七分三厘(三厘下げ)▽公共貸付團體六分(一厘下げ)各種組合六分五厘(五厘下げ)

○民間航空事業の大整備原案成る

逓信省は明年度豫算に新規要求總額二百五十萬圓を計上して民間航空大整備に着手することとなり左記大綱を決定した

- 一、内臺連絡飛行 一週三往復、工費八百萬圓十ヶ年計畫
- 二、東京札幌間、毎日一回定期、工費五百

萬圓十ヶ年計畫

- 三、南洋及び北鮮連絡線
- 四、都市連絡の枝線、主要都市飛行場設置補助、名古屋着陸案等

○大同電力、大阪電力を合併

同社(資本金一億七千六百萬圓)は東京丸の内海上ビルに株主總會を開き五月一日假契約の大阪電力(資本金一千萬圓)を合併して一億八千六百萬圓に増資の件を可決した

○三菱商事、米國の石灰窒素賣引受

三菱商事肥料部は米國のアメリカン・シアンミック會社から石灰窒素五千トンの販賣を引受けた

○ヒトラー政權閣議議員統制さる

ナチス情報局ベルリン本部はヒトラー政權を顛覆せんとする陰謀を探知し突撃隊幹部七名を銃殺に處した旨發表した

○帝國製紙、三百萬圓に三倍増資

同社(資本金百萬圓)は資本金二百萬圓を増加し三百萬圓となつた(日不詳)

【七月】

一日(日)

○明治天皇御紀國重委員會の設置



宮内省は明治天皇御紀の普及版を編纂することに決定し本日公刊明治天皇御紀編纂委員會議程を公布した。湯淺宮相を會長とし委員及び特別委員を任命、別に顧問を置くと共に編纂長以下編纂員を置き七月以降三ヶ年の豫定で編纂することとなつた。

◇瀟支直通初列車に設置の爆弾破裂  
午前八時四十五分北平發奉天行の國際直通初列車が滿員の旅客を乗せて塘沽を發し午後一時十分茶淀驛西方五百メートルの地點に差しかつた際、最前方の三等車に設置してあつた爆弾が爆發し乗客の支那人三十九名の死傷者を出した。天津公安局は直に北平憲兵第三團に犯人の逮捕指令を發した。

二一日(月)

◇商工省、洋灰統制の方針決定  
商工省は洋灰統制問題に關し商相官邸に産業合理局顧問會議を開き審議の結果、一ヶ年間増産を中止し、現在建値一圓五錢(紙袋芝浦沖渡し)を一圓乃至一圓二錢に引下げをなす方針を決定した。

◇東部日亞輸出組合の創立  
對アルゼンチンの片貿易を調整し、兩國貿易の進展を計る目的で設立された同組合(名

古屋以東)の創立總會は本日横濱貿易協會に開かれ、定款その他を決定したが、同組合は綿布、絹布、人絹布、ボタン、陶磁器、玩具の各部門に分け輸出をなすこととなつた。

◇東拓、滿洲國內の貸付金利下  
同社は内地金融界低金利の情勢に鑑み本日より滿洲各地の不動産、産業組合、生産物擔保各貸付を左の如く五厘引下げ即日實施した。  
▽大連八分奉天、新京、八分三厘ハルビン、間島、九分青島、天津八分五厘  
◇九州送電一千五百萬圓に増資  
同社(資本金一千萬圓)は臨時總會を開き五百萬圓を増資し、一千五百萬圓となす件を可決した。

◇朝鮮ドレツヂ鑛業會社の創立  
同社(資本金三百五十萬圓)は創立總會を開き、左の役員を選任した。

▽社長 岩崎清七▽専務取締役 田島常三  
▽取締役 丹羽義次、富澤清明、伊藤吉之助、寒川恒貞、松本眞平▽監査役 川崎友之助、倉知鐵吉、成瀬正忠

◇南京政府、改訂輸入税則を公布  
南京政府は本日改訂輸入税則を公布した。品目は約四百品目に及びさきに實施した輸入

税率の引下げによる収入減年額三百五十萬元と新に引下げた部分の減收を補ふため棉花、建築材料、機械類、鐵等主としてアメリカ關係の輸入品引上げを行ひ約一千萬元の増徴を目的として改正したものである。

三一日(火)

◇青森内閣、大蔵省廳事件で總辭職  
總理大臣齋藤實は大蔵省の黒田次官等が帝人事件に關し收容されたため内閣の總辭職を決定し本日宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付られ閣下に辭表を捧呈した。

◇パタヴィアに日蘭專門委員會開催  
日蘭專門委員會は本日パタヴィア中央美術協會に開會、蘭印代表部提出の質問事項中調査完了したものにつき日本代表部から回答を與へた。

◇協定違反の乾製紙に限産強制  
製紙聯合會は加盟社の乾製紙會社が去る一月から三月迄の三月に割當てられた限産に違反して増産をなしたので、来る十一月現協定更改期迄に他社が増産する場合、同社に對しては違反數量だけの限産を強制せしむることに決定した。

◇大分洋灰の工場新設計畫  
同組合は製粉建値を市中三圓十錢、地方三圓十六錢と各三錢方引下げ本日から實施した。

大分セメント會社は本日セメント聯合會に對し左の如き工場の新設計畫を届出でた。  
▽工場所在地 岩手縣大船渡▽第一期工事 九年九月着工、月産一萬二千五百噸▽第二期工事 十年末着工、能力一萬三千五百噸

認を得ること  
二、日本より輸出する場合はアメリカン・シアナミック會社を通じてなすこと

同組合は製粉建値を市中三圓十錢、地方三圓十六錢と各三錢方引下げ本日から實施した。

◇岡田啓介大將に組閣の大命降下  
海軍大將岡田啓介は御召によつて宮中に參内し、天皇陛下に拜謁仰付けられ組閣の大命を拜授して組閣の準備に着手した。

◇日本對米穀物輸出組合の設立認可  
商工省は神戸の日本對米穀物輸出組合の設立を認可した。同組合は綿製穀物の對北米輸出貿易の統制を圖るを目的とするものである。

◇石原産葉、三重縣の銅山を買収  
同社は三重縣南牟婁郡上川(三和鐵山)入鹿(紀州鐵山)、兩村に跨る銅山五百萬坪を買収した旨發表した。なほ試堀中のソロ鐵山(ジヤワ)は時局柄爲替の採算不明のため消極的方針をとり、紀州銅山を積極的に採掘することとなつた。

◇遺林用種子拂下規則の公布  
同規則は本日農林省令を以つて公布され即日施行された。

◇英獨爲替會商、期間六ヶ月の協定成立  
ドイツ外債モラトリアム聲明に對するイギリス政府の清算局設置及び報復輸入制限案は二十七日イギリス財務省で開始された英獨交渉の結果、本日左の協定成立した。

◇桑港の仲仕罷業暴動化  
大平洋岸埠頭仲仕の罷業は悪化し産業協會側がトラックと貨車を以て桑港のエムパークの三十番埠頭から貨物を運び出す際罷業仲仕と同情者二千名が襲來し、貨車二臺に放火しトラックを破壊、警戒中の警官隊と亂闘を演じ發砲するに至り死者三名銃傷を受けた者二十一その他數十名の重傷者を出した。

◇四分利公債二百六萬餘圓發行  
政府は四分利公債二百六萬六千八百五十圓を五年据置後三十年内償還の條件で發行した。

◇ドイツ側は向ふ六ヶ月の間イギリスの債權所有者に對し長期及び中期のドーゾ、ヤング兩公債の利子を英貨で支拂ふこと、一方イギリス側はこの期間清算局設置及び報復輸入制限を實施せぬこと

◇滿洲國の作習飼育場設置計畫  
同國實業部は國營を以て安東、鳳凰城兩縣に柞蠶飼育場を設置する計畫を樹て兩縣に對し柞蠶林の選定を命じた。

◇三井の輸入石灰窒素販賣方法決定  
アメリカン・シアナミック會社から三菱肥料部を通じて輸入された石灰窒素五千噸の販賣方法について石灰窒素共販組合との間に左の如き協約が成立、共販組合の内地販賣權を握る三井物産肥料部の手を通じて販賣されることに決定した。

◇東京小麥粉販賣組合、製粉建値引下  
同組合は製粉建値を市中三圓十錢、地方三圓十六錢と各三錢方引下げ本日から實施した。

◇滿鐵、傍業會社の投資を承認  
同組合は製粉建値を市中三圓十錢、地方三圓十六錢と各三錢方引下げ本日から實施した。

◇三井の輸入石灰窒素販賣方法決定  
アメリカン・シアナミック會社から三菱肥料部を通じて輸入された石灰窒素五千噸の販賣方法について石灰窒素共販組合との間に左の如き協約が成立、共販組合の内地販賣權を握る三井物産肥料部の手を通じて販賣されることに決定した。

◇東京小麥粉販賣組合、製粉建値引下  
同組合は製粉建値を市中三圓十錢、地方三圓十六錢と各三錢方引下げ本日から實施した。

◇滿鐵、傍業會社の投資を承認  
同組合は製粉建値を市中三圓十錢、地方三圓十六錢と各三錢方引下げ本日から實施した。

◇三井の輸入石灰窒素販賣方法決定  
アメリカン・シアナミック會社から三菱肥料部を通じて輸入された石灰窒素五千噸の販賣方法について石灰窒素共販組合との間に左の如き協約が成立、共販組合の内地販賣權を握る三井物産肥料部の手を通じて販賣されることに決定した。

◇東京小麥粉販賣組合、製粉建値引下  
同組合は製粉建値を市中三圓十錢、地方三圓十六錢と各三錢方引下げ本日から實施した。

◇滿鐵、傍業會社の投資を承認  
同組合は製粉建値を市中三圓十錢、地方三圓十六錢と各三錢方引下げ本日から實施した。

◇三井の輸入石灰窒素販賣方法決定  
アメリカン・シアナミック會社から三菱肥料部を通じて輸入された石灰窒素五千噸の販賣方法について石灰窒素共販組合との間に左の如き協約が成立、共販組合の内地販賣權を握る三井物産肥料部の手を通じて販賣されることに決定した。

◇東京小麥粉販賣組合、製粉建値引下  
同組合は製粉建値を市中三圓十錢、地方三圓十六錢と各三錢方引下げ本日から實施した。

◇滿鐵、傍業會社の投資を承認  
同組合は製粉建値を市中三圓十錢、地方三圓十六錢と各三錢方引下げ本日から實施した。

◇三井の輸入石灰窒素販賣方法決定  
アメリカン・シアナミック會社から三菱肥料部を通じて輸入された石灰窒素五千噸の販賣方法について石灰窒素共販組合との間に左の如き協約が成立、共販組合の内地販賣權を握る三井物産肥料部の手を通じて販賣されることに決定した。

◇東京小麥粉販賣組合、製粉建値引下  
同組合は製粉建値を市中三圓十錢、地方三圓十六錢と各三錢方引下げ本日から實施した。

◇滿鐵、傍業會社の投資を承認  
同組合は製粉建値を市中三圓十錢、地方三圓十六錢と各三錢方引下げ本日から實施した。



満鐵はさきに假調印を了した傍系會社東亞土木企業會社とフランスのプロザルモパン會社とが資本金十萬圓の日佛シンヂケートを組織する件を承認した

◇日本産業、日本炭礦を創立に決定  
同社(資本金七千五百萬圓)は本日臨時總會を開き、三好礦業(資本金二百萬圓)及大倉炭坑(資本金四百六十萬圓)を買収、更にこれを分離して日本炭礦會社(資本金六百萬圓)を創立する件を可決した

八日(日)

◇岡田内閣閣任式を舉行  
岡田新内閣は左の閣僚を決定、本日宮中において親任式を舉行せられた

|             |       |
|-------------|-------|
| 内閣總理大臣兼拓務大臣 | 岡田 啓介 |
| 内務大臣        | 後藤 文夫 |
| 大藏大臣        | 藤井 眞信 |
| 司法大臣        | 小原 直  |
| 文部大臣        | 松田 源治 |
| 農林大臣        | 山崎達之輔 |
| 商工大臣        | 町田 忠治 |
| 逓信大臣        | 床次竹二郎 |
| 鐵道大臣        | 内田 信也 |
| 外務大臣(留任)    | 廣田 弘毅 |

陸軍大臣(留任) 林 銑十郎  
海軍大臣(留任) 大角 岑生

◇總工務、綿織生産を二萬五反に決定  
綿工務は本日評議員會を開き九月分縮小生産割當を輸出十五萬反、内地間二萬反と決定した。前月に比し何れも一萬反の減少である

◇綿紡工業會、綿紡絲短縮量に決定  
同會は九月一日以降十一月三十日までの非常時採短率を現行率賣糸一刻五分、織布原糸一刻二分に据置くことに決定した

十日(火)

◇岡田内閣、十年度豫算編成方針を決定  
岡田新内閣最初の定例閣議は本日首相官邸に開會、岡田首相以下各閣僚出席、昭和十年度豫算編成方針につき藤井藏相から説明し、その方針を決定したが大體に於て高橋前藏相が提案し内閣の承認を得たものを踏襲することとなつた

◇基礎公債二十萬圓買入銷却  
政府は本日六分利付英貨公債二十萬圓を邦貨百六十五萬九千三百三圓二錢九厘(純分計算)を以て買入銷却した旨發表した

◇日滿支鐵道の連絡交渉開始  
奉天、北京の直通列車實施に伴ひ日本内地と北支那間の郵便連絡時間は著しく短縮されたのに鑑み我鐵道省は更に日滿支間の鐵道運輸連絡を計畫、南京政府鐵道部に對し交渉を開始した

◇日本商工會議所の營業更生對策決議  
同會議所は生糸對策委員會を開き、蠶糸業根本對策を協議した結果、蠶取引、製糸等は商工省移管等八項目にわたる決議を決定した

九月分の染色割當四十五萬五反と決定

◇九月分の染色割當四十五萬五反と決定  
日本輸出綿織物工業組合聯合會は東京日本橋事務所加工綿布の染色統制協議會を開き九月分の加工數量割當に關し協議の結果、海外情勢に鑑み加工料金低下旁捺染物百七十萬反(前月に比し三十萬反減)、無地物百四十五萬反(前月に比し十五萬反減)に決定した

十一日(水)

◇行政院長汪兆銘、鐵道短縮を發表提出  
汪派の中堅である鐵道部長顧孟餘が正太鐵道問題に關し、對佛借款に絡み不正ありと監察院から彈劾されたため汪兆銘は責任をとり中央政治會議に行政院長の辭表を提出した

十一日(木)

◇日印通商條約の調印

同通商條約は本日午後イギリス外務省において帝國大使松平恒雄と外相サイモン、インド事務相ボアとの間に正式調印を了した

◇東京市債四千四百二十四萬圓發行

認可申請中であつた東京市債は條件の決定を見たので、幹事銀行である興銀は下引受銀行を据置して左の條件を發表した

▽總額 四千四百二十四萬四千圓(イ)第二回電氣事業公債は號三百八十三萬六千五百圓(ロ)第三回電氣事業公債と號四千四百七十五萬圓▽利率 年四分三厘半▽償還 昭和十年度以降別に定める年次表により(イ)第二回電氣事業公債は號は昭和二十八年十月十五日までに(ロ)第三回電氣事業公債と號は昭和三十一年十月十五日までにそれぞれ抽籤を以て全額償還

◇東洋向硬貨タイルの價格統制決定

大日本陶磁器輸出組合は理事會を開き、東洋向硬貨タイルの價格統制を決定した

◇北陸地方の水害、庄川沿邊に軍隊出動

北陸地方に十一日襲來した豪雨のため各河川増水し富山縣庄川沿岸、大門町、中田町の被害甚だしく、富山縣隊から四百名の軍隊が

出動して救助を開始した。新潟縣下は佐梨川羽根、加治川、姫川、石川縣は手取川、犀川、淺野川等氾濫し溺死者と浸水家屋を出したので内務省は本日社會局、衛生局、警保局から事務官及び技師を實情調査のため派遣した。被害の概況は左の通りである

▽石川縣 溺死者百九十名、二百名、罹災者二萬二千名、損害一十萬圓▽富山縣 罹災範圍一市四町二十五ヶ村、浸水家屋九千九百、死者七十七、行方不明一七、損害一十萬圓▽新潟縣 浸水家屋一萬五千戸以上▽長野縣 耕地、橋梁、道路の流失等損害七千萬圓

◇北九州水飢饉で八幡製鐵所各工場休止

夫曾有の湯水地獄に見舞はれた八幡製鐵所は海水を使用して各工場の操業を持続してゐたが、海水の使用は機械を損傷し労働能率を著しく低下し作業を続けることは由々しい社會問題ともなるので修繕の必要ある工場を休止し主要工場及び海水使用を除く工場も作業を休止することになつた

◇桑港に掃蕩運動

太平洋沿岸の波止場人夫争議に軍隊が出動して彈壓したため桑港各労働組合は激昂し同

市運送組合の自動車運轉手三千八百名は同情罷業に入り市内電車も運轉を中止する旨發表した、組合員四萬五千を擁する百四十の労働組合の聯合會は十三日緊急大會を開いて總罷業政行の決定をすることとなつた

十二日(金)

◇大藏省、前藏相の銀行政策論議に決定  
大藏省首脳部會議は銀行政策に關し、前藏相高橋是清の左の政策を踏襲することに決定した

一、地方銀行を督勵して金融の潤滑を期し他面大銀行の地方的進出を控へさせること  
一、無盡の検査を勵行し地方官憲と協力して頼母子講を指導すること

◇木炭金融施設資金二百萬圓貸出に決定

農業倉庫法改正によつて木炭が新しく金融の擔保物件とすることになつたので農林省山林局は、木炭金融の施設を講ずるため産業組合中央金庫に對し資金二百萬圓の貸出方を交渉してゐたが、本日兩者の間に諒解が成立し貸出に決定した

◇東東館従業員同盟罷業

東京深川の同館は去る十一日従業員に對し盆興行後の休業を言渡したので、吉田壽他十



一名が休業せぬ様備主石井勇吉に嘆願したが容れられぬため関東映畫演劇従業員組合の應援を得て同盟罷業を執行した

十四日(土)

五相會議、前内閣の申合せを審議

岡田首相、廣田外相、林陸相、大角海相、藤井藏相の五相會議は首相官邸において開催され齋藤前内閣の五相會議の左の申合せに關し審議し検討をなしたが決定に至らず、二十四日第二回五相會議を開き之を確認して一先づ打切ることとなつた

一、國際關係は世界平和を念とし、外交手段によつて我方針の貫徹を計ること

二、國防に關しては他國よりの脅威をうけず外侮を蒙ることなきを期するとともに我國力に調和せしむるに留意すること

若槻民政黨總裁、岡田内閣援助を表明

民政黨の午餐會に於て總裁若槻禮次郎は民政黨の本領と主張とに大きな懸隔を生ぜしめない限り、立憲政治擁護のため岡田内閣を援助すべきであると演説した

四分利公債二億圓發行

政府は昭和九年新規公債第一回發行分として四分利公債(ほ號)額面二億圓を日本銀行

引受のもとに左の條件で發行した

發行價格 九十八圓五十錢▽償還期限 昭和三十五年二月一日迄▽利廻歩合 復利四分〇九、單利四分一

帝國農會、米穀取引所移管を管申

帝國農會は商工省から諮問を受けた現行米穀取引所制度改善に關し、米穀取引所は農林大臣の所管に移すこと等四ヶ條にわたる管申をなした

伊丹製絨所七百萬圓に増資

同社(資本金三百萬圓)は定時總會を開き資本金四百萬圓を増加し七百萬圓となす件を可決した

鳩山前支那召喚さる

前支那相鳩山一郎は大藏省疑獄事件に關聯する帝人事件の参考人として任意出頭の形式で東京地方裁判所検事局に召喚された

十五日(日)

大島・下田間の海底電話開通

東京府大島元村と伊豆下田間の海底電信線に特殊装置を施して作成した電話は本日から開通した。通話料金は左の如し

▽東京六〇錢▽下田、伊東、熱海、沼津、三島各二十五錢▽静岡四〇錢▽濱松、清水

五〇錢▽横濱五五錢

十六日(月)

肥料資金一千萬圓の割當決定

農林省肥料低利資金一千萬圓に對する貸付要綱手續及び府縣割當額を決定し地方府縣に對し通牒を發した

滿洲煙草會社の創立認可さる

同國の煙草專賣制度の前提として煙草製造會社を設置するため大倉組頭取野重九郎昭和石炭專務古田慶三等が計畫し認可申請中のところ本日滿洲國政府は滿洲煙草股份有限公司(資本金五百萬圓)並にその投資會社として滿洲煙草會社(資本金一千二百萬圓)の創立を認可した

桑港労働者の罷業擴大

アメリカ太平洋洋岸埠頭人夫待遇改善要求の爭議に端を發し各労働者に波及し、罷業は本日開始された。罷業人員六萬五千、既に罷業中の四萬一千八百を合し十萬六千八百名に達した。翌十七日桑港の練罷業指導委員會本部は全國労働關係當局の調停案に對し應諾する旨を表明し更に十九日各組合員討議の結果、一九一對一七四で罷業中止案が通過した

十七日(火)

外務省、軍備縮減交渉休止を聲明

外務省はロンドンに於ける海軍々縮減備交渉を十月まで休止の聲明を日英米三國共同で發表した

朝鮮石油の買賣協定成立

内地の七社販賣協定に伴ひ本月初旬の京城において石油の協定が成立した。協定値段は京城標準物、一ガロンに付ポンプ賣四十四錢(四錢引上)露油は一錢方安値で販賣することとなり、他の都市は京城値段に準じて引上げられることとなつた

麻真田、一ヶ月間操業を休止

全國輸出麻真田工業組合は横濱神奈川會館で臨時總會を開き、全国的に八月十日から九月十日まで一ヶ月間操業を休止することに決定した。之はアメリカの麻真田製造業者が、日本製品の進出に壓倒され全國三十六工場が休業の止むなきにいたつたので、政府に對し日本製品に高關稅を課するか或は數量の制限斷行を要望、もし容れぬ場合は永久に工場を閉鎖するといふ強硬態度に出でたためである

十八日(水)

日滿小爲替規則の公布

同規則は本日逓信省令を以て公布され八月

昭和九年七月

一日より施行された

櫻夢酒二百六十四萬圓に減資

同社(資本金四百萬圓)は臨時總會を開き資本金を百二十萬圓に減じ、更に二百六十四萬六千六百五十圓に増資する件を可決した

滿洲國新公債一千萬圓の契約成立

滿洲國新公債一千萬圓は本日日本銀行團との間に左の條件を以て引受契約が成立した

▽利率 年四分▽發行價格 九十八圓▽償還期限 十三ヶ年

晒粉生産率、五割二分に決定

晒粉共販組合は本日本阪の甲子園で月例會を開き、八月物を協議の結果、五割二分の生産制限をなすことに決定した

洋紙聯合會、五百ポンドの限産緩和

同聯合會は東京上野精養軒に商議員會を開き、八月分の生産を五百ポンド緩和することに決定した

二十日(金)

國民健康保險制度の原案決定

内務省社會局は庶民階級全般を對象として國民健康保險制度を樹立することに決し、保險部において草案要綱を立案中であつたが完

成したので發表した

兵庫・徳島滿蒙輸出組合の設立認可

商工省は左記兩組合の設立を認可した

▽兵庫縣滿蒙輸出組合▽徳島滿蒙輸出組合

二十一日(土)

中島前商相、帝人事件で強制收容

大藏省疑獄事件に絡まる帝人事件につき收賄嫌疑で東京地方裁判所検事局に去る五日召喚された前商相中島久萬吉は本日市ヶ谷刑務所に強制收容された

二十一日(日)

外務省、日印通商條約及び確定書發表

外務省は、ロンドンに於て調印された日印通商條約並に附屬議定書を發表した。同條約は一九三三年十二月三十一日後における回對ルーパーの爲替比較變動の影響を是正するため兩國が他國品と異なる特別關稅を課する等を規定したものである

二十三日(月)

廣田外相、北鐵廢案を露國に提示

廣田外相はソ聯邦のユレニエフ駐日大使を外務省に招き、北鐵交渉の滿洲國側新提案を提示、妥協を勸説した

東商、不正競争防止委員會を設立



東京商工會議所は不正競争防止委員会を設立することに決定し委員長鹿島精一外十名の委員を選出した

○東京の労働組合、職統統一を提唱

全労統一會議、江東従業東京の純労働者組合二十組及び總評議會は本日労働組合職統統一に關する共同提唱を發表した

○静岡縣農民五百名水飢饉から騒擾

静岡縣田方郡、南村六部落農民五百餘名は鐵、鋤、棍棒等を携へ同村上澤部落を襲ひ同部落組合上水道引入口第一第二タンク並に水道線の各所を破壊し二隊に分れ一隊は水道組合長、村議山本貫一方を包圍、一隊は大竹區長村議飲塚六郎方に押し寄せ共に家財道具を破壊するなど暴行を働いたので急報により三島署は大仁、吉原兩署警官等百數十名の應援を求め解散を命じたが、農民は應ぜず、大

衝突を演じ警官隊に數名の負傷者を出し二百八十五名を檢舉三島署に留置した。騒擾の原因は丹那トンネルの掘進で漏水し飲料水に窮したほ早敷線まで下流の稻は枯死状態となり分水問題が起り上澤部落は數百年來の既得権を主張して大竹部落の要求を拒絶したためである

二十四日(火)

○日支大連會商、未解決問題討論

岡村閣東軍參謀副長等日本代表と支那側股同代表との日支大連會商は本日を以て終了した。同會談に於て塘沽停戰協定に基く未解決の問題を解決する方針を討議し左の二件に關し關東軍代表は強硬の主張をなした

一、上海事變等を含む日支兩國の損害並に第三者の損害を處理すること  
二、國民政府が滿洲國を承認すること

○對英電球輸出組合の設立認可

英國電球輸入組合の希望により商工省斡旋の下に設立した對英電球輸出組合は本日設立を認可された

○損害保險三社合併、新會社設立の認可

京都火災(資本金五百萬圓)共濟火災(資本金百四十萬圓)及び日本自動車保險(資本

金二百萬圓)の三社は商工省當局の斡旋で京都八割六分、共濟一割、自動車四分と言ふ持株比例で資本金四百萬圓の新會社を創立することに成り本日假調印を了した

○日本鹽業三百萬圓に増資

同社(資本金百五十萬圓、日本理化學工業の前身)は倍額増資を行ひ三百萬圓となつた

○關印政府、洋灰輸入制限六ヶ月延長

同國政府は來る二十七日を以て施行期間の滿了するセメント輸入制限令を更に六ヶ月間延長することに決定した

二十五日(水)

○岡田首相、官紀振奮を嚴達

岡田首相は閣内の使命に鑑み十大政綱中の第一次に掲げた官紀の振奮を徹底させるため一般官吏に對し訓示を發し各關係に通過すると同時に本日の官報を以て岡田首相の名で全國官吏に嚴達した

○大藏省證券六千萬圓借替發行

本日支拂期日の專賣局分大藏省證券一億一千萬圓の内五千萬圓は現金償還し殘額六千萬圓を左の條件で借替發行した

▽割引歩合 日歩七厘四分の一マ支拂期日 昭和九年九月十日マ發行方法 日本銀行引

受

○東濱電力、小武川電力を合併

同社(資本金二千二百十五萬圓)は株主總會の決議に基き小武川電力(資本金二百萬圓)を合併して百六十萬圓を増資し資本金を二千三百七十五萬圓とした

○兩羽銀行、橋岡銀行を合併

山形縣の兩羽銀行(資本金三百八十七萬圓)及び橋岡銀行(資本金百萬圓)は株主總會を開き、橋岡銀行を兩羽銀行に合併の件を可決した

○鞍山鋼材會社の創立

同社(資本金五百萬圓)は鞍山において創立總會を開き左の役員を選任した  
社長 五十嵐小太郎マ常務取締役 岡健夫マ取締役 栗本勇之助、白石元治郎、久保田權四郎、白川一雄、渡邊新、梅津忠良、高田徳太郎マ監査役 田中榮八郎、岩田米次郎、津田勝五郎

○東京市の勞働値下に關し勞働者陳情

東京市は市勞働職業紹介所十三ヶ所の登録労働者二萬名に對し、内務省の補助額減額に伴ひ、六分五厘方値下げを發表したので、労働者代表三十餘名は二萬名署名調印の左記要

求書を牛塚市長に提出した

(一)勞働値下げの中止(二)失業救済事業の増加(三)昭和九年度事業に速かに着手されたい(四)市の事業には請負者を干與させぬこと

○關印政府、本邦陶磁器の輸入を制限

關印政府は日印會商が委員會構成問題を中心として兩國政府間の交渉に移されつゝある折柄、左の如き我が陶磁器の輸入制限令を發布し即日實施した。我が代表部は翌二十六日ランネット關印首席代表に抗議書を手交した  
一、陶器の内皿類、コーヒー碗、手鉢、洗鉢および茶瓶五萬三千ダース以上の輸入を禁ず

○獨逸首相ナチス暴徒のため暗殺される

獨逸首相ドルフスは他の閣僚と共にナチス暴徒のため監禁されてゐたが、政府軍のために包圍攻撃されたナチス暴徒は同首相を暗殺した

二十六日(木)

○日本炭礦會社の創立

同社(資本金六百萬圓、日産化學工業の前身)は創立總會を開き、左の役員を選任した  
代表取締役 島本徳三郎マ取締役 鮎川

義介、保田宗治郎、後藤清一、梶本吾市、興和友兼、山本平八、山縣吾一、中尾謙次郎マ監査役 山田敬亮、下河邊健二、佐藤一

○川百の高製博司、帯人事件で收容

大藏省疑獄事件に絡まる帯人事件の贈賄役擔當の疑ひで、川崎第百銀行常任監査役高梨博司は東京地方裁判所檢事局に召喚され餅原檢事から嚴重な取調べを受け市ヶ谷刑務所に收容された

二十七日(金)

○日土貿易組合の輸出統制

日土貿易組合は、日土求償協定につき協議の結果、輸出品の統制のため原産地標記は大坂商工會議所が、輸出證明は日土貿易組合が發行することに決定した

二十八日(土)

○日滿電話通話規則の公布

同規則は本日逡信省令を以て公布され、八月二日より施行された

○中央黨部、臨時議會召集を陳情

同會は評議員會を開き、養蠶業危局対策を協議の結果、政府に對し臨時議會の召集を陳情した



◇**龍水電、帝國電力と改稱・増資**  
 同社(資本金一千三百五十萬圓)は臨時總會を開き、二千八百萬圓に増資する件並に帝國電力會社と改稱する件を可決した

◇**池貝鐵工社長池貝庄太郎死去**

池貝鐵工所社長池貝庄太郎は腦溢血で臥床中、肺炎を併發し東京芝罘三田四國町の自邸で死去、享年六十六。千葉縣に生れ明治十八年芝罘製所に入り二十三年池貝鐵工場を興し明治三十九年池貝鐵工所と改組し社長に就任した。工作機械、内燃機關高級輪轉機等の製作を以て成功した

三十日(月)

◇**養蠶應急資金、大蔵省の査定成る**

養蠶應急資金につき、大蔵省主計局は乾満共同保管獎勵金の増額及び桑園整理改植補助金に關し第二豫備金から約百五十萬圓を支出し、外に共同保管金の殘額四十五萬圓を加へて二百萬圓を應急費に當てることに査定しその旨農林省に通告した

◇**日鐵の新擴張計畫決定**

同社は東京丸之内の郵船ビルに於て重役會を開き、第三期計畫の外に左の燒結爐建設を可決した

一、硫化鐵滓處理のための燒結爐一基(十三萬トン)を八十五萬圓の豫算を以て戸畑に建設  
 一、輪西及び釜石に粉鐵處理のため十三萬トンの燒結爐各一臺を建設

◇**鐵興社、百五十萬圓に三倍増資**

同社(資本金五十萬圓)は臨時總會の決議により百萬圓を増資し總資本金を百五十萬圓となした

三十一日(火)

◇**東邦炭礦、石炭鑛業聯合會に加盟**

石炭鑛業聯合會は理事會を開き、東邦炭礦の同會加盟を可決した

【八月】

一日(水)

◇**米實公債三百九十餘萬圓買入納却**

政府は六分半利付米實公債額面二百十六萬一千四百ドルを買入代金三百九十六萬三千六百五十九圓十六錢九厘を以て買入納却した

◇**生絲關係銀行、生絲擔保價格引下**

橫濱生絲關係銀行は、生絲價格の低落に鑑み銀行集會所に於て協議の結果、從來の生絲擔保價格一俵四圓を三圓七十錢に引下げ二日

から實施することに決定した

◇**日本絹織對米輸出組合の設立認可**

商工省は本日同組合の設立を認可した

◇**關印向陶磁器の船積停止を決議**

關印政府の陶磁器輸入制限令に對し、大日本陶磁器輸出組合聯合會は報復手段として、來る三日午後五時以後日本各港から關印向陶磁器の積出しを絕對禁止する旨決議し國內當業者に通達した。この報により關印陶磁器の市價は一分五厘の急騰を出現、關商などは五割の騰貴とノミナル相場が傳へられるに至つた

◇**平和無盡の營業免許取消**

大蔵省は無盡業法の規定により平和無盡會社(東京市下谷區入谷町)の營業免許を取消した

二日(木)

◇**東京市、六百六十七萬五千圓の起債申請**

東京市は本日から失業登錄労働者の賃銀を總體的に六分五厘の引下げを行ひこの賃銀低減の埋合せのため失業應急事業として、道路、池、河川、橋梁、上下水道の各工事を計畫し、六百六十七萬五千圓の追加起債認可を内務省に申請した

◇**澤和田人絹會社の創立**

同社(資本金八百萬圓、昭和十三年九月大日本紡に合併)は大阪東區三和ビルに創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役 寺田甚吉(社長)、山田宗三郎(専務)、寺田道彦(常務)、寺田元之助、寺田榮吉、豊田喜一郎、河野豪雄▽監査役 寺田吉之助、金納源十郎、小田利三郎

◇**ヒトラー首相、大統領を兼務**

ヒンデンブルグ大統領の死去に伴ひドイツ政府は緊急閣議を開き大統領の後任問題につき善後措置を協議の結果、聯邦首相と大統領の職能を合併する法律案を可決し、ヒトラー首相が直ちに大統領を兼務することになった

◇**濠洲政府、綿製品の關稅引上**

濠洲政府は左の如く改正關稅を實施した

- 一、一般綿製品關稅は現行率に從價一割五分を加ふ
- 一、綿ツキードデニム等の製品に用ふる綿糸に對しては現行率の上に從價五割を加ふ
- 一、綿製品中デニム及ドリルは現行率に從價四割五分を加ふ

一、未晒綿布には現行率に從價四割を加ふ  
 一、紐類(主として長靴紐)は現行率に從

價五割五分を加ふ

◇**關印、陶磁器制限令への我抗議を反駁**

關印代表部は日本代表部の抗議に對し今回の陶磁器制限令は新しい事態ではなく今日までの事態を確保したものに過ぎず日本側の要求による撤回延期は關印の事情からして不可能であるとの回答をなした

◇**獨逸大統領ヒンデンブルグ死去**

獨逸大統領パウエル・フォン・ヒンデンブルグ元帥は宿病の膀胱結石に攝護腺炎を併發しノイデックの別荘で死去した。享年八十八。壯年時代普墾、普佛の兩戰爭において殊勳をたて歐洲大戦勃發するや祖國の武運を一身に擔つて善戦し一九二五年七十八歳の老齡を以て戦後經營の難局に當つた。國葬は七日プロシアのタンネンベルグにおいて執行された

三一日(金)

◇**農林省、夏秋蠶の生産調節を通過**

農林省は生糸需給の均衡を保ち繭糸價の低落を防止するため夏秋蠶の生産を調節せしむるよう各地方長官に通牒を發した

◇**滿洲林檎の輸入禁止**

滿洲林檎に蝨心食蟲が蔓延し内地に傳染する虞れあるため政府は輸入を禁止することに

決定、本日の官報で右に關する農林省令を公布即日實施した

◇**夏秋蠶應急對策費三百四十五萬圓支出**

夏秋蠶應急對策費は本日の閣議で左の如く決定した

一、夏秋蠶共同保管助成金百二十萬圓

二、主要養蠶地方桑園整理助成施設費七十五萬圓

三、桑園混作獎勵施設費百五十萬圓

◇**産糧中央金庫、農村工業創設に融資**

農林省と産糧組合中央金庫との間に、將來預金部資金を以て肩替りをなす條件の下に農村工業創設のため中央金庫餘裕金二千萬圓の地方融資をなす諒解が成立した

◇**臺灣銀行の貸出利率引下**

同行は島内貸出し金利率を一厘乃至三厘引下げ本日から左の如く實施した

▽移出荷爲替一錢六厘―一錢八厘▽有價證券擔保 一錢五厘―一錢八厘▽地方公共團體一錢六厘以上、農會一錢五厘▽當座貸越二錢以上

◇**關印向陶磁器積止に邦船四社参加**

日本陶磁器輸出組合聯合會は本日から對關印積止めを決定したが、輸出組合から積止め



援助を要望されたジャワ同盟の邦船側船主(石原産業、大阪商船、南洋郵船、日本郵船)は協議の結果、國策に準じて共同戦線を張ることに決定した。このため日本商人の抜本的輸出は勿論、蘭印商人の陶磁器の積出しも不可能となつた

四日(土)

岡田首相は記者團との会見に於て、増税問題に言及し、昭和十年度から増税をするやうな意志はないと表明した

新義州に滿洲國領事館新設

滿洲國政府から申請中であつた新義州領事館の新設並に駐日公使館の商務参事官、公使館主事設置の件は我政府でこれを承認する旨本日滿洲國に通達した

大蔵省、東京市の新税許可

大蔵省は省議を開き、東京市から認可申請中の昭和九年度の臨時税、儲人税、クラブ税特別法人所得税、所得税及び營業収益税の増徴の件に就き審議の結果、市の財政建直しを條件として許可することに決定し十八日發令した

政府米百萬石の拂下決定

第五回米穀統制委員會は農林省提出の左記諮問を可決した

一、米穀統制法第四條の規定により、季節的調節のため差當り内地及び朝鮮を通じ百萬石以内につき入札の形式により賣却を行うこと

一、殘餘の數量の處分に關しては今後の米穀事情に應じ當局に於て適當にこれを決定すること

綿業三團體、關印に對し強硬決議

紡績聯合會及び輸出綿糸布同業會の日蘭會商聯合特別委員會は大阪綿業會館で開かれ、日本綿織物工業組合聯合會を加へた三團體の名に於て、陶磁器輸入制限令に關し關印政府が反省することなく事態を悪化させる様な舉に出た場合は、織物當業者は堅い結束の下に必要な手段を講ずる覺悟であるとの決議をなした

石灰壘業の販賣方針決定

石灰壘業共販組合は東京京橋味の素ビルに理事會を開き、八月以降の新年度に於ける販賣數量を一萬トン増加とし、賣出し方法は從來の方針を捨て、柔軟性を持たせることに決定した

神戸農具田輸出組合の設立

同組合は商工省から設立を認可されたので本日創立總會を開いた

唐津商工會議所の設立

同會議所は商工省から設立を認可され、本日から開設した

松竹、常盤興業、邦樂産を合併

同社(資本金一千五百萬圓)は去る三月の總會決議に基き常盤興業(資本金百五十萬圓)及び邦樂産(資本金八十萬圓)を合併、本日本手續を完了した。その結果總資本金一千六百七十八萬二千七百五十圓となつた

帝國ニュー・ヒューム製糖會社の創立

同社(資本金三百萬圓四分の一拂込)は東京丸の内生保協會で創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役社長 岩崎清七▽取締役 津下紋太郎、赤司初太郎、河西豊太郎、大澤徳太郎、川崎友之助、後宮信太郎▽監査役 太田徳七、松本九八郎、青木百行

昭和和人絹會社の創立

同社(資本金五百萬圓)は東京京橋味の素ビルに創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役 高橋保、森輝、伊藤英夫、吉田

勇三マ監査役 石井太吉

英國、國匪賠償金の對支投資を決定

イギリス國匪賠償金委員會理事會は左の對支投資案を可決した

▽山東鐵道費 四十八萬四千二百五十元▽首都電話擴張費 四十萬元▽廣東省政府建設廳の紡績機械購入費 英貨十三萬七千ポンド▽粵漢鐵道延長線敷設工費 英貨二十萬ポンド

五日(日)

關印經濟長ウエレンスタイン死去

日蘭會商關印側代表の一員として本國で日蘭交渉の顧問となりコライン首相を輔けてゐた同氏は病氣のため本日死去した

六日(月)

谷参事官、在滿機關改組を外相に進言

谷駐滿大使館参事官は外務省に於て廣田外相重光次官等外務首脳部と會見、對滿國策の統一と遂行に關し進言し、在滿政治機構の改革に關しては外務首脳部と意見交換の結果、左の如く意見の一致を見た

一、現在の三位一體制は過渡的機構として設置されたものであるから滿洲國の新事態に應ずるため速にこれを恒久的行政組織に

改編するの要あること

一、右改編に際しては、滿洲國の獨立國たるの性質に鑑み合理妥當なる方法によつてこれを行ふこと

在滿機關改組の陸軍省提案

陸軍省は在滿機關改組に關する原案を作成外務、拓務兩省に送付したが具體案の大綱は左の三大原則からなるものである

一、滿洲國獨立の面目を十分に尊重し獨立國として助成すること

二、日滿特殊關係(不可分關係)の具體化(日滿議定書)(イ)共同防衛の確立(軍司令官の立場)(ロ)特殊任務負擔の外交機關の制定(ハ)經濟會議(日滿共同機關)の創設

三、對滿政策に關し一省一部の干渉を排除(中央機構の整備絕對必要)し飽くまで國策の見地により決行すること

熊本縣の農民、早稲の陳情に應じ(續)

熊本縣飽託郡藤富村外三ヶ村の肥後米産地の農民六百名は早稲のため上流の水が下流に流れぬため陳情隊を組織し大塚熊本縣廳に殺到したので川尻署及び熊本警察部は總動員し喚びとめやうとして小競合を演じ、四名の負傷者を出し、首領者は川尻署に檢束されたが

内三十名は知事室に入り、内務部長と知事に會見し實情を訴へた

七日(火)

近衛文相、政府に意見書を提出

米國から歸朝した近衛文相公は、滯米中米國朝野の名士と會見し日米兩國間に横たはる諸問題に關し隔意なき意見の交換を遂げたがその結果に基き左の八項目より成る意見書を作成し岡田首相初め各閣僚、貴族院議員、縁故者等に配布した

(一)日本移民問題(二)日本經濟問題(三)滿洲國問題(四)對支問題(五)海軍々縮問題

(六)太平洋平和機構に付日米單獨協定問題(七)日本の政治的動向問題(八)トン問題

生保協會、弱體保險要綱を決定

生命保險協會は弱體保險特別委員會を開き弱體保險設立要綱を付議し正式決定した。右は十一項目から成るもので被保險者の年齢は十歳以上六十歳以下、保険料は被保險者の危險度に應じ商工省の作成した六種の死亡表によること等が規定されてゐる

中米キューバ棉花を輸入に決す

去る四日大阪輸出綿糸布同業會に對し、在キューバ鐵紡の藤本視察員から、ハイチ市場



に於ける日本綿製品の輸入は著しく増加したが、同国からの日本向輸出皆無のため同国政府は日本綿製品に對し特別課税を實施する意向ある故至急對策を講ぜられたい旨入電があつたので、同業會の入江理事は本日外務省に藤松通商局第三課長を訪問し對策として同国から棉花を輸入することになつた旨説明し當局の手配を要望した

八日(水)

◇昭和十年度の海軍費七億一千餘萬圓

一九三五、六年の國際危局に備へる昭和十年年度海軍費は本日左の如く決定した

新規要求二億九千四百七十萬圓、既定經費四億二千萬圓、總額七億一千四百七十萬圓

◇關印向サロンの賣止決定

日本染サロン輸出同盟會は東京丸の内明治ビル中央亭で臨時總會を開き、關印向けサロンは直接問接を問はず日商會商終了まで新規商談を中止することを申合せ、更に違反行為防止對策に關し協議の結果、違反者の處分方法を決定した

九日(木)

◇藤井蔵相、金融界代表に財政方針を明示

藤井蔵相は本日蔵相官邸に特殊銀行及び國

債シンケート團の首腦部を招き、多額な公債を無理なく消化せしむるため五分利公債の借替を行はぬこと其他の財政經濟方針を明かにした

◇藤井蔵相、蠶絲業救済に關し聲明

全國養蠶聯合會黒木、加藤正副會長の蠶絲業應急救済對策の要望に對し藤井蔵相は不急な經費を削減し蠶絲業救済に振向ける旨言明した

◇海上再保險、保證金制度を採用

海上積荷保險プール加盟會社は再保險に對する保證金制度の採用につき協議の結果、同制度を採用することに決定した

◇日本品割當制實施にセイロン住民抗議

セイロン島住民は、日本品に對する割當制實施に反對を唱へてみたが、同島立法評議會は討議の結果、勅令による日本品割當制實施に抗議する決議案を可決すると共に、セイロン政廳に對しては人民に有害な影響を與へるやうな勅令を無効にさせるため適當な手段を講ずるやう要請した

◇和蘭、陶磁器積止の解除要請

駐日和蘭公使館のフォン・リヒテルン書記官は本日外務省を訪ひ、去る三日以來實施し

た陶磁器積止の解除について政府に斡旋を要請したが外務當局は積止めをさせた根本に對つて適當な措置をとるべきではないかと、逆襲した

◇米國、銀の國有を公布

米國大統領は銀を國有とする旨公布し、同時に銀の價格を一九三四年の銀購入法に基き一オンス五〇セント〇一と定め先物取引を即時停止した

十日(金)

◇山崎農相、蠶絲救済三ヶ年計畫を樹立

山崎農相は蠶絲業の現狀に鑑み、恒久策の樹立を決定し、省議を経て經費を十年度豫算に計上することとなり蠶絲の一般對策と主要養蠶縣に對する特殊對策を講ずるため三ヶ年計畫を以て總額三千五百八十萬圓、初年度一千三百五十萬圓を要求するに決した

◇北鐵交渉調停案、露國受諾を拒絶

駐日ロシア大使ユレニエフは外務省に廣田外相を訪問し、北鐵讓渡問題に關し廣田外相から再考を求められてみた最後の調停案に對し買收價格(滿洲國一億三千萬圓、ソ聯は一億六千萬圓を主張)の不當を理由としロシア政府は應諾し難い旨を回答したので、十三日

行はれた滿洲國代表大橋外交部長とユレニエフの會見は物別れとなつた

◇承德に帝國領事館設置

滿洲國承德に帝國領事館を設置し本日開館した

◇ペレリンに帝國領事館設置

伯刺西爾國ペレリンに帝國領事館を設置し本日開館した

◇日本滿鐵輸出組合聯合會の設立

東京、大阪、横濱、神戸の滿蒙輸出組合代表は商工省に於て協議の結果、聯合會を設立することに決定し設置場所は小委員會に付託することになつた

◇極紙同業會、限産率七分緩和に決定

日本板紙同業會では東京丸の内日本工業俱樂部に例會を開き九月中の限産率につき協議の結果、需要漸増に鑑み七分を緩和し最高三割五分、最低三割と決定した

◇綿糸十月分の生産割當決定

綿工聯は商議會を開き十月分の綿糸生産割當を生地三十二萬反、製品三十三萬反に決定した

◇中山製鋼共販組合、建値引上

同組合は阪神六甲山ホテルに理事會を開き

十、十一月渡中山製鋼賣出につき協議の結果左の如く決定した

▽等返百二圓、不等返百三圓(いづれも二圓上げ)▽賣出數量七千トン▽申込締切十五日▽日本製鐵も同様小山製鋼先物賣出しAクラス百十二圓▽Bクラス百四圓▽Cクラス九十九圓(いづれも二圓上げ)▽賣出數量六百トン▽申込締切十五日

◇勸業銀行、栃木・宮崎農工を合併

日本勸業銀行(資本金一億八百七十五萬圓)は定時總會を開き、栃木農工銀行(資本金二百四十萬圓)及び宮崎農工銀行(資本金二百萬圓)を合併し一千七百七十五萬圓に増資し、同時に支店を宇都宮・宮崎の兩市に置く件を可決した

◇新興火災保險會社の創立決定

先きに合併の假調印を了した共済火災(資本金百四十萬圓)京都火災(資本金五百萬圓)大日本自動車保險(資本金二百萬圓)の三社は本日何れも臨時總會を開き、新興火災保險會社(資本金六百萬圓)設立のために三社合併の件を正式に可決し設立委員を左の如く選任した

▽共済火災 常務取締役荒野光雄、取締役

白勢量作▽京都火災 社長奥村安太郎、取締役大澤徳太郎▽大日本自動車 専務取締役宮林伊勢吉

十一日(土)

◇養蠶應急費百五十萬圓支出

大藏省は、養蠶應急施設助成費百五十萬圓(農林省所管)を昭和九年度第二豫備金より支出するに決し勅裁を経て本日發表した

◇第三線の生産割當五十五萬反と決定

日本輸出綿織物工業組合聯合會は綿三線商議員會を開き、十月分の生産割當數量を九月分に比し二萬反増の五十五萬反と決定した

◇中鐵板共販組合、建値提議

同組合は六甲山ホテルに理事會を開き十月十一月積中鐵板共販値段につき協議の結果、左の如く据置とし賣出數量は五千トンと決定した

▽一・六ミリ(噸當り)一四二圓▽二・三ミリ(同)一三七圓▽三・二ミリ(同)一三二圓▽四・五ミリ(同)一二四圓

◇アルゼンチン輸出組合の設立認可

商工省は對アルゼンチン貿易の調整を圖り同國爲替管理の緩和を求めため輸出業者の統一機關として左の輸出組合の設立を認可し



た

▽名稱 東部及西部アルゼンチン輸出組合  
▽事務所 神戸市▽地区 東部(愛知、岐阜及び石川以東の内地一圓)西部(福井、滋賀及び三重以西の内地一圓)  
十二日(日)

◇大江山にニツケルの大鑛脈発見

大阪鑛山監督局鑛業分析課長菅野技師の一行は一府二縣に跨る大江山一帯のニツケル鑛脈を調査した結果、ニツケルの本場ニユーカーレドニアの鑛石に匹敵する良質(O・五パーセントから一・七パーセント含有)の大鑛脈が京都、兵庫、福井の一府二縣に跨り五千八百萬坪の鑛床の有ることを発見した  
十四日(火)

◇大橋滿洲代表引揚ぐ

北鐵交渉のため來朝中の大橋滿洲國代表は駐日露國大使ユレニエフとの交渉不調に終り、森豊、島澤聲、杉原千畝、倉嶋嵐等隨員全部と共に本日東京を引揚げ新京に歸還した

◇日産護謨、秋田工場を買収

日本産業護謨(資本金四百五十萬圓)はジヨホールの秋田工場(五百八十一エーカー)を日産護謨株三千五百株並に借入金十五萬圓

引揚の條件で買収した

◇北鐵國境從業員十七名を檢査

ハルビン路警署は列車顛覆事件に關聯して本朝北鐵東部線一帯に互り露國側從業員十七名を檢査取調の結果、幾多の抗日反滿の陰謀が暴露された  
十五日(水)

◇政府米七十萬石拂下に決定

季節調節米百萬石を拂下げたにも拘らず、米價は依然として昂騰を持してゐるので農林省は更に季節調節のため政府所有米七十萬石の拂下げをなすことに決定した

◇關印向來晒綿布の輸出停止に決す

紡績聯合會及び輸出綿絲布同業會は緊急委員會を大阪綿業會館に開き、關印會商の圓滿な交渉を圖るため特別委員會は自發的に左の申合せをなした  
一、十五日より關印向三幅生金巾の賣買を停止する  
一、關印以外の仕向なることを立證し得るもの、外は既約の四四インチ三幅生金巾を四二インチに振替をなさざること  
一、右の申合せは綿織物對關印輸出組合設置まで實行する

十六日(木)

◇洋灰限産率據置に決定

セメント聯合會は九月以降十一月までの生産制限を各月五割七分に据置と決定した

◇日本製鍊、有機化學肥料を合併、増資

同社(資本金百萬圓)は臨時總會を開き有機化學肥料會社(資本金十萬圓)を合併し、同時に二百萬圓に増資する件を可決した  
十七日(金)

◇米國アリゾナ州農民、邦人を排斥

同州農民は隣接のカリフォルニア州が早魃のため同州に移住した邦人農民に對し去る十五日日本人排斥の大會を開き、向ふ十日間を限つて農園から日本人を立退かせる決議をなしたが本日農民はジャップは一人残らず農園から引揚げよ等大書した旗を掲げて市中をねり廻り州廳に押掛け、知事に對し日本人農家に二十五日まで退去の命令をするやう要求した  
十八日(土)

◇滿洲化學工業、全權購と契約成立

滿洲化學工業は來春一月から製品を賣出すことになつてゐるが、製品を優先的に引受ける契約で出資してゐる全國購賣組合聯合會と

の間に本日左の契約を締結した

一、契約期間は三年とす、但し契約を更改する場合は六ヶ月間の豫行期間を置くこと

一、取引數量は年十二萬トンとす

一、契約値段は配給組合建値より二、三十錢安とす

一、取引方法はバラもの

一、配給區域は全購聯大阪出張所管内(北陸、關西一帯)

◇東京聯合自動車、四百三十一萬圓に増資

同社(資本金九百六十七萬圓)は臨時總會の決議に基き本日四百三十一萬圓に減資し登記を完了した

◇左翼労働組合三團體、新同盟結成

全勞統一會議江東從業及び總評議會等の左翼労働組合は戦線統一を計畫してゐたが、本日東京芝の協同會館に新同盟結成の第一回委員會を開催、右三組合の外に十九地方組合代表者參集、戦線統一に關する具體的方針を協議、全國的産業別組合組織方針に基いて強化することになり、加藤勘十外數名の準備委員を擧げ聲明書を發表した  
二十日(月)

◇拓務省の左滿機構改革案成る

同省は作成中の在滿機構改革に關する具體案がまとまり本日關係各省に提示した。同具體案は拓務省の最後案と見るべきもので從來の拓務案は外務及び拓務の兩大臣は總理大臣に並列させ、總理大臣の外に對滿事務聯絡委員會を設置することとしてあつたが、これを總理大臣の聯絡統一の下に外務、拓務兩大臣を置き、その下に駐滿全權大使を置くことに改めるなど重大な變更が加へられた

◇伊太利、日本品の輸入割當制實施

同國政府は日本帝國大使館に對し輸入割當制の實施を通告して來た。日本品に對する割當品目はセルロイド原料及製品、石灰窒素、ワニス塗又は光澤ある木、エボナイト、セルロイド、骨及類似したものを用ひたブラッシユ等である

◇日本製鍊品輸出組合の設立認可

同省は日本ゴム製品輸出組合の設立を認可した

◇徳山曹達、二千萬圓に増資

同社(資本金一千萬圓)は臨時總會を開き二千萬圓に増資する件を可決した

◇三土忠造、罷職事件參考人として召喚

黒田元大藏次官等の收容に端を發し遂に齋藤前内閣を瓦解せしめた大藏省疑獄事件(帝人事件關係)はその後中島元商相の起訴、續いて川崎百銀行常任監査役高梨博司の收容によつて十六名の檢査をみるに至つたが、本日前鐵相三土忠造は同事件參考人として東京地方裁判所檢事局に召喚された  
二十一日(水)

◇商工省、石油割當量を決定

商工省は各社の石油生産能力及び生産販賣輸入に關する過去の実績に基き各社からの割當申請書を參考として左の割當を決定し、各社に通告した(單位キロリットル)  
マライチングサン一五〇マスタングード一〇〇弱▽松方二五弱▽日石一三〇弱▽小倉七〇弱▽三菱五〇その他二〇

◇滿支間に大豆二十萬噸の商賈成立

滿蒙との經濟絶交の結果極度の疲弊に陥つた支那商人はその苦痛に耐えかねて兩者提携の氣運が擡頭して來、折柄、南支一帯の大豆缺乏を契機として滿洲國商人と廣東商人との間に大豆二十萬噸の商談が成立した

◇葡萄牙植民地邦品進出を阻止

ポルトガル植民省は、西部アフリカ、ボル



トガル領キニア練習からの要請に基き、同植民地を始めポルトガル領植民地に對する日本品の進出を阻止する方策を採用する旨本日發令した

○蘭印經濟長官ハートに決定

去る五日死去したウエレンスタイン經濟長官の後任は東印度機業家聯盟會長兼日蘭會商蘭印代表部員ハートに決定し總督から任命された

二十三日 (木)

○鋼材聯合會、丸鋼を一割増産に決定

同會は本日東京丸の内日本工業俱樂部に定時總會を開き九、十、十一月の生産割當數量を丸鋼ベースのもの、同十二耗平鋼の各種を通じて従来より一割を増加することに決定した

○日本滿蒙輸出聯合會の分裂

設立計畫中の日本滿蒙輸出聯合會は事務所の設置に關し東京と大阪との争ひとなり結局大阪側は徳島、兵庫、奈良の各組合を糾合し西部聯合會を組織し大阪に事務所を置くことになり、東京側は東京、神奈川、富山、名古屋が聯合して東部聯合會を組織することとなつた

○五大國立公園決定す

國立公園特別委員會は内務省に開かれ内務省で決定された左の五大國立公園候補地の地域を原案通り決定した

▽阿寒(北海道)▽大雪山(北海道)▽日光(栃木、群馬、新潟、福島)▽日本アルプス(長野、岐阜、富山、新潟)▽阿蘇(熊本、大分)

二十五日 (土)

○政友會、臨時議會召集を要求

政友會は總務會において前議會の院議尊重と現下の情勢に鑑み臨時議會の召集を政府に要求することに決定し、本日岡田首相に對し正式に臨時議會召集の要求書を提出したが、首相は確答を避けた

○日活直轄二十一館の従業員同盟罷業

東京市内の日活直轄館女樂士十三名がレコード伴奏採用で整理を豫告されたため日本映畫従業員組合に屬する説明者樂士はレコード伴奏を廢されたので組合側は日活全従業員の名を以て二十四ヶ條の待遇改善の要求書を提出し、東京神田神保町に爭議團本部を置き、全市二十一館の従業員は同盟罷業を決定した

○滿露水路協定の成立

滿露水路會議は滿洲國大置河において開會中であつたが本日協定成立し二十八日調印を了した。協定の結果、滿露國境河川に於ける兩國船舶は國境河川の水面利用について何等の障礙も受けず安全な交通が保障されることとなつた

二十六日 (日)

○米國職工組合、總罷業を指令

同國の職工組合同盟會の爭議委員は綿織職工の總罷業断行を決定、各部門に對し來る九月四日を期して總罷業に入るべき旨秘密指令を發した

○獨逸、國難打開のため輸入統制實施

同國は經濟國難打開のため嚴格な輸入統制を實施することに決定發表した

二十七日 (月)

○大藏省、新財源一千萬圓捻出に決定

大藏省々議の結果、新財源一千萬圓の具體的捻出方法を決定した。右案による新財源は關東震災後政府が一般會計の豫算を以て罹災府縣、市町村、罹災公共團體、罹災諸學校並にブラジル、天津、青島の居留民團等に貸付けた貸付金の償還整理により年額一千萬圓

乃至一千三百萬圓の増收を得やうとするもので、その貸付總額は昭和九年三月現在一億九千七百十八萬圓、昭和四年度以降九年度までの元利償還義務額六千五百十九萬圓、この中支拂済みのもの三百八十九萬圓で延滞義務額は六千三百三十萬圓である

○米穀證券七千萬圓發行

大藏省は第二十九回米穀證券七千萬圓を左の條件で發行した

▽割引歩合 日歩七厘五毛▽支拂期日 昭和十年二月二十五日

二十八日 (火)

○對米陶磁器の輸出統制策決定

米國政府が最近日本陶磁器に對して關稅引上げを實施しやうとしてゐるので大日本陶磁器輸出組合は本日名古屋陶磁器會館で緊急理事會を開き輸出統制策を協議の結果、左の如く決定した

一、大日本陶磁器輸出組合は目下米國品を壓迫しつゝあるコーヒー碗皿、特殊廉價品たる大中玉、オーバード碗皿の大箱ダースの最低値段を廣無地九十五錢(十錢値上)繪付品一圓二十五錢(二十五錢値上げ)染付品一圓十五錢(新値段)を九月五日より實施す

昭和九年八月

ること(他三項)

○血盟團事件の求刑

昭和維新を目ざして十餘名の同志が結束、一人一殺主義で政黨、財閥、特權階級の代表的人物を暗殺しやうと企て井上準之助、團琢磨を殺害し五、一五事件及びその後に發生した極右的テロ計畫の誘因をなした血盟團事件は東京地方裁判所において開廷された第六十三回公判で立會木内檢事から大論告の後左の求刑があつた

▽死刑 井上日召▽死刑 古内榮司▽無期懲役 四元義隆▽懲役十五年 池袋正弘郎

▽懲役十年 久木田祐弘▽懲役十年 須藤太郎▽懲役十年 田中邦雄▽懲役十年 田倉利三▽懲役六年 星子毅▽懲役八年 森意二▽死刑 小沼正▽死刑 菱沼五郎▽懲役八年 黒澤大二▽懲役七年 伊藤廣

○滿洲國、北鐵の改定断行

滿洲國は北鐵を滿露共同管理とする不合理を改め純營利的企業の目的に基き管理局内の人員配置並に制度等の改革を断行することに決した

○英國日本電球の割當制を決定

日本製電球の進出を阻止するため英國側は

關稅の増徴を主張したので日本側は一定數量を基準とする自發的輸出統制案を提出し、交渉の結果、一九三四年四月一日以降一ヶ年の輸入量が左記割當を超過しない限り關稅を増徴しないことに決した

▽二十ボルト又は二十ボルト以上の電球、四、三〇〇▽自動車用電球五、六〇〇▽尖光用電球二、二八〇〇▽裝飾用電球一、一〇〇

○蘭印鋼、五十六品目の制限案提示

長岡、ランネット兩首席代表の會談に於て蘭印代表部は電球、自動車その他五十六品目全般に互る輸入制限案を提示した

二十九日 (水)

○林陸相、在滿機權改革の決意表明

陸軍は本日陸相官邸に非公式に軍事參議會を開き在滿機權改革案に關し、林陸相は「外務、陸軍、拓務關係三省間に對立してゐる全權大使の監督權の歸屬問題は、國策遂行の根幹をなす重大問題であるから全權大使の行政事項に關する監督權は内閣總理大臣に直屬させ國策遂行の統一強化を期すべきであるからあくまでこの主張の貫徹について努力する覚悟である」旨を述べ、軍事參議官の諒解を求



めた  
○領事館對開東廳の紛争解決  
在滿機務改革問題に關し在滿大使館領事館側と、關東廳側との感情の對立となり領事館對警察官の離反を來し一層激化するに至つたが本日奉天において關東軍憲兵隊司令官岩佐少將の調停で圓滿に解決した

○鑛物用銑鐵の運賃提議  
銑鐵共販組合は東京丸の内に打合會を開き十月以降三ヶ月の鑛物用銑鐵の運賃につき協議の結果、一トンに付四十四圓六十錢据置に決定した

三十日(木)  
○農林省、農業倉庫建設資金の割當決定  
同省は昭和九年度農業倉庫建設資金四十七萬五千圓以内の融通要綱及び割當額を決定し各府縣に通牒を發した

○東京交通労働組合、市電の整理に抗爭  
東京市電従業員整理問題から、東京交通労働組合は中央闘争委員會を開き協議の結果、市當局の整理は九月四、五日頃發表されるとの豫想の下に電車十三、自動車七、車庫十二軌道八、電氣七、電力六、工場一の五十四支部を擧げて三日を期し全線従業員の結束を期

した  
し熊本、河野、野平、植村の四名を以て首腦部を組織、強制調停も拒絶する決意をなした  
○蘭印陶磁器制限令の停止を通告  
蘭印代表ランネットは本日長岡代表に對し日本側の陶磁器輸入組合解消の事實を正式に通告して來れば、いつでも制限令中止の法律的手段を行ふ旨を傳達した。依つて我代表部は輸入組合の解消の通告を行ふことに決した  
三十一日(金)  
○米穀對策調査會官制の公布  
同規則(六ヶ條)は勅令を以て公布され即日施行された

【九月】

一日(土)

○農林省、絹紡工業の過剩削減化政策  
絹紡工業會から農相に提案した絹紡原料に充當するため過剩削減の大量買入をなす案に對し、山崎農相は長瀬次官及び井野軍米局長と協議の結果、右提案を實行することになり、本日井野軍米局長に對し同案を實現させるため養蠶聯合會との間に積極的斡旋を試みるやう命じた  
○高崎板紙、第二高崎板紙を合併

高崎市の高崎板紙會社(資本金三百萬圓)は臨時總會を開き第二高崎板紙會社(資本金二百萬圓)を合併し五百萬圓に増資する件を可決した

○香煙製造所、千住鐵道製造所を買収  
同社(資本金二百萬圓)は資本金を六百萬圓に増資し、同時に社長清岡榮之助個人經營の千住鐵道製造所を買収したが、買収條件は千住鐵道が背負つてゐる興銀からの借入金三十萬圓の肩代りの外、百二十萬圓を同社株券で交付する

○東京市電氣局の整理案發表

東京市電氣局は年額八百萬圓に上る赤字克服のため従業員の大整理を行ふことになり、本日従業員一萬二百名の代表八十餘名を市電會議室に招集、山下電氣局長から従業員の整理案を發表したが、同案の内容は一定の退職手当、整理手当を支給し、一應退職させて新たに低下した給料(現日給から初任給を差引いた差額の二割を初任給に加算したもの)で就職させ、一人の失業も出さないこと、又今後は無條件に給与を減ぜず絶対に値下げ、減首しないことを條件としたものである。右に對し反對の歎願書を提出してゐた東交組合

は三日午前同案撤回を内容とする要求書を提出することに決定、同時に各職場に宛てストライキ準備の指令を發した

○米國織物争議、農業者参加四十萬人  
全米織物争議に關する交渉は遂に決裂したので織物工務組合は本日二十州一千五百工場五十二萬五千の職工に對し罷業開始令を發し、十四日に至り罷業参加者四十萬人に達し州軍は出動し各地で流血の慘事を惹起したが、二十一日ルーズヴェルト大統領の和解勸告により勞資の調停成立し二十四日から復業した

○ポルトガル、日葡會商を提議  
駐日ポルトガル公使デメロは外務省に對し日葡會商提議に關する左の通商文を手交した  
一、一九三二年三月二十三日調印の日葡通商海暫定協定を一九三四年一月三十一日か、失効させる意を有す  
一、短の諸協定を改正し、現時の經濟事情に適合した新協定の締結を希望する  
一、日葡間の好の通商關係を維持發展させるため現行暫定協定にも改良されるる兩國間の通商條約締結のため速かに商議を開始することを提議する

二日(日)

○匪賊に拉致された邦人會吏救出さる  
八月三十日新京、ハルビン間列車襲撃により匪賊に拉致された資源局藤澤雄外六名は四站において海軍防備隊の手により全部救出された  
三日(月)

○大日本柑橘生産販賣組合會の創立  
柑橘生産組合は法律上販賣事業を行ふことが出来ないため、産業組合に加入して大日本柑橘生産販賣組合聯合會を組織することになり、東京丸の中金ビルに創立總會を開き左の役員を選任した

▽會長 有働良夫(全販購)▽副會長 青木(神奈川組合)▽専務理事 森靜岡組合、成川(和歌山組合)、岩田(愛媛組合)  
○サルパトル國、輸入禁止的新關稅實施  
同國は互惠貿易を主眼とした新關稅法を實施した。英米、獨等の互惠條約國を除き輸入と同額の同國産品を購入するのではなければ輸入品に對し一律に現行關稅の二十割に相當する附加税を徴収するもので、同國から輸入の殆んどない我國は同法の適用で輸入禁止と同様の結果となり中南米方面に進出してゐる

邦品にとつて打撃である

四日(火)

○商工省、洋灰業の統制法發効を決定  
商工省の産業合理局顧問會議はセメント業統制法の發効に關し協議の結果、各顧問の意見が一致し適當の時機に發効することに決定した

○外相、露國の北鐵從業員逮捕抗議を一蹴  
滿洲當局の北鐵露國從業員檢舉に關する露國政府の我國に對する抗議に對して、廣田外相は書翰を以て反駁の回答を發した  
○鐵鋼社、稻倉石鑛山を合併  
同社(資本金百五十萬圓)は臨時總會決議に基づき稻倉石鑛山(資本金五十萬圓)を合併して五十萬圓を増資し、總資本金を二百萬圓となした

○十六勢團體、新同盟を結成  
東京芝の全勢統一會議本部において新同盟結成準備會の全國協議會が開かれ、總評議會外十五團體を以て新同盟を結成することに決定した

○東交首腦部、全支部に罷業を指令  
三日東交首腦部から山下市電局長に對し整理案撤回の要求書を提出、双方脱み合となつ



てゐた市電争議は本日に至り東交首脳部から全支部に對し、六日午前六時半の初發より總罷業を開始すべしとの罷業指令を發した。市電側は對策として、臨時運轉手、車掌募集の手はずを定め、腕章を作製し、單一區制により臨時運轉系統圖を作り各營業所に配布した。翌五日東交首脳部は全線に亘り一萬一千人の從業員の總罷業を決定した。

◇日支航空郵便を國民政府許可  
國民政府は日支最初の航空郵便を相互に交換することになり、本日北平郵政監理局検査課長宗百祥は朝日新聞社通信部に對し東京及び大阪、北平間往復とも一機十五キロまでの葉書或は封書の搭載を許可する旨通達した。

五日(水)  
◇日本産業、合同漁業を買収  
日本産業は小樽に本店を持つ合同漁業會社(資本金一千九萬八千圓)を左記條件を以て買収する旨發表した。  
一、日産は合同漁業優先株主の連帯借入金たる低利金三百五十萬圓を肩替するにより優先株總數七萬株の譲渡を受ける。  
一、日産株一株に對し合同株九株の割合で交換すること。

一、優先株全部と普通株の半數移讓が日産の所有に歸せざる時は不成立に終るものとす。

◇東京高速鐵道會社の設立  
同社(資本金三千萬圓)は東京丸の内の鐵道協會に創立總會を開き左の役員を選任した。  
▽取締役社長 門野重九郎▽専務取締役 脇道善▽取締役 井上敬次郎、井上徳太郎、利光鶴松、和田駿、金光庸夫、根津嘉一郎、鶴岡重雄、五島慶太▽監査役 酒井卯之助、松本政治、小林一三。

◇第二エタニツトパイプ會社の創立  
日本エタニツトパイプ會社(資本金五百萬圓)は變態増資の目的を以て、第二エタニツトパイプ會社(資本金七百五十萬圓)を創立し左の役員を選任した。  
▽取締役 篠崎宗吉(代表)、波多野敬三、三川力助▽監査役 近藤倫二。

◇東京市電、罷業首謀者四十五名解雇  
東京市電當局は緊急首脳部會議を開き、協議の結果罷業首謀者四十五名を解雇することに決し處分通告書を發送した。  
六日(木)  
◇日蘭會商に對する我政府の方針決定

日蘭會商の海運問題に關し、内地海運業者はこれを民間當業者間の協定として解決する意向であるに反し、蘭印側はあくまで會商の議題とし政府間の交渉に移すことを要求してゐるので、日本代表から政府の方針決定を請訓して來たので、政府は外務、逓信兩省間で協議の結果政府の交渉事項としないことに決定。更に蘭印側から提案してゐたジャワ沿岸航路からの日本船撤退及び蘭印各地における日本船の出入港指定に絶對反對することを決定、本日日本代表に訓電した。

◇四分利公債三百四十五萬圓發行  
政府は四分利公債三百四十五萬三千七百七十五圓を償還期限五年据置後三十年内の條件で發行した。  
◇獨逸政府、人絹對當變更を拒絶  
ドイツ政府は日本人絹織物に對し本年四月輸入制限を行ひ、基準を一九三一年の輸入額の七割五分としたが、同年は人絹輸出皆無で結局輸入禁止と同様になるので永井駐獨大使からドイツ政府に基準を一九三一年以後とするやう要求したが、本日ドイツ政府は基準年度を變更することは出來ないと拒絶した。  
七日(金)

◇海軍軍備擴張交渉に對する我方方針決定  
本日の定例閣議において海軍々縮方針は去る八月三十日の三相會議で決定した現行の比率主義を打破し、一律總トン數主義を制限方式とする等の軍縮方針を正式決定した。

◇全國米穀取引員大會、國庫賠償要求  
全國米穀專業取引所取引員大會は大阪の堂島ビル濟交社に開かれ、堂島取引所實吉理事、安川常務、磯崎委員長その他名古屋、金澤、高岡、岡山、下關の各取引所代表約四十名出席の上米穀法強化のため投機賣買の縮少を來したので全國取引所及び取引員の國庫賠償要求の決議をなした。  
八日(土)

◇日蘭會商、サロンの輸出問題諒解  
日本代表部顧問山中清三郎とハルト經濟相との會談の結果、兩者の間にサロンの輸出數量問題に關する諒解が成立した。

◇茨城度量衡商業組合の設立認可  
茨城度量衡商業組合は商工省から設立を認可された。  
◇米國汽船に落雷、三百七十名行方不明  
米國汽船モロキヤツスル號(一萬一千三百トン)はニュージャージー沖合で落雷のため

火災を起し乗組員、乗客合計五百六十八名中三百七十四名は行方不明となつた。  
九日(日)

◇南京政府、爲替管理令を發布  
南京政府財政部は左の禁止條項を含む爲替管理令を發布し、同時に標金市場に於ける外貨決済禁止を發令した。  
今後特に通告あるまで外國爲替の賣買は次の場合を除き一切これを禁止す。  
イ、正當かつ通常の商取引上の要求に基づく場合。  
ロ、九月八日前に結ばれた契約に基づく場合。  
ハ、正當な理由を有する旅行乃至その他の個人的要求に基づく場合。  
十日(月)

◇東京印度輸出組合の設立  
同組合は商工省から設立を認可され本日創立總會を開いた。  
十一日(火)

◇岡田首相、在滿鐵橋安協案を立案  
在滿鐵橋改革問題に關し陸軍、外務、拓務三省の意見對立し解決が困難となつたので、岡田首相は解決策につき慎重な考慮を拂つた結果、官制等の形式は外務省側の主張を容れ

内容實質の點は陸軍側の主張を十分にとり入れ、且つ拓務省側の立場をも考慮して内閣總理大臣の補助機關である對滿事務局に總裁を置き、拓務大臣をして兼任させる案を作成した。同案に對する三省の態度は外務省は賛成、陸軍省は大體承認、拓務省は反對である。  
◇早雲地方の救濟決定  
鹿兒島、愛媛、香川、廣島、岡山、島根、千葉等の早雲甚だしくその被害高は約一億圓に達してゐるので、本日の閣議でこれが救濟を計ることに決定した。農林省の救濟策は左の如くである。  
(一)各縣の實情に即した事實を調査させ、國庫から補助する。(二)減免税を行ふ。(三)代作を獎勵する。(四)被害の至急調査

◇伊奈電鐵、二千四百五十萬二千圓に減資  
同社(資本金二千五百五十萬五千圓)は臨時總會を開き二千四百五十萬二千圓に減資する件を可決した。

◇紐育生糸市場の伊・支繰上場否決  
ニューヨーク商品取引所にイタリイ生糸並に支那糸を上場する件は總會で否決された。  
十一日(水)  
◇在滿鐵橋改革問題で關東廳員職權決定



在滿機構改革の拓務省案は岡田首相の妥協案により壊滅に瀕したので關東廳員一千餘名は本日廳員大會を開き、修正案絶對反對、拓務省案死守を申合せ主張が通らなければ全廳員は總辭職を執行することを決議し、全滿の警察署員も拓務省案を支持し強硬な決意をなした

◇石灰窒素共販組合の存続期間延長

石灰窒素共販組合は理事會を開き、從來一ヶ年毎に決定してゐた存続期間を昭和十二年七月三十一日迄延長することに決した

◇延岡商工會議所の設立

同會議所は商工省から設立認可され本日開設した

◇對蘭印日本綿織物輸出組合の創立

對蘭印日本綿織物輸出組合は創立總會を開き定款を決定、組合員加入の手續を開始したが、阪神在住の蘭商ボルネオ・スマトラ會社外十四社は蘭印本社からの承認の指令が到着しないといふ理由の下に加入を見合せた

◇錦華紡績、一千二百二十四萬圓に減資

同社(資本金一千三百二十萬圓)は去る四月合併した福井紡績の持株一萬九千八十株を銷却して資本金を一千二百二十四萬六千圓に減資した

減資した

◇第二帝國人絹會社の創立

同社(資本金二千萬圓)は創立總會を開き左の役員を選任した

△取締役社長 秦逸三▽常務取締役 久村清太、永田與▽取締役 吉岡豊、東川吉房、大橋久一、大屋晋三、大橋互▽監査役 宇田成和、間室壽人

◇ノルウエー、邦品に割當制を實施

同國政府は本年六月輸入割當制を公布、白鳥公使の抗議により日本品への適用は見合せてゐたが、日本品の同國向輸出殺到からゴム靴陶磁器類の輸入許可制を實施するに至つたので外務當局は嚴重抗議を發した

十三日(木)

◇全國蠶組聯合會、産繭統制案を採擇

全國蠶組聯合會は東京丸ノ内の蠶糸會館に評議員會を開き、事務當局提出の産繭處理統制案を採擇した。同案は産繭を豫定計畫の下に處理し、製糸家との取引に當つては毎養蠶期毎に養蠶、製糸兩聯合會の間に於て商議し、簽入商價の標準掛目を決定するものである

◇三土前鐵相、僞證罪で收容さる

前鐵道大臣三土忠造は中島元商相、黒田元大藏次官等からむ大藏省疑獄事件(帝人事件關連)の僞證罪として東京地方裁判所檢察局において起訴されることに決定、本夕市ヶ谷刑務所に收容された

◇國際寶石密輸入の主犯河田清二逮捕

神戸を中心に横濱、大阪、門司の各税關が捜査してゐた國際的ダイヤ密輸入事件の大立物大連市山縣通三洋行支配人河田清二が逮捕された。同ダイヤは密輸入専門のイタリヤ人、インド人の手で大連に持込まれ、大連やまもとホテルで取引し河田は神戸一流の寶石商田中正喜に賣却してゐたものである

◇排日暴徒、アリゾナの邦人農園を襲撃

米國アリゾナ州の排日運動は、十一日の州總選舉で排日郡檢事ジエニングズが落選したことから過激派はグレンデルの邦人農園に侵入、四百エーカーの畑に水門を開けて水浸しにする等直接行動を開始したが十九日再び數十名の暴徒は襲撃し園内をダイナマイトで爆破した

十四日(金)

◇在滿機構改革案、辦法として閣議承認

去る十日内閣側が作成した妥協案に更に全

權大使、對滿事務局總裁、同次長並に行政事務總長の身分に關する陸軍案を容れて解決を見た在滿機構改革案は本日の閣議に於て一時的辦法として承認することに決した。同案は内閣に特別な組織を有する對滿事務局を新設し、拓務省所管の對滿關係事項の大部分を移管する等十四項からなるものである

◇日印通商條約の効力發生

特別關稅を課せざる以上は變更せぬことを規定した同條約は本日効力を發生した

◇大阪シャリング、大阪製鐵と改稱

大阪シャリング(資本金五十萬圓)は大阪製鐵所と改稱した

十五日(土)

◇製紙聯合會、四百萬ポンドの限産緩和

同聯合會は商議員會を開き市況對策を協議の結果、十月中更に四百萬ポンドの限産緩和を行ふことに決定した

◇北海道電燈、八千四百萬圓に増資

同社(資本金五千五百三十萬五千圓)は東京丸ノ内の日本工業俱樂部に臨時總會を開き八千四百萬圓に増資する件を可決した

◇警廳、東京市電爭議に強制調停

十四日藤沼警視總監から調停申請の勸告を

受けた東京市、東交の代表は本日警視廳に出頭、藤沼總監と會見共に調停申請をすることが出来ぬ旨を回答したので、同總監は強制調停を行ふ旨を申渡し、右の通知書を手交したので翌十六日東交首腦部は罷業休止宣言を發表し翌十七日始發から一齊乗車を聲明した

十七日(日)

◇羊毛工業會、毛絲の繰短率を決定

同會は大阪の甲子園ホテルで委員會を開き毛糸繰短問題に關し協議の結果、十月以降十二月迄三ヶ月間の繰短率を、梳毛絲は四十四パーセント、織機設備を有する會社は織糸用品操業二〇パーセントを繰短に加へ、八〇パーセントを控除することに決定した

◇日本カーボン、百五十萬圓に増資

同社(資本金六十萬圓)は臨時總會を開き百五十萬圓に増資する件を可決した

◇滿洲住友鋼管會社の創立

住友は住友伸鋼管會社の姉妹會社として滿洲住友鋼管會社を創立することになり本日住友合資社内において創立總會を開き本社を鞍山に置き資本金を一千萬圓(第一期年産二十五萬圓の拂込済、工場能力は第一期年産二萬五千トン)とする件を可決した

十八日(火)

◇船舶問題の我提議案を蘭印受諾

ハルト・長岡兩代表の會見で、蘭印側は日本の船舶問題に對する提案に多少字句の修正を要求したのみで殆んど全部を承認した

◇郵便年金四分に利下

郵便年金令改正勅令案は本日の閣議で左の如く決定され、二十七日勅令を以て公布十月一日から施行された

從來掛金が分割拂の場合には豫定利率が年五分であつたものを一般的低金利政策の結果四分に引下げること

◇東京市電從業員一齊罷業

強制調停により罷業を中止し十七日より乗務することとなつた東京市電從業員は、同日は臨時應援側との混線のため乗務出来なかつたが、本日始發から十四日より一齊に乘車した

◇聯盟總會、露國の加盟案を可決

ゼネバの國際聯盟總會は露國の加盟案に對し反對三、棄權七票を除き三十九ヶ國代表の支持を得て可決した

十九日(水)

◇對蘭印日本綿織物輸出組合の設立認可



綿織物の輸出統制の強化を圖るため大阪の綿織物輸出業者は對關印日本綿織物輸出組合を結成したが、本日商工省から設立を認可された

◇日本電球輸出組合の設立認可

商工省は日本電球輸出組合の設立を認可したが、同組合は東京に事務所を置き、内地一圓を區域とし電球の輸出統制の目的を以て設立されたものである

◇全滿電氣事業の合同統制成る

日滿當局で研究中であつた全滿電氣事業合同の方針が確立し本日新京において發起人總會を開き左の設立計畫の要項を決定した  
一、滿電、滿洲國政府その他の現物出資に基く日滿合辦の滿洲國法人たること  
一、差當り新京、奉天、大連、營口、安東、吉林、ハルビン、チ、ハルの八大都市に於ける電氣事業を經營しその他の地方的郡小電氣事業は漸次同會社の統制下に置くこと  
一、資本金は全額拂込の九千萬圓とするこ

二十日 (木)

◇國際電話通話規則の公布

同規則(二十九ヶ條)は逓信省令を以て公布され二十七日より施行された

◇三井物産、酒井織物會社を創立

三井物産は福井市の酒井伊四郎商店と提携人絹織物の酒井織物會社(資本金百萬圓)を福井縣足羽郡木田村花堂に設立、本日創立總會を開き左の役員を選任した  
▽社長 酒井伊四郎▽取締役 内田清、酒井伊助、飯島秀尾、市橋諒、市橋勝二、齋藤重雄、中島與作▽監査役 齋藤由太郎、山岸伊之助、酒井正二、荒川普吉

二十一日 (金)

◇日本電氣工業、秩父電氣工業を合併

日本電氣工業會社(資本金一千二百萬圓)は臨時總會を開き、秩父電氣工業會社(資本金百萬圓)を合併し、五十萬圓を増資する件を可決した

◇日本サルベージ會社の創立

帝國サルベージ(資本金百萬圓)と東京サルベージ(資本金百八十萬圓)を合併し新たに設立された同社(資本金百五十萬圓、全額拂込)は東京丸の内の海上ビルで創立總會を開き左の役員を選任した  
▽取締役會長兼常務取締役 北川保▽取締役 飯沼剛一、龜山俊藏、小山九一、矢田

藤太、芥川準治、坂本茂、菊池文吾、鈴木祥枝▽監査役 石井五郎、柴田安正

◇近畿一帶に颶風襲來被害激甚

今朝關西一帶に風速六十米の颶風襲來、大阪、京都を始め被害を蒙つたもの三府三十二縣に及び、死者合計二千四百九十九名、行方不明五百六十八名、負傷者八千三百九十九名家屋被害三十七萬六千三百五十戸(全潰三萬四千五百七十六戸、流失二千三百四十四戸)に及び大阪府の工場被害のみで三億圓に達した主なる府縣の被害高左の如し

死者

被害家屋

|     |       |         |
|-----|-------|---------|
| 大阪  | 五、七二九 | 一六六、九九一 |
| 京都  | 一、八二三 | 六、一九八   |
| 兵庫  | 一、一五二 | 四三、七九四  |
| 滋賀  | 六〇一   | 一、一七三   |
| 和歌山 | 一八三   | 一、六六八   |
| 岡山  | 四九一   | 四一、八六八  |
| 高知  | 三九〇   | 三、六九〇   |

二十一日 (土)

◇産組中央倉庫、災害地に救済貸出

産業組合中央倉庫は關西地方の颶風被害に對し、同地方の肥料資金償還を延期すると同時に組合に對し低利非常貸出しを行ふことに

内定した

◇福井縣綿織物輸出組合の設立

福井縣下の綿織物輸出業者は本日福井縣綿織物輸出組合を結成した

◇豊田紡織一千六百萬圓に増資

同社(資本金一千四十萬圓)は臨時總會に於いて半額の五百六十萬圓を増資し一千六百萬圓とする件を可決した

◇ラサ工業、一千六百萬圓に増資

同社(資本金二百八十五萬圓)は臨時總會を開き、資本金を一千六百萬圓に増資する件を可決した

◇東京市電爭議調停委員會の開設

東京市電爭議調停による調停委員會が本日開設され左の委員出席し、調停の原則について協議をなした

▽市側 澤本助役、後藤財務局長、山下電氣局長▽従業員側 熊本、河野、植村▽中立 吉田茂、渡邊鐵藏、道家齊一郎

二十四日 (月)

◇東久通宮殿下、御救恤金下賜

東久通宮殿下には近畿の風水害に際し、罹災民の困窮をいたく憐れませ給ひ、本日御救恤金として金五千圓を下賜あらせられた

◇三井、三菱の兩社は關西の風水害救恤資金として各五十萬圓宛を寄附することに決定し

内務省社會局藤野保護課長に手交した  
◇元日本銀行副總裁木村清四郎死去  
去る七月以來群馬縣伊香保に避暑中のところ二十二日腦血症で倒れ本日午後十時死去した。享年七十四。氏は岡山縣人木村勘公の長男、慶應義塾を卒業後中外商業新報社に入社同社を經營主宰するに至つたが、後、岩崎彌之助の推薦で日銀に入り累進して理事となり更に副總裁となつたが、昭和元年病氣辭職後貴族院議員に勅選せられて今日に至つた

二十五日 (火)

◇米穀證券八千萬圓發行

大藏省は第三十回米穀證券八千萬圓を左の條件で發行した  
▽割引歩合 日歩七厘五毛▽支持期日 昭和十年三月二十五日

◇出雲製織、一千萬圓に増資

同社(資本金三百六十萬圓)は臨時總會を開き一千萬圓を増資する件を可決した

◇金塊密輸の主謀逮捕さる

神戸、上海を舞臺に金塊百貫目(時價百二十萬圓)の大密輸團の首魁支那浙江省寧波生れ神戸市中山手町三ノ六九蘇淨欽方錢宋耀は横濱で捕縛された

◇滿洲國皇帝、御救恤金を御贈與

滿洲國康徳皇帝には關西の風水害被害者の御救恤資金として御手許金中から五萬圓を御贈與あらせられることに決定した旨駐日滿洲國公使館から外務省に通知があつた

二十七日 (木)

◇小賣業改善調査委員會規則の公布

同規則(六ヶ條)は商工省告示を以て公布された

◇農林省、濡れ米拂下を發表

農林省は本日風水害被害による濡れ米拂下げの手續要綱を左の如く發表した  
一、種類 昭和七八年産内地支米及び昭和八年産朝鮮支米とす  
二、數量 目下確定しがたきも毎日仕譯濟次第相當數量を取締め賣却す

二十七日 (木)

◇農林省、濡れ米拂下を發表

農林省は本日風水害被害による濡れ米拂下げの手續要綱を左の如く發表した  
一、種類 昭和七八年産内地支米及び昭和八年産朝鮮支米とす  
二、數量 目下確定しがたきも毎日仕譯濟次第相當數量を取締め賣却す

二十七日 (木)

◇農林省、濡れ米拂下を發表

農林省は本日風水害被害による濡れ米拂下げの手續要綱を左の如く發表した  
一、種類 昭和七八年産内地支米及び昭和八年産朝鮮支米とす  
二、數量 目下確定しがたきも毎日仕譯濟次第相當數量を取締め賣却す

二十七日 (木)

◇農林省、濡れ米拂下を發表

農林省は本日風水害被害による濡れ米拂下げの手續要綱を左の如く發表した  
一、種類 昭和七八年産内地支米及び昭和八年産朝鮮支米とす  
二、數量 目下確定しがたきも毎日仕譯濟次第相當數量を取締め賣却す

二十七日 (木)

◇農林省、濡れ米拂下を發表

農林省は本日風水害被害による濡れ米拂下げの手續要綱を左の如く發表した  
一、種類 昭和七八年産内地支米及び昭和八年産朝鮮支米とす  
二、數量 目下確定しがたきも毎日仕譯濟次第相當數量を取締め賣却す



三、方法 入札の方法により申込價額の高きものに隨意契約を以て賣却す  
 四、保證金一俵に付五十錢以上とす  
 五、その他詳細の事項は當該米穀事務所に付照會すべし

◇日・比國際無線電話の開通

準備中であつた日本とヒリッピン間の無線電話は本日から開通した

◇英國獨立保障の英佛伊共同宣言調印

英國獨立保全に關し英佛伊三國の共同宣言が據まり調印を了した

◇英國産業代表の來朝

滿洲國に於ける列強の資本投下の實情を調査し、同國市場の開發について研究するため英國産業聯盟から派遣された一流實業家ロイド・パンビー外三名は滿洲國への途次横濱入港の郵船龍田丸で來朝、我商工代表者と會見對滿投資に關して協同的態度を示した

二十八日(金)

◇政府、臨時議會召集に決定

本日の閣議に於て關西地方の風水害並に東北の冷害、九州四國の旱害等全國的災害に對する救済のため臨時議會を召集することに決定した

◇勸業の低利貸付應急方針決定  
 同行は近畿地方の風水害に關する應急措置として左の方針を決定した  
 一、新規貸出は自行資金による短期資金(二年以内)を以て期限到來後年賦貸に切替へるも差支へなし  
 一、新規宅地貸付利率を既往の年六分五厘以上を年五分八厘以上に引下げる  
 一、既往貸付の擔保減價に對し追加擔保を請求せざることを  
 一、既往貸付の償還期限延長  
 一、利拂の中間据置

◇染色加工綿布の生産割當決定

日本綿織物工業組合聯合會は染色加工綿布十一月分の生産割當につき評議員會を開き協議の結果、無地百二十五萬反(前月に比し五萬反減)按染百六十萬反(前月に同じ)と決定した

二十九日(土)

◇風水害罹災民に御内帑金下賜

天皇陛下には後藤内務、内田鐵道、床次通信、松田文部各大臣から近畿地方の悲惨な被害状況を陳列し痛く御軫念あらせられ久松侍從を大阪、京都、兵庫、三重、和歌山へ、小

出侍從を滋賀、岡山、徳島、鳥取へ夫々被害状況視察並に罹災者御慰問のため御差遣遊ばされ、尙ほ御救恤の有難き思召をもつて天皇、皇后兩陛下には御内帑金四十四萬餘圓を下賜あらせられた

三十日(日)

◇日本鹽業、三省社郡山工場を買収

同社(日本理化学工業の前身、資本金三百萬圓)は臨時總會を開き三省社郡山酸業工場(福島縣郡山市)買収の件を可決した

◇北鐵國運基本條件モスコにて成立

北鐵讓渡交渉は、大田駐露大使を中心としてソヴェト當局との間にモスコにおいて極秘裡に行はれてゐたが本日左の如く基本的條件が成立した  
 一、北滿鐵道及び附屬財産一切一億四千萬圓をもつて讓渡する  
 一、ソヴェト北鐵從業員の退職手當については從業員の積立金並に退職規則等に準據して、個々に解決すること(その金額は大體二千五百萬圓程度)

◇合同油鹽、北海道の三漁業を買収

同社(日本油脂の前身、資本金一千萬圓)は臨時株主總會に於て北海道の函館漁業、舟

木漁業、昭和漁業買収の件を可決した(日不詳)

【十月】

一日(月)

◇經芬河に帝國領事館設置

滿洲國經芬河に帝國領事館を設置し本日より開館した

◇産組中央金庫の利下

産業組合中央金庫の昭和九年後半期の貸出利率最高歩合を前半期に比し年利三厘、日歩一厘の引下げを行ふに決し大蔵、農林兩省に認可申請中のところ本日認可された

◇丹那トンネルの公式試運轉行はる

東海道本線丹那トンネル(七八〇四米)の公式試運轉は、午前七時から行はれた。同トンネルは國鐵史上劃期的のもので、工事開始以來十六年の長日月を費やし、又幾多の犠牲者をも出して、試運轉を行ふまでに至つたものである

◇種原機械製作所の創立

同社は資本金百萬圓を以つて創立され役員を左の如く選任した

▽社長 篠原義治▽社長代理 篠原爲儀▽

昭和九年九月・十月

取締役 早川由吉▽監査役 小島七藏  
 ◇東京市の人口五百六十六萬人と發表  
 東京市は昭和九年十月一日現在の推計人口を五百六十六萬三千三百五十人と發表した

◇玖馬全島の共產黨掃蕩

玖馬島の共產黨労働同盟は待遇改善を要望、結局容れられぬので八日に至り全島に亘る掃蕩を開始した

二日(火)

◇山本代表、華府條約廢棄を聲明

軍備平等確立の重大使命を擔つてロンドンの海軍條約會議に臨む帝國代表山本五十六少將は、本日シャトルに到着し、左の如き聲明を發表した  
 「帝國政府は近く英米兩國政府に對し現行海軍條約廢棄の決定を通告し、且つ國防の安全確保に必要な最少限度の軍備を基調とした新海軍縮少案を提示するであらう」

◇東電の供給區域を京成電軌に擴大

京成電軌會社は、千葉縣下並に茨城縣一部における電燈電力供給事業の經營を企圖し、東電の同地方における營業權及び供給設備讓受けを希望してゐるが、東邦電力社長松永

安左工門の斡旋に依り讓渡することとなつた讓渡金額は約三千萬圓である

◇學博士遺族、禮協に百萬圓寄附

前體育協會々長故岸清一博士の遺族は故博士の一週忌を迎ふるに當り、故人の遺志を繼承して金百萬圓を體育協會に寄附した。體育協會はこれを以て帝都の中心地に理想的な體育館を建設することになつた

◇横濱市水道局庶務課長召喚さる

横濱市疑獄事件は發展し、水道局庶務課長技師尾島貞治は檢事局に召喚取調を受けた

三日(水)

◇日本ペイント、日滿塗料を合併

同社(資本金五百萬圓)は臨時總會を開き日滿塗料會社(資本金百萬圓)を合併し、六百萬圓に増資する件を可決した

◇全滿洲の地方制度確立

滿洲政府は十二月一日から、全滿洲を十一省(奉天省、吉林省、濱江省、龍江省、黑龍省、三江省、間島省、安東省、錦州省、熱河省、興安省)に分けて新時代に適應した地方行政を確立することになつたので、本日同政府當局から談話の形式で發表された

◇賊變界の恩人斯波忠三郎死去

一(六七九)



帝大名譽教授工學博士貴族院議員、斯波忠三郎男は本日東京駒込の自邸において死去した。享年六十三。男は明治二十七年東京帝國大學工科を卒業後英、佛、獨に留學、歸朝後東大及び海軍大學の教授となり、明治三十九年學位を授けられた。大正六年貴族院議員となり、同十二年航空研究所長に推舉され、昭和四年航空研究所の高速度撮影機完成で米國機械學會から功勞章を贈與された日本航空界の恩人である。

四日(木)

○未成年者のカフェー出入禁止通牒  
警視廳保安部は未成年者、學生生徒のカフェー、バー、ダンスホールへの出入禁止通牒を各學校當局並に府知事宛に發した。

○米國排日團、邦人宅に爆弾を投ぐ  
米國アリゾナ州の排日團は、日本人側が隠忍してゐるのにつけ込み、アリゾナ州日本人會副會長瀧口昇方にダイナマイトを投じ、又メサ在住の石川善計方附近の橋に向つてダイナマイトを投じた。フィニックス滞在中の福島領事官補は調査のため現場に急行した。

○造船界の暴斗今岡純一既死去  
浦賀、横濱兩ドック會社々長工學博士今岡

純一郎は赤坂區青山の自邸に於て死去した。享年六十一。氏は明治卅一年東大工科大學造船科を卒業し英獨に留學、歸朝後通信技師、帝國鐵道廳技師等に歴任し、後實業界に投じ兩ドック社長となり今日に及んだ。

五日(金)

○神武天皇御東遷記念祭執行  
神武天皇御東遷記念二千六百年祭は、宮崎市において、秩父宮、同妃兩殿下の台臨を仰ぎ厳肅に執行された。

○北鐵運交交渉成立す  
北鐵運交交渉は、讓渡價格一億四千萬圓に對して滿鐵兩國間に意見の一致を見たので、廣田外相は讓渡條件に關する仲介案を露國側に提議してゐたところ、本日露國大使は本國の回答をもたらし廣田外相を訪問、兩者の意見接近し北鐵交渉は成立することになつた。

○丸鋼建値七圓引上  
鋼材聯合會並に丸鋼共販組合は大阪俱樂部に定例理事會を開き、左の條項を決定した。

一、生産の制限は行はず一ヶ月生産數量三萬噸を目標とする  
一、販賣價格を七圓値上げして百圓となすこと

○新潟縣滿鐵輸出組合の設立認可  
商工省は新潟縣滿鐵輸出組合(新潟縣一圓)の設立を認可した。

○福井海軍造船少將、警視廳に召喚さる  
リユーリック號引揚同志會に絡む不正事件のため、同會理事海軍造船少將福井順平は警視廳に召喚され、捜査第二課に於て取調べを受けた。

○特許法施行五十年記念式舉行  
特許法施行五十年記念祝賀並に表彰式は、東京日比谷公園内公會堂に於て舉行された。

○ペルー國、通商航海條約廢棄を通告  
帝國政府は、本日ペルー國政府から大正十三年九月三十日リマに於て調印せる日本國ペルー國間の修好通商航海條約を廢棄する旨の通告を受けた。右條約は同日から一年の期間満了後に失効することになつた。

○アリゾナ州の排日激化す  
米國アリゾナ州の排日激化して、州知事自身も排日團の暴徒に加擔してこれを取締らざる傾向に在るので、全くの無警察狀態を現出するに至り、土地法違反の名を以て日本人農民を檢擧するの暴舉を敢てするに至つた。

六日(土)

○政府米百萬石買換に決定  
農林省は米穀統制委員會を開き、政府所有米二百萬石のうち百萬石の買換へを行ふこととなり、米穀局は百萬石拂下げを發表した。

○關印輸入卸賣業組合の設立  
關印輸入卸賣業組合は本日バタヴィアにおいて創立總會を開き日本側からも三井、三菱各支店をはじめ綿布商關係その他輸入業者約二十軒の代表者が出席した。

○スペインの騷擾全國に蔓延  
スペインのサンベル内閣が總辭職しレール内閣が成立したが、これに反對する革命的騷擾は全土に蔓延し猖獗を極め、五百名の死傷者を出すに至つたので夜半に至つて全土に戒嚴令が布かれた。

七日(日)

○東京市電從業員再び總罷業  
解決を期待されてゐた東京市電の爭議は、爭議調停委員會の減收率二割案に従業員側が絶對反對のため決裂し、東交首脳部は再罷業の指令を發し、本日始發より再び全市電のストライキを斷行した。

八日(月)

○林陸相、在滿機關の不變更を言明

林陸相は拓務省の八田、森重兩課長の來訪に際し在滿機關改革案は今變更の餘地なしと言明した。

○横濱市水道局長收容さる  
横濱市の大疑獄事件に關し本日横濱市水道局長堀江勝己は取調べの後横濱刑務所に收容された。

九日(火)

○石灰窒素共販組合は理事會を開き、三月物組合建値を五錢上げの一圓八十五錢とすることに決定した。

○ユーゴスラヴィア國王暗殺さる  
ユーゴスラヴィア國王アレキサンダー一世陛下は、佛國マルセイユに御上陸の際兇漢に狙撃され崩御あそばされた。御年四十六。同乗のフランス外相バルツも重傷を負ひ手當の甲斐なく間もなく絶命した。十四日に至り暗殺犯人はブルガリア人ウラダ・ゲオルギエフと判明した。

尙陛下の國葬は十八日首都ベサグラードに於て執行された。

十日(水)

○新興火災保險會社の創立認可

京都火災、共濟火災、大日本自動車の三社を合併して、資本金四百萬圓の新興火災保險會社創立の件は商工省に認可申請中のところ本日認可された。

○第二日本精工會社の創立  
日本精工會社(資本金百五十萬圓)は變遷増資をなすため資本金三百五十萬圓の第二日本精工會社を設立したが、同社は本日第一回拂込を徴收し、明年三月合併することに決定した。

○藤沼警視總監、東交へ爭議打切勸告  
藤沼警視總監は本日東交の幹部と會見して東京市電罷業を打切るやう勸告したが、東交幹部は協議の結果、翌十一日藤沼總監に白紙一任を申出でた。

○電氣業界の長老大澤善助死去  
京都電燈會社相談役大澤善助は本日京都市河原町通三條上るの自邸において死去した。享年八十一。氏は明治二十四年京都電燈を創立して社長となり、又二十七年我國最初の電氣業界に多大の功績を残した。

十一日(木)

○神戸種子輸出組合の設立認可



商工省は本日神戸帽子輸出組合の設立を認可した

林滿鐵總裁、英國視察團に聲明  
林滿鐵總裁は英國産業視察團の大連到着を前に、人類への経済的幸福を満洲で認識せよとの聲明書を發表した

北鐵現地代表クツネツオフ來朝  
北鐵交渉に關しクツネツオフ現地の事情にもつとも精通せる北鐵副理事長クツネツオフは下關入港の關釜連絡船で日本來朝した

陸軍、在滿機關改革に關し聲明  
陸軍は在滿機關改革中、憲兵司令官の警務部長兼任に關する誤解を一掃するため聲明書を發表した

農林省、滿れ米を東北四作地に拂下  
農林省は大阪の政府所有の滿れ米十四萬二千九百俵を東北四作地方に拂下げることに決定した

鐵鋼關稅の引下げ運動起る  
大阪自由通商協會は、本日各鐵鋼業者代表の協議會を開いた結果、協會が主體となり政府に鐵鋼關稅引下げを陳情する一方、各當業者に向つて自覺を促すこととなつた

東京市電爭議解決す  
東京市電爭議は左の條件で解決するに至り警視總監室に於て市當局と爭議首腦部との間に正式に覺書の調印を終つた

關東廳、在滿機關改革の現地狀況報告  
關東廳大場警務局長は、在滿機關改革に關し、現地の折衝狀況に關し妥協案の作成は絶對無効であると拓務省に報告した

支那政府、銀に對し輸出稅賦課  
支那國民政府財政部は銀の輸出に對し一率に對し一割の輸出稅を課することに決定した

佛國元大統領ボアンカレリ死去  
フランス元大統領ボアンカレリは本日バリの自邸で死去した。享年七十四。氏は歐洲大戰以來の大立物で、フランス資本主義の相對

支那國民政府、銀に對し輸出稅賦課  
支那國民政府財政部は銀の輸出に對し一率に對し一割の輸出稅を課することに決定した

關東廳、在滿機關改革の現地狀況報告  
關東廳大場警務局長は、在滿機關改革に關し、現地の折衝狀況に關し妥協案の作成は絶對無効であると拓務省に報告した

碓安建儲備に決定  
碓安配給組合は京都ホテルに理事會を開き十一月一日建値は、現行(十貫目三圓五十錢)を据置くことに決定した

梨園の長老片岡仁左衛門死去  
十一代目松島屋片岡仁左衛門は本日大阪に旅行中死去した。享年七十八。二歳の時に登場したのを始めとして今日まで七十餘年の舞臺生活を送り、歌舞伎劇に於ける古典的演技を稱讃されてゐた。「桐一葉」の且元や、「名工柿右衛門」「櫻時雨」の紹由などもはまり役とされてゐた

政府、在滿機關問題に關し聲明  
憲兵司令官の警務部長兼任問題につき政府は緊急臨時閣議を開き書記官長談話の形式で政府の方針は終始一貫して變らず命令系統の統一を圖るもので警察機關を憲兵化するものではない旨の聲明を發表した

關東廳局長以下總辭職を決定  
本日の閣議決定に關し同夜關東廳は長官々

邸に緊急協議會をひらき、憲兵司令官の警務部長兼任は警察官を憲兵化するものであると閣議の決定に反對し大場、中村、日下の三局長以下各課長は總辭職を敢行することに決定した

佐野・鍋山・三田村上告取下  
第二次日本共産黨の首腦佐野學、鍋山貞親三田村四郎の三名は上告中のところ上告取下書を提出、過去を清算するため下獄することになつた

血盟團事件結果となる  
血盟團事件公判は昨年六月第一回公判開廷以來第九十一回目の最終辯論があつて本日結審となつた

輸出措置規則の公布  
同規則は本日商工、農林省令を以て公布され二十日より施行された

朝鮮勸業規則の公布  
同規則は本日朝鮮總督府令を以て公布され二十日より施行された

砂塘問題につき關印側は日本は向ふ三年間五十萬トンを買付けることを政府が明確に保障すべし等の五項目にわたる内政干渉に及ぶ亂暴極まる案を提出した

全滿の警官五千名總辭職  
全滿二十九警察署巡查代表大會は大連警察署において開會、百餘名出席、政府の警察官の憲兵化方針に反對し全滿五千の警察官の進退につき協議の結果、總辭職をなすことに決定した

ブラツセルに金プロツク會議開催  
金プロツク會議はブラツセルにおいて開かれた。同會議は金本位維持經濟關係調整を目的として特にフランスが輸入國に對し種々の制限を加ふるを變更せしめんとするベルギーの意向から開催されたものである

實業教育制定五十年記念式舉行  
實業教育制定五十年の記念式は東京日比谷公會堂に於て舉行された

第十五回赤十字國際會議開幕  
第十五回赤十字國際會議開幕式は、本日開院宮殿下の臺臨を仰ぎ、東京芝公園赤十字社本部大講堂に舉行された

太平洋東北橫斷飛行を決定  
瀛洲名飛行家キングスフォード・スミスはプリンスペイン、サンフランシスコ間太平洋東北橫斷飛行の壯途についた

日印通商條約の批准交換  
日印通商條約の批准交換は、イギリス外務省で松平大使とサイモン外相の間に行はれた

海軍軍備縮減交渉第一次會議行はる  
ロンドン海軍軍縮條約交渉第一次會議は本日英首相官邸に行はれた。マクドナルド英首相の挨拶があり、松平代表は日本の軍縮方針の根幹を説明し軍縮案を提出した

久原・徳山本の政民聯携協定  
政友會の久原房之助と、民政黨の依孫一は山本条太郎邸に會合して政民聯携運動に關し協議するところがあつた

日英通商委員會の設置  
イギリスの産業團は日本經濟聯盟と意見交換の結果、日英通商委員會を設置することに決定し、郷誠之助、バーンビー兩氏連署で聲



明書を發表した

◇日米軍備備會發行はる

ロンドン海軍備備會議の日米第一次會談は本日米國代表部の宿舎クラリツヂ・ホテルにおいて行はれた

二十五日(木)

◇兒玉秀雄、拓務大臣に親任さる

從二位勳一等伯爵兒玉秀雄は拓務大臣に親任され、内閣總理大臣兼拓務大臣岡田啓介は兼官を免ぜられた

◇警視總監の更迭

警視總監藤沼庄平は後藤内相に正式辭表を提出したので、後任として小栗一雄(福岡縣知事)を推すことに決定した

◇米穀證券六千八百萬圓發行

大藏省は日本銀行引受の下に左の條件により、第三十一回米穀證券六千八百萬圓を發行した

▽割引歩合 日歩七厘五毛▽支拂期日 昭和十年四月二十五日

◇高山線の全通式舉行

高山線(岐阜、富山間二二五・八キロ)の全通式は本日飛騨の高山に於て盛大に舉行され内田鐵相以下参列した

◇日本・蘭印同國電話開通

日本・蘭印間六千キロの國際電話開通式は東京中央電話局において舉行された

◇英米軍備代表、日本の提案検討

日英、日米會談によつて日本の軍縮に對する根本方式が英米兩國に通達されたので、本日英首相マクドナルドは米首席代表デヴィスを招きサイモン英外相を交へて日本側の提案につき内容の検討を行つた

◇英・米・蘭三國、日滿兩國に抗議書提出

イギリス政府は、滿洲國の石油統制に關し九ヶ國條約第三條門戶開放、機會均等の原則に基き東京駐劄イギリス大使、新京駐劄イギリス領事を通じ日滿兩國政府に對し抗議を提出した。尙アメリカ、オランダの兩政府も同じく抗議書を提出した

二十六日(金)

◇東北地方の振興調査機關設置

本日の定例開議に於て、東北一般の振興に關する調査機關設置の件を決定した

◇外務省、滿洲國の石油統制真相發表

外務省は滿洲國の石油統制計畫に關する米英、蘭三ヶ國の九ヶ國條約引用の抗議に對し石油の製造、輸出入迄政府において獨占しようとするものでない旨發表した

うとするものでない旨發表した

◇横濱市電氣局長收容さる

横濱市の疑獄は益々擴大し電氣局長稻葉文毅は検事局に召喚され、起訴前の強制處分によつて横濱刑務所に收容された

二十七日(土)

◇日支兩國賭博案打開を懇談

駐日支那公使蔣作賓は、本日廣田外相と會見し日支兩國の諸懸案を打開するため懇談を遂げた

◇セメント業界の統制成立

洋灰統制強化問題は商工省の最後案(紙袋九十九銭を最高價格とする)提示に對し洋灰聯合會は本日緊急協議會を開いてこれを承認することとなつたので遷延した同問題は五ヶ月目に漸く解決するに至つた

◇那覇商工會議所の設立認可

商工省は沖縄縣那覇商工會議所の設立を認可した

◇シヤム國王退位事情發表

ロンドン南郊クランレイ在のシヤム國王御宿舎から、本日シヤム國王退位事情につきコムミニケが發表され、シヤム國王御退位の原因は國土と國民議會との紛糾にあることが

明かにされた

二十九日(月)

◇政友會幹部の政民聯携意見一致

政民聯携問題に關する久原、山本(条)兩長老と、政友會の顧問との懇談會に於て、政民聯携を促進實現することに意見が一致した

◇製紙基本限産率四割六分に決定

製紙聯合會は商議員會に於て協議の結果、十一月以降二ヶ月間の製紙基本限産率を五分緩和して平均四割六分となすことに決定した

◇第二警備隊會社の創立

同社(資本金百五十萬圓全額拂込済)は本日東京丸の内海上ビルに於て創立總會をひらき左の役員を選任した

▽代表取締役 前川益以▽取締役 岡部正樹、菅原萬次郎▽監査役 渡邊六藏、河合潔

◇東京女高師六十周年記念式舉行

大塚窪町に移轉した東京女子高等師範學校は新築校舍に 皇后陛下の行啓を仰ぎ開校六十周年記念式を舉行した

◇農村救済に三井・三菱四百萬圓密附

東北の凶作禍をはじめ全國農村の旱害、冷害、風水害に對し三井合名は三百萬圓を、三

菱合資は百萬圓を寄附する旨内務省に申出た

三十日(火)

◇北鐵國境交渉の細目折衝

北鐵國境交渉に於て、廣田外相の提示した細目條件に關し、駐日ソヴエト大使ユレニエフは本國政府の回答をもちまして本日廣田外相を訪問、折衝を繼續した

◇次期紡績短率短縮に決定

紡績聯合會は委員會をひらき明年一月以降三月末に至る紡績短率に關し協議の結果、四晝夜休業基準一割二分二厘休鍾と現行率据置きに決定した

◇日立電力一千萬圓に借額増資

同社(資本金五百萬圓)は東京丸の内日産ビルに定時總會をひらき五百萬圓を増資して一千萬圓となす件を可決した

◇保土谷曹達、東洋曹達を合併

同社(資本金三百萬圓)は總會を開き傍系會社東洋曹達(資本金九十萬圓)を合併し三百九十萬圓に増資する件を可決した

◇日本最初の豊橋乾草取引市場設立

豊橋乾草取引市場の創立總會は本日開かれ定款、業務、規定を正式に決定、來月八日開場と決定した

◇滿洲國財政部、石油政策を發表

滿洲國財政部は石油政策に關し左の如く發表した

石油は政府の專賣とするも、輸出入の許可並に政府指定の賣捌は國籍の如何を問はず均等の待遇をなす

◇コロンビヤ國、通商條約廢棄を通告

帝國政府は本日コロンビヤ國政府から明治四十一年五月二十五日ワシントンに於て調印の日本、コロンビヤ間修好通商航海條約を廢棄する旨の通告に接した。右は通告後六ヶ月にして失効となるものである

三十一日(水)

◇新鋭艦運艦「若葉」竣工

佐世保の海軍工廠で建造中であつた一等驅逐艦若葉は竣工し、その引渡式は本日佐世保軍港で舉行された。同艦は排水量千四百噸の新鋭艦で第二十一驅逐隊に編入される

◇東京乗合自動車一千萬圓に増資

同社(資本金四百三十一萬圓)は去る四月五日の臨時總會の決議に基き五百六十九萬圓を増資、資本金を一千萬圓となした(日不詳)



【十一月】

一日 (木)

○若槻民政黨總裁辭意を表明

濱口雄幸の遺囑後暫定的の條件で民政黨總裁に就任してゐた若槻禮次郎は黨首職務に對し辭意を表明した

○東海電機製造三百萬圓に増資

同社(資本金百萬圓)は總會を開き資本金を三百萬圓に増資の件を可決した

○住友機械製作會社の創立

住友別子鐵山の附帯事業である新居濱製作所は鐵山より分離し、資本金五百萬圓(拂込二百五十萬圓)の住友機械製作會社を創立することに成り、創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役會長 小倉正恒▽常務取締役 三村起一▽取締役 川田順、山本信夫、荒木宏、飯田彌五郎▽監査役 松本順吉、荒川英二

○警視廳警務課長検査局に召喚さる

警視廳警務課長武内哲夫は、東京地方検事局に召喚を受け、約六時間に亘つて峻烈な取調べを受けた。右は恐喝犯人と通謀の嫌疑を受けたものである

受けたものである  
二日 (金)

○東電電燈の千葉區域價格決定

東京電燈は、定例重役會議を開き、京成電軌に譲渡する千葉區域の價格は三千三百三十八萬圓と決定した

○福澤諭吉生誕百年記念祭

福澤諭吉の生誕百年記念祭は本日から六日まで慶應義塾において盛大に開催された

三日 (土)

○第一回學生航空選手權大會舉行さる

第一回學生航空選手權大會は、午前七時から羽田の東京飛行場に開催、澄宮殿下と、東久通若宮殿下は學徒島人の競技を臺覽遊ばされた

○ライヒス・バンク、外債利子支拂停止

獨逸のライヒス・バンクはドーズ並にヤング公債を除く長中期外債利子の現金支拂停止を聲明した

四日 (日)

○大蔵省、増税斷行を決定

大蔵省は本日の省議に於て増税の斷行を正式決定し、新に創設される臨時利得税の内容を發表したが、臨時利得税に伴ふ増収は十年

度は三千萬圓、十一年度以降の平年度は四千萬圓の見込みである

○逓信従業員聯盟の結成大會開催

東京淺草公會堂に於て、逓信部内の労働戰線の統一強化を目標とする逓信従業員聯盟の結成大會が開かれた。逓信従業員聯合會、逓信従業員統一同盟、日本逓信従業員組合が合同参加し、代議員三百四十名、組合員二千五百名が参加し「郵便値上反對」を決議し、更に役員を決定して午後五時散會した

○利殖家乾新兵衛死去

乾新兵衛は東京牛込區喜久井町の親戚柄原忠雄方で發病午後九時死去した。享年七十三氏は兵庫縣川邊郡北野村の小賣酒屋前田甚兵衛の子と生れ、十一歳の時乾新兵衛の丁稚となり、後乾家に入婿して新兵衛を名乗つた。金融業等を營んだが、船舶業が日露戰爭と歐州戰爭で當り一億の巨富を築くに至つた

五日 (月)

○町田忠治、民政黨總裁任を拒絶

辭意を表明した若槻民政黨總裁は、後任總裁として商相町田忠治の驅起を懇懇懇請したが、商相は拒絶した

○絹紡機短縮準備に決定

絹紡工業會は本日大阪綿業會館に委員會をひらき十二月以降の操短率を現行率(賣糸一割五分自家用糸九分)据置と決定した

○小泉又次郎、リ號引揚事件で召喚さる

現横須賀市長、元逓相小泉又次郎は、任意出頭の形式で警視廳に召喚され、リネーリツク號引揚事件の重大な参考人として取調べを受けた

六日 (火)

○臨時議會召集日決定す

本日の定例開議に於て、臨時議會の召集日は左の如く決定した

▽召集期日 十一月二十七日▽開院式 十一月二十八日▽會期 七日間(滿了十二月四日)

○アフガニスタンに帝國公使館設置

アフガニスタンに新設された帝國公使館は本日開館され、初代公使北田正元は首都カブールに着任した

○政府米百萬石第二回買替を發表

農林省は、米穀統制委員會において決定せる政府所有内地米約二百萬石以内買換の内、本日第二回分約百萬石を買替へる旨發表した

七日 (水)

○東北の冷害凶作救恤に五十萬圓下賜

天皇、皇后兩陛下には東北地方の冷害凶作を御軫念あらせられ御内帑金五十萬圓を下賜遊ばさる旨御沙汰あらせられた

○阪神電鐵の延長認可

同社は神戸市内に於ける電車區間三キロ一三八の延長方を認可申請のところ本日許可された。延長區間は地下線で、工事費は一千萬圓である

○レイオン曹達會社の創立

東洋レイオン會社は人絹工業における重要藥品の一部たる苛性ソーダの自給自足を圖るため三井物産系の北海道曹達と合同出資によるレイオン曹達會社(資本金百五十萬圓)を創立し本日創立總會をひらき左の役員を選任した

▽常務取締役 坂本敏彦▽取締役 中井四郎、堀内明三郎、秋庭義清、井上治一、佐羽太三郎▽監査役 原安三郎、高木宇吉

○英國、軍縮案を提示

第四次日英會談に於て、英國は軍縮の妥協案を提示して、或期間後を條件に我均等要求を容認する旨表示したが米國は反對の態度を示した

八日 (木)

○日蘭會商繼續を發表

日蘭會商に於て長岡、ランネフト兩首席代表は會談の結果、會談を繼續すべき旨のコミニニケを發表した

○臨時利得税決定のため諸株大亂れ

日産の不勢に嫌氣がさしてゐるところに、臨時利得税の決定等が影響して各株とも底なしに崩れ立ち、軒並一圓乃至三四圓方の暴落を演じ、日産は百圓を割り九十六圓、新東も百二十圓を割るに至つた

○名女形尾上梅幸死去

一代の名女形とうたはれた尾上梅幸は本日東京麹町區永田町の自邸で死去した。享年六十五。明治九年名古屋で「五條橋」の牛若丸を勤めたのが初舞臺で十二の時東京に出て五代目菊五郎の養子となり、後六世梅幸を襲名入神の技は世間に廣く激賞されてゐた。明治四十四年帝劇開設と共に同劇場技藝委員長となり、更に大日本俳優協會々長を勤めてゐた

九日 (金)

○日本人絹織物工業組合聯合會の創立

日本人絹織物工業組合聯合會の創立總會は東京丸の内日本工業俱樂部に開催され定款、



統制規定等を決定し、次で左の如く役員を選任した

▽理事 岸(石川)、後藤(岐阜)、彦部(桐生)、三輪(名古屋)、中島(福井)、久保(福井)▽監事 木村(足利)、岡田(大阪)、山田(鯖江)、新名(金澤)

◇五・一五事件従犯大川博士等に判決 控訴中の五・一五民間側従犯大川周明博士等に對し判決言渡しがあり、一審に於て懲役十五年の判決を受けてゐた大川博士が禁錮七年に處せられ、その他何れも一審より著しく減刑された

◇横濱市土木局長、検事局に召喚さる 横濱市の疑獄事件擴大し土木局長永田兵三郎は横濱検事局に召喚された

◇大元帥陛下、大演習を御統覧 大元帥陛下には本日帝都を御發轍、群馬縣の大本營に向はせられ、十一日より三日間兩毛の野に行はれる大演習を御統覧せられることになつた

◇横濱市騒動で大西市長引責辭職す 疑獄事件のため横濱市第二助役大岡大三は本日検事局に召喚されたが、多數市首腦者の分存せしめることに決定し、土肥原特務機關長は奉天、大連間を往來し、軍官民の融和と對滿政策を遂行することとなつた

◇小野田セメント、聯合會を脱退 統制機關改組に對する問題で妥協が成立せず、小野田セメント會社は淺野側十三社のセメント新聯合會から脱退し、大分セメント會社は、小野田への義理立てから當分成行きを靜觀することになつた

◇昭和合成化學工業會社の創立 同社は大阪俱樂部に創立總會を開き、資本金五十萬圓(四分の一拂込)を以て設立に決定、左の役員を選任した

▽代表取締役 小島甚太郎▽取締役 高橋保、小野義夫、直江平十郎▽監査役 酒井寛三、横田義夫、廣田慶太郎

十五日(木)

◇日英通商委員會の設立決定 日本經濟聯盟では常任委員會を開き財界の有力者より顧問三名、委員十名を擧げ日英通商關係委員會を設立し、日英通商上重大なる事項に就き隨時協議することに決定した

◇四分利公債四百一十萬餘圓發行 政府は四分利公債四百一十萬四千五百七十

起訴と、疑獄に連坐した贈收賄者は七十名に達したため責任を感じ市長大西一郎は辭表を提出した

◇大系線の一部開通 北陸線と信濃線を聯絡する重要線路として工事中の新潟縣糸魚川町と、長野縣大町とを結ぶ九キロ八分は竣工した。この區間の開通により北アルプス越後口の登山者に非常に便利になつた

◇災害豫算承認額一億七千五百萬圓 大藏省は本日災害豫算に對する省議を開き總額一億七千五百萬圓を承認し、各省に内示した

◇ロシア鉄四萬噸輸入商談成立す 本日鉄鐵共販會社とロシア通商代表部との間に、鑄物用三號鉄、製鋼用A號鉄類似のソ聯鉄合計四萬トンを四十七、八圓程度で本年中に輸入することに商談成立した

◇廣田外相、露國大使に試案提示 廣田外相は外務省にユレニエフ大使を招き未解決となつてゐる北鐵讓渡條件一切に關し

五圓を償還期限五年据置後三十年内の條件で發行した

◇セメント限産率現行據置に決定 セメント聯合會限産委員會は大阪事務所に開催、十二月以降三ヶ月間の限産率を各月五割七分(据置)と決定した

◇硫安運搬據置に決定 硫安配給組合は理事會を開き、建値は十貫目三圓五十錢据置きに決定した

◇第一生命、結核豫防費百萬圓を提供 第一生命保險會社は結核豫防資金として百萬圓を提供し、近く財團法人の許可を待つて來春早々事業に着手することになつた

◇英佛の兩有力會社、滿洲國に投資 フランスのプロサール・モバン會社は、滿鐵の傍系たる東亞土木會社との間に日佛合辦の組合を組織する契約書に調印し、イギリスのセレクション・トラスト會社代表ブリナーは滿洲產金會社と提携して滿洲採金事業に協力する契約を締結した

◇政民代表、聯携に關し初會見 政民聯携に關し、兩黨準備委員久原、山本(条)富田、頼母木四氏は本日午後三時より東

試案を提出して折衝を遂げた

◇濱名紡績會社の創立 同社は資本金五百萬圓で設立され、創立總會を開き役員を左の如く決定した

▽取締役 宮本甚七、古橋林司、伊藤忠兵衛、川上嘉市、加茂喜一郎、金井喜三郎、河合金平、豊田喜一郎、中村信太郎、堀内國作▽監査役 伊藤竹之助、井上富三、中村圓一郎、袴田五平

◇滿洲國、石油專賣法を公布 滿洲國政府は石油類專賣法を決定し、參議府會議を経て本日これを公布した。同時に石油專賣法の趣旨につき聲明を發表した

◇内地人口六千八百九十九萬人と發表さる 内閣統計局は昭和九年十月一日現在の内地に於ける推計人口は六千八百九十九萬四千九百人と發表した。内男子は三千四百二十七萬九千三百人、女子は三千三百九十一萬五千六百人で、男子は女子より三十六萬三千七百人だけ多い

◇大連特務機關存置に決定 在滿構構問題解決後その存置を氣遣はれてゐた特務機關は、現地情勢の重要性に鑑み當

京丸の内日本工業俱樂部に於て初會見をなし懇談した

◇東北四作地へ政府米支給 農林省は米穀顧問會議を開き東北四作地に政府米臨時交付案を提示したところ各顧問ともこれを承認した

◇洋灰聯合會に統制法發動 洋灰統制問題に關し、商工省は本日第三回統制委員會を開催し、十三社協定に對する統制法第二條發動の件を審議發動することを可決した。昭和六年臨時重要産業統制法制定以來最初の發動である

◇鐘紡、綿羊飼育場を新設 津田鐘紡社長が實地を視察した結果、別府市外扇山山麓と鬼島原に一大綿羊飼育場を新設することに決定した

◇三大事件の控訴判決言渡 五私鐵事件、賣動事件、合同毛織事件の三大事件は東京控訴院において左の如く控訴に對する判決言渡があつた

▽五私鐵關係、懲役二年 小川平吉▽賣動關係、懲役二年 天岡直嘉▽合同毛織關係 懲役三月(三年間執行猶豫) 藤田謙一



十八日(日)

◇聖上陛下還幸

天皇陛下には陸軍特別大演習御統裁に引續き、群馬、栃木兩縣地方の行幸を終へさせられ九日ぶり宮城に還幸遊ばされた

◇日本労働組合全国評議会の結成

日本労働組合全国評議會は、その結成大會を東京芝の協同會館で舉行、加藤勤十が議長に當選し宣言を決議して散會した

十九日(月)

◇洋灰統制會、解散に決定

セメント販賣協會統制會は、本日大阪瓦斯ビルに總會を開き、統制會は本月末限り解散することを可決した

◇虚弱壯丁の激増と米を食はぬ村調査

近年徴兵検査の結果、筋骨薄弱の壯丁が激増するので陸軍省醫務局に於て内務省に「米を食はぬ村落の有無」について調査依頼中のところ、百八十二ヶ村の米を食はぬ村が判明陸軍省は内務、農林その他關係各省とともに國民衛生工作を進めることになつた

二十日(火)

◇旭電化工業五百萬圓に増資

同社(資本金二百萬圓)は三百萬圓を増資

して五百萬圓となし本日登記を了した

◇東京市の失業インテリ救済起債認可

東京市は低級給料生活者の失業救済事業費に充當するため總額五十一萬七千九百九十七圓の起債認可方を内務、大藏兩省に申請中のところ本日原案通り認可された。これは失業インテリを雇つて官廳の委託事務、調査事務に當らせるものである

二十一日(水)

◇凶作地の婦女身賣防止を遺囑

凶作に悩む東北地方の婦女の身賣防止について内務省は本日全国府縣知事に取締りの通牒を發した

◇丸鋼建備置に決定

鋼材聯合會は大阪俱樂部で定時總會を開き十二月以降三ヶ月間の生産割當を一ヶ月二萬二千六百トン、建備トン當り百圓(据置)に決定した

◇大同對東電の紛争落着す

大同電力對東電の電力供給紛争に關する電力聯盟委員會は本日東京に開かれ、池尾委員より顧問の裁定書を發表、小林、増田の兩當事者は左の條項を受諾したので兩電紛争は解決した

▽昭和九年十二月一日より滿十ヶ年東電は大同より電力の供給を受く▽初年度四萬五千キロ、十年末五萬五千キロ、十一年末六萬五千キロ、以後毎年五千キロを増加、昭和十八年末十萬キロに達す▽一キロ年九十六圓(負荷率六十パーセント)

◇桑港に生糸清算取引所開市

桑港に生糸清算取引所を設置すべく計畫中のところ本日より開市した

二十一日(木)

◇血盟團の判決言渡

一人一殺主義で非常時日本の國內改造に捨石となるため結束した血盟團被告十四名に對し、東京地方裁判所において求刑より何れも軽い左の如き判決言渡しがあつた(括弧内は求刑)

無期懲役(死刑)

井上 昭

同 (同)井上藏相暗殺)小沼 正

同 (同)團琢磨暗殺)菱沼 五郎

懲役十五年(同) 古内榮司外十名

◇東京市長以下百三十八名告發さる

數回の疑獄事件を惹起した東京市會に對し最近更に怪聞が傳へられてゐたが、牛塚市長以下百三十八名に對する贈收賄の告發狀が市

會議員本多市郎から東京地方検事局に提出されたが去る七月牛塚市長は市會議員全部に對し、水道事業調査事務囑託名義で總額七萬六百萬圓を支給したことは瀆職であるといふのである

二十三日(金)

◇講道館創立五十年記念祭舉行

多くの柔道家を養成した講道館の創立五十年記念祭は本日、開院元帥宮殿下の台臨を仰ぎ東京小石川水道橋の新装成つた同館大道場で舉行された

◇上海の滙豐銀行取付

支那に於ける英國の勢力を代表する滙豐銀行上海支店は支那人の大口取付やまず本日預金者に對して支拂猶豫を求めた

二十四日(土)

◇明年度豫算二十一億九千萬圓と決定

本日の閣議に於て明年度豫算の總額は災害豫算をも含めて二十一億九千六百四十四萬四千圓これに伴ふ公債發行額は七億五千三十五萬七千圓と正式に決定した

◇増稅案正式に決定す

本日の閣議に於て藤井藏相は初年度三千萬圓、次年度四千萬圓の増稅案を提案し正式に

決定を見るに至つた

◇神奈川縣廳廳長二課長召喚さる

横濱市の大疑獄は神奈川縣廳に波及し本日、土木部經理課長橋坂武運三、學務部學務課長里見富次が検事局に召喚を受けた

二十五日(日)

◇政民關係委員一致す

政友會の久原房之助、山本条太郎、民政黨の富田幸次郎、頼母木桂吉は本日東京丸の内日本工業俱樂部において會見、聯携に關する兩黨申合せの内容を協議した結果、左の如く意見一致し、翌二十六日共同聲明としてこれを發表した

一、兩黨自我の立場を離れて相携へて困難打開に盡すこと

一、その爲には公正無私の考へを以て國策を檢討樹立し時難を打開すること

◇北原島根縣土木課長收容中に絶死

横濱大疑獄から飛火した岐阜縣土木課をめぐり疑獄事件に關聯し横濱ドック會社より收賄した嫌疑で横濱検事局に押送された島根縣土木課長(元岐阜縣土木技師)北原峻は横濱刑務所の獨房内で絶死を遂げた

二十六日(月)

◇藤井藏相、容態悪化し辨表提出

藏相藤井眞信は病弱の身體を以て重大なる豫算編成に當り苦心を重ねたため容態悪化し岡田首相に辭表を提出した

◇北鐵未解決問題に關し折衝

駐日露國大使ユレニエフは廣田外相を訪問して、北鐵讓渡の未解決問題に對しモスコイ政府の回訓をもたらし五時間以上に亘つて折衝を行つた

◇米穀證券一億五百萬圓發行

大藏省は第三十二回米穀證券五千五百萬圓並に第三十三回米穀證券五千萬圓を左の條件で發行した

▽第三十二回 割引歩合 日歩七厘五毛

支拂期日 昭和十年三月二十五日

▽第三十三回 割引歩合 日歩七厘五毛

支拂期日 昭和十年五月二十五日

◇滿鐵輸出組合聯合會の成立

商工省は本省に滿蒙輸出組合聯合會創立委員會を開催、十組合より創立委員二名宛出席協議の結果、東京、大阪、兵庫、神奈川、愛知組合の代表者より成る小委員會で審議した原案を可決し、本部は東京と大阪に置き、聯合會本部は商工省貿易局内に設置することに



なつた

日本儲蓄一億六千萬圓に増資  
同社(資本金七千五百萬圓)は臨時總會を開き八千五百萬圓を増資して一億六千萬圓となす件を可決した

山下東京市電氣局長辭表提出  
東京市電氣局長山下又三郎は辭表を提出した。電氣局更生問題に關し市會の態度を憤慨したためである

第六十六臨時議會召集さる  
關西風水害全國農村の災害救済豫算並に在滿機關改革案を審議する第六十六臨時議會は本日召集され、二十八日 天皇陛下親臨の下に開院式を舉行、優渥なる勅語を賜つた

高橋長清、大藏大臣に親任  
藤井藏相が重態に陥り辭表を提出したので岡田首相の懇請により高橋長清が後任藏相就任を受諾し本日その親任式が舉行された

指橋輸出許可規則の公布  
同規則は本日商工、農林省令を以て公布され即日施行された

外相、華府條約共同廢棄を佛伊へ提議  
廣田外相は外務省に佛、伊兩國大使を招き

正式に華府海軍條約共同廢棄に關する提議をなした

森平兵衛を日本商議團團頭に推薦  
日本商工會議所副團頭稻畑勝太郎辭任に伴ふ役員補缺選挙の結果、大阪商議團頭森平兵衛が満場一致で推薦された

弱體保險會社の創立決定  
生命保險協會は、首腦部會議を開き、資本金二百萬圓(四分の一拂込)を以て弱體保險會社を創立することに決定した

關西風水害の保額損害高六百四十萬圓  
過般の關西風水害による内國保險會社の損害額は、六百三十九萬三千圓であると、商工省保險部から發表された

植田兩大将の親任式舉行  
東京警備司令官陸軍中將西義一、朝鮮軍司令官陸軍中將植田謙吉は陸軍大将に昇進、本日親任式が舉行された

ロイド・ジョージ日本を攻撃  
イギリス下院に於ける國防問題の討議に於てロイド・ジョージは一年餘の沈黙を破り、日本の態度は帝政ドイツの後を追ふものであつて世界平和樹立に對する第二の障礙である。

又對支優越を日本に許す勿れ」と述べた

米國下院海軍委員長の對日聲明  
アメリカの下院海軍委員長カール・グインソンは「若し日本がワシントン條約の廢棄を飽くまで主張するならば、余は議會に對し日本が三噸の建艦をなす毎に五噸の建艦をなす經費支出の提案をなして日米海軍の比率維持を確保せんことを要求する方針である」と聲明した

二十九日(木)  
狭山飛行場の開場式舉行  
陸の少年航空兵を訓練する所澤飛行學校の狭山飛行場開場式は本日舉行された

關印側面歩、神戸會商を應諾  
日蘭海運問題は、蘭印側が日本内地の情勢を考慮して遂に屈服し、民間會商たる神戸會商を認め應諾するに至つた

日本商工會議所、財政計畫確立を建議  
日本商工會議所は本日の總會に於て財政計畫確立のため官民合同の調査機關設立を提唱これを政府に建議することに決した

日本捕鯨工船の南氷洋進出  
日産系の日本捕鯨は南氷洋進出を農林省に出願中のところ、南緯五十度以南、七十度以

北、東經五十度以東、七十度北西に限り出漁許可を與へた

三十日(金)  
岩田宙造、貴族院で大藏省事件を難詰  
貴族院本會議において同和會の岩田宙造博士は、大藏省事件(帝人事件關聯の演職)に關する人権蹂躪問題に關し質問を行ひ、被告人中戒具をはめられた者あり、拷問と言はれ

地方借入金利子の國庫負擔決定  
内務省は災害凶作地並に養蠶地不況に伴ふ地方公共團體借入れ金總額二億三千七百五十萬圓の利子補給問題について大藏省と折衝の結果、昭和十年年度以降四ヶ年据置期間中の利子四百八十萬圓を國庫補給とすることに決定した

四分利國庫債券三億圓發行  
政府は四分利國庫債券三億圓を左の條件で發行した

發行價格 九十八圓五十錢  
昭和三十六年六月一日迄  
東海道線丹那トンネル開通

工事完成せる東海道線の丹那トンネルは先きに公式試運転を行つたが、本日午後十時東京驛を發車する改正急行第十九列車から開通した

日本絲染織サロンの設立認可  
同組合は商工省から本日設立を認可された事務所を、大阪と神戸に置き、出資一口百圓全額拂込で引受總口数は八十七口である

北海曹達六百萬圓に倍額増資  
同社(資本金三百萬圓)は三百萬圓を増資して總資本金を六百萬圓とした

日本火災製造會社、三社を合併  
同社(資本金二百五十萬圓)は日本導火線(資本金七十七萬七千圓)日本雷管製造(資本金三十萬圓)中外雷管(資本金五十萬圓)の三社を合併、二百二十五萬圓を増資して總資本金を四百七十五萬圓とした

東亞金屬工業、三百萬圓に増資  
同社(資本金百萬圓)は二百萬圓増資して總資本金三百萬圓とした

全國蠶繭子産の負債四億七千萬圓  
農林省は全國の農村蠶繭子産につき調査中であつたが、その總数は二十九萬八千六百九十六、講金總額二十二億六千四百七十五萬六

千餘圓講負債總計は四億七千六百九十九萬圓の巨額に上つてゐると發表した

東電續演支店長召喚さる  
横濱市大塚に關聯し東京電燈横濱支店長佐藤徳徳は贈賄の嫌疑で横濱検事局に召喚された

炭礦王安川敬一郎死去  
九州炭礦界の巨頭、前貴族院議員男爵安川敬一郎は本日東京澁谷區青山山田安川寛方で死去した。享年八十六。同男は嘉永二年福岡に生れ先代安川岡右衛門の養子となり慶應義塾に學び實業に志し九州鐵業界の霸王となつた。私財を投じて明治專門學校を創立、九州帝國大學創立に際し三百萬圓を献納、大正三年福岡より衆議院議員に擧げられ、同九年勳功により男爵を授けられ、同十三年には貴族院議員に互選された

尼ヶ崎製鋼所、三百萬圓に倍額増資  
同社(資本金百五十萬圓)は倍額増資を行ひ資本金を三百萬圓とした(日不詳)

十二月  
一日(土)  
濱田國松、衆議院で人権蹂躪を攻撃



政友會代議士濱田國松は衆議院本會議に於て、政府に對し大藏省の人権蹂躪問題を提げて攻撃的質問をなした

日本代表、英代表に保有量切下案提示

山本帝國代表は英國軍令部長チャトフイールドに、英海軍の保有量を百萬噸以下に切下げよと具體的數字を提示した

滿洲國石油專賣の我過露を英米互駁

滿洲國の石油專賣制實施に關し日本が發した通牒に對し英、米兩國は日本の主張を反駁した抗議書を日本政府に發送した

高橋藏相、増税尙早を言明

衆議院本會議に於ける中島彌剛次(民政)の質問に對し高橋藏相は「一般的増税問題は考慮の餘地がない」と言明し更に「現在政府は製鐵獎勵法を廢止する意志はない」旨を言明した

華府條約共同廢棄を佛國拒絶す

駐日佛國大使フェルナン・ピラは廣田外相を訪問し、華府條約共同廢棄の提議には應諾し難い旨を正式に回答した

露蒙通商條約の成立

兩國代表商議の結果、露蒙通商條約及び露蒙通商決濟條約が成立した旨露國政府から發

表された

ソ聯の黨支部長キロフ暗殺される

ソ聯共産黨中央執行委員レニングラード黨支部長キロフは、レニングラードのソヴェト會館において暗殺された。キロフは本年四十四歳の若手黨員の錚々たるもので、スターリンの片腕とされてゐた人物である

一日(日)

高橋藏相、赤字漸減策固執せずと言明

高橋藏相は衆議院豫算總會の席上、政友會の大口喜六の質問に對し藤井前藏相の赤字の漸減策を必ずしも踏襲する意志のないことを言明した

三洋友會社、聯合會に加盟

日東、日の出、九州産業の三社は、淺野以下十二社を以て結成された新聯合會に加盟することを正式決定した

二日(月)

華府條約廢棄通告、臨時閣議で決定

臨時閣議に於て華府條約單獨廢棄に決定し樞府への御諮詢を奏請した

帝室技藝員十氏補充任命

帝室技藝員は物故後無補充主義をとり現在横山大觀、竹内栖鳳、川合玉堂の三畫伯並に

建築の佐々木岩次郎といふ淋しきであつたが湯淺宮相議長の下に銓衡委員會を開いた結果左の如く決定發令された

日本畫 橋本關雪、安田靉彦、菊地契月

洋畫 藤島武二、岡田三郎助、和田英作

彫刻 山崎朝雲、工藝 板谷波山、香取秀真、清水南山

廢娼聯盟を解體、女性純潔同盟組織

公娼制度は明春を期し廢止し帝都の洲崎、新宿、品川、板橋、千住の六遊廓を解消、乙種營業(旅館、料理店)に轉向させることに内務省の方針が決したので廢娼運動に力を盡して來た廢娼聯盟は理事會を開き、同盟を解體し「女性純潔同盟」を組織することに決定した

四日(火)

議會會期三日間延長される

政府は衆議院豫算總會の情勢に鑑み院内に臨時閣議を開き會期三日間延長を正式決定、上奏御裁可を仰ぎ、三日間延長の詔書が發せられた

四分利公債四百十六萬餘圓發行

政府は四分利公債四百十六萬八千九百七十五圓を左の條件で發行した

發行價格 九十八圓五十錢▽償還期限 五年据置後三十年内

伊大使、華府條約共同廢棄不参加回答

駐日伊國大使アウリツチは廣田外相を訪問し、華府條約の共同廢棄に伊國は参加せぬ旨正式に回答をなした

五日(水)

政友會、豫算總會審議中止を提議

衆議院の豫算總會に於て政友會の東武は緊急動議を提出し、昭和九年度の災害追加豫算及び現に開議において決定した昭和十年度豫算に對し、兩者を通じ一億八千萬圓を追加計上しこれを第六十七議會に提出する意志ありや否や、政府から之に對し言明ある迄は豫算總會は議事を休置し審議を中止する旨の爆彈的發言をなした。民政黨の工藤鐵男、野中徹也代議士等は之に反對したが、採擇の結果多數を以て動議は成立した

萬國郵便條約、樞府で可決

樞密院定例本會議は、天皇陛下親臨の下に宮中東溜間に於て開會、萬國郵便條約は全會一致原案通り可決された

日本板硝子、一千萬圓に増資

同社(資本金四百萬圓)は臨時總會の結果

六百萬圓を増加して總資本金を一千萬圓とした

日本エタニツトパイプの變態増資

同社(資本金五百萬圓)は臨時總會を開き第二エタニツトパイプ(資本金七百五十萬圓)を合併し七百五十萬圓を増資、資本金を一千二百五十萬圓となす件を可決した

六日(木)

北滿の義人村上米太郎に紅綬褒章下賜

村上米太郎が「日本人はここにゐるぞ」と絶叫、匪賊の銃口を物ともせず多數内外人の生命を救つた英雄的行爲は天聽に達し、長くもその功勞を嘉せられ破格にも紅綬褒章を下賜の御沙汰あらせられ、東京帝大病院都築外科に入院中の同氏に傳達された

租稅減免法案、貴族院で可決

貴族院の租稅減免に關する法律案特別委員會は採決の結果全會一致を以て可決した

政友會、政府對策を總裁に一任

政友會の豫算審議中止の動議に對し政府は臨時閣議を開き政友會が反省せねば解散を斷行することに決定した。め政友會は幹部會、代議士會を開き、凝議今曉六時に及び、政府への裁斷を鈴木總裁に一任することに決定した

政民聯携委員會の會合を民政黨側拒絶

政民聯携委員たる山本(衆)、久原、島田(政友)、富田、頼母木、櫻内(民政)六氏は國策樹立協議のため院内議長應接室で會合する豫定になつてゐたが、民政黨側委員は豫算總會に於ける東武の質問事件を理由に俄かに會合を拒絶した

民政黨、政友會非難の聲明書を發表

民政黨は院内總務會を開き、院内總務談の形式を以て東代議士の質問に關し政友會非難の聲明書を發表した

國民同盟、政友會非難の聲明書發表

國民同盟は院内交渉室において緊急代議士會を開き、東代議士の質問に關し政友會非難の聲明書を發表した

岡田首相、匪救機關と施設につき言明

岡田首相は五日の東武代議士の動議に對し「政府は災害對策匪救事業などに關してはもとより深甚の考慮を拂つてゐる次第で、現に要求したものは要求せんとする豫算をもつてこれに處せんことを期してゐる、もつとも今後實情に即し眞に必要な施設に關し考慮することについては吝かならざるものである」旨を言明した



松平代表、米國代表の妥協要請を拒否

米國代表デヴィスは松平代表を訪問して、日本政府が廢棄通告を猶豫すれば必ずしも歸國を急がず和協の相談に應ずる用意があると要請したが、松平代表は條約廢棄は帝國政府既定の方針であると要請を拒否した

七日(金)

衆議院豫算總案、災害豫算案を可決

流會の後を受けた本日の衆議院豫算總案に於ける政友會の島田委員長の質問に對し、岡田首相は「今後實際に當つてみて眞に必要な施政は誠心誠意考究する考へである」と答辨したので政友會側は満足の意味をなし、一時解散の危機を孕んだ議會の空氣は緩和し審議は續行され、豫算案を全會一致可決した

鈴木政友會總裁、政府の回答を求む

政府關係への裁斷を一任された鈴木政友會總裁は、「災害地の豫算は被害地の現状を見る時は速かにその通過を見ることの切實なるものがあるが、該豫算は不徹底にして到底罹災者の緊急なる窮狀を救ふことはできない。昨日岡田首相のなされた回答は不明確であるから今一應政府の明確な回答を求めなければ審議を續行することはできない」との裁斷を下した

議會、會期更に二日間延長

貴族院に於ける豫算案審議のため會期を二日間再延長することに決した

八日(土)

貴族院、災害豫算案可決

貴族院に於ける豫算總案は、災害豫算案(二億一千萬圓)を可決した

日銀の金買入額八千萬圓

大藏省は日本銀行の金買入法實施以來の金買入高を左の如く發表した

▽數量 二九、五七五キログラム▽價格 八千七十二萬圓

日米國際無線電話の開通

日米國際無線電話は完成し中央電話局に床次選相、廣田外相、グルー米國大使外通信關係者二十餘氏列席の上、開通式を舉行した

ソ聯、切符配給制を廢止

露國人民委員會は明年一月一日を期して食料品配給制度を廢止し一般販賣制度を實施することに決し、廢止に關する委員會令を公布した

實業家神田鑛藏死去

元神田銀行頭取神田鑛藏は東京牛込の自宅

で死去した。享年六十三。明治五年愛知縣に生れ酒屋の小僧から身を起し二十一歳の時一舉四十萬圓の大金を儲け公債證券買賣業の紅葉屋商會を創設、次で神田銀行を營み頭取となつた。その他諸銀行會社の重役となつて實業界殊に證券界には重きをなしてゐた。去る昭和二年の金融パニックで大打撃を蒙り近來は實業界から一切身を引いてゐた

十日(月)

臨時議會閉院式舉行

災害救済豫算案と關係法律案を無修正で通過せしめた第六十六回臨時議會は會期九日を以て満了し、本日貴族院に於て閉院式が舉行された

南大將、關東軍司令官に親補

關東軍司令官菱刈隆大將が停年退職することとなり、陸軍大將南次郎は關東軍司令官に補せられ、同時に駐滿特命全權大使、關東長官に任ぜられた

北鐵交渉に最後の難歩案を提示

廣田外相は駐日露國大使ユレニエフを外務省に招き北鐵交渉に於ける諸懸案中もつとも難關とされてゐた保證問題及び支拂物資の價格裁定方法に關する日本側の最後の難歩案を

通告して露國側の速やかなる回答を希望した

バーゼルに名譽領事館再開

瑞西國バーゼルに在る帝國名譽領事館を本日再開した

預金協定銀行の新幹事決定

東京預金協定加盟銀行總會は銀行集會所で開催、幹事改選の結果左の如く決定した  
串田(三菱)、菊本(三井)、森(安田)、明石(第一)、今村(住友)、星(川百)、堤(野村)、安藤(名古屋)、生田(昭和)、富永(晝夜)、永田(武州)、淺木(六九)

五中全會、南京に開催

汪兆銘司會の下に五中全會は本日南京中央黨部大禮堂に開かれ蔣介石、汪兆銘等を始め五十餘名の中央執行委員が出席、本會議の首席副秘書長の選舉に關し討議を重ね十四日に終了した

十一日(火)

在滿機關改革の官制案決定

定例開議において在滿機關改革に關する官制案を審議し原案通り決定、樞府に御諮詢の手續をとることになつた

十二日(水)

國母陛下、凶作地乳兒へ衣類下賜

皇后陛下には凶作地方の貧困農家の乳幼兒を不憫に思召され當歳のもの約一萬六千名に對しメンネル着物と、木綿の襦袢各一組宛下賜あらせられる旨御決沙あらせられた

農林省、滿の生産と販賣の方針指示

全國養蠶聯合會の總會に於て、井野夏糸局長は、養蠶業組合の使命は經濟並に技術上の指導及び生産の統制にあつて經濟行爲たる産滿處理は産業組合組織による乾繭販賣組合に屬せしむべきであると、農林當局の指導方針を言明した

大田駐露大使、外相に重要進言

去る十日歸朝した大田駐露大使は廣田外相を訪問、日露諸懸案に對し重要進言をなした

神奈川縣土木部長検査局に召喚される

横濱市大塚橋は縣土木疑獄に進展し、土木部長田邊良忠は横濱地方検査局に召喚された

秋田衆議院議長、政友會を脱黨

衆議院議長秋田清は過去を清算して政界に出直し更に報公の誠を盡したいといふ聲明書を發表して政友會を脱黨、同時に議長の職を辭した

十三日(木)

滿洲國石油專賣に對し英國再抗議

滿洲國の石油專賣制實施に對するイギリス政府の抗議に對し、日本から滿洲國は獨立國であるから同國の專賣に關し日本に抗議するのはお門違ひであると一蹴したのに對し、イギリス政府は日本政府に再抗議を提出した

日本砂鐵工業會社の創立

同社は資本金三百五十萬圓を以て大阪に設立され、本日創立總會を開いて左の役員を選任した  
▽社長 石崎長太郎▽常務取締役 上野健二郎、松尾謙▽取締役 細家榮、佐々木義彦、嶋谷勇▽監査役 嶋谷武次、若林秀雄

十四日(金)

南洋關稅調查會の設置決定

定例開議において南洋群島開發調查會の委員會を設置する件を決定した

吉田特派大使、ロンドンに到着

外務省の特派使節吉田茂大使はバルカン諸國その他の歴訪を終へロンドンに到着した

四分利公債二百三十九萬餘圓發行

政府は四分利公債二百三十九萬四千六百圓を償還期限、五年据置後三十年の條件で發行した

東京市對東京瓦斯の料金値下成立



東京市と東京瓦斯社との瓦斯料金値下げ問題は左の如く相談がまとまり昨年三月から実施することになった

一〇熱位につき舊市部一圓九十九銭、新市部二圓八銭の差十九銭を均一化するため来春三月から一〇熱位につき三銭値下げし其の後毎年遞減して八年目の昭和十七年十二月末日までに兩市部を同一料金とする

◇歐洲五ヶ國、對米穀債不拂を通告

十五日支拂期限の對米穀債年賦金につきフランス、イタリー、ポーランド、チエッコスロバキア、ハンガリーはこれを支拂ひ得ざるを遺憾とする旨の通牒をアメリカに發した

◇立法院長孫科辭職提出

南京政府の立法院長孫科は五中全會に對し任期満了を理由として辭表を提出した

◇エチオピア、伊國の侵略行爲を提訴

エチオピア國境にあるウアルウアルに於てイタリヤ軍がエチオピア軍を攻撃したのは侵略的行爲であるとして、エチオピア政府は聯盟理事會に提訴した

十五日 (土)

◇未晒綿布積止め解除條件決定す

紡績聯合會及び綿絲布同業會の聯合會は聯

合會を開催し協議の結果、(一)數量は一九三三年の實數による(二)日本商社の取扱比率は五割とする(三)品種別を設けず、との三條件が貫徹すれば積止めを解除することに決定、外務商工兩省に具申したので外務省は當業者の意向を在バタヴィア日本代表部に調電し、蘭印政府に通達せしめた

◇日本鹽鐵製造百五十萬圓に増資  
同社(資本金七十五萬圓)は倍額増資して百五十萬圓となつた

◇松永東邦社長、山口縣買電疑獄で召喚  
山口縣の買電疑獄事件が發展し東邦電力社長松永安左工門は司法省に召喚された

十六日 (日)

◇佐藤駐佛大使をロンドンに特選

軍縮代表として多忙を極めつゝある松平駐英大使を輔佐せしむるため佐藤駐佛大使を倫敦に特選することに決した

◇岡田長野縣知事、山口縣買電疑獄で召喚  
長野縣知事(元山口縣知事)岡田周造は山口縣買電疑獄事件の重要参考人として召喚され上京した

十七日 (月)

◇農林省、新米の公定價格を發表

農林省は昭和九年十二月において公定すべき米穀統制法第二條の最低價格及び最高價格の決定に用ふべき標準最低價格及び最高價格を米穀統制委員會に諮問した結果、左の通り決定した

最高價格 三十一圓五十銭  
最低價格 二十四圓三十銭

◇英外相、日米代表に休會宣言案を提示

サイモン英外相は、下院に松平、デヴィス日米兩代表の來訪を求め、個別的に軍縮會議休會宣言書草案を説明し、日米兩代表の意見を聴取した

◇日蘭會商一先づ打切に決定

日蘭會商は長岡、ランネット兩代表會見の結果、一先づ打切ること決定し、明年再開を約して一應幕を閉ぢた

◇臺灣電力、四千五百七十五萬圓に増資

臺灣電力會社(資本金三千四百四十九萬五千圓)は東京丸の内の鐵道協會に臨時總會を開き、一千二百二十五萬五千圓を増資し資本金を四千五百七十五萬圓とする件を可決した

◇日糖・新高製糖合併の假調印

大日本製糖(資本金五千四百四十二萬六千六百圓)は新高製糖(資本金二千八百萬圓)を

合併することになり、日糖社長藤山愛一郎と新高製糖會長藤山雷太との間に假調印を了した。なほ兩社は臨時總會を開き明年四月二十一日を期して合併することに決定した

◇鮮銀派出所を牡丹江に設置

朝鮮銀行は滿洲方面の資金需要の旺盛化に鑑み派出所を牡丹江(寧北)に設置し明春より營業を開始することに決した

十八日 (火)

◇商工省、精糖價の昂騰に警告を發す

商工省は糖業聯合會長武智直道を招致して精糖價の昂騰に對し文書の形式を以て警告を發した

◇凶作地の交付米確定數量發表さる

農林省は、臨時議會の協賛を経た凶作地に對する政府所有米穀の臨時交付法による凶作道府縣別交付確定數量を左の如く發表した

▽交付縣 岩手、青森、山形、宮城、福島  
秋田外六縣七百二十七ヶ町村▽交付數量  
三百三十二萬一千三百四十八石

◇東京魚河岸の中央市場移轉問題解決

東京魚河岸の中央市場移轉問題は百餘名の反對者を除いた六百三十名の大多數の賛成により資本金二千五百萬圓を以て「東京魚市場

株式會社」といふ單一會社を京橋區築地五丁目に設立することとなり本日帝國ホテルに發起人總會を開いた

十九日 (水)

◇樞密院、華府條約廢棄を可決

樞密院は御前會議を開き、比率主義の華府條約廢棄を滿場一致可決した

◇海軍軍備會議商會休會に入る

軍縮豫備會商は日本側松平、山本兩代表、加藤參事官、岩下大佐等、英國側マクドナルド首相、サイモン外相、モンセル海相、チャットフィールド軍令部長以下各委員、アメリカ側デヴィス、スタンドレー兩代表、アーサートン參事官以下各委員出席の上、二十日より休會することを正式決定し、その處置は英國代表に一任することになつた

二十日 (木)

◇日英通商協會の委員任命

イギリス産業聯盟は、滿洲國視察團の報告書を可決し第一段の活動に入り、バーンビー卿を委員長としセリグマン、ロコック、ピゴット等を委員に任命し日英通商協會常設委員會を組織し日本經濟聯盟を主體とする東京の常設委員會と協力して日滿英の通商發展に關

する問題を討議する権能を付與することとなつた

◇在外公館連絡に巡閱使制度を常設

廣田外相は吉田大使を特使として歐洲各國の在外公館に派遣成績見可きものあるに鑑み、この制度を常設することとし來春早々南洋印度方面へ松島肇(前駐伊大使)を起用することに決定した

◇帝國農會、九年米生産費を發表

帝國農會は、同會調査に係る昭和九年度米穀生産費を二十八圓九銭と發表した。農林省が新公定價格決定の基準とした生産費二十七圓九十五銭より十四銭高いが、前年度の開きが一圓九十三銭であつたのに比較すれば十四銭は非常な縮少である

◇宇部製糖工業一千二百五十萬圓に増資

同社(資本金五百萬圓)は定時總會を開き七百五十萬圓を増資し、總資本金一千二百五十萬圓となす件を可決した

◇英國産業聯盟、日滿視察團の報告承認

イギリス産業聯盟は同聯盟日滿視察團の報告を承認した。右の報告はバーンビー、セリグマン、ロコック、ピゴット四氏によつて署名されてをり、英國商品の好き捌口としての



満洲國について觀察をなしたものである

△平生飢三郎、日伯親善使節に決定

拓務省はブラジル國政府の要請により親善使節として海外移民組合理事長平生飢三郎を派遣することに決定した。なほ綿業、貿易關係者も参加して明年二、三月頃出發の豫定である

△元駐米大使塚原正直死去

元駐米大使正三位勳一等塚原正直は東京麻布の自邸で死去した。享年五十九。明治九年山梨縣に生れ、三十年東京專門學校英法科(早大)卒業、翌年外交官試験に合格、厦門の領事官補を振出しに大正八年外務次官に榮進し同十年華府會議に全權の一員として活躍、同十一年駐米大使となり同十三年排日法案阻止のため身命を擲つて盡力、重大なる結果の一句を投げて國際問題を惹起し、外交の犠牲となつて歸國引退し、淋しい晩年を送つた

二十一日(金)

△風水被害神社に御内帑金下賜

天皇陛下には關西風水害に被害を蒙つた神社の復興修理に御内帑金下賜の御沙汰あらせられ、湯淺宮相より後藤内相に傳達せられた

△社會事業團に御獎勵金下賜

畏き邊りでは歳末に際し全國優良社會事業團體に對し事業獎勵の思召しをもつて金一封宛を下賜遊ばさるゝ旨御沙汰あらせられた

△高橋藏相、國策會議設置に賛意表明

床次、町田兩相は高橋藏相を訪問、國策會議の設置の目的、今日までの経過等を詳細報告して藏相の考慮を求めたところ賛意を表明し、藏相は各方面の人物を網羅するは勿論、強力にして恒久性のあるものならば來年度追加豫算において、これが實現に要する經費は金額の多寡に拘泥せず計上するに躊躇しない旨を表明した

△露國の回調を賣しユ大使外相訪問

北鐵讓渡交渉に關し、駐日露國大使ユレニエフはモスコイ政府の回調をもたらし廣田外相を訪問、露國側がもつとも固執してゐた保證、價格裁定問題に關する折衝を遂げた

△輸出同盟會、綿サロン積止解除を決定

日本綿染サロン輸出同盟會は理事會を開き一關領東インド向綿染サロン賣止に關する本會の輸出統制は十二月二十一日限りこれを廢止す一他四項を決議した

△全國綿絲業組合聯合會の設立

政府の産滿處理統制案の實現を阻止すべく

起つた全國二十府縣の綿絲賣買業者、仲立業者、問屋業者より成る全國綿絲業組合聯合會結成大會は東京丸の内區絲會館に開かれ、會長に豊橋市東三滿絲組會長富安慶次を推薦した

二十一日(土)

△在滿機關改革案、福府を通過

樞密院本會議は、天皇陛下親臨の下に開かれ、在滿機關改革案を全會一致原案通り可決した

△新政俱樂部、水戸で發會式舉行

既成政黨の廓清を期して結成された新政俱樂部の發會式は水戸市の常盤座と借樂館に於て舉行され會長内田鐵道大臣、副會長石井陸軍參謀官、幹事長飯村代議士はじめ來賓として床次運信大臣等が出席した

△華府條約廢止通告を電送

廣田外相はワシントン條約に伴ふ諸般の手續を完了して、ワシントンの齋藤大使に對しハル國務長官宛の帝國政府の廢止通告文を電送し、同時にロンドンの松平大使に對しても調電を發した

△華府條約廢止につき海軍當局の聲明

ワシントン條約廢止通告に關し、わが海軍

は當局談の形式を以て條約廢止の目的を明らかにした三項目の聲明書を發表した

△製絲聯合會、政府の販賣統制案支持

全國製絲聯合會總會は東京丸の内區製絲會館に開かれ、生絲販賣統制問題について協議の結果、政府案支持を決議した

△北海道電燈、大日本電力と改稱

北海道電燈會社(資本金五千五百三十萬五千圓)は大日本電力會社と改稱した

△元内務次官井上孝哉、岐阜縣監獄で召喚

岐阜縣土木監獄に關し、元内務次官政友會前代議員井上孝哉は、横濱地方裁判所檢事局に召喚された

二十三日(日)

△農林省、北洋沖蝦漁業の合同を勧奨

北洋漁業統制問題に關し長瀬農林次官は本省に母船式鮭鱒漁業水産組合副組長坂本作平を招致して北洋漁業統制上沖取漁業各社の合同を勧奨する件を正式に通達した

△ジノヴィエフ派、根こそぎ逮捕さる

ソ聯の共產黨レーニングラード支部長キロフ暗殺事件の犯人としてジノヴィエフを初めカメネフ、エフドキモフ、ザルツキー等の巨頭七名の外舊ジノヴィエフ一派は根こそぎ

に逮捕されるに至つた

二十四日(月)

△濱田國松、衆議院議長に當選

第六十七議會が召集され、衆議院本會議を開き秋田議長に辭職に伴ふ議長の選舉を行つた結果、濱田國松が二百四十票の多數を以て當選、尙二十六日、天皇陛下親臨の下に開院式が舉行された

△東北振興調査會官制の公布

同規則は勅令を以て公布され、即日施行された

△蘭印政府、日蘭會商延期の聲明發表

日蘭會商延期に關し、蘭印政府は六ヶ月に亘る日蘭會商の成果その他に關するコミュニケを發表した

△東京市債一千八百萬圓條件付て認可

東京市は市電財政直直しに伴ふ經費一千八百七萬八千圓(大部分は從業員の退職賜金)を全額起債によるべく内務、大藏兩省に申請中のところ、兩省は總罷業を誘發せる事實、市電財政の現状に鑑み嚴重な條件付で今回限り許可することになつた

△乾滿倉庫聯合會、政府案支持

全國共同乾滿倉庫聯合會は臨時總會を開き

産滿處理統制法に關する政府案の支持を決議した

△滿洲煙草會社の創立

同社(資本金一千二百萬圓)は新京において創立總會を開き左記役員を選任した

▽代表取締役 長谷川太郎吉▽取締役 梅浦健吉、窪田四郎、古田慶三、中島三代彦、板谷幸吉、坂梨繁雄▽監査役 田畑守吉、長谷川祐之助

二十五日(火)

△南關東軍司令官新事に着任

新任の關東軍司令官兼駐滿全權大使南次郎大將は新京に到着、菱刈前司令官より事務の引継ぎを受けた。二十七日全權大使の資格を以て滿洲國皇帝に國書を捧呈した

△長岡日蘭會商代表團途に就く

長岡日蘭會商代表はヨシダ總督を訪問し、廣田外相よりのメッセーヂを傳達、三好隨員を伴ひバタヴィヤ出發歸國の途に就いた

△ソ聯、競賣漁區及貸付條件を發表

ソヴェト聯邦の極東漁業廳は、明年度に於ける露領漁區の競賣に關し、漁區數並に同貸付條件を左の如く發表した

▽漁區數新漁區一六、その他五四、合計七



○ケ所▽條件九年度と同一  
二十六日(水)

○對滿事務局的開設

二位一體の在滿機構改革に伴ふ勅令四十九件は官報號外を以て公布即日施行された。同時に對滿事務局は開始され新機構の人事が正式に決定發令され、陸軍大臣林銑十郎大將が對滿事務局總裁兼任となつた

○關東軍官制の改正

同規則は本日勅令を以て公布され即日施行された

○休會後の重輪日英折衝開始

わが山本軍縮代表はチャトフィールド英國海軍軍令部長をロンドンの自宅に訪問し休會後の日英折衝を開始した

○米穀證券八千七百萬圓發行

大藏省は第三十四回米穀證券八千七百萬圓を左の條件で發行した

▽割引歩合 日歩七厘五毛▽支拂期日 昭和十年六月二十五日

○瀟灑毛織、二百五十萬圓に増資

同社(資本金百萬圓)は總會を開き百五十萬圓を増資して資本金を二百五十萬圓とする件を可決した

○千代田信託、證券会社に改組

千代田信託會社は株主總會を開き信託會社を證券投資會社に改組すること、社名を千代田證券投資會社と改稱すること、資本一千萬圓(拂込二百五十萬圓)を五分の一に減資することを可決した

○オリエンタル實業工業會社の増資

同社(資本金百五十萬圓)は二百八十萬圓を増資し資本金四百三十萬圓となつた

○關東局、新京に事務所開始

在滿機構の官制公布で新京に設置された關東局は本日より事務を開始した

二十七日(木)

○國策審議會の大綱、閣議で決定

定例閣議に於て國策審議會の組織大綱を決定し、名稱は暫定的に「内閣審議會」と稱することとなつた

○明年度石油販賣量の割當決定

商工省は省議に於て決定した明年度内外各社石油販賣量割當を左の如く決定し各社に通達した

揮發油の十年産總數量を百十五萬キロとし内十萬五千キロを内地製油側の日石、三菱小倉の三社に割當て四萬五千キロを輸入業者の二社、ソコニー、松方の二社に分配すること

○關印向未晒綿布の積止め解除決定

關印向未晒綿布の輸出積止めについては對關印綿織物輸出組合で協議中のところ、關印側が本邦商人の取扱量を二期に分つこと、その他輸入割當數量の基準を一九三三年とし歐洲人商會議所の加入数による輸入商の資格制限を撤回して來たので、組合側も右の條件で手を打ち明年一月一日から積止めを解除することを決定した

○國光紡績、一千萬圓に増資

同社(資本金五百三十八萬圓)は臨時總會を開き四百六十二萬圓を増資し資本金一千萬圓とする件を可決した

○帝人事件の體面終結

帝人事件は東京地方裁判所において豫審中のところ終結を告げ有罪と決定し公判に付された。事件は臺灣銀行所有の帝國人造絹糸會社の二十一萬八千株中、十萬株を不當に處分した疑獄史上稀有の事件で、關係者は左の如く、三土前鐵道大臣、中島元商工大臣以下十五人である

○收賄 元商相男爵貴族院議員中島久萬吉

(七月十三日收容十月十一日保釋)○偽造前鐵道大臣政友會顧問三土忠造(九月十三日收容、十月三十一日保釋)○收賄 元大藏次官黒田英雄(五月十九日收容、十二月一日保釋)○元銀行局長大久保偵次(五月二十一日收容、十一月十七日保釋)○前特別銀行課長大野龍太(五月二十日收容、十月三十日保釋)○前銀行検査官相田岩夫(五月二十日收容、十一月五日保釋)○元銀行検査官補志戸本次郎(五月二十日收容、十月三十一日保釋)○贈賄背任 前臺銀頭取島田茂(四月二十四日收容十二月一日保釋)○前臺銀理事柳田直吉(四月十八日收容、十一月三十日保釋)○前帝人社長元日銀整理部長高木復亨(四月十八日收容、十月二十八日保釋)○前臺銀整理第一課長越藤恒吉(四月十八日收容、十一月三十日保釋)○帝人取締役元臺銀秘書岡崎旭(四月十八日收容、七月二十八日保釋)○帝人監査役山叶取締役永野護(四月二十六日收容、十二月七日保釋)○旭石油社長長崎英造(四月十八日收容、十二月七日保釋)○富國徴兵保險支配人小林中(四月二十六日收容、十二月六日保釋)○前川崎第百銀行常任監査役高

列博司(五月二十六日收容、十月十日保釋)

○背任 帝人監査役元東京帝大講師河合良成(四月十八日收容十月二十三日保釋)

○汪兆銘、水先案内權回收延期を言明

有吉駐支公使は鐵道官舎に汪兆銘を訪ひ、水先案内權の回收並に岸本稅務司の左遷問題につき反省を求めたところ、汪兆銘は當分の間實施を延期する旨言明した

二十八日(金)

○商工省、鐵道價値訂正を示慮

鐵道共販會社と原料共同購買會との最後の折衝によつて鐵道價値適當り五圓二十錢引上げに決定したので、商工省は中井鐵社長及び小日山鐵道共販専務を個別的に招致し値上げの訂正を行ふべき旨を示達した

○日、土貿易協定の公布

去る二十二日アンゴラにおいて帝國全權委員がトルコ國全權委員と共に署名した日本國トルコ國間の貿易協定は樞密院の御諮詢を経て公布された

○洋灰製造業改善委員會の設立

洋灰工業統制については小野田・大分兩社對淺野以下聯合會系十三社の對立のまゝ重要産業統制法第二條の發動によつて強制的統制

を行つたが、重要産業統制委員會は官民協議會を組織の上、根本的に統制方法を審議すべき旨の希望條件を附したので商工省は協議會の組織及び委員人選に就いて協議中のところ洋灰製造業改善委員會を組織し明春より審議を進めることに決定、會長郷誠之助以下十四人の委員の顔觸れを發表した

○ガソリン値上の實施期決定

ガソリン値上問題は町田商相の裁定で一ガロン當り三錢五厘値上げと決定したので、日石、小倉、三菱の三社は協議の結果、實施期日を明年一月一日よりと決定し、各自自動車組合に通告した

○横濱取引従業員、生絲販賣統制に反對

横濱の取引所及び取引員従業員一同は農林省の輸出生糸販賣統制組案に反對の決議をなし撤回の猛運動を開始した

○外交界の膏肓安達峰一博士死去

日本外交界の耆宿として、又國際法界の大立物として世界的の名を博した國際仲裁裁判所長安達峰一博士はオランダのアムステルダムで客死した。享年六十六。明治二年山形縣東村山郡に生れ、明治二十五年東大法科を卒業、外交官生活に入り明治三十八年には



ポーツマス講和會議の全權職員となり、大正七年には歐洲大戦中のベルギー駐劄を命ぜられ、大正八年國際聯盟創立以來重要會議には必ず帝國代表として出席、昭和五年常設國際仲裁裁判所判官となり翌六年同所長に推され國際平和のために活躍中であつた。オランダ政府は特に國葬の禮をとるべき旨申出でた

二十九日(土)  
臺灣酒類出港稅令の公布  
同規則は本日律令を以て公布され即日施行された

臺灣所得稅令の改正  
臺灣所得稅令は改正され本日律令を以て公布、即日施行された

齋藤大使、華府條約廢止通告を手文  
ワシントン駐劄帝國大使齋藤博は、本國政府よりの訓令に基き本日正午(日本時間三十日午前二時)を期してワシントン條約廢止通告を米國務長官コーデル・ハルに手交した

外務省、華府條約廢止の聲明を發表  
齋藤大使が米國政府に對して華府條約廢止の通告をなしたと同時に於て外務省は當局談の形式を以てワシントン條約廢止の理由に關する帝國政府の見解を中外に宣明した

北洋沖取漁業の大合同契約成立  
母船式鮭鱈漁業水産組合は沖取漁業大合同が成立したので、東京丸の内の丸ビル内本部に左の代表者が會合して沖取漁業の合同契約の正式調印を了し、從來各社の許可を受けてゐる漁業權を合同して新會社を設立することを申合せた

米國、條約廢止通告に對し聲明發表  
米國務長官コーデル・ハルは、帝國政府のワシントン海軍條約廢止通告接受後、海軍制限條約は、海軍力の均等を基調とせず安全感の平等を目標とすべきことを力説して、米國政府の立場を闡明するための聲明書を發表した。尙三十一日國務省はワシントン條約廢棄の英、佛、伊三國への傳達手續を完了した旨發表した

米軍縮代表、歸國に際して聲明  
海軍軍縮豫備會商アメリカ代表部一行はロンドン引揚げに際し、アメリカ代表部は海軍軍縮に關し新協定の基礎發見のために明年主

要海軍國が會同することを確信するものである旨の聲明を發表した  
三十一日(月)  
滿支通郵問題解決す  
滿支通郵問題は解決し一月十日を以て通郵開始の旨新京、南京、北平においてそれぞれ發表された

昭和九年統計

日本銀行兌換券發行高

Table with columns for months (一月 to 十二月) and exchange rates for different types of banknotes (兌換券, 發行高, 準正貨, 準保證).

Table showing monthly and annual statistics for '東京組合銀行金利表' (Tokai Kaisha Bank Interest Rates) and '東京交換所手形交換高' (Tokai Kaisha Exchange Bill Exchange Volume).

Table showing monthly and annual statistics for '證券貸付金' (Securities Lending) and '外國爲替相場' (Foreign Exchange Rates).



|  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
| <p>倫敦宛 志片</p> <p>紐育宛 志片</p> <p>上海宛 志片</p>          |  | <p>倫敦宛 志片</p> <p>紐育宛 志片</p> <p>上海宛 志片</p>          |  | <p>倫敦宛 志片</p> <p>紐育宛 志片</p> <p>上海宛 志片</p>          |  | <p>倫敦宛 志片</p> <p>紐育宛 志片</p> <p>上海宛 志片</p>          |  |
| 倫敦宛  | 紐育宛  | 倫敦宛  | 紐育宛  | 倫敦宛  | 紐育宛  | 倫敦宛  | 紐育宛  |
| 二月   | 二月   | 三月   | 三月   | 四月   | 四月   | 五月   | 五月   |
| 倫敦宛 志片<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三 | 倫敦宛 志片<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三 | 倫敦宛 志片<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三 | 倫敦宛 志片<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三 | 倫敦宛 志片<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三 | 倫敦宛 志片<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三 | 倫敦宛 志片<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三 | 倫敦宛 志片<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三<br>二九三 二九三 |

金塊相場

|                                     |    |               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |
|-------------------------------------|----|---------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| <p>倫敦 最高片 最低片</p> <p>紐育 最高片 最低片</p> |    | <p>外國貿易月表</p> |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |
| 倫敦                                  | 紐育 | 一月            | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 十二月 |
| 倫敦                                  | 紐育 | 倫敦            | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦  | 倫敦  |
| 倫敦                                  | 紐育 | 倫敦            | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦  | 倫敦  |
| 倫敦                                  | 紐育 | 倫敦            | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦 | 倫敦  | 倫敦  |











| 品名    | 最高 |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|       | 一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月  | 七月  | 八月  | 九月  | 十月  | 十一月 | 十二月 |
| 東邦電力  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 南滿洲鐵道 | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 日本石油  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 三菱礦業  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 日本礦業  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 日本産業  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 日本鋼管  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 鐵道紡績新 | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 東洋紡績  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 帝國製麻  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 東洋新   | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 東洋    | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 大日本製糖 | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 大日本麥酒 | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 日清製粉  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 日立製作所 | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 王子製紙  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 電氣化學  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 昭和肥料  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 品川白煉瓦 | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 淺野    | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| セメント  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 松竹キネマ | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 日本郵船  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 大阪商船  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 日魯漁業  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 熱帶産業  | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
| 東京株式新 | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |

| 品名    | 最高  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|       | 一月  | 二月  | 三月  | 四月  | 五月  | 六月  | 七月  | 八月  | 九月  | 十月  | 十一月 | 十二月 |
| 帝國人絹  | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 東洋新   | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 東洋    | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 大日本製糖 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 大日本麥酒 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 日清製粉  | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 日立製作所 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 王子製紙  | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 電氣化學  | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 昭和肥料  | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 品川白煉瓦 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 淺野    | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| セメント  | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 松竹キネマ | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 日本郵船  | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 大阪商船  | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 日魯漁業  | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 熱帶産業  | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |
| 東京株式新 | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 |



| 月   | 昭和九年  |       | 前年同月  |       |
|-----|-------|-------|-------|-------|
|     | 最高    | 最低    | 最高    | 最低    |
| 十一月 | 三〇・八〇 | 二九・五二 | 三〇・七四 | 二九・七〇 |
| 十二月 | 三〇・七六 | 二九・四八 | 三〇・二二 | 二九・七〇 |
| 平均  | 三〇・七  | 二九・〇六 | 三〇・二  | 二九・七〇 |
| 十二月 | 三〇・九〇 | 二九・九〇 | 三〇・六六 | 二九・六六 |
| 最高  | 三〇・九〇 | 二九・九〇 | 三〇・六六 | 二九・六六 |
| 最低  | 二九・七〇 | 二九・九一 | 三〇・〇一 | 二九・〇一 |
| 平均  | 三〇・四一 | 三〇・三三 | 三〇・四九 | 三〇・四九 |
| 一月  | 一七五・五 | 一七五・五 | 一八五・〇 | 一八五・〇 |
| 二月  | 一七七・五 | 一七六・九 | 一七九・六 | 一七七・四 |
| 三月  | 一七六・九 | 一七六・九 | 一七六・二 | 一七六・二 |
| 四月  | 一七六・九 | 一七六・二 | 一七六・八 | 一七六・八 |
| 五月  | 一七四・五 | 一七四・五 | 一七九・六 | 一七九・六 |
| 六月  | 一七四・一 | 一七四・一 | 一八二・一 | 一八二・一 |
| 七月  | 一七六・九 | 一七六・九 | 一八〇・〇 | 一八〇・〇 |
| 八月  | 一七九・二 | 一七九・二 | 一八二・四 | 一八二・四 |
| 九月  | 一八一・八 | 一八一・八 | 一八〇・四 | 一八〇・四 |
| 十月  | 一八一・一 | 一八一・一 | 一七五・五 | 一七五・五 |
| 十一月 | 一八一・一 | 一八一・一 | 一七五・五 | 一七五・五 |
| 十二月 | 一八一・一 | 一八一・一 | 一七五・五 | 一七五・五 |

東京卸賣物價指數

(明治三十三年十月一〇〇)

總平均指數

前年同月

昭和十年 (紀元二五九五年)

【一月】

三日 (木)

○黒部川電力、姫川第六發電所を譲受  
同社(資本金一千八百萬圓)は電気化學工業所有の姫川第六發電所の權利義務を譲受け運轉を開始した

四日 (金)

○玖波、日秋通商條約廢棄を通告  
玖波政府は日本玖波間通商條約の廢棄を通告した。四月四日失効

○朝鮮航空獎勵規則の制定  
同規則は本日朝鮮總督府令第一號を以つて公布、即日施行された

○蘭印、キヤンブリック輸入制限を延長  
蘭領印度政府はキヤンブリック輸入制限を本年末迄一ヶ年延長せる旨發表した

○木村日蘭會商顧問轉朝  
日蘭會商顧問木村銳市は東京驛着列車で歸京した

七日 (月)

○大藏省、電力外債買入銷却不可に決定  
大藏省は爲替政策上から本年度の電力會社社債買入銷却を認可しないことに方針を決定した

○産組、農産物販賣統制農林業に反対  
産業組合中央會は農産物販賣統制のための中央機關設置の農林省案は産組と農會の活動を混濁たらしめるものとして反対、全販聯を擴大して農産物販賣統制を行はしめるのが最適方法であるとの決議を行った

○滿洲國皇帝の御訪日發表さる  
滿洲國皇帝は四月上旬 天皇陛下を御訪問のため御渡日あらせられる旨發表さる

○佛伊協定調印さる  
佛外相ラヴァルと伊首相ムツソリニはローマに會見の結果、埃洪帝國並に中南歐の現状維持と内政不干渉原則を確立し、北アフリカ植民地問題を解決する佛伊協定が成立、本日その調印を見た

○高橋蔵相、滿洲事件費減少を希望  
初閣議で高橋蔵相は滿洲國內の日本政府負擔となるべき支出が一ヶ年八千萬圓に達し、民間投資を加へれば一億四千萬圓に上る現状

八日 (火)

を指摘、これは入超と同結果を招来するものとして支出減少を希望、陸軍側に於ても注意された」と提言した

○帝人事件裁判長井五一郎に決定  
帝人事件裁判長は東京地方裁判所刑事第一部長判事藤井五一郎に決定した

○關稅所得稅令の改正  
樺太所得稅令は改正されて本日勅令第一號を以て公布され即日施行された

○割引興業債券一千五百萬圓發行  
日本興業銀行は本年起債界のトップを切つて第三十五回割引興業債券一千五百萬圓を割引日歩八厘、額面發行昭和十年一月二十一日償還の條件で發行した

○英貨公債二十萬六千餘磅買入銷却  
政府は六分利付英貨公債二十萬六千五百五十五磅を買入代金百七十五萬一千五百五十三圓三厘で買入銷却した

○日銀、産金買入値段を引上げ  
日本銀行は産金買入値段を一匁十一圓六錢から十一圓五十八錢に改訂した

十日 (木)



滿支通郵開始に當り、支那側郵便局は滿洲國新地名を冠した郵便物取扱を拒否し問題を惹起した

英印通商協定成立す

英本國の對印貿易有利を目的とする英印通商協定が成立した

滿洲國の儀式一行入京

滿洲國民政部長大臣斌式毅一行は東京歸着入京した

十一日 (金)

日英船舶保險業者間に協定成立

船舶保險協同會は倫敦の同社取引先會社側と協定を結成、日英兩船舶保險業者間の競争は排除さるゝ事となつた

鐵鋼國策研究會、鐵鋼關稅全免を建議

鐵鋼國策研究會は鐵鋼關稅全免を當局に建議した

共榮蠶糸組合の原案成る

共榮蠶糸組合は中央會評議員會の容認を得て政府に建議することに決定した。同案は蠶糸業改善發達のため蠶種製造業者、養蠶者團體及び製糸業者で法人を組織し、蠶種、繭生糸の生産及取引數量調節をなし、組合及び組合員に金融を行はんとするものである

日本炭礦一千二百萬圓に増資

資本金六百萬圓の同社(現在日産化學工業)は倍額増資して資本金一千二百萬圓となつた

中國レヨンの創立

同社は資本金二千萬圓を以て創立され、左記役員を選任した

社長 大原孫三郎▽取締役 原澄治、山内顯、藥師寺主計、菊池寅七▽監査役 高橋雄吉、吉井仲助

十一日 (土)

文政審議會、青年學校案を諮問

文政審議會は首相官邸に開かれ、實業補習學校と青年訓練所を合併して青年學校とする案の諮問に對する審議を開始したが、二十一日多少の修正を加へ、希望條件を付して可決した

四大生保に小口契約禁止方針決定

商工省は日本、千代田、明治、帝國の四大生命保險會社に一口千圓以下の新契約は、業界全般の健全發達のため中止せしめる方針を決定した

羊毛輸入同業會、南阿毛買付を決定

羊毛輸入同業會は三井、三菱、兼松、高島屋、大倉商事、日本綿花、岩井商店の七社で

プールを組織し、本年度一萬七千俵の南阿羊毛を團體的に買付けることに意見一致した

船舶改善施設の變更を要望

船舶改善協會管理委員會は船質改善施設を變更し、古船解體期間延長其他を認める様當局に要望するに決定した

イヤハート夫人、東太平洋を周遊

米國イヤハート夫人は米本土・ハワイ間東太平洋二千四百マイル最初の單獨飛行に成功した。所要時間十八時間十八分

十三日 (日)

ザール地方人民投票、獨逸側の勝利

面積一千九百平方キロ、住民八十二萬のザール領域の歸屬を決定する人民投票は本日開始された。十四日から十五日に亘つて開票の結果、有権者五十三萬九千五百四十一名中投票參加者五十二萬八千五百名、そのうち現狀維持派四萬六千五百十三名、佛國への合併希望者二千二百二十四名、獨逸への歸屬希望者四十七萬七千七百十九名、無効二千二百四十九名で、獨逸側の壓倒的勝利に歸した

十四日 (月)

昭和九年度の農收總高發表

農林省は昭和九年度產量高を八千七百十九

萬九千七百七十一貫、前年比較一割三分八厘減、價格二億四百三十三萬一千五百二圓、前年比較五割九分二厘減と發表した

農林省、生糸統制案を修正

輸出生糸販賣統制案は生糸取引實狀を無視するものであるとの理由から横濱及び神戸兩市場側の反對運動が熾烈となつたのに鑑み、農林省は割高基準價格、取引標準價格、最低價格の三つで市價安定を圖らんとする同案を修正し、取引標準價格を削除するに決定した

大藏省、臨時利得稅要綱を發表

大藏省は今議會提出の臨時利得稅要綱を發表した。法人利得及び營業收益稅法第二條に掲ぐる營業による個人利得に對し利得金額の百分の十を賦課するのがその骨子である

農林省、蠶繭處理統制案に反對

全國蠶糸業組合聯合會は農林省の蠶繭處理統制法案にあくまで反對の態度を決定した

佛國、日本駐留關稅を引上

佛國政府は日本駐留關稅を百ポンド七十フランから百二十フランに改訂、日本樟腦に對する爲替補償稅を撤廢した

十五日 (火)

地方官々制改正の發表

地方官々制及び北海道廳官制の改正勅令は閣議で決定發表され、十八日公布即日施行となる。地方官々制改正は三府四十三縣の内務部を分割して總務部、經濟部の兩部となし、經濟部に商工、農林、水産及び土木の各課をおき、總務部には庶務、會計、地方の各課を掌管せしめ、北海道廳官制改正は道廳内務部を道廳總務部に、道廳産業部を道廳經濟部に改稱するものである

大藏省、産金買入補償限度を擴張

大藏省は日本銀行金買入法中政府が日銀に對して金の法定價格と買入價格との差額補償すべき借入金限度を一億圓から二億圓に擴張することに決定した

通關米統制の内外割當率決定

米穀對策調査會小委員會は米穀自治管理案中の過剩米統制の内外割當率を内地三割五分朝鮮及び臺灣六割五分見當と決定した

銀行團、北鐵買收金貸付を決定

滿洲國公債引受シンヂケートは北鐵買收金融通の滿洲側原案を承認し、北鐵買收代金一億四千萬圓中現金拂を要する三分の一、四千六百六十六萬圓の半額二千三百三十萬圓を一時貸付の形式で融通するに決定した

銀行團、東京市債を引受

東京市債引受シンヂケートは本月中に一千八百萬圓を年利四分三厘、償還期限五ヶ年据置後二十年内の條件の引受に決定した

精神生糸團體、蠶繭統制案に反對

横濱及び神戸兩生糸關係團體聯合大會は本會議を東京丸ノ内蠶糸會館に開き、農林省の輸出生糸販賣統制案の徹底的排除を決議した

ジノヴィエフ等に判決

ソ聯最高法院軍事裁判部は反革命運動の罪名でジノヴィエフを禁錮十年、カトメネフを同五年に處する旨判決言渡しをなした

十六日 (水)

中南米派遣の第一回農商實習生決定

外務省は第一回農商實習生として中南米移民地に雄飛すべき青年を全国各地農商兩校から銓衡中のところ十三名を嚴選決定した

日大特殊鋼管會社の創立

同社は資本金五百萬圓を以て設立され創立總會に於て左の役員を選任した

▽取締役 橋本圭三郎(會長)、中島統一(代表取締役専務)、安川雄之助、泉月軍四郎、藤山愛一郎、梅澤七藏▽監査役 川島清、近藤眞一



十七日 (木)
○滿洲國現地首腦會議開かる
南關東軍司令官、長岡關東局長、谷駐滿大使館参事官、遠藤滿洲國總務廳長、西尾關東軍参謀長は新京に第一回臨時首腦部會議を開き、日滿經濟會議、滿鐵改組等の根本方針に就き審議した

○中央黨系會、共謀黨案を可決
中央黨系會は輸出及び問屋側の猛烈な反對を押切つて、共謀黨案を可決した
○産組及び農會の協議要望
農産販賣統制に關する道府縣農會主任技師協議會は農會及び産業組合の連絡協調を要望した

十八日 (金)
○町田商相、民政黨總裁任を受諾
商相町田忠治は周囲からの民政黨總裁就任懇請を「總裁の器にあらず」と辭退して來たが、本日正式に就任を受諾した
○預金部融資委員會の融資額決定
預金部融資委員會は朝鮮水利組合債務整理資金四千五十萬圓以内、同組合災害復舊資金百四十萬圓以内、國際觀光ホテル建設資金二百七十五萬圓以内を融資に決定した

○純鐵共販會社、露鐵を購入
鉄鐵共販會社は一月から十二月迄にソ聯からロシア鉄十萬トンを購入の契約をなした
○長岡日商代表一行歸朝
日商會商代表長岡春一の一行は八ヶ月銀りに東京歸着列車で歸朝した
十九日 (土)
○岡田首相、三黨首に支援を要請
岡田首相は首相官邸に鈴木政友、町田民政安達國同三黨首を招待し、高橋藏相、床次選相も出席して懇談、舉國一致の支援を要請した

二十日 (日)
○全國米商、米穀自治統制案に反對
全國米穀商組合聯合會評議員會は東京深川に開催、米穀自治統制案に反對を決議した
○法學博士戸水實人死去
病氣療養中のところ七十五歳で死去した。舊金澤藩の生れで日露戦争の際には主戦論を主張して有名であった。東大教授辭任後は辯護士となり代議士に當選すること五回、政友會に重きをなしてゐた
二十一日 (月)
○昭和九年度の米實收高發表

農林省は昭和九年度米收穫高は五千八百三萬九千六百二十九石で、前年より一千八百九十八萬九千四百八十八石(二割六分八厘)の減少であると發表した
○北鐵國道交渉成立す
昭和八年六月二十六日の第一回日滿露三國折衝開始以來一年七ヶ月、會談四十回に及ぶ北滿鐵道讓渡交渉は、本日の東郷東亞局長とカズロスキー露代表第八次會談を以て細目條件全部にわたる折衝を終了した。同協定案大要は次の如し
▽讓渡物、北滿鐵道(舊東支鐵道)及び一切の附屬財産▽讓渡價格、一億四千萬圓及びソ聯從業員退職資金約三千萬圓▽讓渡條件、價格の三分の一は現金、三分の二は物資を以て何れも三ヶ年以内に支拂
○大日本製糖、新高製糖を合併
大日本製糖會社(資本金五千四百一十一萬六千六百圓)は新高製糖會社(資本金二千八百萬圓)を合併して資本金一千五百五十三萬四千圓を増加の件を各臨時總會で決定した
二十一日 (火)
○議會再開と首相其他の施政演説
再會初日の貴族院本會議では岡田首相、廣

田外相の演説があり、首相は憲法政治發揮と舉國一致を説き、外相は不脅威不侵略原則と日支親善、東洋平和を力説、衆議院本會議では高橋藏相は公債増加、國際收支均衡等財界前途に幾多の困難がある旨を述べた。次いで政友會の島田俊雄は一般施政方針につき質問をなした
○三井物産常務の更迭
三井物産常務取締役川村貞次郎は退任し、その後任に岡田多伸が選任された
○東神倉庫會長の更迭
東神倉庫會社は株主總會を開き、會長福井菊三郎の勇退に伴ふ後任として武村貞一郎が就任に決した
○關印政府、輸入制限令を實施
關領印度政府は窓ガラス、エナメル製品、自轉車等八種目に輸入制限令を實施した。期間は十ヶ月である。
二十三日 (水)
○美滿部博士、人權問題で論議
貴族院本會議で美滿部達吉博士は帝人問題にからむ檢察當局の人權蹂躪問題で小山法相を追突した
○床次選相の五十萬元受領問題暴露

衆議院本會議で政友會の山口義一は床次選相が張學良から五十萬元を受領したとの事實を暴露、選相は聞知せずと否認した
○商工省、製鐵獎勵法修正に決す
商工省は製鐵獎勵法を修正し、鐵鋼會社の利益が割以上に及ぶ時には同法効力を停止する所謂スライディングスケール法を採用に決定した
○永見部隊、宋哲元軍を擊退
わが永見部隊は熱河、チャハル省境で宋哲元軍と交戦、敵を擊退した
○外務省、獨逸の輸入制限に抗議
外務省は獨逸の極端なる輸入制限に對しその緩和方を要求した
○臺灣米五萬石の買上
農林省は保管試験のため昭和九年產臺灣米五萬石買上を發表した
○日商、三統制案に反對陳情
日本商工會議所は產滿處理統制案、輸出生糸販賣統制組合法案、米穀自治管理案に反對決議をなし當局に陳情することとなつた
○中南米向輸出綿布の統制案成る
紡績聯合會及び輸出綿布同業會は大阪に中南米向綿織物輸出組合設立聯合協議會を開

き、中南米向け綿布を統制し二月十五日から實施に決定した
○旭硝子二千萬圓に増資
同社(資本金一千二百五十萬圓)は株主總會を開き七百五十萬圓を増資の件を可決した
○義實藏、東京銀行集會所會長に就任
東京銀行集會所會長石井健吾辭任に伴ふ後任に副會長森廣藏が選任された
二十四日 (木)
○廣田外相、重慶問題で論議
衆議院本會議に於て民政黨の齋藤隆夫は陸軍パンフレット問題戦争宣傳の排撃、國防費偏重の是正、國民生活の安定、憲法政治の本義等に關し政府の所見を質し、首相に議會解散を要求した
○輸出生糸新格付を七月限から實施
農林省は日本中央蠶糸會格付特別調査委員會で決定の輸出生糸新格付を新市七月限から實施に決定した
○露露兩軍、ハルハで衝突す
外蒙國境ハルハで滿蒙兩軍が衝突し多數の死傷者を出した
二十五日 (金)
○廣田外相、在任中戦争なしと聲明



衆議院本會議で廣田外相は政友會の芦田均の質問に對する答辯中「私の在任中は戦争は断じてなし」と所信を述べた

◇農村負債整理組合の實踐

農林省は二十五日現在農村負債整理組合數二千六百六十四、整理を要する負債額九千二百萬圓、融通決定額二億圓、融通決定額四千萬圓、配分決定額七百八十二萬六千圓であると發表した

◇米穀債券五千六百萬圓借替發行

大藏省は第二十八回米穀證券五千八百萬圓中二百萬圓を現金償還し、殘額五千六百萬圓を借替へて、第三十五回米穀證券を割引引歩七厘五毛、償還期日昭和十年七月二十五日、日銀引受の條件で發行した

◇糖業聯合會、糖卸高を決定

糖業聯合會は精糖二十萬ピクルを即時、第二種直消糖三十五萬ピクルを三月一日から棚卸に決定した

◇日蘭海運神戸會商延期さる

神戸に開催すべき日蘭海運會商は日本船側が日本語使用原則を主張するに對し、蘭船側は英語原則を固持して妥協ならぬ開會延期となつた

◇寶塚少女歌劇大劇場全燒す

阪急電鐵經營の兵庫縣寶塚少女歌劇大劇場は舞臺裏から出火し全燒した。損害約百萬圓、保険契約高は建物六十五萬圓、備品三十五萬圓である

二十六日(土)

◇農産物販賣統制案の議會提出中止

農林省は農産物販賣統制案は全販聯、農會産組團體の反對が激しいため議會提案を見合わせるに決定した

◇富士山重電機、富士山麓土地を合併

同社(資本金四百九十一萬七千圓)は富士山麓土地會社を合併、四十二萬九千圓を増資して資本金五百三十四萬六千圓となつた

◇横濱代行業社の創立

横濱取引所(資本金六百五十萬圓)は臨時株主總會の決議により横濱代行業社(資本金百萬圓)を創立し左記役員を選任した

▽社長 上田信弘▽常務取締役 安田武彦▽取締役 小島兼太郎、福田喜太郎、杉山經太郎、山口榮吉▽監査役 奥澤許四郎、矢島善七

◇滿洲國石油專賣法に強硬な反對態度を示し

滿洲國石油專賣法に強硬な反對態度を示し

てみた在奉天テキサス、スタンダード、アジアの英米系石油會社は在奉天三井、日石、徳昌と合同し共同出資(三十萬圓)で專賣法による寶物會社を設立に決定、滿洲國に許可申請をなし、石油問題は解決を見る事となつた

二十八日(月)

◇全農協及び乾藪聯、産團處理法を支持

全國養蠶組合聯合會及び全國乾藪組合聯合會は産團處理統制法案を極力支持する旨發表した

◇産組、農會との協調を拒否

産業組合中央會は全國農村産業組合協議會を開催し、農産物販賣統制に關し農會との協調を拒否するに決定した

◇秩父並物銘仙休機に決定

秩父銘仙機業地では並物銘仙統制委員會を開き、生産過剩對策として二月十日から十五日間並物銘仙の休機断行を決定した

◇日鐵、共販配運を通告

日本製鐵は鑄物用鉄鐵をトン四十九圓八十錢から五圓二十錢値下げの運動をしたが失敗したため、鉄鐵共販を三月から脱退する旨通告した

◇大阪製鐵所、八百萬圓に増資

同社は株主總會に於て資本金三百萬圓を八百萬圓に増資の件を可決した

二十九日(火)

◇岩田宙造博士、人權問題で追究

貴族院本會議で同和會の岩田宙造博士は帝人問題に關する檢事の人権蹂躪問題で當局を論難した。これに對し小原法相は三十日の議會で檢事不法取調の事實なしと反駁した

◇獸油脂其他を重要工業品に指定

商工省は獸油脂及び同油脂粕並に紡毛絲を重要工業品に指定した

◇産組、低資額を政府に要望

第二回全國産業組合長會議は凶作風水害及び窮乏兼置地方における産業組合に融資せられた各種低利資金の三ヶ年据置を政府に要望するに決した

◇王子製紙社員、百萬圓小切手を携帶

王子製紙會社検査課長代理渡邊亮作は第一銀行振出し日銀受取の小切手百十八萬五千圓を持って行方不明となり、三十一日大森で自殺を企て、發見された

三十日(水)

◇農林省の北洋漁業統制方針決定

農林省は沖取、沿岸、カニ工船の北洋全漁

業を免許制とし、配當制限その他の監督權を政府に與へんとする法案を作成することに決定した

◇有吉公使、蔣介石と會談

有吉駐支公使は南京に於て蔣介石を訪問、黃郛も同席し、日支關係調整につき懇談し、有吉公使は日支提携の先決問題として排日取締の必要を力説した

◇四分利公債五十九萬餘圓發行

政府は四分利公債五十九萬六千六百二十五圓を償還期限五年据置後三十年内の條件で發行した

◇東京米商の古米代用延長認可

東京米商の八年産古米の清算供用期間七月限まで延長を認可された

◇太平洋運賃引上げに決定

日本太平洋運賃同盟及び日本大西洋運賃同盟では五月一日から北米向主要貨物の往航運賃を一分五分乃至二分引上に決定した

◇九州共同火力電氣會社の創立

九州共同火力電氣會社(資本金一千五百萬圓)は東京に創立總會を開き左記役員を選任した

▽取締役 尾形次郎(會長)、古田正康(常

務)大原雅一、上妻博、川島三郎、上塚殿増永元也、宮川竹馬▽監査役 乳井辰雄、保田哲夫

三十一日(木)

◇日滿聯合會、ハルハ廟を占領

日滿聯合會はソ蒙軍を撃退しハルハ廟を占領した

◇日滿通商交渉開始さる

日滿通商條約締結に關する交渉はキャンバラに於て開會、日本代表として村井總領事、滿洲代表としてカレット次官が出席した

◇滿鐵社債三千萬圓發行に決定

滿鐵シンチケート銀行團は滿鐵社債三千萬圓を年利率四分三厘、償還期限三年据置後十二年間の條件で發行に決定した

◇合同油脂、北海興産を買収經營

合同油脂會社(資本金一千萬圓)は北海興産會社(資本金十萬圓)を買収し三十萬圓に増資して經營するに決定、その創立創會を開催した

◇前大藏大臣、井真信死去

慶應病院に入院加療中のところ本日死去した。享年五十一。徳島縣の出身で東大法律科卒業後大藏省に入り主稅局計理課長、同國稅課



長、東京税務監督局長、主税局長、主計局長、大藏次官を歴任、昭和九年七月岡田内閣の蔵相となつたが病氣のため同年十一月辭職し療養に専心してゐた

【一月】

一日(金)

北鐵運第一回起直委員會開會

北鐵運渡に關する第一回起草委員會は外務省に於て、歐亞局第一課長西春彦、カズロフスキー代表等參集して開會された

米實公債百六十六萬餘萬買入銷却

政府は六分半利付米實公債百六十六萬八千五百弗(此買入代金三百九萬九千九百四十九圓六錢九厘)を買入銷却した

紡績操縦率五分擴張に決定

紡績聯合會は四、五、六月の操短率を現行の四晝夜基準一割一分二厘を更に五分擴張するに決定した

石炭二十五萬トン増送に決定

石炭鐵業聯合會は二、三月中に二十五萬トンの増送を行ふことに決定した

サロン輸出統制の實施

サロン輸出組合では本日から輸出統制を實施するに決定した

施し、初年度第一期(本日から九月三日迄)關領東インド向輸出割當總數量を十七萬九千五百五十五コチと決定した

中南米貿易統制の協議會開會

中南米の貿易統制に關する官民協議會は商工省に開會され、輸出入統制實行機關問題に就き協議、當業者は綿織物と雜貨類の別個統制機關による統制を希望した

昭和人絹、國光レーヨンを合併

同社(資本金五百萬圓)は本日國光レーヨン會社の資本金一千萬圓を七百五十萬圓に切下げて合併、總資本金一千二百五十萬圓となつた

二日(土)

林陸相、軍需會社の暴利監視を言明

衆議院豫算總會に於て林陸相は次の調査に基き、軍需工業會社の暴利を監視する旨を言明した(單位千圓)

(一)陸軍省經費中の物件費二六五、〇〇〇

内軍需品民間調達額一九六、〇〇〇。その

内大工業へ九九、〇〇〇。中小工業及び農

漁山村へ九六、〇〇〇。(二)陸軍註文額が

會社生産總額の割以上を占め、金額二十

萬圓以上のもの五十社一割以上の配當をな

すもの東京無線、池貝鐵工、東京電機

津雲代議士、官紀表裏を追究

衆議院豫算總會で政友會の津雲國利は、在滿機關改革問題に際し關東軍幕僚が出した聲明書に、關東廳に官紀紊亂の事實ある旨を記載してゐるのを指摘、林陸相はその事實の言明を避けた

大藏省、全國々稅簿納額を發表

大藏省當局は衆議院豫算總會で最近の全國國稅簿納額を左の如く發表した。(單位千圓)

▽昭和四年度五〇、三四五〇五年度五三、

五二二〇六年度三八、一三〇〇七年度三

四、七八八〇八年度三〇、八八八

蔣介石、排日抑製を國民に警告

蔣介石は中央通信社を通じ、排日運動の抑製を全國國民に警告した

米、伯蒙債通商條約の調印

米國及びブラジル間に求償通商條約の調印が行はれた

三日(日)

統鐵値下問題解決す

統鐵共販の一―三月份統鐵建値引上げ、商工省の引下げ要望、商工省の日鐵に對する共販退還進等をめぐる統鐵建値改訂問題は、

商工省、日鐵、共販三者協議の結果、大要左の如く解決した

(一)日鐵出銑は舊建値底當り四十四圓六十錢を以て仕切る(二)滿洲銑は値上建値四十九圓八十錢仕切り(三)日鐵出銑及び滿洲出銑兩仕切値段及び外銑輸入値段の三者を平均して共販の改訂値を決定す

英佛協定成立す

佛國首相フランダン、外相ラヴアルは倫敦で英首相マクドナルド、外相サイモンと會談の結果、英佛協定の成立を見、本日公表された。同協定はヴェルサイユ條約規定の獨逸軍備制限を改訂する代償として東歐ロカルノ協定、ローマ協約等に獨逸を參加せしめ、以て佛國の安全保障を得んとするものである

五日(火)

外蒙、ハルハ廟占領不同意を聲明

外蒙政府はゲンダン首相兼外相の名を以て日滿兩國のハルハ廟占領に同意し得ずとの聲明を發表した

中南米綿絲布輸出組合の結成決定

紡績聯合會、輸出綿絲布同業會、棉花同業會は大坂の綿業會館に聯合委員會を開き中南米綿絲布輸出組合を結成し、三月から業務を

開始するに決定した

滿支間の電信連絡開始

山海關電信局における兩國の電線接続完了し、山海關經由の滿支有線電信取扱ひが開始された

アリゾナ州議會に排日土地法案提出

米國アリゾナ州議會に日本人の農耕禁止並に農園居住禁止を目的とする排日土地法案が提出された

六日(水)

製絲業者大會、政府案反對を決議

産繭處理統制案及び輸出生絲販賣統制案に關し、關西製絲クラブを中心とする製絲業者は東京赤坂三會堂に全國製絲業者大會を開き八百餘名參集して兩案排撃の決議をなした

糖價引下全國期成同盟の結成

全國菓子業組合聯合會主催の糖價引下全國期成同盟會の發會式は東京上野精養軒に開催、糖業トラストを打破し、砂糖關稅撤廢を期する旨決議し、當局に陳情した

三井合名首腦部の更迭

三井合名常務理事有賀長文、福井菊三郎辭任し、新常務理事に三井物産取締役會長南條金雄が任命された。又同社は副社長制を廢止

し三井元之助、三井源右衛門は引退することに決定した

米國、モスコ―總領事館廢止を發表

米國々務省はモスコ―の米國總領事館を廢止し、大使始め關係官吏を引揚げしむる旨發表した。原因は米露債務交渉の決裂である

七日(木)

林陸相、滿洲事件費減額を言明

衆議院赤字公債委員會で林陸相は滿洲事件費は昭和十二年度からは現在の一億五六千萬圓が一億圓内外に減少すると言明した

商工省、硫安生産費を發表

商工省當局は衆議院豫算委員分科會で硫安生産費を製造會社の提出數字のまゝ左の如く發表した

▽甲社八十五圓十八錢(金利及び銷却費を控除したもの六十一圓七十五錢)▽乙社九十七圓二十六錢(同六十八圓六十九錢)▽丙社七十六圓二十四錢(同六十五圓二十五錢)▽丁社八十七圓八十七錢(同六十四圓九十九錢)▽戊社九十三圓三十三錢(同七十二圓七十錢)

日亞貿易に輸出組合法を發動

商工省は對中南米貿易全面的調整の具體化



として先づアルゼンチン輸出に對して輸出組合法第九條を發動し本日から實施し、日亞片貿易を調整することゝなつた

◇綿紡短率據置に決定

綿紡工業會は三月一日以降五月末迄の操短率を非常時操短三割三分、普通操短二割一分と各々据置きに決定した

◇綿三織の生産割當決定

綿工聯は四月分の綿三織生産割當を五十萬反と決定した

八日(金)

◇統制制備會開かる

商工省、日鐵、共販、滿鐵代表者は商相官邸に鉄統制第一回圓卓會議を開催し、四月以降の鉄供給策を中心に協議した

◇全國米穀商の米穀管理法反對大會

米穀自治管理法に反對する全國米穀商大會は東京兩國の國技館に開催、出席者約二萬四千名に達し氣勢を擧げた

九日(土)

◇政府、爆彈動議に最後の態度表明

臨時議會に政友會の投じた「爆彈動議」たる救農對策追加豫算提出要求の後始末は本議會の最大問題として政府は對策を協議した結

果、本日衆議院豫算總會に於て岡田首相は「提出豫算以外真に實情に即して必要なる施設を行ふの要を認められた場合は第一豫備金支出によるを適當とし、本會期中に一千五百萬圓の豫備金追加要求を提出の見込である」と政府の最終的態度を表明した

◇日獨協定調印さる

内外協定協定は東京丸の内アーレンス事務所にて日本代表小林電化社長、ドイツ代表アーレンス社日本總支配人ボツシュン間に左の如く正式調印された

(一)日本は下期に六萬トン輸出(二)外安十五萬トンを下期に輸入(三)配給組合建値三圓五十錢に準ず(四)有効期間本年度末迄

◇伯爵小笠原長幹死去

貴族院議員伯爵小笠原長幹は東京牛込區市ヶ谷河田町の自邸で死去した。享年五十一。豊前小倉藩主忠忱の長子で劍橋大學に學び、歸朝後貴族院に入り、研究會の重鎮として伯爵團の牛耳をとり加藤友三郎内閣には國務院總裁となつた

十一日(月)

◇社會事業團に二十萬圓下賜

紀元節に當り全國七百八十六社會事業團體

に御内帑金二十萬圓下賜遊ばされた

◇政友會の硬軟兩派對立す

政友會強硬派は鳩山一郎外六十三名柳橋に會合して現内閣不信任を決議し、床次系其他自重派七十名は芝三條亭に於て總豫算承認を申合せた

◇神武會解散す

大川周明博士を會頭とし全國五十支部、二萬餘の會員を有する神武會(昭和七年二月十一日發會)は明治神宮で解散式を舉行した

十一日(火)

◇軍艦代表山本中將歸朝

倫敦軍艦會議日本代表山本五十六中將はシベリヤ經由、本日東京驛着歸朝した

十三日(水)

◇關係四省、日滿通商策を協議

外務、大藏、商工、農林四省は外務省に聯合協議會を開き、貿易入超となつてゐる諸國との全面的調整を計るためまづ日滿通商條約に關し協議した

◇豫算案、衆議院で可決

衆議院豫算總會で政友會の島田俊雄は爆彈動議後始末に關し「政府に一片の誠意のある事を認める」と述べ、次いで十年總豫算案

は政民兩黨委員支持で無修正可決され、十四日衆議院本會議を通過した

十四日(木)

◇外務省、日支經濟提携策を協議

日支間經濟提携策あるに鑑み、外務省は歸朝中の横竹上海駐在商務參事官を中心に東亞及び通商兩局聯合協議會を開き、日支經濟提携の方策を協議した

◇齋藤駐米大使、米國の排日法案に警告

齋藤駐米大使は米國各州議會の排日法案に對し、米國政府の注意を喚起した

◇東洋實業工業會社の創立

同社は資本金三百萬圓を以て創立され左記役員を選任した

▽取締役 岩瀬徳三郎(代表)、國廣幸彦、榎本修吉、岩瀬平治郎、上田久▽監査役 渡邊清

◇滿洲國の石油元卸賣人決定

滿洲國政府は石油專賣實施につき、元卸賣人を左の如く許可決定した

アジアチック系十八、スタンダード系二十一、テキサス系十四、其他二十六

十五日(金)

◇鐵關稅引下の試案成る

關稅調查委員會幹事會は鐵關稅引下其他諸關稅改正試案を作成したが、その内容は鐵關稅は鉄鐵トン當り六圓を三圓に、普通鋼材百斤一圓四十八錢を七十四錢に、特殊鋼材据置に實石類關稅は十割を一割に改正せんとするものである

◇紙鐵共販、滿洲統一萬トン輸入

鉄鐵共販組合はB・H・P會社から滿洲鐵を第一回分四一六月渡し一萬トンを輸入に決定した

十六日(土)

◇セメント限產據置に決定

洋灰聯合會は三月以降五月迄の操短率を各月五分七割据置きと決定した

◇伊國、エチオピアへ義勇兵を派遣

伊太利はエチオピアとの紛争で三千の義勇兵をナポリ出發アフリカへ派遣した

十七日(日)

◇ハワイ邦人移民五十年祭

ハワイ在留邦人移民五十年祝祭は全島各所で盛大に舉行された

十八日(月)

◇サルヴアドルに經濟使節派遣

名古屋商工會議所ではサルヴアドルへ經濟

使節として田原東外二名を派遣に決定した

◇三菱實業部の更迭

三菱合資總務理事木村久壽彌太が引退し、後任に三菱銀行取締役會長串田萬藏が就任、三菱銀行會長には同行筆頭常務取締役瀧下清が就任した

◇東京モスリン工場の罷業

東京モスリン龜戶工場の總同盟系職工約六百名は解雇者の復職要求を會社側から拒絶されたため同盟罷業を開始した

◇新京に在滿實業會議開催

關東軍、滿鐵、關東局、滿洲國政府各首腦會議は新京に開催、滿洲國經濟機構並に重要産業統制方法を中心に重要會議となした

◇米國の金約款問題判決さる

米國大審院は金約款問題に關し、私的債務に對しては政府の金約款廢棄共同決議を有効なりと判決し、政府の債務(金證券を除く)に對しては無効であると判決した。即ち民間債務は新弗で拂ひ政府公債は金弗で支拂ふわけであるが、然し政府は金弗拂ひを強制されない事となり、實質的に政府の勝利に歸した

十九日(火)

◇王龍憲、日支國交調整のため來朝



日支國交調整の使命を帯びた國際司法裁判所判事王龍惠は横濱入港のピアース號で來朝し、廣田外相、牧野内府、林陸相其他朝野名士と會談、二十七日離京した

伊國、輸入制限を強化

伊太利政府は貿易況改善のため輸入商品全部に大蔵省の特許を要する旨告示した

二十日 (水)

廣田外相、輸入統制採用を表明

臨時利得稅委員會に於て廣田外相は從來は對外貿易伸長の方法として輸出統制に主力をおいたが、將來は貿易のバランスを中心にして輸入統制を採用すると述べた

農林省は桑園の整理、改植及び混作に關する補助金四百七十四萬八千七百圓の各府縣割當を決定し指令を發した

二十一日 (木)

歐米歴訪の吉田茂大使歸朝

廣田外相の特別使命をうけて在外機關と本省間の連絡のため、歐米歴訪中の吉田茂大使は横濱入港の郵船淺間丸で四ヶ月振りに歸朝した

二十一日 (金)

薩福及び運糧の重大聲明

貴族院豫算總會で公正會の大蔵公望の質問に對し、床次選相は電力の國營化を考慮の旨答辯し、高橋藏相は衆議院に於て臺灣銀行の兌換發行權を取り上げて日銀に統一する方針を持つとの重大聲明をなした

正力廣實社長、兎瀧に墜はる

讀賣新聞社長正力松太郎は同社に於て神武會青年部長長崎勝助のため日本刀で斬り付けられ負傷したが生命には別狀なく、犯人は直ちに逮捕された

東京瓦斯副社長岡本雄死去

瓦斯事業界の權威で東京瓦斯副社長の岡本雄は五十八歳で死去した。三重縣に生れ東大應用化學科卒業後大阪瓦斯に入り、後名古屋瓦斯(東邦瓦斯の前身)に轉じ、同社をして模範的優良會社たらしめた。東京瓦斯の經營建直しに當りその懇望によつて同社に入つて副社長となり、大いに手腕を發揮した

二十二日 (土)

衆議院、オリンピック東京開催を可決

衆議院本會議は第十二回國際オリンピック大會東京開催を満場一致可決した

日伊交換放送行はる

日伊最初の交換放送が行はれ、伊太利はミラノ・スカラ座からオペラを放送した

バラグアイ、聯盟退退を通告

バラグアイ政府は對チャコ紛争に國際聯盟の執つた處理を不當として、聯盟退退を通告した

二十五日 (月)

美濃部博士、天皇機關説を説明

去る十九日の貴族院本會議で菊池武夫男が質問演説中、美濃部達吉博士の學説、天皇機關説及び著書を引用して博士を反逆者、學匪等と叫んだが、美濃部博士は本日貴族院本會議で一身上の辯明のため發言を求め、天皇機關説を詳細に説明した

米穀證券六千七百圓發行

大蔵省は第三十六回米穀證券六千七百圓を左の條件で發行した

▽割引歩合 日歩七厘五毛、支拂期日 昭和十年八月二十六日

愛知縣で支那毛織物對支輸出増加を圖るため縣織物検査所長吉田茂外一名を上海、南京、杭州方面に派遣することに決定した

支那實業家陳伯藩來朝

上海の支那全國商會聯合會本部が日本朝野の日支提携意見打診のため派遣した上海國際企業公司總經理陳伯藩は神戸入港の龍田丸で來朝した

二十六日 (火)

露國大使、廣田外相と會談

ユレニエフ露大使は廣田外相と會見、日滿露國境共同委員會設置其他につき協議した

大日本印刷會社の創立

秀英社(資本金四百萬圓)と日清印刷(資本金二百萬圓)は各々株主總會を開き兩社合併して大日本印刷會社(資本金六百萬圓)を設立の件を承認し、役員を左の如く選任した

▽取締役社長 増田義一、専務取締役 青木弘、平野登美夫、常務取締役 佐久間長吉郎、竹内善太郎、取締役 吉田秀人、高橋謙三、監査役 坪谷善四郎、佐久間衛治

新興火災保險會社の創立

京都火災(資本金五百萬圓)、共濟火災(資本金百四十萬圓)、大日本自動車保險(資本金百萬圓)三社の合併による新興簡易火災保險會社(資本金四百萬圓)は創立總會を開き左記役員を選任した

▽取締役會長 白勢量作(共濟)▽取締役社長

長 奥村安太郎(京都)▽取締役 大澤徳太郎、横田永之助、中井歳男▽監査役 宮林勢吉、黒瀬廣志

支那の申請紡績新案

支那最大の紡績會社たる申新紡(資本金一千七百萬元)は破綻を暴露した

二十七日 (水)

肥料統制法案要綱發表

農林省は今議會提出の肥料統制法案要綱を發表した。その内容は硫安を中心に石灰窒素過燐酸石灰の肥料製造業を許可制度とし、組合を組織せしめ、需給の調節と價格の統制を圖らんとするものである

外務省、日本の對支立場を宣明

外務省は日支親善工作に關し聲明書を發表し、我々は眞に東洋平和及び日支親善關係の増進に努力してゐるから、各國も日本の眞意を諒解すべきであると、日本の立場を中外に宣明した

露領漁區、日本側三十漁區落札

露領漁區本年度競賣入札が行はれ、日本側落札三十、露國側三十七、不落札六であった。又露國政府はルーブル換算率三十二錢五厘据置きと正式に通知した

支那中央政治會議は蔣介石、汪精衛連名の提議に基き、日貨排斥領壓策を決議した

二十八日 (木)

東北振興調査會、審判案を決定

東北振興調査會總會は特別委員會で決定の東北振興に關する大要左の如き答申案を決定した

▽冷害對策施設 (一)測候施設の擴充(二)海洋觀測の施行(三)防風林の新設復舊(四)灌漑排水施設の充實(五)農作物品種及び栽培法改良研究指導機關の擴充(六)自給肥料増産(七)農業經營指導農場設置並に農村指導員養成

▽農村工業發達施設 (一)専門技術者設置の助成(二)共同施設の助成(三)指導團體施設の助成(四)製品販賣施設助成(五)調査研究指導機關の整備

▽東北振興事務局設置

▽生活改善方策實施

東商、鋼材關稅引下緩和を要望

東京商工會議所は鋼材關稅引下率の緩和を要望を決議した

遠達坪内鐵礦博士死去

遠達坪内鐵礦博士死去



文學界の巨匠坪内雄蔵博士は熱海双杯會で死去した。享年七十七。衆議院では二日全會一致院議を以て弔詞を贈り哀悼の意を表した

◇田中塗料工業會社の創立

同社は資本金二十萬圓を以て創立され左記役員を選任した  
▽社長 田中平八▽常務取締役 田中均▽取締役 森秀雄、柴田松太郎▽監査役 小長井啓次郎

◇理研特殊鐵鋼會社の創立

同社は資本金四百萬圓を以て設立され創立總會に於いて左記役員を選任した  
▽社長 大河内正敏▽専務取締役 岡秀實▽常務取締役 大久保八朗▽取締役 井田榮造、古内林太郎、三増春次郎、福岡成一▽監査役 吉田義輝、矢部又吉、小野博史

【三月】

一日(金)

◇海軍當局、造艦休日提案を否定

わが海軍當局は英米間に日本が造艦休日案を提案せんとする如き風説があるが、これは何等根據なき臆説であると聲明した  
◇澁谷・新橋間の地下鐵認可

東京高速度地下鐵道(澁谷新橋間)は當局から認可の指令があつた

◇對蘭印綿織物輸出組合、紡聯と對立

對蘭印日本綿織物輸出組合は商工省の從價によつて、對蘭印綿織物輸出に統制を實施する事とし、許可數量六千五百萬ヤードにつき割當てを行つた處、紡績會社側が五十パーセントの割當を要求し來つたため、紛争を見るに至つた

◇英米、日支提携對策を協議

駐米英國大使リンゼーは米國々務省に於てフィリップス次官と會見、日支提携の對策を協議した

二日(土)

◇昭和九年度内地米生産費發表

農林省は内地に於ける昭和九年度米穀生産費は、全國一千八百八十一戸(内自作農九百三十五戸)調査の結果、玄米一石十二圓乃至四十七圓、平均二十七圓九十五錢であると發表した

◇製鐵業法改正案の議會提出見合

政府は製鐵業獎勵法改正案の議會提出を見合せる事に決定した。理由は鐵鋼關稅改正案臨時利得稅案によつて製鐵會社の巨額利益獨

占を相當程度制限しうるためである

◇土肥原少將、胡漢民と會見

奉天特務機關長土肥原少將は香港にて西南派の元老胡漢民と會見、胡は日支提携の徹底を強調した

◇日蘭神戸海運會商決裂す

神戸に開催の日蘭海運會商は用語問題の諒解成らず遂に決裂した

◇組合製絲及び乾繭、産統制を支持

全國産業組合製絲聯合會及び全國共同乾繭倉庫聯合會は産統制統制法案實施を期し政府を絕對に支持することを決議した

◇赤塚前代士殿殺さる

民政黨前代議士赤塚五郎は熱海海岸で不良のため殿殺された。享年五十。東京神田に地盤を持ち、東京浴場組合、全國都市浴場組合の創設者である

◇シヤム國王退位す

シヤム國ブラジヤダイボク陛下退位され七日皇甥アナンダ・マヒドル殿下が即位遊ばされた

◇ギリシヤに動亂勃發す

ブラスタラス將軍系の軍隊はアテネ及びサロニカで叛亂を起し、その一部はギリシヤ艦

隊を占領してクレテ島に向ひ、三日元首相ヴエネゼロスを擁して同島に新政府を樹立した

三日(日)

◇製絲聯合會、産統制反對に轉向

全國製絲聯合會は緊急評議員會を開き、從來の態度を一變して産統制統制案に全面的反對を決議した

四日(月)

◇三室戸子爵、遺囑説を論議

貴族院豫算總會で研究會の三室戸敬光子は美濃部博士の 天皇機關説を攻撃、岡田首相は 天皇機關説に反對であると答辯した

◇産統、米穀及び産統兩統制案を支持

全國農村産業組合大會は米穀自治管理法産統處理統制法案の通過を期する旨決議した

◇邦船四社、シヤワ運賃同盟を脱退

日蘭神戸海運會議決裂につき、邦船側はシヤワ運賃同盟(和蘭側シヤワ・チャイナ會社邦船側郵船、商船、石原、南洋郵船四社、昭和八年七月十日締結)を脱退する旨通告した  
◇共産黨私刑事件の特田檢舉さる  
私刑事件の共産黨中央委員袴田里見(三二)は東京本郷三丁目で檢舉された

五日(火)

◇農林省、過剩米推定を發表

米穀自治管理法の發動對象たる過剩米の推定に關し、農林省は次の如く發表した

民間理想持越高を四〇〇萬石とすれば▽平年作の場合二二三萬石▽三分増收の場合四八五萬石▽五分増收の場合六五九萬石▽七分増收の場合八三三萬石▽一割増收の場合一〇九六萬石

◇エア・タキシール開業

東京航空輸送會社はエア・タキシールを開業羽田から江の島片瀬上空を回遊することとなつた

◇昭和十年上期の送炭調節高決定

石炭業聯合會は十年上期全國石炭需要豫想高を一千八百萬四千噸と算定し、上期調節高を一千三百五十七萬八千噸と決定した

◇臺灣興業會社の創立

臺灣興業會社(資本金五百萬圓)は創立總會を開き左記役員を選任した  
▽會長 大川平三郎▽社長 松本眞平▽専務取締役 大川義雄▽取締役 田中榮八郎、岩崎清七、太田清藏、迫本實、柴田義一、大川理作▽監査役 中島伊平、郷傳平

六日(水)

◇内閣審議會及び調査局の要綱決定

政府は閣議に於て内閣審議會並に内閣調査局の組織要綱を決定した。内閣審議會は内閣に屬し内閣總理大臣の諮問に應じて重要政策の調査審議をなし、又内閣に建議する。内閣調査局は内閣審議會に關する庶務、同會に提出すべき資料及び議案の整備、一般重要政策の調査等を行ふものである

◇中央黨練會、政府案支持を聲明

中央黨練會はあくまで政府の産統處理統制法案を支持する旨を聲明した

◇大日本電力八千四百萬圓に増資

同社(五千五百三十萬五千圓)は二千八百六十九萬五千圓を増資して八千四百萬圓となすことに決定した

◇臺灣カストル殖産會社の創立

臺灣カストル殖産會社(資本金百萬圓)は東京に創立總會を開き左記役員を選任した  
▽取締役 美濃部俊吉(社長)、宇野木忠専務、廣瀬爲久、穴水嘉三郎、濱田捷彦▽監査役 高島鈴三郎、白須慶憲

七日(木)

◇有吉公使 汪兆銘と會談

有吉駐支公使は南京に汪兆銘を訪問し日支



關係調整、經濟提携、對支借款問題につき會談した

◇菓子業組合、製糖業者と妥協

全國菓子業組合聯合會は糖價引下運動中の處、製糖會社との間に(一)關稅及び附加稅撤廢期の到來する様生産費輕減に努む(二)價格公正を期す(三)菓子業伸展に努力する等の條件で妥協が成立した

◇エクアドル、通商條約廢棄を通告

エクアドル政府は日本・エクアドル通商條約の廢棄を通告して來た

八日(金)

◇綿織工業、貴族院を通過

昭和十年度綿織工業法案は貴族院を無修正で通過した

◇全國農會、米兩兩統制案を支持

全國農會大會は日本青年館に開催、全國代表一千名參集して米穀自治管理法並に産滿處理統制法案の支持を決議した

九日(土)

◇中南米貿易の統制協議會開催

商工省は大阪に中南米輸出統制協議會を開催、總ての商品は個人割當を行はず、輸出に對して輸出國別毎に必要な輸入に要する損

失填補のため輸出業者から統制手数料をとることに決定した

◇全國製糖業者、統制立法支持を決議

全國製糖實行組合大會は代表千五百名參集して東京丸ノ内の製糖會館に開會、産滿處理統制法案の支持を決議した

十日(日)

◇全國製糖業者、統制案に反對

全國製糖業者、製糖業者、兩系業者は東京赤坂三會堂に聯合大會を開き、二千名の業者參集して産滿處理統制法案、製糖業法並に製糖業組合改正法案の反對を決議した

十一日(月)

◇農林省、反産運勸反販賣料を發表

農林省は左の如き資料を發表、産組の中小工業壓迫の事實なき旨を明かにした

一、昭和九年六月末現在産業組合數一萬四千七百四十一、組合員數五百七十七萬四千五百人、そのうち商工業者九十四萬人加入して利用してゐる  
二、昭和八年農産物販賣高一億三千萬圓の中九割は商人に賣却した  
三、取扱米穀の殆んど全部は商人に取扱は

せてゐる

◇農林省、米穀現在高を發表

農林省は三月一日現在内地に於ける米穀現在高總數は四千六百四十八萬七千三十一萬石で前年同期に比し七百五十七萬八千九百七十六石即ち一割四分の減少であると發表した

◇生絲販賣統制法案の提出見合せ

山崎農相は衆議院に於て生糸販賣統制法案の今議會提出は當業者反對のため見合せの旨を言明した

◇北鐵運渡の假調印行はる

外相官邸に於て日本、滿洲國及び露國の三國間に北鐵運渡の假調印が行はれた

◇對亞輸出補償復活さる

政府はアルゼンチンの爲替管理がやゝ緩和されたため同國向輸出形に對する補償を復活した

◇全國肥料商、肥料業統制法に反對

全國肥料商大會は今議會提出の肥料業統制法案に反對の決議をなした

◇日本産業護護六百萬圓に増資

資本金四百五十萬圓の日本産業護護會社(現在日産農林工業)は百五十萬圓増資して資本金六百萬圓となつた

◇富士鐵道工業會社の創立

同社は資本金一千二百萬圓を以て設立され創立總會に於いて左記役員を選任した

◇取締役 日比谷平左衛門、後藤正曉、玉木徳次郎、森村市左衛門、川崎榮助、林雅之助、鹿村美久、富田健次郎、前川華夫、高橋謙逸、日比谷祐藏、溝田伍市

◇ギリシヤ叛亂軍は政府軍の總攻撃に壊滅しセレス・ヒツサールを抛棄して退却した

十二日(火)

◇昭和十年度追加豫算案の決定

政友會の緊急動議後始末に伴ふ第二豫備金内閣審議會經費、米穀自治管理實施に伴ふ經費、東北振興應急費等を含む十年度一般及び特別兩會計追加豫算案總額二千二百萬圓は本日開議に於て決定した

◇山本徳二郎、美濃部學説を痛罵

政友會の山本徳二郎は衆議院本會議に於て美濃部學説は國體と相容れずと痛論した。尙同氏は大養内閣々僚として美濃部達吉博士を勅諭議員に奏薦した責を感じ、正三位拜辭の請願文を岡田首相に提出した

◇日獨、日英無線電話の開通

東京ベルリン及び東京ロンドン間の國際無線電話の開通式が舉行された

◇商權擁護聯盟、産業調整を決議

全日本商權擁護聯盟は米穀及び産滿兩統制法案の議會提案は産業組合の擴大強化を計り配給機構の變革を行ふものであるとの見地から産業政策の調整確立に關する決議を行ひ、當局に陳情した

十三日(水)

◇商工省、十年度統制輸入計畫を發表

商工省は昭和十年度統制輸入計畫を左の如く發表した  
▽鉄鐵、九年度は滿洲鐵四十萬噸、外國鐵二十萬噸、計六十萬噸に對し、十年度輸入計畫は滿洲鐵三十五萬噸、外國鐵六十萬噸計九十五萬噸▽鋼材、九年度は三十六萬噸に對し、十年度四十五萬噸  
◇預金部資金の融通額決定  
預金部運用委員會は米穀自治管理資金六千九百八十萬圓以内、日本製鐵二千萬圓以内等の融通額を決定した  
◇三菱製鐵會社の解散  
三菱製鐵會社(資本金二千五百萬圓)は臨時總會に於て解散を可決した。同社は製鐵部

門を日鐵に、鑛山採掘事業を三菱製鐵に譲渡したためである

十四日(木)

◇北鐵買收資金の融通條件決定

滿洲國公債引受シンチケートは興銀に北鐵買收資金融通に關する協議會を開催、北鐵讓渡正式調印と同時に一時貸付金二千三百三十萬圓(日歩一錢二厘、公債と同一擔保)を融通し、更にオーブン・エンド・モーゲージによる第一回分三千萬圓の滿洲國公債を利率年四分、發行價格九十八圓、償還期限三ヶ年据置後七年間、擔保北鐵財產及び同收益、拂込期日四月二十五日等の條件で發行する事となつた

◇極紙の統制強化

日本板紙同業會總會は唯一のアウトサイダーたる天城板紙の加入を正式に承認、板紙統制が強化されることとなつた

十五日(金)

◇大北漁業會社の創立

北海道根室を中心とする鮭鱒流網漁業者の合同により大北漁業會社(資本金五十萬圓)を設立本日創立總會を開き代表取締役に須田孝太郎、専務取締役に野村直次、常務取締役に



に今著作を選任した  
 ◇玖瑠、邦品に最高率關稅を賦課  
 玖瑠政府は日本及びソ聯の商品に最高率關稅を賦課することに決定した

十六日 (土)

◇關西對界、重要産業統制法廢止を要望  
 日本經濟聯盟大阪出張所では委員會を開催し、昭和六年八月實施の重要産業統制法案は最早その存續意義を失つてゐるから五ヶ年間の期限満了と共に同法を廢止し、以後かゝる單一法を以てせず、各部門別統制法を以て臨むべきであるとの意見に一致した

◇獨逸、再軍備を宣言

ドイツ政府はゲッペルス宣傳相の名でヴェルサイエ條約の軍事條項の廢棄を宣言し、一般的再軍備を行ひ、即時強制兵役を復活する旨發表した

十八日 (月)

◇船主協會、過剰古船解體案を主張

日本船主協會特別委員會は、國際船主會議へ提出の合理化案を協議の結果、日本案としては過剰古船解體案を以て臨むことにした

◇南洋水産協會の設立認可

拓務省は公益社團法人南洋水産協會の設立

を認可した。同協會は南洋における本邦水産業者相互の連絡、親善を計り、斯業の統制ある發達を目的とする

◇日本精工、第二日本精工を合併

日本精工會社(資本金百五十萬圓)は變態増資をなすため本年十月資本金三百五十萬圓の第二日本精工會社を設立したが、本日合併登記し、三百五十萬圓増資して資本金五百萬圓となつた

◇東海電氣製造、第二東海電氣製造を設立

同社(資本金三百萬圓)は第二東海電氣製造會社(資本金三百萬圓)を設立した

◇朝鮮石炭工業會社の創立

朝鮮石炭工業會社(資本金一千萬圓)は創立總會を開き左記役員を選任した

社長 野口達▽常務取締役 工藤宏規▽取締役 金田榮太郎、吉川貢、横地靜夫▽監査役 永見高雄、時安一郎

◇支那、北鐵讓渡に反對聲明

支那外交部は北鐵讓渡を非法と認める旨の對外聲明書を發表した

十九日 (火)

◇松竹直營營業士等の總罷業

松竹經營營業館の營業士、説明者等はトーキ

進出による解雇に反對し總罷業を執行したが二十八日警視廳の斡旋により(一)解雇三ヶ月前に豫告(二)解雇手當六ヶ月分支給(三)金一封支給等の條件で解決した

二十日 (水)

◇貴族院、政教刷新建議案を可決

貴族院研究會及び公正會兩派幹部の起草になる左記政教刷新建議案は貴族院本會議に上程火曜會西郷從德侯が提案理由を説明後、滿場一致で可決された

方今人心動もすれば輕佻詭激に流れ政教時に華國の大義に副はざるものあり政府は須く國體の本義を明徴にし我古來の國民精神に基き時弊を革め庶政を更張し以つて時艱の匡救國運の進展に遺憾なきを期せられんことを望む

◇全日本商店界聯盟の決議

全日本商店界聯盟總會は東京商工獎勵會に開催、左記決議をなし、當局に陳情した

▽小賣業法並に商店街法の制定▽百貨店法の制定▽購買組合並に消費組合の徹底的取締▽公私設小賣市場の撤廢▽商品券の撤廢▽營業收益稅の改正▽小賣商金融機關の設置▽商業組合への強制加入

◇川崎コークス製造會社の創立

日本鋼管會社は變態増資の前提として同社を資本金二千六百五十萬圓を以つて設立し、創立總會に於いて左記役員を選任した

▽取締役 大川平三郎、白石元治郎、今泉嘉一郎▽監査役 香田五郎

◇和蘭、綿サロン輸出統制修正を要望

和蘭政府はわが綿サロン輸出統制が蘭印側に及ぼす不利の點を擧げて統制規定の修正を要請し來つた

二十一日 (木)

◇アリゾナ州の排日法案續議さる

米國アリゾナ州議會の排日土地法案は十八日十五對五で上院を通過したが、下院は事務輻輳の名目のもとこれを擱り潰し閉會した

◇ベルシャの國號改稱

ベルシャ國は國號を「イラン國」と改稱した旨發表宣布した

二十二日 (金)

◇紡績、綿布輸出統制に反對

紡績聯合會委員宮島清次郎は商工省を訪問し、當局が對蘭印綿織物輸出組合の擁護を續くれば、紡績は輸出シンケートを組織し、自力で輸出を行ふ旨強硬意見を陳情した

◇朝鮮銀行法の改正

朝鮮銀行法の一部が改正され本日官報で公布された。改正要項は銀行券發行高に對する發行稅率百分の五を百分の三に引下げたものである

◇臺灣銀行法の改正

臺灣銀行法中、銀行券發行高に對する發行稅率百分の五を百分の三に改正され本日の官報で公布された

二十三日 (土)

◇政民團同三派、國體明徴決議案を提出

政友會起草の國體明徴決議案は民政黨及國民同盟兩派の合流を得て衆議院本會議に上程鈴木政友會總裁の説明後滿場一致可決された

◇北鐵讓渡協定の正式調印完了

外相官邸に於て日本側廣田外相、滿洲國側丁士源公使、露國側ニレニエフ大使の三首席全權間に北鐵讓渡協定の正式調印が行はれ、調印と同時に滿洲國全權は現金支拂額四千六百七十萬圓の半額二千三百三十五萬圓を興業

銀行振出日本銀行宛小切手を以て、殘額二千三百四十萬圓を滿洲國國庫證券を以て露國全權ニレニエフ大使に手交、北鐵は滿洲國の所有に歸した

◇玉川水道、東京市に移管さる

玉川水道は東京府知事の買收裁定額二千八百二十六萬八千五百四十八圓七十五錢で東京市に移管を完了した

◇日印パーター協定初年度成績發表

日本綿織物對印輸出組合は日印新條約による綿布棉花パーター協定第一年度成績(二十日現在)を左の如く發表した

▽昨年末を以て第一年度を終了した棉花輸入高は二、〇五七、〇八九俵で、協定數量超過五五七、三八九俵▽條約による初年度綿布輸出協定數量五三八、三三七、七三五ヤード中現在未積出數量は二七、六三八、二九七ヤード

◇中南米綿織物輸出組合の設立

日本綿織物中南米輸出組合は大阪に創立總會を開き、理事長に南郷三郎、副理事長に加藤源治、常務理事に青木嘉三郎を選任した



船田中の質問に對し、委任統治域の返還問題は獨逸は全然考慮せずと駐日獨逸大使から回答があつた旨答辯した

二十四日(日)

◆衆議院本會議、米穀三法案を可決

衆議院本會議は政友民政共同修正の米穀關係三法案、即ち米穀自治管理法、米穀統制法中改正法律案、糧貯藏助成法案を可決した

◆外相、北樺太買収意向を言明

廣田外相は衆議院北洋漁業取締法案委員会で國民同盟岸衛の質問に對し、露國に異存がなければ北樺太買収の外交折衝を再開したい旨言明した

二十五日(月)

◆議會閉幕、重要法案審議未了となる

第六十七議會は重要法案多數の審議未了のまま會期を延長せず閉會となつた。昭和十年度追加豫算、臨時利得税法は成立したが、米穀三法、産前處理法、鐵關稅法、肥料統制法北洋漁業取締法等の緊要經濟關係案を初め、治案維持法改正案、不法關稅取締法案等も握り潰しに終つた

◆エクアドルの初代總領事着任

エクアドルの初代日本總領事カルロス・ブ

イは横濱入港のダラー汽船ビー・リンカーン號で來朝した

◆米穀證券一億三千五百萬圓發行

大藏省は第三十七回米穀證券一億三千五百萬圓を左の條件で發行した  
▽割引歩合 日歩七厘五毛▽支拂期日 昭和十年九月二十五日

◆北鐵買収公債の發行條件發表

滿洲國公債引受シンヂケートは北鐵買収公債第一回分三千萬圓の發行條件を左の如く正式發表した  
▽日本通貨三千萬圓▽利率 年四分▽發行價格 九十八圓▽償還期限 三ヶ年据置後七ヶ年▽擔保 北鐵財産及び收入一切

◆日本銀行金買入法の改正

日本銀行金買入法中、補償債務一億圓を二億圓と改正され本日公布された

◆日本アルミニウム會社の創立

日本アルミニウム會社(資本金一千萬圓)は創立總會に於て左記役員を選任した  
▽社長 井坂孝▽専務取締役 吉田一郎▽取締役 各務謙吉、牧田環、三谷一二、寒川恒貞、中川末吉、原邦造、松本幹一郎、額田年▽監査役 後宮信太郎、中村房次郎

◆滿洲國石油專賣問題の對英回答

滿洲國石油專賣法實施に關する英米兩國の抗議に對し、帝國政府は本日第三次對英回答を發し、滿洲國を否定する國が、滿洲國の一方的宣言のみを引用して抗議を行ふのは全く自己撞着であると論駁した

◆伯林で英獨會談はる

獨逸の再軍備宣言對策を協議するため、英國サイモン外相、イーデン國軍尙書、フィツプス駐獨大使は、伯林のヒットラー總統官邸でヒットラー總統、ノイラート外相、リッペンントロップ等の獨頭と會談した

◆シリヤ、邦品最低稅率適用を延長

シリヤ政府は向ふ二ヶ月間邦品に最低關稅率適用を行ふ旨布告した

二十六日(火)

◆國際労働會議の帝國代表決定

六月四日から海府に開催の國際労働會議代表は政府側社會局労働部長赤松小寅、使用者代表渡邊鐵工場長渡邊福雄、労働代表向上會長八木信一に決定した

◆朝鮮事業公債法の改正

朝鮮事業公債法の一部が改正され本日公布四月一日より施行された。改正事項は公債發

行額六億六百二十萬圓を六億一千五百八十萬圓に増額したものである

◆蠶絲業團體樹立同盟結成運動起る

全國蠶絲組合聯合會は東京九ノ内の蠶絲會館に實行委員會を開催し、産前處理統制法案流産の善後策を協議の結果、同案握潰しは製糸業者の策動によるものとし、養繭、蠶種、産業組合製糸乾繭組合の蠶繭關係四團體を一丸として蠶糸業團體樹立同盟を結成することに決した

◆東京府警署事件の判決

青山師範移轉、會社横領、議長選舉、看守通謀等に關する東京府會疑獄事件は東京地方裁判所に於て前府會議議長朝倉虎次郎に懲役八月、追徴金三萬圓、外十二名中十一名に各々有罪の判決言渡しがあつた

◆パナマ、自由貿易を布告

パナマ政府は大藏省令を以て四月三日以降の輸入品に對し自由貿易法實施の旨布告した

二十七日(水)

◆日本、國際聯盟退盟通告後滿二ヶ年目の本日

を以て完全に聯盟を離脱した

二十八日(木)

◆湯淺宮相、上流階級に警告

湯淺宮相は女子學習院卒業式に於て上流階級の廢頹を指摘し、その社會に及ぼす影響は深憂に堪えずと警告した

◆有吉公使、汪兆銘と會談

有吉公使は南京に汪兆銘を訪問、支那の對外借款の内外に及ぼす影響は頗る大であるから、支那が自力更生によつて經濟難局を切抜けんことを要望した

◆滿洲工廠三百萬圓に借額増資

同社(資本金百五十萬圓)は百五十萬圓を増資し、資本金三百萬圓となつた

◆對獨問題協議の基盤會談はる

英國國軍尙書イーデンはモスコに於てリトヴィノフ外務人民委員長と會見、對獨問題を討議、二十九日にはスタリリン、モロトフと會見した

◆玖瑠政府、關稅附加令を發布

玖瑠政府は米國を除く三十ヶ國に對して關稅附加令を發布した。邦品の打撃は相當大である

二十九日(金)

◆軍部、天皇機關説擧を要求

關議に於て林陸相及び大角海相は天皇機關

説の掃を要求した

◆滿鐵の十年度豫算認可さる

滿鐵の昭和十年度豫算は主務省から認可されたが、事業費豫算五千六十六萬六千圓、收入二億七千九百六十三萬一千圓、支出二億三千二百八十一萬一千圓、差引益金四千六百八十二萬圓である

◆工場法の改正

工場法の一部が改正され本日の官報を以て公布された。改正事項は職工が業務上負傷し疾病に罹り又は死亡したる場合に於ける工業主の扶助規程を改めたものである

◆臨時利得税法の公布

議會の協賛を経た同規則(三十三ヶ條)は本日公布され四月一日より施行された

三十日(土)

◆四分利國庫債券一億六百餘萬圓發行

政府は四分利國庫債券一億六百九萬一千三百五十圓を左の條件で發行した  
▽發行價格 九十八圓五十錢▽償還期限 昭和三十七年三月一日迄

◆四分利國庫債券三億三千萬圓發行

政府は四分利國庫債券三億三千萬圓を左の條件で發行した



▽發行價格 九十八圓五十錢▽償還期限 昭和三十三年三月一日迄

◇總工聯、産業統制法修正に反對

日本總織物工業組合聯合會は日本經濟聯盟會の着手せる重要産業統制法修正に對し中小商工業擁護の立場から絶對反對である旨聲明した

◇新潟縣農會、緊急農村対策を要求

新潟縣農會では今議會に於ける農村対策諸法案總崩れは全國農業者に大打撃を與へるものであるから、政府は米穀差賣の根本策に對する非常立法として速かに緊急勅令を發布せよとの陳情書を當局に提出、同時に全國に呼びかけた

三十一日(日)

◇ベルギー平價切下實施

ベルギー政府はベルガ貨暴落のため二十八日から三日間株式取引所休業令を發布、本日ベルガ貨二割八分の切下を實施した

◇合成工業、クロード式窒素工業を合併

同社(資本金百萬圓)は臨時總會に於てクロード式窒素工業會社(資本金五十萬圓)を合併し、百五十萬圓に増資の件を可決した

【四月】

一日(月)

◇商工省、貿易顧問制度設置

商工省は貿易統制の最高指導機關として貿易顧問制度を設置することに決定し「顧問は勅任待遇とし商工大臣の奏請により學識経験ある者の中より内閣においてこれを命ず」との官制を本日官報を以て公布した

◇青年學校令公布さる

政府は青年學校制度の新設に伴ひ本日青年學校令を公布した。同令は十五ヶ條から成り青年學校は男女青年の心身鍛鍊と知識技能を授け國民としての資質を向上せしむることを目的として制定したものである

◇米穀證券五千九百萬圓發行

大藏省は本日第三十八回米穀證券五千九百萬圓を左の條件で發行した

▽割引歩合 日歩七厘五毛▽支拂期日 昭和十年六月二十五日

◇産糧中央金庫の利下

産糧組合中央金庫は主務省の認可を得、昭和十年前半期の貸付最高利率を左の如く引下げ本日から實施した

▽年利 六分五厘(二厘引下)▽日歩 一錢七厘五毛(五毛引下)

◇臺灣銀行の利下

臺灣銀行は島内貸出金利率を左の如く一厘乃至二厘宛引下げ本日から實施した

▽商業手形 一錢六厘以上(二厘引下)▽移出荷爲替 一錢五厘(一錢七厘(同)▽國債擔保 一錢三厘(同)▽倉庫證券擔保 一錢七厘(一錢八厘(二厘引下)▽農倉證券擔保 一錢六厘(一厘引下)▽信用組合一錢六厘(二厘引下)

◇關西共同火力社債一千萬圓發行

關西共同火力會社は社債一千萬圓を左の條件で發行することに決定した

▽利率年四分五厘▽償還期限十二年▽擔保工場財團▽拂込五月十日▽引受三菱、安田第一、三和、興銀、三井信託、住友信託

◇臺灣漁業組合の規則改正

同規則(百二十二ヶ條)は本日臺灣總督府令を以て公布、即日施行された

◇ジャワ航路の邦船四社、共同貨物開始

ジャワ航路の邦船四社(大阪商船、南洋郵船、石原産業、日本郵船)は外國船舶に對抗するため神戸本部、大阪、名古屋兩支部にお

いて本日から共同集貨事務を開始した

◇東邦電力二億圓に増資

東邦電力會社(資本金一億三千萬圓)は七千萬圓増資して資本金二億圓となつた

◇東京電燈の職制改革

東京電燈會社は職制を改革し營業、經理、總務、調査、工務の外に新に建設部を新設し同部長に元東信電氣會社取締役三野熊雄を任命した

◇白木屋、四百五十萬圓を減資

白木屋(資本金一千五百萬圓)は臨時總會を開き四百五十萬圓を減資し資本金を一千五十萬圓とすることに決定した

◇昭和製鋼所、作業を開始

昭和製鋼所は各工場の整備完成したので製鋼一貫作業を開始し、社長伍堂卓雄以下所員従業員一千六百名参列し出鋼式を舉行した

◇北鮮製紙化學工業會社の創立

同社は資本金二千萬圓を以て創立され本日京城で總會を開き左の役員を決定した

▽社長 藤原銀次郎▽副社長 足立正▽専務取締役 藤原喜藏、横井半三郎▽監査役 松本弘造、韓相龍

◇新興毛織の大井工場全焼

本日午後零時四十分東京品川区大井權現町の新興毛織會社大井工場から發火し原料、製品等が工場と共に焼失した。損害高五十萬圓火災保険金は東京火災保險會社外五社に八十萬圓を附してゐた

◇滿洲中央銀行の利上

滿洲中央銀行は金融調整のため左の如く利率をなし本日から實施した(括弧内は舊利率)▽當座預金一萬圓に對する日歩 三角(三角)▽特別當座預金同八角(七角)▽通知預金同八角(八角)▽定期預金(六ヶ月)年利五分(四分五厘)▽同(一ヶ年)同六分(五分)

◇伊政府、生糸織物輸入禁止

イタリア政府は本日から生糸織物の輸入禁止を實施した

二二日(火)

◇臺灣銀行持株處理委員會設置

大藏省は臺灣銀行引受物件(臺銀持株帝人新舊合計十六萬株、神鋼五萬株、昭和製糖六萬株)處理委員會を省内に設置することに決定し左の委員を任命した

▽會長 次官津島壽一▽委員 銀行局長荒井誠一郎、理財局長青木一男、日銀總裁土

方久徵、同副總裁深井英五、勸銀總裁馬場鉄一、興銀總裁結城豊太郎、大藏省特銀課長原口武夫、臺銀監理官伴野清

四日(木)

◇割引興業債券一千萬圓發行

日本興業銀行は第三十六回割引興業債券一千萬圓を左の條件で發行することに決定した

▽割引歩合 日歩八厘五毛▽發行價格 額面▽償還期限 昭和十年四月十三日全部償還▽申込期間 四月五日、六日

◇日本アフリカ綿糸輸出組合の設立

輸出綿糸布同業者會は大阪綿業會館において委員會を開き日本アフリカ綿糸輸出組合(出資一口一千圓)を設立することに決定した

◇尼崎埋立地の電力供給、阪神電鐵に許可

兵庫縣武庫郡大庄村地先尼崎埋立地の電力供給權に關し阪神電鐵と日本電力の二社が競願をなしたが逓信省は阪神電鐵に許可することに決定した

◇大豆化學工業會社の創立

大豆化學工業會社(資本金一千萬圓)は大阪の日本窒素會社において創立總會を開き左の役員を選任した

▽社長 野口達▽取締役 堀内金城、赤崎



三郎(以上常務)、金田榮太郎、白石宗城、吉山治太郎、岡田代三郎、監査役 時安一郎、永里高雄

米國の支那經濟觀察團來朝  
米國の支那經濟觀察團カメロン・フオーブス團長以下十五名は横濱入港のプレシデン・ト・クリッチで來朝した

五日(金)  
關東軍經濟顧問大野謙一團長任  
元警視總監大野謙一郎は關東軍經濟顧問に任命され本日午前九時東京驛發の燕號で赴任の途に就いた

關東軍白雲の遺水  
一等驅逐艦白雲(千四百トン、一二、七セツト)砲五門、水雷發射管六門、速力三十四ノット)は佐世保海軍工廠において進水式を舉行した

共同印刷の金子専務監禁さる  
共同印刷會社製本所の専務取締役金子福松は同社の解雇職工山崎勝馬外五名のギャンブルのため東京市杉並區吉祥寺二八二一の空家に監禁脅迫され金一萬五千四百四十一錢を強奪された

日滿鐵道設備委員會の設立  
北滿鐵道協定による對露物資支拂に關する日滿露三國常設設備委員會は本日左の如く委員を任命した

日本側 外務省通商局長來栖三郎、滿洲側 駐日財務事務取扱伊藤博、露國側 駐日大使官參事官ライヴイツ

日露、露の對米輸出マツチ協定成立  
對米マツチ輸出に關し日本はスエーデン及びロシアと昭和九年十月以來交渉中のところ本日協定成立し對米マツチ數量を一ケ年十萬トンに制限し三國均等に割當をなすことに決定した

日本海員組合の正副組長決定  
日本海員組合長濱田太郎は内紛のため辭任し常任顧問となりその後任として堀内長榮副組合長には米窪滿亮が就任することに決定した

電氣協會の正副會長決定  
電氣協會は全國通信投票によつて正副會長を左の如く決定した

會長 池尾芳雄(日電社長) 副會長 益田元亮(東電社長)、井上要(伊豫鐵道重役)、白勢量作(新潟電力社長)

滿洲國皇帝陛下御入京  
滿洲國皇帝陛下には本日午前八時四十分軍艦比叡に召され横濱港に御上陸、同十一時三十分御出迎への秩父宮殿下と御同列にて東京驛に御着、長くも 聖上陛下には驛頭に行幸あらせられ初の歴史的御會見を遊ばされ、午後一時半宮城においてわが 天皇后兩陛下に正式御會見遊ばされた。この日帝は朝野をあげて奉迎申上げた

七日(日)  
美濃部達吉博士、檢事局に召喚さる  
東京帝國大學名譽教授法學博士美濃部達吉は本日午前七時二十五分東京地方裁判所檢事局に召喚され戸澤檢事の取調べを受け「天皇機關説」と「詔勅批判」は説明不充分のため世間の誤解を受けたが、機關説は最高機關といふ意味に對する説明不充分が誤解され詔勅批判も條約、勅令等國務に對するものは批判して差支へないと説いた旨を釋明したが、午後十一時二十五分に至る十六時間の取調べの結果、同博士は不適當な用語については訂正することを承諾した。九日内務省は同博士の著書「憲法提要」「逐條憲法精義」「日本憲法の基本主義」の發賣禁止をなし「現代憲政評論」「憲

會政治の検討」の二書に對し改訂を命じた

東京モスリンの職工争議解決  
争議中の東京モスリン工場は勞資兩者互譲の結果解雇職工男工八名女工十名の復職を認め従業員三十名(退職手當の外特別手當として金一封支給)の解雇を承認することに妥協し解決した

八日(月)  
日伯經濟使節團長平生三郎は横濱港出帆の郵船秩父丸でラジルに向け出發した

製糖會社代理店、精糖十九圓以下賣止  
製糖會社代理店は東京丸ノ内八重洲ビル内糖業聯合會分室において協議會を開き精糖の市價が一ビクル十八圓六七十錢といふ原價以下に低落したため十九圓以下賣止めの申合をなし即日實施した

九日(火)  
文部省、國體明徴の訓令發布  
美濃部達吉博士の天皇機關説に關し文部省は國體明徴に關する訓令を發することに決定し、文部大臣松田源治は北海道廳長官、府縣知事、帝國大學總長、官私立大學長、直轄學校長、公私立大學、專門學校、高等學校長に

對し「我國體の本義を明徴にし、これに基きて教育の刷新と振作とを圖り以て民心の奮ふ所を明にするは文教において喫緊の要務とする所なり」との訓令を發した

汽鐵取銷令の制定  
同規則(五十三條)は本日内務省令を以て公布され五月一日より施行されることとなつた。同規則はボイラー(汽機)の全國的統一檢査をなす條項を規定したものである

全國製糖聯合會、産前處理實施を決議  
全國製糖聯合會府縣職員協議會は東京丸ノ内製糖會館において開會され「産前處理統制法案の實施を望むと同時に現行製糖法に則り内容とする處理統制施設の實現を期すること」の決議をなした

東京火藥工業會社の創立  
東京火藥工業會社(資本金百萬元)は内務省から創立を認可され本日創立總會を開き左の役員を決定した

社長 松方五郎(東京瓦斯電工社長) 常務取締役 阿部保太郎(同瓦斯電機部長)

日産會社は資本金百萬元を以て株式會社日産水産研究所を神奈川縣小田原町に設立する

ことに決定し本日創立總會を開き左の正副所長を選任した

正所長(代表取締役) 長友寛(元朝鮮水産試験所長) 副所長 藤田順四郎

十日(水)  
日米實業家の經濟懇談會開催  
日本經濟聯盟外經濟三團體は、東京丸ノ内日本工業俱樂部において來朝中のアメリカ極東經濟觀察團長カメロン・フオーブス一行と懇談會を開き關稅貿易、通信運輸、金融財政の三項目について専門的意見の交換をなした

信託協會、社債發行期限延長を決議  
信託協會は大阪ホテルにおいて第十回定時總會を開き左の決議をなした

一、社債總額を超過せざる限度において既發社債の借替又は補充發行を認められたること

一、社債の最終發行期限五年は短きに過ぎるを以てこれを延長せられたること

滿鐵、全滿鐵道の經營一元化を斷行  
南滿洲鐵道會社は北鐵の接收によつて全滿鐵道の經營一元化を斷行することに決定し一千名の職員の異動を發令した



本日午前九時、撫順炭坑萬達屋坑、東斜坑十二片において瓦斯爆發し、坑夫八名慘死し、日本人従業員七名、滿洲人四十三名の重傷者を出した。

米國、産銀買上値段引上

米國政府は産銀買上値段を一オンスに付六十四仙半から七十一仙に引上をなした。

十一日(木)

全國貯蓄大會の資金融通要望

全國貯蓄銀行大會は新大阪ホテルにおいて開催し、日本銀行總裁土方久徴、會員等九十名を召集し、左の決議を可決した。

- 一、市街地信用組合と貯蓄との業務に関する制度の統一を圖られたこと
- 一、國債擔保により預金部は貯蓄銀行に資金融通の道を開かれたこと

伊・佛・英三國のストレーザ平和會議

伊・佛・英三國代表は伊太利國レボンダイ・ソ・アルプス山麓の勝地ストレーザのイソラ・ベルラ島のボロメオ宮内音楽堂においてストレーザ會議を開き、東歐ロカール協約に代る新たな安全保障を確立するため、英・佛・伊三國は獨逸政府の再軍備を容認し、不侵略安全保障體制に獨逸政府の参加を要請する意見の一致を見た。

子爵牧野忠篤死去

本日午前六時、東京淀橋區西大久保の自邸で腦溢血のため死去。享年六十六。明治二十六年慶應義塾卒業後、同三十年以來貴族院議員に當選すること六回、研究會の領袖として帝國農會々頭、大日本蠶糸會々頭、中央蠶糸會會長、日本石油會社の重役を兼ねてゐた。

十二日(金)

商工省、銑鐵共販會社に建値提價命令

銑鐵共販會社は滿洲側の建値引上主張に引摺られ銑鐵の建値引上をなさんとしたが、商工省より四、五、六月渡し銑鐵建値は一トン四十七圓七十五錢に据置の命令を受けた。

上海製造絹絲、資本金を國建に變更

同社(資本金一千萬兩)は資本金兩建を國建に變更し、一千五百萬圓とし、換算差額十萬四千八百九十五圓を減資した。

十三日(土)

日本關印協會、通商權法發動の決議

日本關印協會は關印政府の邦品制限令に關し、大阪商工會議所に臨時總會を開き、「吾人は邦商の商權擁護及び邦船の荷荷支持の目的を達成せんことを期す」との決議をなした。

東京石川島造船所の借額増資

東京石川島造船所(資本金四百萬圓)は臨時總會を開き、資本金を倍額の八百萬圓に増資する件を可決した。

チリ政府、日本品の輸入制限

チリ政府は日本品の輸入制限をなすことに決定し、日本向け輸出品と同量に制限する旨發令した。

十四日(日)

荏原製作所の争議解決

東京品川區品川町荏原製作所の職工百六名は去る二月解雇されたため、争議を起し紛議を重ねてゐたが、本日「懲戒解雇者百六名の復職はこれを撤回し、この中二十六名を新に採用し、會社は争議團に對して金一封を送ること」の條件を以て解決した。

滿洲國皇帝陛下、十五萬圓下賜

滿洲國皇帝陛下は社會事業獎勵の思召を以て日本政府に對し、金十五萬圓を下賜あらせられた。

蘭印經濟大臣ハルト博士來朝

蘭印經濟大臣シー・エツチ・ハルト博士は日蘭海運會議決以來不調となつた日蘭關係調整のため支那視察の途次、下關入港の關釜聯絡した。

船慶福丸で來朝した

十五日(月)

中南米貿易振興の官民合同協議會

日本中南米綿織物輸出組合は中南米諸國の日本品壓迫對策に關し、商工省において官民合同協議會を開き、輸出組合側は南郷理事長以下各理事、商工省側は寺尾貿易局長以下出席し、積極的に輸出を増進するため統制手数料を徴收し損失補償に充てる件を決定した。

政友會總務山口義一死去

本日午後八時、東京四谷區信濃町の慶應病院で死去。享年四十八。大正四年東京帝大を卒業、同九年衆議院議員に當選し、當選すること五回、昭和二年大藏參與官となり、同七年の二期政友會の幹事長となり、黨内に重きをなしてゐた。

十六日(火)

太平洋會議、東京で開催される

太平洋會議は東京麹町區内幸町大阪ビル一階廣間において開催され、日本、支那、比島、蘭印、布哇、米國、濠洲、調査會中央事務局及びオブザーヴァ等出席し、議長に太平洋問題調査委員會委員長米國スタンフォード大學教授カール・オルスバーク博士を推し、主と

して生活水準問題に關し二十四日まで討議をなした。日本の代表は左の如し  
那須浩、高木八尺、浦松佐美太郎、上田貞次郎、高柳賢三、折原忠雄

神戸商議、對關印通商擁護を決議

神戸商工會議所は貿易部會を開き、關印向輸出に關し左の決議をなした。  
一、政府は通商擁護に關する法令に基き適切な處置を講ずること  
二、對關印雜貨輸出組合を即時成立せしむること  
三、出先官憲を督勵して適切敏活なる處置を執らしむること

東京硝子壺工業組合外三組合設立認可

商工省は左の東京硝子壺工業組合外三工業組合の設立を認可した。  
▽東京硝子壺工業組合(出資總額四萬三千百圓)  
▽京都清涼飲料水工業組合(同三萬三千圓)  
▽山形縣糸織物工業組合(同二萬二千六百圓)  
▽對馬罐詰工業組合(同五千二百五十圓)

日本鑛工職、ゴム統制に決定

日本ゴム工業組合聯合會はゴム靴工業の不況打開策として、ゴムの最低價段と制度改善

(小賣店、問屋が製造元に取換へ要求の場合所管組合の検査を受けること)の二項を決定した。

朝鮮無煙炭合同會社設立の體調印

朝鮮無煙炭合同會社設立に關し協定成立を見、本日東京丸ノ内東拓本社に於て假調印を見た。合同要項左の如し  
一、各社出資額 東拓鑛業三百萬圓、明治鑛業 五十萬圓、三菱鑛業 百二十萬圓、その他三十萬圓、計五百萬圓は現物出資により新會社の資本金を一千萬圓とする  
一、右の條件により合同成立の上は新合同會社を更に朝鮮無煙炭(資本金一千萬圓)に合併せしめ、資本金二千萬圓の朝鮮無煙炭合同會社を設立する

上海外銀組合、無制限輸出中止

上海外國銀行組合は臨時總會をバンド十八號チャイナ銀行において開催し、日・英・米・佛・伊・オランダ・ベルギー・獨逸等二十四銀行代表を召集し、宋子文の懇請により支那の通貨危機切抜策として「當分無制限に銀の積



出しを行はずとの申合をなした

◇二代目茂木惣兵衛死去

本日午前一時三十分静岡縣熱海桃山の自邸で死去。享年四十三。先代保平の長男で大正二年家督を相続し第八高等學校卒業後七十四銀行、横濱貯蓄銀行の頭取となり、大正九年の財界恐慌のため茂木財閥の没落に遭ひロンドンに遊學し社會問題と労働問題を研究して昭和六年歸朝した

十七日(水)

◇京都市債二百六十三萬圓發行

京都市は市債二百六十三萬四千四百圓を左の條件で發行することに決定した

▽利率 年四分三厘▽發行價格 額面▽償還期限 昭和二十八年度まで▽拂込期日 五月二十日▽引受 小池證券會社

◇熊本縣債百三十四萬圓發行

熊本縣は縣債百三十四萬一千圓を左の條件で發行することに決定した

▽利率 年四分三厘▽發行價格 額面▽償還期限 昭和二十八年度まで▽拂込期日 四月二十三日▽引受 小池證券會社

◇南阿羊毛の買付打切發表

第三十五回商工省貿易參與官會議は商相官邸において開會され、商工省當局から南阿羊毛の買付は昭和九年實施以來成績良好のため昭和十年度分は打切ること決定した旨發表された

◇佛・露相互援助條約の調印

フランス外相ラヴアル、ロシア外務人民委員長リトヴィノフとの間に佛露相互援助條約が締結され、本日ゼネバにおいて假調印をなした

◇國際聯盟代表一行の出發

第十九回國際聯盟會議のわが労働代表八木信一、同顧問原虎一、加藤良左衛門、政府代表赤松小虎、吉坂俊作、同顧問沖野悟、資本代表渡邊福雄の一行は本日神戸港出帆の郵船鹿島丸で出發した

◇左貫金山會社の創立

茨城縣久慈郡左貫の金鑛採掘を目的とする左貫金山會社(資本金百萬圓)は本日創立總會を開き左の役員を選任した

◇獨逸國防省、憲兵總務令公布

獨逸國防省は徵兵適格令を公布し精兵主義を再現することに決定した

◇獨逸國防省、憲兵總務令公布

獨逸國防省は徵兵適格令を公布し精兵主義を再現することに決定した

◇糖業聯合會、日本糖業聯合會と改稱

糖業聯合會は東京丸の内日本工業俱樂部において協議會を開き會名を日本糖業聯合會(五月一日實施)と改稱することに決定した

◇調養保險・協業生命の設立認可

商工省はわが國弱體保險會社の創始たる協業生命保險會社(資本金五百萬圓)の設立を認可することに決定し本日指令を發した

◇糖業聯合會、日本糖業聯合會と改稱

糖業聯合會は東京丸の内日本工業俱樂部において協議會を開き會名を日本糖業聯合會(五月一日實施)と改稱することに決定した

◇調養保險・協業生命の設立認可

商工省はわが國弱體保險會社の創始たる協業生命保險會社(資本金五百萬圓)の設立を認可することに決定し本日指令を發した

◇獨逸國防省、憲兵總務令公布

獨逸國防省は徵兵適格令を公布し精兵主義を再現することに決定した

◇獨逸國防省、憲兵總務令公布

獨逸國防省は徵兵適格令を公布し精兵主義を再現することに決定した

◇糖業聯合會、日本糖業聯合會と改稱

糖業聯合會は東京丸の内日本工業俱樂部において協議會を開き會名を日本糖業聯合會(五月一日實施)と改稱することに決定した

◇調養保險・協業生命の設立認可

商工省はわが國弱體保險會社の創始たる協業生命保險會社(資本金五百萬圓)の設立を認可することに決定し本日指令を發した

◇獨逸國防省、憲兵總務令公布

獨逸國防省は徵兵適格令を公布し精兵主義を再現することに決定した

九名を傷害したこと判明し、三十一名を留置した

◇臺灣の大震災、死傷一萬二千名

本日午前六時臺灣北部一帯に大地震(震源地新竹州後龍溪上流)あり、新竹州と臺中州の被害最も甚だしく、新竹州の死者一千二百十四名、重傷一千四百十八名、全壊家屋七千八百六十四戸、臺中州の死者一千八百三十一名、重傷八千三百三十名、全壊家屋四千七百八十三戸に達したので、總督府は全力をあげて救護作業をなし、且つ救済資金として特別會計の第二豫備金(災害復舊費)百萬圓を支出し夫夫融通することに決定した。なほ總督府は二十四日損害高合計一千二百五十五萬圓であると發表した

二十一日(日)

◇拓務省、臺灣震災復舊委員會を設置

拓務省は臺灣震災の救恤と復舊を圖るため省内に臺灣震災復舊委員會を設置し委員長に入江拓務次官、顧問に櫻井政務次官、佐藤參與官を任命した

◇鑛業獎勵金交付規則の制定

同規則(十四ヶ條)は本日商工省令を以て公布され即日施行した。同規則は鑛業の發達を促進するため當業者に獎勵金を交付する條項を規定したものである

◇名古屋鐵道、各務原鐵道を合併

名古屋鐵道(資本金一千九百十萬圓)は臨時總會を開き各務原鐵道(資本金百萬圓)を合併し十萬圓を増資して一千九百二十萬圓となすことに決定した

◇暹羅ドック會社、シヤム國の軍艦建造

シヤム國は海軍省用タンカー(二千トン)を建造するためわが造船聯合會を通じて註文して來たので函館ドック會社が建造することに決定した

◇東洋拓殖會社、社債一千萬圓發行

東洋拓殖會社は社債一千萬圓を左の條件で發行することに決定した

▽利率 年四分五厘▽發行價格 額面▽償還期限 二ヶ年据置後十ヶ年に毎年半期二十五萬圓償還▽引受 シンヂケイト團

◇出雲製糖會社、社債三百萬圓發行

出雲製糖會社は社債三百萬圓を左の條件で發行することに決定した

▽利率 年四分七厘▽發行價格 額面▽償還期限 二ヶ年据置後十ヶ年に毎年半期二十五萬圓償還▽引受 シンヂケイト團

◇出雲製糖會社、社債三百萬圓發行

出雲製糖會社は社債三百萬圓を左の條件で發行することに決定した

▽利率 年四分七厘▽發行價格 額面▽償還期限 二ヶ年据置後十ヶ年に毎年半期二十五萬圓償還▽引受 シンヂケイト團

◇出雲製糖會社、社債三百萬圓發行

出雲製糖會社は社債三百萬圓を左の條件で發行することに決定した

◇鎌川博士、大滿洲布の全量復を告歸

東京市渋谷區櫻ヶ岡町法學博士鎌川新は事務取締役としてその創立に努力した大滿洲布布麥酒會社(資本金一千萬圓、昭和九年六月二十五日創立)が臨時株主總會において無断で解任の決議をしたのは不當であるとの理由で同社の取締役岩崎清七、荻野元太郎、藤道文藝、淺野良三、池貝松三、渡邊恒太郎、監査役上田海三郎を相手取り謝罪廣告並に損害賠償二萬二千圓を請求する旨の訴訟を東京地方裁判所に提起した

二十日(土)

◇日漆協會の副會長更迭

日漆協會は東京丸の内日本工業俱樂部において總會を開き解任した副會長南條金雄、三宅川百太郎の後任として井上治兵衛、加藤恭平を選任した

◇東京印刷の争議三百三十名續檢束

東京印刷會社の職工は解雇職工のことから去る二月以來争議を續け尖鋭化したため扇橋署の警官隊八十名出動し、深川區石島町の争議團本部を襲ひ籠城中の職工百三十一名を總檢束し取調べた結果二十五組の行動隊が争議に加らぬ職工にリンチを加へて一名を殺害し



還期限 二年据置後七年間に償還▽引受  
日本興業銀行  
◇保田次郎、臺灣銀行頭取に任命  
元日本興業銀行頭取保田次郎は臺灣銀行頭取に任命された

◇滿洲國皇帝陛下御歸國  
滿洲國皇帝陛下には日滿親善の御使命を果させられ本日午前十時神戸港發航の御召艦比叡に召され御歸國の途に就かせられたが、二十七日國都新京に御歸還あらせられた

二十四日 (水)  
◇商工省、關印向綿サロン輸出統制を裁定  
對關印向綿サロン輸出統制に關し日本系染綿サロン輸出組合と日本綿織物工業組合聯合會と紛争を醸したが商工省は「綿工聯及び輸出組合より各三名宛の委員を出し綿サロン協議會を組織し綿サロン取引上兩團體に生じたる紛争は商工省立會の下に本協議會の議を経てこれを決定すること」との裁定により解決した

◇平漢鐵路公債の償還協定成立  
支那の平漢鐵路五分利付公債一千萬圓は明治四十五年横濱正金銀行が引受發行したが、支那政府は大正十年以降元利の支拂を停止した

元利合計二千萬圓に達したので、本日支那鐵道部國民政府と正金との間に一ヶ年百萬圓乃至二百萬圓を正金銀行に支拂ひ十七ヶ年に元利償還をなすとの協定が成立した  
◇白木屋、社債四百五十萬圓借替發行  
白木屋は第六回第七回社債(六分五厘)四百五十萬圓を左の條件で借替發行することに決定した  
▽利率 年四分五厘▽償還期限 一ヶ年据置後六ヶ年に毎年半期十五萬圓以上償還▽擔保 營業所土地建物▽引受 第一、野村兩銀行、三井、安田兩信託會社

◇日本工業協會大會、企業統一を決議  
第四回日本工業協會大會は名古屋市公會堂において開催され三十一團體代表百九十名参加し「企業統一を法律命令を以て促進實施することを要望すること」の決議をなした  
◇興銀理事實來市松、副總裁に昇任  
日本興業銀行理事實來市松は副總裁に昇任した

◇朝鮮理事松原純一、副總裁に昇任  
朝鮮銀行理事松原純一は副總裁に昇任した  
◇日本窒素肥料會社の創立  
日本窒素肥料會社(資本金九千九百萬圓)は鑛業關係事業を獨立させることになり本日大阪ビルに日本窒素鑛業會社の創立總會を開き、資本金五百萬圓で設立することに決定し左の役員を選任した  
▽社長 野口達▽常務取締役 笹田直二郎  
▽取締役 金田榮太郎、山本義雄、飯沼直鋼▽監査役 萩生傳、時安一郎  
◇朝鮮窒素火藥會社の創立  
朝鮮窒素會社は火藥製造を分離獨立させることになり本日大阪ビルに同社(資本金百萬圓)の創立總會を開き左の役員を選任した  
▽社長 野口達▽取締役 宮本正治、榎並直三郎、大島英三、都野正一▽監査役 萩生傳、永里高雄  
二十五日 (木)  
◇米穀證券六千八百萬圓發行  
大藏省は第三十九回米穀證券六千八百萬圓を左の條件で發行した  
▽割引歩合 日歩七厘五毛▽支拂期日 昭和十年十月二十五日  
◇石炭鑛業聯合會の理事更迭  
石炭鑛業聯合會は東京丸ノ内日本工業俱樂部において定時總會を開き理事員島太市病氣辭任のため後任理事に明治鑛業會社取締役安

川清三郎が選任された  
◇日本産業、二億圓に増資  
日本産業會社(資本金九千九百四十萬五千圓)は東京丸ノ内鐵道協會において臨時總會を開き資本金を一億五千九百五十萬圓増資し二億圓とする件を可決した  
◇帝國無煙炭鑛會社の創立  
帝國無煙炭鑛會社(資本金百萬圓)は東京丸ノ内鐵道協會において創立總會を開き左の役員を選任した  
▽取締役 齋藤和太郎(代表)、相馬和雄、内藤延吉、茂木清春、石渡博喜、岡禮三▽監査役 望月卓兒

◇今西興三郎、阪神電鐵社長に就任  
阪神電鐵會社は定時總會を開き社長に今西興三郎を選任した  
◇ギリシア前皇帝、復辟を宣言  
ギリシア前皇帝ジョージは一九二四年ギリシア共和國成立と同時に皇位を退きロンドン郊外に引退してゐたが本國から再び皇位に復すべく招請され、復辟の宣言を發表した

二十六日 (金)  
◇通商審議會、通商擁護法發動に決定  
通商審議會は外相官邸において開催され會

長廣田弘毅以下各委員出席し邦品に對し防遏措置を執る諸國に對し通商擁護法を發動すべしとの意見一致しその機關として輸入統制に關する特別委員會、カナダ國に對する通商貿易調整に關する特別委員會を設置することに決定した  
◇日本百貨店協會理事長決定  
日本百貨店協會は定時總會を開き中村利器太郎(三越)の辭任後久しく缺員中の理事長に小林八百吉(松坂屋)を選任した  
◇日立製作所、四千五百萬圓に増資  
日立製作所(資本金二千萬圓)は東京丸ノ内郵船ビルにおいて臨時總會を開き資本金二千五百萬圓を増資し四千五百萬圓とする件を可決した

◇帝國産金興業會社の借額増貸  
同社(資本金五十萬圓)は定時株主總會を開き借額の百萬圓を増資する件を決定した  
◇愛岐電力會社の設立認可  
東邦電力と大同電力との共同出資により資本金五百萬圓を以て設立計畫中の愛岐電力會社は本日六ヶ月以内に會社を創立するといふ條件で設立を認可された  
◇支那、銀の輸出禁止

河北省政府は本日現銀輸出の禁止令を發布し、山東省も銀の輸出を禁止した。上海海關は翌二十七日外人の銀輸出手續を拒絶した  
◇メキシコ政府、銀貨の輸出禁止  
メキシコ政府は國外への流失を阻止するため銀の輸出を禁止した  
二十七日 (土)  
◇日本鋼管、川崎コークス、昭和鋼管合併  
日本鋼管會社(資本金四千九百萬圓)は東京丸ノ内日本工業俱樂部において臨時總會を開き川崎コークス會社(資本金二千六百萬圓)及び昭和鋼管會社(資本金六百萬圓)を合併し資本金を五千五百三十萬圓とする件を可決した  
◇大楠公六百年記念祭行はる  
南朝の忠臣楠木正成公が湊川に戦没して六百年に相當するので、大阪府下赤阪村宇水分(誕生地)を距る東方五丁の建水分神社(楠氏累代の守護神社)において記念の大祭が行はれ翌二十八日は天野山、觀心寺、千早城趾、金剛山、河合寺、楠庇庵等の遺蹟において供養を行つた

◇國民政府、日本の金融專門家委嘱  
國民政府は銀恐慌による通貨問題の解決策に悩み英米佛等の金融財政專門委員の外に日



本人最初の委員として吉田政治(三菱銀行支配人)、矢吹敬一(正金同)、佐藤喜一郎(三井同)の三名に委嘱した

米國營業者、日本綿製品輸入制限決議

全米棉花紡織業者大會はオースタにおいて開催され「日本製綿製品の輸入縮小を圖るべし」との決議をなした

二十九日(月)

渡瀾銀行シンジケート團一行出發

満鐵と滿洲中央銀行の招待によりシンジケート銀行團(興銀、鮮銀、正金、三井、第一安田、川崎第百、三和、名古屋、野村、愛知各銀行及び安田信託)一行十八名は三井銀行の菊本會長を團長とし本日東京驛を出發し滿洲視察の途についた

三十日(火)

少年血盟團七名有罪に決定

五・一五事件と血盟團にならひ東京市荒川区南千住町三丁目東村岩治といふ十七歳の少年が盟主となり十七名の少年を糾合し血盟團を組織し昭和九年十二月五日西園寺公望公を暗殺せんとして果さず捕はれた事件は、静岡地方裁判所において豫審中のところ本日終結し、東村を初め雨崎靜一、今出英喜、相良衆

藏、新田長助、鹿地亨夫、伊藤倉吉の七名は殺人豫備、強盜罪を以て公判に附せられ鈴木君雄外十名は釋放された。同一味に狙はれた名士は左の如し

▽牧野内府▽三井八郎右衛門、木村久壽彌太▽若槻禮次郎、政友會總裁鈴木喜三郎、國民同盟總裁安達謙藏、久原房之助

【五月】

一日(水)

中南米輸出綿糸の統制實施に決定

日本中南米綿糸輸出組合は大阪綿業會館において理事會を開き綿糸の輸出統制を來る十五日から實施することに決定した

日本海産電線會社の創立

日本海底電線會社(資本金二百萬圓)は大阪の住友ビルにおいて創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役 市橋輝藏(常務)、秋山武三郎、中川末吉、松本留吉▽監査役 長妻信篤、西田正一

大日本セルロイド會社の借額増資

同社(資本金一千萬圓)は臨時總會を開き借額を増資して資本金を二千萬圓となすこと

に決定した

日本製鐵の増産計畫決定

日本製鐵會社は重役會を開き兼二浦と輪西に各三百五十萬トンの銹鐵爐各一基、釜石に七百トンの銹鐵爐一基を増設し、銹鐵五十萬トン、鋼材二十五萬トンの増産をなす計畫を決定した

左右兩派の分裂メーデー

東京に於ける第十六回のメーデーは左右兩派の合同が纏まらず分裂のまゝ行ふこととなり右翼は東京芝公園東照宮前廣場に、左翼は芝浦の埋立地に集合し兩派は夫々宣言決議を可決し上野公園に向つて示威行進をなした。参加人員約三千名。なほ二十二の愛國團體代表約八十名は明治神宮に参拜しメーデー反對の祈願をなした

縫育交換所組合銀行、定期無利子發表

ニューヨーク交換組合銀行は加盟銀行の預金が法定最低額を二十二億七千五百萬ドル超過し市中金利が益々低落するため六ヶ月以内の定期預金金利四分の一パーセント、貯蓄銀行の要求拂並に定期預金金利四分の一パーセントを無利子とし來る十五日から實施する旨本日發表した

二日(木)

通商會議會、邦品防遏の報復對策決定

通商會議會幹事會は本日外務省において開會し外務、大藏、商工、農林、逓信、拓務の六省から關係課長出席し邦品防遏に對し左の對策原案を決定した

- 一、各國及びカナダの邦品制限對策は左の諸案の何れかにすべし
- イ、關稅定率法規第四條の發動により十割以下の報復關稅を賦課すること
- ロ、通商保護法に基き各國の邦品防遏處置と同様の報復措置を講ずること、即ちカナダに對しては公定相場による爲替換算及び爲替ダンピング税の賦課をなすこと
- ハ、通商保護法に基き商品に限定し一般的購入制限を實施すること

東洋觀光會、觀光の聯絡統一を協議

國際觀光局主催の東洋觀光會議は首相官邸大ホールにおいて開會され、日、滿、支、英、印、佛、海峽植民地、シヤムの各國代表八十六名參集、鐵道大臣内田信也開會の辭を述べ東洋觀光の統一聯絡に關し協議をなした

警視廳、暴力團一千六百五十名を検査

警視廳は帝都の痞として市民に不安の念を

與へた暴力團の一斉檢舉を政行し、總指揮官高野刑部部長の指揮によつて管下警察署の警官を出動せしめ本日午後一時までに暴力團一千六百五十名の檢舉をなしたが十五日を以て一段落を告げ檢舉總數三千四百九十九名、内釋放一千九百九名に達した

滿洲國皇帝、日滿親善の詔書を頒發

滿洲國皇帝は三千萬國民に對し「友邦に一德一心以て兩國永久の基礎を奠定し東方道徳の眞義を發揚すべし」との日滿親善の詔書を頒發し、宮廷府候見室において嚴かな宣讀式を舉行された

佛・露軍事同盟成立す

フランス外務省において佛國外相ラヴアルと駐佛ロシア大使ボチヨウムキンとの間に第一部聯盟規定の改正、第二部相互援助條約を規定した佛露條約(軍事同盟)を締結し本日正式調印を終つた

三日(金)

支那、關口税を廢止し輸入關稅引上

支那の立法院會議は財政部提出の關口税を來る六月一日から廢止し同時に輸入關稅(二割乃至二割五分)の引上げをなすことに決定した

支那中銀と書上銀行との借款成立

支那の中央銀行は香港上海銀行と五十萬ポンド(約六百萬元)の借款契約を締結した。英國の對支財政援助によるものである

三越取締役倉知誠夫死去

本日午後四時三十六分東京芝區三田綱町の自邸で死去。享年六十九。慶應三年三月金澤市に生れ。明治三十三年慶應義塾を卒業後渡米し歸朝後明治生命に入社、次で倉知商會を設立し、大正七年三越呉服店の専務取締役會長等に就任し昭和五年十月會長を辭任し取締役となり、帝國飛行協會の財務理事を兼ねてゐた

四日(土)

大日本人肥、洋灰製造に着手

同社は熊本縣鏡工場において過燐酸及び化成肥料の副産物としてセメント(月産三萬五千トン)の製造に着手した

早山石油會社の創立

同社は資本金六百萬圓を以て設立され創立總會を開き左の役員を選任した

▽代表取締役 早山與三郎▽取締役 千葉三郎、早山洪二郎、松江春次、森田福市、上塚司、十文字俊夫、伊藤英夫、横溝彰亮



▽監査役 森輝、小泉幸藏

◇支那 佛印間の通商協定成立  
支那と佛領印度支那との通商協定は國民政府外交部とフランス公使ウイイルデンとの間に締結され本日調印を終つた

五日(日)

◇婦人平和國際聯盟の創立記念交換放送  
婦人平和國際聯盟創立二十周年記念に相當するため本日午前五時十五分愛宕山の東京中央放送局は左の五ヶ國代表者の交換放送をなした

▽日本徳川家達公▽佛國ポール・ボンクル▽米國 平和國際聯盟會長ジエン・アダムス女史▽英國國際軍縮會議長アーサー・ヘンダーソン▽ロシア外務人民委員長リトヴィノフ夫人、レーニン未亡人クルーブスカヤ

◇ギリシア前首相に死刑の判決  
ギリシア軍法會議は去る二月の内亂叛軍の巨頭前首相ヴェネゼロスとプラスチラス將軍(何れも亡命中)に對して死刑の判決を言渡した

六日(月)  
◇對米輸出綿布協同會を組織

アメリカの日本綿布輸入制限に對し左の内  
地輸出業者十四社は對米輸出綿布協同會を組織し、會員間の紳士協約によつて輸出數量(一ヶ月五百萬ヤード内外)並に價格の自主的統制を行ふことに決定した

◇紡績七社 日本紡、東洋紡、鐘紡、富士紡、日清紡、豊田紡、東京モス▽輸出商七社 三井、三菱、伊藤忠、東綿、日綿、日商、竹村

◇羊毛工業會、賣糸限産率を決定  
羊毛工業會は大阪の野村ビルにおいて有志懇談會を開き七、八、九の三ヶ月間の賣糸限産率を一割とし九月を以て打切ること決定した

◇全國共同乾藪倉庫聯合會の改組決定  
全國共同乾藪倉庫聯合會は東京丸ノ内の羣衆會館において臨時總會を開き産業組合組織に改組し全國乾藪販賣組合聯合會(出資額十一萬圓)とすることに決定した

七日(火)  
◇東京雜貨中南米輸出組合の設立  
中南米市場に雜貨の輸出振興を圖る機關として組織された東京雜貨中南米輸出組合は商工省からその設立を認可された

◇櫻麥酒販賣會社の創立  
櫻麥酒會社は販賣部門を分離し麥酒共販と販賣協定を結び全國的に販賣統制を行ふため資本金五十萬圓を以て櫻麥酒販賣會社を設立することに決定し本日創立總會を開き左の役員を選任した

▽社長 木村尚一▽取締役 河杉元助、難波常次郎、合木恂三▽監査役 山本爲三郎 林博

◇キユーバ、日本製織物に十割課税  
キューバ政府は日本製織物(人絹織物、人絹絹交織、絹織物)に對し十割の高率關稅を賦課する旨發表した

八日(水)  
◇商工省保險部を保險局に昇格  
商工省官制中、保險部を保險局に昇格し、同時に部長石井銀彌を局長に昇任することに決定し官報を以て公布した

◇電元社の組織變更  
電元社(石井元の個人經營)は資本金十萬圓の株式會社に組織を變更し本社並に工場を大阪から東京淀橋區上落合に移轉することに決定し左の役員を選任した

▽社長 俣野健▽取締役 石井元(専務)、

渡邊一二(支配人)

九日(木)

◇阪神電鐵、灘區域を神戸市に譲渡  
阪神電鐵會社は兵庫縣灘區域を六百五十萬圓を以て神戸市に譲渡することに交渉成立し調印をなした

十日(金)  
◇政友會、水野錬太郎、望月圭介を離名  
政友會は本部に緊急總務會を開き内閣審議會に委員として參加した黨の長老水野錬太郎望月圭介に對し黨規紊亂の廉を以て除名處分に附することに決定した

◇福東客船同盟の結成  
日、英、米、獨、佛、伊、和七ヶ國の左の汽船會社は旅客爭奪と運賃引下等の不當競争を防止するため極東客船同盟を結成した

▽日本 日本郵船▽英國 ブラッッシュ・インデアン會社、加奈陀太平洋會社▽米國 ダラーライン社、東アジア社▽獨逸 ハンブルグ・アメリカン社、北獨逸ロイド社▽佛國 エム・エム社▽伊國 ロイド・トリエスチノ社△和蘭 ロイヤル・ダッチ・メーソール社、ロツテルダム・ロイド社

◇昭和製粉會社の創立

同社は資本金二百五十萬圓を以て設立することに決定し本日創立總會を開き左の役員を選任した

▽専務取締役 伊藤英夫▽常務取締役 安立三雄▽取締役 岩瀨亮、牧文雄、湯淺藤山村新次郎、砂押忠八、岡田藤太郎、飯室秀雄、柳沼昌治▽監査役 齋藤了、加藤大助、戸田三郎

十一日(土)

◇内閣審議會及び内閣調査局設置  
岡田内閣は重要國策を調査審議する諮問機關として内閣審議會並に内閣調査局を設置することに決定し同官制に對する樞密院本會議(八日)の可決を俟つて上奏御裁可を經、本日會長以下を左の如く任命した

△内閣審議會會長(總理大臣)岡田啓介、副會長(大藏大臣)高橋是清▽委員 齋藤實、山本達雄、青木信光、馬場銜一、黒田長和、水野錬太郎、頼母木桂吉、望月圭介、川崎卓吉、富田幸次郎、安達謙藏、秋田清、伊澤多喜男、池田成彬、各務鎌吉▽内閣調査局長官吉田茂

◇内閣書記官長の更迭  
内閣書記官長吉田茂は内閣調査局長官に任

命されたためその後任として前兵庫縣知事白根竹介が書記官長に任命された

◇滿洲國總務廳長官の更迭  
滿洲國總務廳長官遠藤柳作は辭任しその後任として關東局總長岡隆一郎が任命された

◇紡績聯合會、操短率増加に決定  
紡績聯合會は大阪の綿業會館において委員會を開き現行操短率(四晝夜休業基準、一刻六分二厘の休鍾)の外、來る七月一日以降十月三十一日迄の四ヶ月間更に左の如く操短率を増加することに決定した

一、七月一日以降八月末日まで現行操短率歩合の外休日一晝夜(三分八厘)を増加す  
九月一日以降末日まで現行率の外に六分を増加す

◇ペルー政府、綿製品の入關制限  
ペルー政府は本日貿易調整のため綿製品に對する輸入制限令を公布し、日本製綿布に對する割當は六ヶ月間二十萬キログラムと決定し六月一日から實施することとなつた

十二日(日)  
◇支那の排日貨調査に松本外務參事官派遣  
外務省は支那の排日貨の實情調査のため參事官松本忠雄を支那に派遣することに本日



決定し来る二十日東京を出發、二ヶ月間の豫定で香港、廣東、上海、漢口、北平、濟南、青島を視察することゝなつた

十三日 (月)

大阪府農工債券五百萬圓發行

大阪府農工銀行は農工債券五百萬圓を左の條件で發行することに決定した

▽利率 年四分五厘▽發行價格 額面▽償還期限 二ヶ年据置後十三ヶ年間毎半年十萬圓以上償還▽拂込 六月二十日▽引受 野村、山一、藤本ビル、日興各證券會社

福岡縣の實業家佐藤慶太郎の葬儀

福岡縣若松市の實業家佐藤慶太郎は葬儀に私財百萬圓を東京府に寄附し上野美術館を建設したが、本日國民生活の向上を圖る目的を以て百五十萬圓を提供し新興生活館を東京神田區駿河臺に建設し財團法人組織とし自ら理事長となり、専務理事に山下信義、岸田軒造を選任することに決定した

魯大鑛業淄川炭坑の坑夫四百名瀕死

日支合辦魯大鑛業公司の淄川(山東省)鑛業所炭坑第二炭坑の落盤箇所から浸水し坑内の支那人坑夫四百名と日本人技師福岡縣人相原増藏は瀕死を遂げた

エチオピア政府、國聯盟に提訴

エチオピア政府は伊太利が大軍を動員して國境を脅威するとて國聯盟に對し「理事會が紛争を解決して自國の領土を保全し政治的獨立を確保することを要する」との通牒を提出した

佛・伊空軍同盟の調印

伊太利のムツソリニ首相はドイツ空軍に對抗し本日ローマのヴェネチア宮において佛國のドン空相と航空協力條約を締結し調印をなした

米國農園俱樂部員百十四名來朝

庭園を通じ日米親善の目的を以て米國農園俱樂部員ジナヨナサン・パークレー夫人以下一行百十四名は本日正午横濱港入港の郵船秩父丸で來朝した

十四日 (火)

内務省、地方行政監察制度を設置

内務省は省議を以て地方監察制度を設置することに決定し、地方行政監察要項監察委員監察方法を制定し監察委員長には岡田地方局長を任命し最初に東京市の行政監察をなすことに決定した

警保局に防犯課を新設

内務省は豫防警察を確立するため六萬七千圓の豫算を以て警保局内に防犯課を新設し本日初代課長として警察講習所教授清水重夫を任命した

大藏省、預金部資金貸付條件決定

大藏省は預金部資金運用委員會を蔵相官邸に開き、會長高橋是清以下各委員出席し左の貸付條件を決定した

第一、資金一億圓を限度として國債の引受又は買入をなすこと  
第二、昭和十年度公共團體普通事業資金として五千萬圓以内を融通すること(利率年三分二厘)  
第三、昭和十年度社會事業資金として三百五十萬圓を融通すること(利率年三分二厘)

日支交通運輸協定の成立

日支交通運輸協定に關し鐵相内田信也は本日官邸において來朝中の北寧鐵路局長股同と協議の結果、一枚の切符で聯絡することに協定した。この協定は五年振りで復活したものである。ルートは左の如し

▽周遊券(省線及び中國鐵道主要驛發賣)  
▽一、釜山經由奉天—北平—漢口—上海—日本  
▽二、北平まで前同—浦口—上海—日

本

日加協會、カナダ政府に警告を發す

日加協會は東京丸ノ内の日本工業俱樂部において評議委員會を開き會長阪谷芳郎男以下出席し邦品に對する關稅引上に對し、カナダ政府は反省し關稅改正をなすべしとの警告を發することに決定した

石灰窒素、次年度生産増加に決定

石灰窒素共販組合は東京京橋の味の素ビルにおいて理事會を開き石灰窒素の次年度生産高を本年度より一萬三千トン増加し十八萬トンとすることに決定した

石油協定七社、原油の市價引上

石油協定七社(日石、小倉、三井、三菱、旭、早山、ライジング)各代表は日石本社に會合し原油の市價をトン當り二圓乃至三圓引上げ建値を四十五六圓にすことに決定した

伊太利政府、鑛の輸出禁止

伊太利政府は銀塊、棒銀、銀屑、銀粉、銀貨の輸出を禁止する法令を發布した

フィリッピン獨立の憲法可決

フィリッピン政府は獨立憲法の人民投票を行ひマニラ外二十三縣開票の結果、批准賛成十六萬三千二百三十五票に對する反對三千七

百四十九票の大差を以て獨立憲法草案の批准を承認することに決定した

澳國政府、條約を廢棄し空軍を組織

オーストリア政府はサンセルマン條約第四百四十四條の空軍禁止條項を一方的に廢棄し特別護國團空軍隊を組織し副總理シニターヘンベグ公を司令に任命した

十五日 (水)

政府所有古米五十萬石を賣却

農林省は米穀統制委員會の諒解を得、政府所有古米二百萬石の内整理のため五十萬石を入札によつて賣却することに決定した

六大都市小賣市場組合の設立

六大都市(東京、横濱、名古屋、神戸、京都、大阪)の私設市場經營者は産業組合、公設市場、百貨店の進出により壓迫を蒙るため本日六大都市小賣市場組合の創立總會を東京九段軍人會館において開催し「小賣市場法の制定を期す」外七件の決議をなした

東京實業、百貨店對策を決議

東京實業組合聯合會は小賣業改善研究委員會を開き百貨店の進出に關して左の決議をなした

一、百貨店法制定を要望すること

一、商品券の發行を禁止せしむること

愛知織物會社五百萬圓に増資

同社(資本金四百萬圓)は臨時總會を開き百萬圓を増資して五百萬圓となすことに決定した

エクスアドル、日工通商條約廢棄を通告

エクスアドル國政府は本日本正七年八月ワシントンにおいて日本と調印した修好通商航海條約を廢棄する旨日本政府に通告して來た

十六日 (木)

産糧中央會總會、産業會館建築を決定

第二十六回産業組合中央會總會は長野市の城山館において開會し、理事の補缺選舉を行ひ監事池田長八を理事に、監事に濱平右衛門を選任し次で本部の産業會館を百六十萬圓の豫算を以て建築することに決定した

洋灰聯合會、繰短率提議に決定

セメント聯合會は大阪瓦斯ビルにおいて理事會を開き六月以降八月までの限産率に關しセメント並にクリンカー在庫高を三十八萬トンとし現行五割七分の繰短率を据置くことに決定した

東京タイヤ統制組合の設立

東京タイヤ統制組合創立總會は東京丸ノ内



會館において開催し左の役員を選任した  
 △組合長 柳田諒三(東京自動車業聯合會  
 會長) △理事長 小林光榮 △顧問 堀内良  
 平、石津愛三郎、中谷保、小川菊造、中川  
 末太郎、石橋正次郎

◇播磨商船、第二播磨商船を合併  
 大阪の播磨商船會社(資本金百萬元)は本  
 社において臨時總會を開き第二播磨商船會社  
 (資本金百萬元)を合併し資本金を二百萬元  
 とする件を可決した

◇中米米歴訪の堀口文化使節出發  
 國際文化振興會の使節元ブラジル公使堀口  
 九萬一は南米アルゼンチン、ブラジル、パラ  
 グアイ、ウルグアイ、ガテマラ、メキシコ等  
 に文化使節として巡遊することに決定し本日  
 神戸港出帆のモンテヴィデオ丸で出發した  
 十七日(金)

◇日支各公使館、大使館に昇格  
 駐支帝國公使館と駐日支那公使館は大使館  
 に昇格することに決定し駐支特派全權公使有  
 吉明は特命全權大使に昇任し中華民國公使蔣  
 作賓も初代駐日大使に昇任し本日日支同時に  
 發令された

◇滿洲國治外法權撤廢の方針決定

滿洲國治外法權撤廢に關する委員會の第三  
 回總會は外務省第二會議室において開會し委  
 員長重光葵次官以下出席し課税制度を先決と  
 し警察制度、裁判制度、國內制度に漸進的に  
 撤廢をなす方針を決定した

◇全國消費組合の役員決定  
 第五回全國消費組合協議會總會は長野市の  
 藏春閣において開會し左の幹事を選任した  
 △東京府 沼田正雄、戸澤仁三郎、藤田  
 道雄、田畑豐志、廣田金一、濱田道之助 △  
 神奈川縣 藤原一郎 △石川縣 東作松 △京  
 都府 矢上美太郎 △廣島縣 横山重雄 △兵  
 庫縣 福井拾一、須野善治 △福岡縣 日野威  
 △鹿児島縣 大井藤助 △鳥取縣 淺沼善雄  
 △英米佛獨の駐支公使館、大使館に昇格  
 英、米、佛三國も日本の例に倣ひ駐支公使  
 館を大使館に昇格する旨國民政府外交部に本  
 日通告したが、翌十八日獨逸も同様昇格する  
 こととなつた

◇國有林産物販賣所、東京・大阪に設置  
 農林省は國有林産物販賣所を東京と大阪に  
 設置することに決定し山林局技師原三六を東  
 京所長に、營林局技師土肥俊を大阪所長に任  
 命した

◇四分利公債二十三萬餘圓發行  
 政府は四分利公債二十三萬四千四百二十五  
 圓を五年据置後三十年内に償還の條件で發行  
 した

◇日本公社債協会の設立  
 日本公社債協会は公社債關係業者の機關と  
 して設立することに決定し東京丸の内日本工  
 業俱樂部において發會式を舉行し商工政務次  
 官藤正憲を同會長に選任することに決定した

◇晒粉聯合會、限産率五割七分と決定  
 晒粉聯合會は東京丸之内會館において委員  
 會を開き六月中の晒粉限産率を五割七分(前  
 月に比し三分緩和)となすことに決定した

◇世界最大の露國飛行機ゴルキー號墜落  
 露國航空隊の世界最大の單葉陸上機マキシ  
 ム・ゴルキー號はモスコウ中央飛行場の七百  
 メートルの上空において練習機と衝突して墜  
 落しユーロフ飛行士以下搭乗者五十一名は慘  
 死を遂げた

◇我軍停戦地區の匪賊討伐  
 熱河省の擾亂を企て遊化に集結中の孫永勤  
 匪賊團兵力約一千名が停戦地區内に潜入して

來たため我軍は討伐を開始し岩永部隊の攻撃  
 により匪賊は東南方に敗退した

◇新日本海員組合の創立  
 海員組合から分裂した新日本海員組合は神  
 戶市海員會館において創立大會を開き、幹部  
 統制のない大衆本位の組合組織とすることに  
 決定し左の役員を選任した

△副組合長 那賀源三郎(元海員組合調査  
 部長) △組織部長 藤原喜代松 △調査部長  
 藤山壽 △政治部長 新妻徳壽 △教育出版部  
 長 松田喬平 △會計部長 塚越佐八 △顧問  
 赤崎寅藏

◇全日本木炭商聯盟、商權確保の決議  
 全日本木炭商聯盟は全國販賣組合聯合會の  
 進出により打撃を蒙るに至つたため、東京代  
 代木明治神宮外苑の日本青年會館に大會を開  
 き「我等木炭商販賣業者の商權を確保するた  
 め苟もこの本義に背馳するものある時は舉げ  
 てこれを排撃し以て目的の貫徹を期す」との  
 決議をなした

◇東洋拓殖の役員改選  
 東洋拓殖會社は臨時總會を開き左の如く役  
 員の改選を行ひ拓務省に認可の申請をなした  
 △理事 渡邊忍、大志摩孫四郎、窪寺勲、

佐方文治郎 △監事 石鏡衛、小椋長吾

◇西瀛洲鑛業の設立計畫  
 日本鑛業會社は西瀛洲より鐵鑛石を獲得す  
 る目的を以て日濠合辦の西瀛洲鑛業會社(資  
 本金五百萬圓)の設立を計畫した

◇昭和入網會社の操業開始  
 昭和入網會社は福島縣石城郡錦村に新設中  
 の工場完成し本日から操業を開始した

◇上海紗布交易所、日本總業上場  
 上海紗布交易所は理事會を開き日支關係好  
 轉を機とし日本總業の取扱を開始することに  
 決定し一月物を七月から上場することに決定  
 した

◇米國、銀貨の輸入禁止  
 米國政府はメキシコ、支那等の銀本位國が  
 銀の流失に悩みつゝある實情に鑑み銀貨の輸  
 入を禁止する旨の大藏省令を公布した  
 二十一日(火)

◇大藏省證券五千萬圓發行  
 政府は專賣局据置運轉資本補足のため第三  
 十一回大藏省證券五千萬圓を左の條件で發行  
 することに決定した  
 △割引歩合 日歩七厘五毛 △發行日 五月  
 二十一日 △支拂期日 七月二十五日 △發行

方法 日本銀行引受

◇七經濟團體、日米貿易の調整申合  
 貿易振興會、日米通商評議會、日本貿易協  
 會、橫濱貿易協會、東京府輸出組合聯合會、  
 東京商工會議所、橫濱商工會議所の七經濟團  
 體は東京丸の内日本工業俱樂部において對米  
 貿易調整懇談會を開き「日米間の貿易は著し  
 く不均衡に陥り對米輸出に對し米國からの  
 輸入百九十一に達し彼我貿易の調和を破つて  
 る故、米國政府及び米國々民は日本商品の  
 輸入制限除去に努力し兩國貿易の圓滿なる發  
 達を望む」との申合をなした

◇九州實業會社の創立  
 同社は資本金一千萬圓を以て設立すること  
 に決定し東京丸の内日本實業會社内で本日創  
 立總會を開き左の役員を選任した

△専務取締役 中野友禮 △取締役 増田義  
 一、遠山元一、小長谷新太郎、鈴木寅彦、  
 久恒貞雄、中山悦治、石橋正二郎 △監査役  
 沼田敏朗、村瀬末一、渡邊卓榮、辰澤茂乙  
 武鶴次郎

◇日本製鍊、第二日本製鍊を合併  
 日本製鍊會社(資本金二百萬圓)は臨時總會  
 を開き第二日本製鍊會社(資本金百萬圓)を



合併し資本金を三百萬圓となす事に決定した  
○滿洲國內閣の更迭 張景惠内閣成立

滿洲國國務總理張景惠は不健康の故を以て  
辭任したので本日參議府議長兼軍政部長大臣張  
景惠に内閣組織の大命降下し翌二十二日各大  
臣の額前は左の如く決定し特任式を舉行した  
▽民政部大臣 呂榮寰▽財政部大臣 孫其  
昌▽外交部大臣 張燕卿▽軍政部大臣 于  
芷山▽實業部大臣 丁鑑修▽交通部大臣 李  
季紹庚▽司法部大臣(留任) 馮函清▽文教  
部大臣 阮振鐸▽參議府議長 臧式毅▽宮  
内府大臣 熙洽▽參議 沈瑞麟、同謝介石

○七續統、ナチス外交の鐵則を宣明  
獨逸國會はベルリンの假設事堂クロール、  
オベラにおいて開會され、ヒトラー總統はナ  
チス外交の鐵則として「獨逸政府は履行出來  
得ぬやうな國際條約には一切調印しない方針  
である」との十三ヶ條の外交方針を宣明した  
二十二日(水)

○民政黨、政友會に聯携破棄を通告  
民政黨は在京議員總會を本部に開會し幹事  
長川崎卓吉は政民聯携打切りの總務會、幹部  
會の經過を報告し黨議の結果、聯携は打切る  
ことに決定し、總裁町田忠治の裁斷により川

崎幹事長は政友會本部に幹事長松野鶴平を訪  
問し聯携破棄の通告をなした

○國際聯盟阿片委員會に日本參加  
國際聯盟理事會はリトヴィノフ露國外相司  
會のもとに開會され日本の阿片諮問委員會の  
參加招請を可決したのでわが外務省は同委員  
として在セネバ横山總領事を任命した  
○滿鐵鐵道運通と税關手續簡捷の協定  
日滿兩國政府は京國線の新設と天圖線の廣  
軌化により「關門江國境を通過する列車直通  
運轉及び税關手續簡捷に關する協定」を本日  
滿洲國外交部においてわが全權大使南次郎と  
滿洲國外相謝介石との間に協定成立し調印を  
完了、二十四日公布した。同協定は九ヶ條か  
ら成り朝鮮滿洲間の鐵道聯絡と税關手續の簡  
易化を圖つたものである  
二十二日(木)

○北樺太石油の社長更迭  
北樺太石油會社は重役會を開き社長中里重  
次の辭任を承認し、後任社長に海軍豫備中將  
左近司政三を選任した  
○横濱元野野生野野自殺す  
横濱土木疑獄事件に連坐し保釋出所中の元  
横濱船渠會社事務取締役野野生野野は本日午後十

一時東京市大森區山王の自宅庭内の樹木で  
死を遂げた。享年五十五。東京高商卒業後實  
業界に入り横濱船渠會社の事務取締役、横濱  
新港倉庫會社の監査役等に就任してゐた

○フランス國立銀行の三度利上  
フランス國立銀行はフラン貨擁護のため本  
日公定割引歩合を二分五厘より三分に引上げ  
たが金の流出甚だしいため二十五日再び四分  
に引上げ、更に二十八日には一氣に六分に引  
上げた  
二十四日(金)

○内閣調査局新任調査官任命  
政府は内閣調査局の新任調査官を左の如く  
決定し本日任命した  
▽内閣資源局調査部長 松井春生▽大藏省  
主計局豫算課長 山田龍雄▽内務省(埼玉  
縣知事) 飯沼一省▽商工省臨時産業合理局  
第一課長 藤田國之助▽農林省農務局長  
小濱八彌  
○産業統制官民協議會、統制法運用決定  
産業統制官民協議會は商相官邸において開  
會され商相町田忠治以下民間側から左の臨時  
産業合理局顧問等出席し、現行重要産業統制  
法は法制として缺陷はないが運用の方法とし

て官僚的となることを避け存続することに決  
定した

▽臨時産業合理局顧問 大河内正敏、松岡  
均平、井坂孝、牧田環、郷誠之助、磯村豊  
太郎、南條金雄、三宅川百太郎、結城豊太  
郎

○鋼材聯合會、鋼材三割限産を決定  
鋼材聯合會は大坂俱樂部において總會を開  
き六、七、八月渡しの鋼材は三割の限産をな  
し六七月渡しの丸鋼ベース物建値を一トン五  
圓引下げ八十八圓となすことに決定した

○鋼油聯合會、一割の生産調節を決定  
鋼油聯合會は協議會を開き輕油機械油の低  
落對策として来る六月から生産額(五月中輕  
油四十萬兩、機械油六十萬兩)を基礎として  
一割の生産調節をなすことに決定した

○過渡期懇話會、過渡期の値上決定  
過渡期懇話會は緊急協議會を開き過渡期の  
最低値段を七員五百匁一匁五錢を引上げ一圓  
十八錢にすることに決定した

○上海米國案の美豐銀行取付  
上海の米國系美豐銀行(資本金五百五十萬  
米弗)は金融逼迫のため預金の取付を受け支  
拂を停止した

二十五日(土)

○朝鮮農地移住獎勵補助規則の公布  
同規則(八ヶ條)は朝鮮總督府令を以て公布  
され六月一日より實施された

○東北振興事務局を設置  
政府は東北振興事務局を内閣に設置し東北  
振興調査會と併行し東北振興策の調査樹立を  
なすため本日内閣調査局調査官松井春生を同  
事務局長に任命した

○米穀證券四千六百萬圓發行  
大藏省は第四十回米穀證券四千六百萬圓を  
左の條件で發行した  
▽割引歩合 日歩七厘五毛▽支拂期日 昭  
和十年十一月二十五日

○生糸共同施設組合の設立  
生糸共同施設組合は東京丸ノ内の蠶糸會館  
において設立協議會を開き規約を制定し左の  
役員を選任した  
▽會長 河西剛(長野)▽理事 瀧澤鬼角  
(高崎)、横尾長正(製絲聯盟主事)▽監事  
久保田福次郎(静岡)、小泉瀧造(愛媛)

○關東製氷工業組合聯合會の設立  
關東製氷工業組合聯合會は東京々橋の齊藤  
ビルにおいて創立總會を開き左の役員を選任

した  
▽理事長 三浦計▽理事 小林喜太郎、島  
山余之助、吉野力太郎、杉田榮助▽監事  
岡本英作、松岡清太郎

○朝鮮商業銀行、釜山商業銀行を買収  
朝鮮商業銀行(資本金五百萬圓)は釜山商業  
銀行(資本金百萬圓)を七十五萬圓で買収する  
ことに決定し本日假調印をなした

○國際聯盟、伊工紛争を調停に決す  
伊太利とエチオピア間の國境紛争事件に關  
し國際聯盟理事會は「伊太利の希望を容れ藉  
すに時を以てすることを承諾す」との決議を  
採擇したが、伊太利のアイロジ代表は「如何  
なる形式でも同委員會が國境問題に立入ると  
は同意出來ぬ」との聲明をなした  
二十六日(日)

○日露漁業條約改訂、露國政府に通告  
外務省は廣田(弘毅)カラハン協定の期限十  
二ヶ年延長を初め入札方法、代金支拂等に關  
する日露漁業條約の改訂をなす旨の希望通告  
を本日駐露大使矢田爲吉より露國外務人民委  
員長代理ストモニヤコクに手交した  
二十七日(月)



國民政府は砂糖統制を實施する方針を決定した。須磨總領事は外交部に對し「砂糖統制は通商の自由を阻害し門戶解放の原則に反するものである」と抗議を提出した。

日蘭會商、パタゴイアで再交渉開始

日蘭會商は昨年十二月末日より停頓中であつたが蘭印當局とわが政府の間に海運會商の再開を促進することに決し本日パタゴイアにおいて越田總領事と蘭印經濟長官ハルトとの間に會商を再開した。

關東水力電氣三千萬圓に増資

同社(資本金一千七百萬圓)は臨時總會を開き一千三百萬圓を増資して三千萬圓となすことに決定した。

森永製菓の社長更迭

森永製菓社は臨時總會を開き社長森永太郎に後任社長に松崎半三郎を選任した。

米國の産業復興法に憲法違反の判決

米國の大審院はシエスター養鶏會社の産業復興法準則に關し憲法違反であるとの判決を下し即時産業規定の停止を命じた。めルーズヴェルト大統領の新政策である産業復興の諸規定は無効となつたので、同大統領は同案に

代る對策實現まで産業家に對し協力要望の聲明を發表した。

二十一日(火)

滿洲事變前の在滿支那救恤勸令公布

昭和六年九月十八日以前張作霖政權當時滿洲は極度に悪化し紛争事件三百餘件に達し在留邦人の被害甚大なため、政府は二百五十萬圓の救恤金を支出することに決定し本日勸令を以て公布した。

帝國美術院の改組

文相松田源治は定例閣議において承認を經、帝國美術院の組織を變更して「帝國美術院は文部大臣の管理に屬し美術の發展に關する重要な事項を審議す」ほか八ヶ條からなる官制を本日公布し同時に院長正木直彦は辭任し法學博士清水澄を後任院長に任命、美術院附屬の美術研究所(所長矢代幸雄)は獨立した。

輸出自動車に組合法を發動

本邦自轉車の海外輸出は著しく發展し昭和九年は一千九百萬圓に達した。め商工省は輸出統制を行ふこととなり日本自轉車輸出組合の地區内において左の市場に輸出するものに對し組合の定むる取締、輸出數量、輸出價格の制限に従ふべき旨官報を以て告示した。

蘭領東印度、英領印度、緬甸、錫蘭、馬來聯邦、海峽植民地、比律賓(省令價格のみ統制)

玉川水道社長栗原幸藏檢事局に召喚

玉川水道會社(資本金一千五百萬圓)は東京市に去る三月二十八萬七千圓を以て強制買収されたが同社長栗原幸藏は買収價格吊上げのため運動費をバラ撒き、背任横領瀆職の嫌疑を以て東京地方裁判所檢事局に召喚され木内檢事の取調べを受けた。

二十一日(水)

選舉廳正中央聯盟の創立

選舉廳正中央聯盟が創立され左の役員を選任した。

會長 齊藤實、理事長 永田秀次郎、常任理事 堀切善次郎、田澤義輔、理事 丸山鶴吉、那須浩、臘山政道、松井茂、潮恵之輔

陸軍、全國三箇所に防衛司令部を設置

陸軍省は空の護りの萬全を期するため東京に東部防衛司令部、大阪に中部防衛司令部、小倉に西部防衛司令部を新設する事に決定し本日軍令を以て公布した。東部は来る八月一日開設、中部及び西部は昭和十二年八月一日

開設することに決定した

我支那駐屯軍、支那側に重大警告

我支那駐屯軍は支那の停戦協定踐踏に關し酒井參謀長、高橋駐在武官は北平の政務整理委員會を訪問し玉克敏不在のため何應欽に對し「日本軍は再び長城を越えて進出するの必要を生ずべくまた陰謀の策源地たる天津、北平を停戦協定地區内に包含せしむるの必要を生ずべし」との重大な警告を發した。

外務省の第二次巡閱使松島雄飛出發

外務省の第二次巡閱使前駐伊大使松島雄飛は南洋及び近東方面に派遣されることに決定し本日東京驛發神戸に向ひ六月二日神戸港出帆の龍田丸でシヤムを最初に印度、アフガニスタン、イラン、トルコ、イラク、パレスターイン、蘭印等を巡視する。

伊勢丹百貨店、ぼてい屋を買収

伊勢丹百貨店(資本金二百萬圓)は新宿のぼてい屋(資本金二百萬圓)を二百萬圓を以て買収することに決定し本日假調印をなしたのでぼてい屋は来る六月一日廢業賣出しをなすこととなつた。ぼてい屋は明治十九年の開業で五十年の歴史を有する呉服店であつた。

三十日(木)

政國代表團證明書を首相に手交

國民同盟幹事長清瀨一郎は官邸に總理大臣岡田啓介を訪問し「國體明徴に關する政府の處置不徹底なれば一層これを徹底せしめられたい」との聲明書を手交したが翌三十一日政友會は代表委員島田俊雄、安藤正純が岡田首相を訪問し「政府は斷乎として天皇機關説排撃の方針を闡明し國民をして適從するところを知らしむべし」との聲明書を手渡した。

通商審議會、對カナダ報復關稅可決

通商審議會總會は首相官邸において開會し政府委員重光外務次官、民間委員蘆田均以下出席し、カナダの本邦輸出品に對する防過處置に關し報復手段としてカナダに對し關稅引上を實施することに決定したが具體的方法は關稅調査會に一任することとなつた。

郵船對海員組合の紛争解決

日本郵船會社と海員組合は待遇改善問題に關し紛糾を重ねてゐたが本日逕信省管船局當局の調停により左の條件で解決した。

一、食料改善は三割方向上(八月一日より實施する)  
二、職長手當は海事協同會において疑義を檢討し組合側の言分通りであればこれを支給する

給する

三、夜間荷役手當は七月一日より實施する  
四、年度手當はAクラス七十五圓乃至五十五圓、Bクラス四十九圓乃至四十四圓、Cクラス三十七圓乃至三十四圓

入山炭坑爆發し四十五名慘死

本日午後三時福島縣石城郡湯本町入山炭礦會社經營の入山炭礦第六坑において瓦斯爆發し、技師原義雄外坑夫等四十五名は慘死を遂げた。

三十一日(金)

メリヤスの南洋輸出に統制命令

商工省は蘭領印度、英領北ボルネオ、海峽植民地、ニューギニアに輸出するメリヤスの輸出業者に對し組合法により輸出取締並に輸出數量に關し制限する旨の命令(来る六月十日より實施)を本日發令した。

日滿倉庫會社の倍額増資

日滿倉庫會社(資本金五百萬圓)は臨時總會を開き資本金を倍額の一千萬圓に増資し増資金を以て大阪埠頭陸上施設費に充當し滿鐵名義の川崎埠頭用地を同社の所有となすことに決定した。

臺灣電氣工業會社の創立



臺灣電化工業會社(資本金百五十萬圓)は創立總會を開き左の役員を決定した(本社並に工場臺灣基隆市外)

△會長 小林正直▽取締役 日比藤治(常務)、安達房次郎、額國年、近藤鏡次、金子武磨▽監査役 小倉源治郎(常任)、岡田光治

◇東京鋼材五百萬圓に増資

同社(資本金二百萬圓)は臨時總會に於て資本金を五百萬圓に増資する件を可決した(日不詳)

【六月】

一日(土)

◇農林省に馬事課を設置

農林省は省議を以て畜産局内に馬事課を新設することに決定し、馬に關する事務、馬事調査、馬籍、馬の去勢等に關する主管事務を管掌せしむるため關係官制を改正し本日公布した

◇海外拓殖委員の設置

拓務省は海外拓殖委員會を設置することに決定し移植民、海外拓殖事業の指導獎勵に關する重要事項の調査審議をなすため本日六ヶ

條から成る官制を公布し同時に會長に拓務大臣兒玉秀雄、委員に外務省歐亞局長東郷茂徳等二十三名を任命した

◇東京寶塚劇場の借額増資

東京寶塚劇場(資本金百七十萬圓)は臨時總會を開き資本金を倍額の三百四十萬圓に増資する件を可決した

◇横濱倉庫の社長更迭

横濱倉庫會社は臨時總會を開き社長石井徹辭任につき、後任社長に取締役望月軍四郎を選任した

◇全國借家人組合刷新同盟の八十名總選

東京淺草區南松山町全國借家人組合刷新同盟常任書記長富地幸作外組合員八十名は左翼式の細胞組織を以て昭和五年四月以來家賃の不拂、半減、立退料の強奪等をなしてゐたこと發覺し谷中署の手に一齊檢舉された

◇播磨鐵道事務所下山謙一被訴

播磨鐵道會社事務所取締役東京市牛込區築土八幡三四下山謙一は無價値にひとしい株券を以て十八萬圓を詐取し東京地方裁判所検事局の佐藤、深川兩檢事の取調を受け罪狀明白となり起訴された

◇ハルハル事件の萬州里會議開催

外蒙兵がハルハルに侵入した事件解決のため萬州里會議は滿洲里の北鐵第六中學校において開催され、滿洲國首席代表凌陞は外蒙古代表サンボトと會見し凌代表は「兩國間の諸問題を處理し平和親善の國交の基礎をつくる熱烈な希望を有する」旨を表明した

二日(日)

◇三菱商事、イラン(洋灰五千トン輸出)

三菱商事會社はイラン國政府の註文を受けセメントを門司出帆のからち丸(九五〇〇トン)に積載しイラン國バンドシャパールに向け輸出した

◇常盤銀行、五十銀行を合併

茨城縣水戸市の常磐銀行(資本金百四十五萬圓)は臨時總會を開き五十銀行(資本金百六十一萬圓)を合併する件を可決した

三日(月)

◇紡績聯合會會長阿部房次郎辭任

紡績聯合會會長(東洋紡績社長)阿部房次郎は紡績界の第一線から引退するを理由として辭任した

◇滿洲鐵道工業會社の創立計畫

日本人造羊毛會社常務青木一葉其他數名による資本金百萬圓(第一回拂込四分の一)の

滿洲鐵道工業會社の創立計畫は着々進捗し、本社を東京に、工場を奉天に置く豫定で、目下滿洲中央銀行所有の純益公司(織布、染色、柞蠶の工業兼營)より織布部、染色部の兩部買収交渉中である

◇天皇機關説の眞邊博士起訴

東京地方裁判所の猪俣檢事は法學博士眞邊部達吉の天皇機關説に關し上司の指揮を仰ぎ昭和九年改正された左の出版法第二十六條により起訴することに決定した

「皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ政體ヲ變改シ又ハ國憲ヲ紊亂セントスル文書圖書ヲ出版シタル時ハ著作者、發行者、印刷者ヲ二月以上二年ノ輕禁錮ニ處ス、二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス」

◇審査員級の洋畫家、帝展に特別聲明

帝國美術院が改組され官制によつて統制を受けることとなつたため審査員級の洋畫家石川寅治、伊原宇三郎、太田三郎等十六名は東京丸ノ内明治生命地下室マールに參集し、「我等は如何なる條件によるもの經營に成る展覽會に我々の制作を出品することなかるべし」との帝展に訣別する聲明書を發表した

◇エチオピア軍、伊太利軍と衝突

エチオピア軍は本日ソマリランドの國境において伊太利軍の前哨線に衝突した。昭和九年秋紛争の原因になつたウアルウアル衝突事件後二回目的衝突である

四日(火)

◇四分利公債四百十六萬圓發行

政府は四分利公債四百十六萬八千九百七十五圓を左の條件で發行した

▽發行價格 九十八圓五十錢▽償還期限 五年据置後三十年内

◇簡保積立金の貸付利率引下

簡易保險積立金に關する本年度第一回運用委員會は新規貸付利率を左の如く切下げること決定した

▽地方自治團體四分三厘(五厘乃至九厘引下げ)▽自作農四分八厘(据置)▽その他の法人組合貸付四分三厘乃至五分(五厘乃至八厘引下げ)

◇日本絹織工業組合聯合會の設立

日本絹織工業組合聯合會(出資額七千五百圓)は商工省から設立を認可された

◇日本銀行總裁の更迭

日本銀行總裁土方久徵辭任し、その後任として副總裁深井英五を總裁に、理事清水賢一郎を副總裁に昇格に決し本日發令された

支那人經營の漢口第一紡績會社(資本金六百萬元、八萬八千餘)は紡績界不況のため工場を閉鎖した



◇日蘭仲裁條約、樞密院會議で可決

樞密院本會議は「日本國と和蘭國との司法的解決仲裁條約裁判及び調停條約御批准の件」を上程し、議長一木喜徳郎開會を宣し審査委員會の承認通り全會一致可決された

◇日本實業協會の設立

日本實業協會の創立總會は東京丸ノ内日本工業俱樂部において開催され、會則を制定し「財界の安固と産業の發達を圖る」ことを目的とし會長に根津嘉一郎を選任した

六日(木)

◇全國商業組合中央會の設立

全國商業組合中央會(出資額一千万圓、加入組合六百九十八組、組合員七萬人)の創立總會は名古屋市公會堂において開催し、三十六府縣三十七團體の代表一千名出席し、定款を決定して左の役員を選任した

▽會長 商工次官吉野信次▽理事 東京府商業組合研究會外四團體▽監事 北海道商業組合協會外十組代表 神奈川縣商業組合協會外十組代表

七日(金)

◇我支那駐屯軍、最後の要求を手交

支那駐屯軍司令官海津美治郎中將は大使館

付武官磯谷少將の天津到着を待ち首腦部會議を開き、北支問題を徹底的に清算するため六月一日の期限を以て「一、河北省市黨部の撤去、二、藍衣社の解散、三、第二十五師撤去」を要求することに決定し、北支代表何應欽に手交した

◇初代駐日滿洲國公使丁士源勇退

初代駐日滿洲國公使丁士源は勇退することに決定し本日午後三時東京驛發の列車で歸國の途に就いた

八日(土)

◇日本外交協會、國體獨立を首相に建言

日本外交協會有志代表阪谷芳郎男、鈴木孝雄大將、安保清種大將、元外相芳澤謙吉は官邸に岡田啓介首相を訪問し左の建言をなした

◇茂木青島副領事の公金費清

青島總領事館副領事茂木藤次郎は遊蕩のため公金十六萬六千圓を費消し去る五月二十五日神戸に上陸し所在を晦ましてゐたが本日外

務省に出頭し日高人事課長に罪狀を告白したので警視廳に留置された

◇香港政廳、銀の輸出制限

香港政廳は香港より支那以外の他國又は地域に銀の輸出を制限する旨の法令を發布した

◇佛國下院、財政全權法案可決

佛國下院はラヴアル内閣提出の財政全權法案(投機取締、フラン貨の擁護等)を三百二十四票對百六十票の壓倒的多数で可決した

九日(日)

◇我駐屯軍の要求に支那中央軍移駐

支那駐屯軍司令官海津美治郎中將の發した要求により天津附近に駐屯中の支那中央直屬軍(于學忠軍)第二師(師長黃杰)、第二十五師(師長關麟徵)は本日撤退をなすことに決定し翌十日拂曉から移駐を開始した。排日の元兇天津公安局長李俊襄は罷免されその後任に日本陸軍士官學校出身の劉玉書が任命された

◇北海道炭礦汽船、社債三百萬圓償還

北海道炭礦汽船會社は来る七月三十一日据置期限の社債三百萬圓(利率五分五厘、第一銀行引受)を現金償還をなすことに決定した

◇日本興行社長の変更

日本興行會社は東京淺草クラブにおいて臨時總會を開き社長田中貞二辭任に付、後任に藤田謙一を選任した

◇北平軍事分會委員長何應欽辭任

我支那駐屯軍の要求を容れ中央直屬軍の天津附近撤退をなした北平軍事分會委員長何應欽は「問題解決す、北支に在るを欲せず」との理由を以て蔣介石に辭表を提出した

十一日(火)

◇關東軍、北支新政權に関する方針決定

關東軍司令部は北支那の新政勢に關し幕僚會議を開いた結果「日滿兩國防衛共同義務を擔ふ實情に鑑み滿洲國の接攘地たる北支那は日滿兩國と親善を圖り且つ協力出来る新政權の存在を要する」との方針を決定した

◇日露漁業條約改訂の交渉開始

日露漁業條約改訂交渉第一回會議は本日モスクワにおいて開會され我代表酒匂參事官はソヴェート極東部長ガズロフスキーに對し日本側の改訂要領條約項目を提示しガズロフスキーは政府において研究の上回答する旨を約した

◇米貨邦債償還し額面を突破す

紐育市場において外貨邦債の買氣進み六分

半利米貨邦債は本日左の如く額面を突破するに至つた

▽四月一日九三弗▽五月一日九七弗▽六月三日九九弗▽八月六日十一月〇〇弗

◇帝國人絹社債七百萬圓發行

帝國人絹社は左の條件で社債七百萬圓を發行することに決定した

▽利率 年四分三厘▽發行價格 額面▽償還期限 二年据置後毎年五十萬圓以上を償還又は買入償却し据置期間經過後五ヶ年以内に完済

◇米國、リベリヤ政府を正式承認

アメリカ政府は英、佛に次でアフリカの黒人共和國リベリヤ政府を正式に承認する旨發表した

◇獨逸、ユダヤ人五十名の國籍を剝奪

獨逸聯邦政府はユダヤ人市民前藏相ルドルフ・ヒルファアチンク、ノール賞受賞小説家トーマス・マン、共産主義作家ベルトルド・ブレヒト等五十名の國籍を剝奪した

十二日(水)

◇樞府本會議、國際労働條約を否認

樞密院定例本會議は一木喜徳郎、平沼騏一郎の正副議長以下各顧問官出席し 天皇陛下

の御親臨を仰ぎ開會し第十七回國際労働會議の採擇した「有料職業紹介所に關する條約」外六件を審議した結果、我國の現狀に適せざるものと認め政府原案に賛成し御批准を仰ぐべきものにあらずと決議することに決定した

◇初代駐支大使有吉明の對支聲明

本日午後四時上海入港の上海丸で着任した駐支初代大使有吉明は、對支外交方針に關し「蔣介石を首班とする國民政府は帝國の認めざる唯一のものであるから、これを相手にして今後交渉を續けて行く方針は絶対的のものである」との聲明を談話の形式で發表した

◇日本綿糸布アフリカ輸出組合の設立

日本綿糸布アフリカ輸出組合は大阪綿業會館において創立總會を開き定款を制定し左の役員を選任した

▽理事長 南郷三郎(日綿)▽副理事長 林藏三郎(兼松)▽常務理事 青木嘉三郎

◇關西丸鋼協議會、鋼材不振打開策を合

關西丸鋼協議會は鋼材市況不振の打開策に關し大阪平和俱樂部において協議の結果、左



の申合をなした

一、丸鋼の現行建値八十八圓以下のものは右建値にて買戻す

一、七月以降三ヶ月間條鋼全部に亘り一ヶ月十日の割合で封緘による生産制限を行ふ

十三日 (木)

◇東北振興事業費六億三千餘萬圓計上

東北振興調査會第一特別委員會は首相官邸において開會し委員長馬場鐵一以下各委員出席し東北振興計畫總事業費六億三千二百萬圓(十ヶ年計畫、七割國庫支出)を計上し急いで審議を進めることに決定した

◇日本絹人絹織物の輸出統制決定

日本人絹織物輸出組合聯合會は商工省において臨時總會を開き絹人絹織物輸出統制に關し左の如く決定した

一、中南米輸出については雜貨綿糸布各組合と歩調を合せ中南米九ヶ國につき特別手數料を徴收(五パーセント)すること

二、中南米諸國以外の全市場については一般統制手數料として各一ヤードにつき絹一厘以下、人絹五毛以下を徴收する、但し米國向絹織及びアルゼンチン、ウルグアイ、パラグワイ向絹織物は除外すること

◇自動車業者のガソリン値上反對陳情

東京自動車業聯合會は全國自動車業聯合陳情委員と共に商工、大藏、陸海軍の各省並に政民兩黨本部に對しガソリン値上反對の陳情をなした

◇電気協會の東北電力會社設立計畫

電気協會東北支部は半官半民の東北電力會社を資本金五千萬圓を以て設立し秋田縣田澤湖、福島縣阿武隈川その他を開發し東北六縣の電気事業に供給するとの設立案を本日東北振興會調査委員會に提出することに決定した

◇三菱商事三千萬圓に借額増資

三菱商事會社(資本金一千五百萬圓)は臨時總會を開き資本金を一千五百萬圓増資し倍額の三千萬圓とする件を可決した

◇佛國、歳債年賦金不拂を米國に通告  
フランスは六月十五日支拂期限の戦債年賦金六千四百三十六萬七千三百七十七弗を仕拂はぬ旨ワシントン駐米フランス大使アンドレ・ラブレをして米國政府に通告せしめた

◇獨逸の大工場火災

獨逸ウイッテンベルグ郊外ラインスドルフの最大火薬工場ウエストフアリツシュ・アンハルトツシュ・シユブレングシユトツフ・フ

アプリック(資本金八百萬マルク、軍需工場)は爆發し死者五十名、重傷者七十三名、輕傷者三百名を出した

十四日 (金)

◇對カナダ關稅五割引上

大藏省は對カナダ關稅引上に關し關稅調査幹事會を開き通商擁護法を發動して木材、小麦、製紙用パルプその他合計六品種に對し現行率より五割程度を引上げ一ヶ年間實施することに決定した

◇國鐵空前の貨物運賃引下

鐵相内田信也は農漁山村の經濟更生と諸工業の向上を圖るため國鐵をして空前の貨物運賃引下(總額六百五十萬圓)をなすことに決定し閣議承認を得て本日左の如く發表した  
▽甲、小荷物關係、第二種通常小荷物の廢止二十九萬圓▽乙、貨物關係、特別小口振運賃(イ)基本運賃の引下百十八萬圓、(ロ)割増品の範圍縮小九十二萬圓、(ハ)航路運賃の通算による引下八十萬圓、(ニ)等級の引下修正七十萬圓(ホ)鮮魚鮮肉の運賃引下五十八萬圓(ヘ)航路運賃の引下(小口振運賃及貨切振)七十五萬圓(ト)瀾大貨物割増率の引下八十八萬圓(チ)返送空容器

運賃の引下三十萬圓(リ)馬匹運賃の引下一萬圓(ヌ)坪量料の引下五萬圓(ル)輸出獎勵運賃割戻率の追加四萬圓

十五日 (土)

◇組合製糸の整理合同方針決定

全國産業組合製糸聯合會は東京丸ノ内製糸會館において産業組合製糸の整理合同に關する協議會を開き、府縣における組合製糸の整理合同を促進するため農林省から交付される整備合同助成金三十三萬六千圓を以て整備合同を必要とする組合はその地方において聯合會を組織せしめるとの方針を決定した

◇紡績聯合會の改組

紡績聯合會は大阪綿業會館に委員會を開催し事務局より會計を獨立せしめ監事(福島紡績)がこれを統轄することに改組し専務理事神坂龍太郎辭任につきその後任に大阪商工會議所理事法學博士高柳松一郎を選任した

十六日 (日)

◇日滿大官の贈答贈答、大連で捕はる

大連市能登町六二藍衣社員王陰和以下十四名は大連市往來の日滿大官を暗殺するためイギリス製雷管二百個、ダイナマイト八本、その他導火線類を用意してゐたこと發覺し大連

憲兵分隊の手に逮捕された

十七日 (月)

◇内閣審議會に財政改善の根本策諮問

内閣審議會第二回總會は首相官邸において開會され委員齋藤實等十五名、政府側より岡田啓介、高橋是清の正副會長以下出席し、諮問案「現下の國情特に國民經濟振興の必要に鑑み中央地方を通ずる財政改善の根本方策如何」に關し協議をなした

◇南洋羣島の交通及び資源調査

拓務省の南洋群島開發調査委員會は南洋の交通及び資源を調査することに決定し農林省の高山技師、帝大農學部の佐々木博士、港灣調査會の坂本博士に調査を命じたので一行は本日横濱出帆のバラオ丸で南洋に出發した

◇關東軍、支那側に宋哲元軍の處分要請

關東軍は軍司令部において全幕僚會議を開き挑戰的行爲に出づる宋哲元並に麾下軍隊の處分を要請し國民政府において承認せぬ場合は宋哲元麾下の軍隊を匪賊と見なし肅正膺懲をなすことに決定した

◇海友聯合會、關東側限産率を二分緩和

セメント聯合會は關東側理事會を開き七、八兩月間の限産率に關し協議の結果、現行率

五割七分の限産を二分緩和し五割五分となすことに決定した

◇日本人造羊毛會社の解散要求否決

日本人造羊毛會社(資本金一千萬圓)は株主赤田盛一等の解散要求により東京丸ノ内日本工業俱樂部において臨時總會を開き投票を行つた結果、存続派十三萬二千二百九十票に對する解散派三萬一千一百二十票の少數で解散要求は否決された

◇瀨谷銀行の休業

神奈川縣鎌倉郡瀨谷村所在の瀨谷銀行(資本金五十萬圓)は本日より向ふ二週間帳簿整理の名の下に突如休業したが、同行専務取締役小島政八は二十二日福島縣石城郡湯本温泉の山中で絶死を遂げてゐるのを發見された。享年五十二。死因は責任感から

◇美松百貨店の休業

東京日比谷の美松百貨店(資本金五十萬圓)は常務生命保險會社その他に對し四十一萬圓の負債を生じたため、本日より無期休業をなした

十八日 (火)

◇實業教育振興委員會の設置

文部省は現行實業教育制度並に内容を改善



するため官制に依らず實業教育振興委員会を  
設置することに決定し、會長に文相松田源治  
委員に商工會議所會頭郷誠之助以下三十名を  
任命することに決定した

◇關東軍の要請に依り宋哲元罷免

國民政府は關東軍の要請を容れ察哈爾省主  
席宋哲元を罷免し代理主席に秦德純を任命し  
たので宋哲元麾下軍隊の不法行為問題は解決  
した。なほ北平政務整理委員長黃郛は病氣の  
ため代理委員長に王克敏を任命した

◇日滿經濟共同委員會の設立決定

本日の定例開議において廣田弘毅外相は日  
滿經濟共同委員會を設立する件を提案し異議  
なく決定したが同日滿洲國政府も參議會を開  
き同委員會を設置することに決定した

◇海運官民懇談會、不定期船の補助要請

海運問題に關する官民合同懇談會は選相官  
邸において開催され選相床次竹二郎以下民間  
各汽船會社の代表參集し、不定期船の航路補  
助を要請する件、大連還籍船の内地進出を阻  
止する件等を民間側より提出した

◇總同盟、全國勞働組合との合同を聲明

總同盟は鈴木文治、安部磯雄、高野岩三郎  
の仲介により全國勞働組合との合同に關し東

京神田の學士會館において相談會を開催し、  
左の兩代表出席し、協議の結果、合同を實現  
するとの聲明書を發表した

▽總同盟代表松岡駒吉、西尾末廣、齋藤健  
一▽全國勞働組合代表河野密、菊川忠雄  
十九日(水)

◇高橋蔵相、日露經濟提携を力説

駐日露國大使ユレニエフは蔵相官邸に大藏  
大臣高橋是清を訪問し、日露親善のため不侵  
略條約の締結を緊要とする旨の意見を吐露し  
たが、高橋蔵相は經濟提携こそ最も必要であ  
る旨を力説して會見を終つた

◇内閣調査局の調査事項決定

内閣調査局は調査官の全體會議を開催し吉  
田長官以下各調査官參集し左の八部門に分ち  
調査をなすことに決定した

◇東京商工業振興調査會の設立

東京市産業局はデパートの進出に悩む都下  
中小商工業者を救ひ業態の改善、販路擴張を  
なす相談の機關として東京商工業振興調査會  
を設置することに決定し委員として商工省商

務課長大島永明外二十七名を選任した  
◇政府米五千石、新用途研究に無償交付  
第二回米穀處理委員會は農相官邸において  
開會し會長山崎達之輔以下出席し新用途研  
究のため政府米五千石を國家並に公共團體に  
無償交付する件を決定した

◇勤業銀行、田畑貸付利率引下

日本勤業銀行は農村の負擔軽減のため田畑  
擔保貸付利率を二厘引下げ六分三厘とするこ  
とに決定し大藏省に認可の申請をなした

◇晒粉聯合會、限産率五分緩和

晒粉聯合會は大阪の甲子園ホテルにおいて  
協議會を開き晒粉の限産率を七月は五分緩和  
し五割二分とすることに決定した

◇富士通信機製造會社の創立

同社は資本金三百萬圓を以て設立すること  
に決定し創立總會を開き左の役員を選任した  
▽社長 吉村萬治郎▽専務取締役 大山喜  
四郎、梶山秀男、和田恒輔、武田秀治、ウ  
イリー・チニーダーボーム▽監査役 杉本  
五十鈴、岡田寛二

◇希望社理事長後藤靜香に懲役の判決

社屋を二重三重に抵當に入れ七萬圓を詐取

した希望社理事長後藤靜香は東京地方裁判所  
において酒井裁判長から懲役十月執行猶豫二  
年の判決を言渡された

二十一日(金)

◇東北振興調査會の組織變更

東北振興調査會は組織を變更し左の如く六  
特別委員會を設置することに決定した

- ▽第一特別委員會(災害防除に關する事項)
- △第二特別委員會(産業振興に關する事項)
- ▽第三特別委員會(農村工業及び副業に關する事項)
- ▽第四特別委員會(交通整理に關する事項)
- ▽第五特別委員會(生活改善教化及び社會問題に關する事項)
- ▽第六特別委員會(行財政の整備に關する事項)

◇商工省貿易局、顧問制を制定

商工省は國際情勢に順應し貿易政策を樹立  
するため貿易局に顧問制を制定することに決  
定し左の顧問を任命した

- 南條金雄(三井合名常務理事)、三宅川百太  
郎(三菱商會會長)、磯村豐太郎(北海炭礦  
汽船社長)、兒玉謙次(横濱正金頭取)、岩  
井勝次郎(岩井商店主)、津田信吾(鐘紡社  
長)大谷登(郵船副社長)

◇産業組合中央金庫の利下

産業組合中央金庫は新規貸付利率を七厘方  
引下げ五分二厘とし七月一日から實施するこ  
とに決定した

◇製粉共販組合の解散

製粉共販組合(昭和五年四月設立、日清、  
日東、日本三製粉會社加盟)はアウトサイダ  
ーの續出と共販建値市價の相違等により統制  
不可能を理由とし昭和十二年三月迄の存続期  
間を切上げ解散することに決定した

◇新潟縣見附織物同業組合の同盟休業

新潟縣見附織物同業組合は生産過剰と賣行  
不振から本日より月末まで一齊に同盟休業を  
なした

◇日本製鐵、鉄鋼共販會社と提携

日本製鐵會社は鉄鋼共販會社の支配權掌握  
を断念し絶縁する旨共販會社に對し通告した

◇航空運輸組合、存続期間一ヶ年延長

航空運輸組合では本日午後一時京橋味の素  
ビルに理事會を開き左記諸件を決定、なほア  
ウトサイダーたる東洋高壓、宇部窒素、矢作  
工業等組合加盟の件を報告した

- 一、組合存続期間を本年八月より向ふ一ヶ  
年間延長、一、賣出限月を九月迄一ヶ月延  
長、一、組合建値は十圓目三圓五十錢据置

二十二日(土)

◇政府米三十五萬石賣却

農林省は政府所有米三十五萬石(主として  
内地昭和八年産)を賣却することに決定した

◇滿洲電業、社債一千萬圓發行

滿洲電業股份有限公司は社債一千萬圓を左  
の條件で發行することに決定した

◇關印航路強化のため郵船四社提携

大阪商船、南洋郵船、日本郵船、石原産業  
汽船四社代表は本日選相官邸において大橋次  
官と會見し、當局の意向に順應し關印航路の  
強化を圖るため四社提携し新に資本金一千萬  
圓を以て汽船會社を設立し關印航路に配船す  
る設立要綱を決定した

◇帶人襲撃事件の第一回公判開廷

前鐵道大臣三土忠造外十五名が帝國人絹會  
社の株賣買を種に收賄、背任、贈賄、偽證を  
なした疑獄事件の第一回公判は東京地方裁判  
所刑事第一號法廷において藤井裁判長係のも



とに閉廷され、左の十六被告は何れも株の贈  
收所なしと犯罪事實を否認した

▽偽造 前鐵道大臣三土忠造▽收賄 元商  
工大臣中島久萬吉、元大藏次官黒田英雄、  
元銀行局長大久保偵次、元特銀課長大野龍  
太、元臺銀監理官相田岩夫、元大藏屬志戸  
本次朗▽背任並贈賄 元臺銀頭取島田茂、  
元臺銀理事柳田直吉、元臺銀第一課長越藤  
恒吉、元帝國人絹社長高木復享、同取締役  
岡崎旭、旭石油社長長崎英造、帝人取締役  
永野護、富國徴兵保險支配人小林中、帝人  
監査役河合良成

二十三日 (日)

○ハルピンの排日事件解決す

ハルピンの排日事件に關し我代表土肥原少  
將は松井、高橋兩武官と共に本日北平の支那  
代表秦德純邸において秦德純、程克、雷樹榮  
と正式會見の結果、左の覺書に署名調印の上  
交換をなして解決した

一、ハルピン省内において排日行爲を再發  
せしめざるよう保證且つ排日團體を解散、  
この種團體の組織を絶對禁止す  
一、熱河省境多倫、沽源、獨石口、懷來、  
延慶一帶地區内の軍隊を西南省境に移動せ

しめ同地域内には將來も駐屯せず  
一、省内國民黨部を解散す

二十四日 (月)

○人絹協會、統制法廢止に決定

人絹協會は大阪ホテルにおいて定例會を  
開き一人絹業は輸出産業として將來益々發展  
すべきものでこれを統制法により束縛するこ  
とは斯業の發達を阻害するとの理由を以て  
昭和十一年八月限り統制法を廢棄することに  
決定した

○大楠公六百年記念建武神社の建立許可

建武會々長海軍中將千坂智次郎、同顧問海  
軍中將小笠原長生等發起で大楠公六百年祭を  
記念し東京市品川区上大崎中丸の池田山に日  
本で最初の建武神社(敷地千坪、建坪七十  
坪、建築費十五萬圓)を建立する件は本日内  
務省神祕局から許可された

○日本労働組合聯合會、轉向の調議公表

日本労働組合聯合會は大阪聯合會事務所にお  
いて中央執行委員會を開き轉向を示した左の  
綱領を決定して公表した  
一、吾等は建國の本義に基き和衷協同皇道  
日本の完成を促し、以て國家産業の發展を  
期す

○パリにて國際商業會議所大會開催

第八回國際商業會議所年次大會はパリにお  
いて本日開催され、四十八ヶ國代表一千餘名  
參集し日本代表としてロンドン駐留の松山商  
務參事官、伊藤三井銀行ロンドン支店長外十  
一名出席し、世界市場における各國品の競争  
緩和、日本品ダンピング問題、關稅障壁對策  
通貨安定問題等について協議をなした  
二十五日 (火)

○米穀證券一億三千七百萬圓發行

大藏省は第四十一回米穀證券一億三千七百  
萬圓を左の條件で發行した  
▽割引歩合 日歩七厘五毛▽支拂期日 昭  
和十年十二月二十六日

○日鮮滿通運輸の運賃協定成立

日滿交通運輸の合理化、南滿各港經由に鮮  
鐵局經由の貨物聯絡、北鮮鐵路の聯絡等關係  
各鐵道及び汽船會社との間に運賃協定成立し  
品目六十種に對し最高四割、最低一割、平均  
二割五分の割引率を以て運賃引下を斷行する  
ことに本日決定し來る七月一日から實施する  
こととなつた

○日本絹人絹織物の輸出統制手數料決定

日本絹人絹織物輸出組合聯合會は大阪の絹

業俱樂部において理事會を開き、輸出統制に  
つき協議の結果、輸出統制手數料を左の如く  
徴收することに決定した(八月一日から實施)

一、輸出統制手數料は人絹織物は一ヤール  
につき三毛、絹織物は一ヤールにつき一厘  
人絹織物加工製品は從價シ・アイ・エフ。  
オーは五パーセントを徴收

一、中南米の求償諸國(サルバドル、コロ  
ンビア、イクアドル、ドミニカ、ベネズエ  
ラ、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラガ  
コスタリカ九ヶ國)に對しては一般手數料  
の外に特別統制手數料として從價シ・ア  
イ・エフは五パーセントを徴收してこれを  
求償資金に充當する

○大阪總工聯、愛知織物協會の操縦實施

大阪府絹織物工業組合聯合會は大阪府立實  
業協會において愛知織物協會と不況對策聯合  
協議會を開催し、休日と休機制を併用し最低  
二割の操業短縮(七月一日より八月末日まで)  
を實施することに決定した

○滿鐵社友會、社團法人に改組

南滿洲鐵道會社の緣故により組織された滿  
鐵社友會は東京丸ノ内鐵道協會において臨時  
總會を開き組織を社團法人(資本金三十萬圓)

に改組し會長に松本蒸治博士を選任した

○東京魚市場會社の創立

東京魚市場會社(資本金二千七百五十萬圓)  
は本日京橋公會堂において創立總會を開き左  
の役員を選任した

▽社長 田口達三▽副社長 相澤常吉▽取  
締役 内田壯吉(常務)、篠崎雅次、成川卯  
之助、鈴木龜治郎、加藤權平、佐久間仙一  
郎、加藤喜三郎、小網源太郎、阿部吉之助  
鈴木新太郎、石川三郎▽監査役 山田新吉  
田中治兵衛、高木兼三郎

○朝鮮石油會社の創立

同社は資本金一千万圓を以て設立すること  
に決定し、本日京城において創立總會を開き  
左の役員を選任した

▽社長 橋本圭三郎▽専務取締役 木村義  
雄▽常務取締役 關水武▽取締役 野口遼  
朴與植、小倉武之助、小川彌太郎、大坪太  
計雄、佐方文次郎、福島英朝、金季洙、杉  
野多市▽監査役 大島英吉、賀田直治、山  
口誠太郎

○北滿洲金鑛會社の創立

同社は資本金二百萬圓を以て設立すること  
に決定し本日東京麹町區内幸町大阪ビルにお

いて創立總會を開き左の役員を選任した

▽代表取締役 小日山直登▽取締役 森傳  
次郎、片山義勝、門脇壯介、矢島專平、大  
西虎之介、河内山加祿▽監査役 原安三郎  
杉浦文一

二十六日 (水)

○關東軍、露哈爾軍に撤退要求

關東軍司令部は滿洲國軍政部と最高會議を  
開き、察哈爾軍を長城線以内に撤退せしめる  
要求を決定し、支那側代表秦德純に通告した  
結果、翌二十七日支那側は同要求を承認する  
旨土肥原少將に回答した

○外相、日露滿共同委員會設置を提議

駐日ロシア大使ユレニエフは懸案中の露滿  
國境の楊木林子事件(ロシア兵の不法越境)  
の解決に關し外務省において外相廣田弘毅と  
會見し、國境の紛争を除去するため廣田外相  
は日露滿三國共同委員會の設置を提議した結  
果、ユレニエフ大使は本國に請調する旨を約  
し會見を終つた

○滿洲炭鑛、社債一千万圓發行

滿洲炭鑛會社は第一回社債一千万圓(日本  
通貨)を左の條件で發行することに決定した  
▽利率 年四分三厘▽償還期限 七ヶ年



（三ヶ年据置後四ヶ年に毎年五十萬圓以上償還）▽申込期日 八月十五日▽引受 野村證券會社▽元利支拂保證 滿洲國政府  
二十七日（木）

○農林省、肥料資金の融通額決定

農林省は昭和十年度の肥料資金として大藏省預金部資金一千萬圓、産業組合中央金庫資金一千五百萬圓を利率四分一厘及び四分七厘以内を以て北海道、東京、外十五縣に融通することに決定した

○日滿支文化提携協議會を開催

國際文化振興會は東京芝紅葉館において外務省、日華協會、東亞同文會、國際文化振興會の各代表の參集を求め日滿支文化の提携により三國間の親善増進を圖るため協議會を開き、文化對策の根本方針樹立に關し協議をなした

○綿工聯、別珍コイル天の生産統制決定

綿工聯は東京丸ノ内商工獎勵館において總會を開き別珍コイル天の生産統制を行ふため輸出検査規定を制定し格付をなすことに決定した

○濱州織物工業組合の同盟休働

濱州織物工業組合は不況對策を協議の結果

別珍、コイル天製造工場三百餘工場に對し不況打開の方法として七、八の二ヶ月間同盟休働をなすことに決定した

○北平に兵變勃發す

吳佩孚の舊腹心白堅武は突然クーデターを行ひ北平乗取りを企て城外に駐屯中の萬福麟麾下の部隊と衝突し交戦をなしたが北平軍當局は叛徒を平定し戒嚴令を布告した  
二十八日（金）

○滿鐵社債三千萬圓發行

滿鐵は昭和十年度第一回社債三千萬圓を左の條件で發行することに決定した

▽利率 年四分三厘▽發行價格 額面△償還期限 十三ヶ年、三年据置後半年毎に三十萬圓以上償還▽引受 興銀、正金、鮮銀第一、三井、三菱、安田、川崎第百、住友三和▽拂込 八月上旬

○經濟聯盟、通商貿易委員會を設置

日本經濟聯盟は通商貿易委員會を設置することに決定し東京丸ノ内の日本工業俱樂部において第一回會合を開き委員長に門野重九郎を選任した

○南滿洲ドロマイト會社の減資

神戶の南滿洲ドロマイト會社（資本金百萬

圓）は定時總會を開き資本金を半額の五十萬圓に減資する件を可決した

○東京市會廳警務事件の判決

東京市元助役白上佑吉、十時章、元市會議長大神田軍治等二十名に係る東京瓦斯及び議長選舉に絡まる疑獄事件は東京控訴院において吉田裁判長から左の如く第二審の判決言渡があつた

▽贈賄懲役六月（三年間執行猶豫）元代議士東京瓦斯會社專務取締役鈴木寅彦、罰金三百圓元東京市助役十時章▽贈賄收賄懲役六月元東京市助役白上佑吉、同十月元市會議長大神田軍治、懲役六月元市議橋本信次郎▽無罪元東京市保健局長石橋政治、元市議高橋義次、元市議森健二、元市議國枝捨次郎、元市議望月學（以下略）

○京阪・福岡地方に豪雨出水の被害

二十八日午後十時より二十九日午前九時までの間に京都、大阪、福岡に豪雨襲來し出水甚だしく京都市は浸水家屋一萬三千七百に達し三條と五條の大橋流失し、大阪においては浸水家屋約四萬戸に達し七名の死者を出し、福岡地方においては浸水家屋二萬六千四百戸炭坑の浸水四百ヶ所に及び四十八名の死傷者

を出した。京都市の損害高は市經濟の特別負擔額のみで一千二百萬圓に達したので京都市參事會は復舊費として百萬圓の責任支出をなすことに決定した

○滿洲國初代駐日大使謝介石辭任

滿洲國初代駐日大使謝介石は本日午後九時東京驛着の燕號で着任し、「一徳一心となつて平和と福祉に貢献する」との聲明書を發表した

○老政審日井曾夫死去

本日午前十時五分東京芝公園の自邸で死去した。享年七十三。長崎縣に生れ政友會の代議士として當選すること前後七回。上野鐵道近江鐵道、吾妻川電力會社、西海新報等の重役を兼ね、政界の惑星として知られてゐた  
二十九日（土）

○大藏省、朝鮮殖産銀行の起債に警告

大藏省銀行局は朝鮮殖産銀行が當局の諒解を得ず一千五百萬圓（利率年四分、償還期限五ヶ年）の起債を決定したことは手續上不注意であるとし、同行東京支店に對し警告をなした

○日本鋼管、國際鋼管シロと販賣協定

日本鋼管會社は販賣協定に關し國際鋼管シ

ンヂケイト代表佛國マンネスマン社本邦駐在員と協議の結果、左の協定をなした  
一、支那及び南洋方面へ輸出範圍を擴大すること  
二、滿洲への輸出を日本内地需要量から切離すこと

○南京の巨頭會議、朝日大綱を決定

支那の巨頭會議は南京の汪兆銘邸において開催され、何應欽、張群、熊式輝、陳儀、唐有壬等參集し、内政、外交の刷新により日支親善を圖ることに決定し左の大綱を決議した

一、北支善後處置 政務整理委員會は當分存置し王克敏をして専ら對日交渉に當らしめこれに相當の權限を賦與す、軍事分會は廢止し何應欽は軍政部長專任とす  
一、察哈爾善後處置 宋哲元軍を保定附近に移駐せしめ商震の指揮下に移し察哈爾の治安は保定軍によつて維持す  
一、今後の對日方針 親善令の趣旨によつて排日取締に努力すると共に懸案の解決、經濟合作、顧問招聘等に關しても友好的見地から充分考慮する  
三十日（日）

○佛國政府、日本品の輸入割當發表

佛國政府は日本品の輸入割當を左の如く決定し來る七月一日から九月三十日迄實施（一九三五年度第三、四半期）する旨、本日發表した

▽綿製品長短靴下一打一キログラム以下のもの千九百八十二打、一打キログラム以上のもの百九十五打▽男子出來合服（絹製品を除く）一九三五年度割當量を超過し割當量無し▽電球重量五キログラム以下のもの二百キログラム、五グラム以下乃至十五グラムまで無し、十五グラム以上八百五十キログラム

【七月】

一日（月）  
○ソ聯、日滿軍の國境侵入を抗議  
ソヴェト政府は、露滿國境事件に關し駐日ユレニエフ大使をして日本政府に對し嚴重な抗議通牒を提出せしめた旨公表した。抗議書は日滿の軍隊並に艦船が領土内に侵入せる八ツの事件を列舉し強硬な字句を使用せるものである

○歐洲航路船の基隆寄港内定

拓務省と日本郵船會社の間に折衝中の歐洲



航路船基隆寄港問題は、來年四月一日より實施することに内定した。又臺灣、南洋間の航路開設に關しても郵船側との間に諒解が成立した

○日本製糖會社の創立

同社(資本金五百萬圓)は東京橋の明治製菓ビルに創立總會を開き、左の役員を選任した

- △社長 有島健助△常務取締役 喜多村實
- △取締役 原邦造、田中次朗、梅澤源吉
- 山田雄三郎△監査役 高島菊次郎、藤野幹
- △相談役 藤原銀次郎、相馬半治

○朝鮮電力會社の創立

電力聯盟を中心とし、内鮮電力會社の共同出資になる朝鮮電力會社(資本金二千萬圓)は創立總會を開き社長に池尾芳藏、専務に内藤熊喜、支配人に三木喜延を選任した

○筑後川氾濫し久留米市全滅に瀕す

豪雨のため筑後川が氾濫し久留米地方は水浸しとなり、香月第十二師團長は、久留米市の要請に應じ「在久留米各部隊を總出動救援すべし」と非常命令を下した

○水難の久留米市に政府米拂下

水浸しの久留米市から食糧缺乏のため政府

の拂下げを申請して來たので特急で農林省米穀局の鈴木技手を急派すると同時に、必要量だけの政府米を急繰拂下げることとなつた

○ドイツ、振興輸出基金を設立

ドイツ政府は輸出振興基金を設定して、ドイツ品の世界進出を計り、再軍備その他の必要原料品の輸入資金確保に乗出すことになりヒトラー總統署名の下に同法律が公布された

二一日(火)

○上海の不敬事件に關し支那に抗議

上海の支那雜誌「新生」の不敬事件に關し本省よりの回調を受領した有吉駐支大使は、事件に驚愕して南京より上海に來た外交部次長唐有壬に對し我立場を明示して嚴重なる抗議をなした

○北鐵運賃協定の代價物貨支拂高發表

北鐵運賃協定による物貨支拂總額九千三百三十萬圓に關する日滿ソ間契約状況は去る六月三十日現在において契約總額一千二十三萬二千二十一圓六十九錢、契約要綱書提出件數七十六件である旨駐日滿洲國大使館財政官は發表した

二二日(水)

○福府、日滿經濟共同委員會の設置可決

日滿經濟共同委員會設置に關する協定締結に關する件は本日の樞密院定例本會議に於て原案通り可決した

○日伯貿易促進に關する勸告書發表

わが遣伯經濟使節團と、ブラジル政府特別委員會との間に討議作成された日伯貿易關係促進に關する勸告書はブラジル外務當局の手によつて公表された

○横濱・神戸兩市場の人絹相場不認可

商工省は横濱取引所の人絹糸及び人絹織物神戸取引所の人絹織物の追加相場について調査の結果、取引の現状より見て不認可の通告をなした

○大阪商船の線丸、衝突沈没す

大阪商船會社の大阪・別府航路定期船線丸(一、七二四トン)は別府から神戸への途中瀬戸内海小豆島地蔵崎附近で濃霧のため大連汽船十山丸(二、七七五トン)と衝突、線丸は沈没し、乗客百七十三名中、死者十三名、行衛不明七十六名を出した

四日(木)

○鐵道省、運賃引下實施を發表

特別小口扱ひ貨物集配請負契約は鐵道省と國際通運會社との間に契約改訂に關し交渉中

のところ正式調印されたので鐵道省は全般的貨物運賃引下げを十月一日より實施する旨發表した

○滿洲國初代大使謝介石、信任狀を捧呈

駐日滿洲國初代大使謝介石は、天皇陛下に謁見仰付けられ、信任狀並に前任公使の解任狀を捧呈、天皇陛下より優渥なる勅語を賜ひ更に豐明殿に午餐會の御催しあり謝新大使に御陪食を賜はつた

五日(金)

○林陸相、岡田首相に重大進言

林陸相は閣議散會後岡田首相に對し、天皇機關問題並に内閣審議會の運用等の問題について重大進言をなした

○宋哲元軍統帥、石頭城子分署を襲ふ

宋哲元軍約百名は間に乘じて滿洲國內に侵入し來り滿洲國石頭城子警察分署を包圍し攻撃、吳世營分署長は應戰腹部に貫通銃創、警士劉文武は兩足に重傷を負つた。宋軍は分署の書類、馬五頭を掠奪同分署に放火全焼せしめて逃走した

○宋軍の不法越境に關東軍嚴重抗議

宋哲元部隊の不法越境滿洲國警察分署襲撃事件に對し、土肥原、秦徳純間に成立した察

哈爾濱清協定を無視するも甚だしとなし秦徳純に對し嚴重なる抗議を提出した。これに對し秦徳純は事件の重大化を恐れ陳謝の意を表明し事件一切の責任を負ふべく申込み來つた

○國境委員會設置を露國正式受諾す

駐日露國大使ユレニエフは六月二十六日の廣田ユレニエフ會談において廣田外相から申入れのあつた日滿露國境共同委員會設置に關する交渉開始の促進についてはモスコイ政府においても考慮の結果、正式に外相の申入れを受諾しこれが具體的交渉を開始する用意がある旨を通告し、露國側も調整するが、日滿兩國でも調整されたいと要望した

○國民政府「新生」事件につき正式謝罪

「新生」の不敬事件に就き折衝の結果、(一)國民政府及び黨部の正式謝罪(二)今後の保證をなすと共に直接責任者たる上海の圖書審查委員會の主任、審査員全部を免職し、審査會を改組す(三)全國各省市黨部に對し中央黨部宣傳部より同様事件の再發せぬやう嚴重警告する等のわが抗議を全部容認、正式謝罪に決した

○アインシュタイン博士新學說を發表

相對性原理の發見者アインシュタイン博士

は、相對性學說及びこれに背反する量子論を統合して物理學的宇宙の一切の現象を説明づけ得る所の單位學說の發見に成功した旨博士自ら發表した

六日(土)

○露大使、日滿露國境委員會案を提示

駐日露國大使ユレニエフは廣田外相に露國側は日露、滿露兩國の各二ヶ國境共同委員會設置案を希望する旨提示し考慮を求めた

○南洋海運會社の創立

同社(資本金八百五十萬圓)は東京丸の内日本工業俱樂部に創立總會を開き左の役員を決定した

- △社長 淺野平二△専務取締役 寺井久信
- △取締役 高田儀三郎、石原新三郎、大谷登、村田省藏、原田六郎△監査役 鹽山恭夫、岡田永太郎

○伊・工紛争に第三者介入を拒否

イタリア政府は、エチオピアとの紛争に對し第三者の介入を拒否する旨、非公式に首明した

○伊首相職線に至り連任願を撤回

ムッソリニ伊國首相は自ら飛行機を操縦してエボリに到り黒人を壓服せよと演説して東



アフリカ出征軍を激励した

七日(日)

○中村・井杉兩烈士の遺骨四年目に凱旋

満洲事件勃発の近因をなした故中村震太郎少佐、井杉延太郎曹長の遺骨は四年振りで無言の凱旋をなした

八日(月)

○開税委員、對カナダ復讐税承認

カナダ政府の邦品防過に對するわが政府の態度を決定すべき開税調査委員会は中央會議所で開會、委員全員一致を以て政府の原案通り報復關稅を承認した

○洋畫團體「第二部會」結成さる

舊帝展第二部(洋畫)の無鑑査級の組織する不出品同盟は東京丸の内明治生命ビル内マールに總會を開き、洋畫團體「第二部會」を結成、今秋帝展より一足先に第二部會美術展覽會を開催することに決定した

○「新生」不敏事件、支那正式に陳謝

中央宣傳委員會主任委員葉楚傖は上海檢閱監督の責任者として有吉大使に對し不敏事件に付き正式陳謝文を通過した。一方直接責任者の處罰問題に對しても我方の要求全部を容認した。尙我駐支大使館當局は事件一段落を

機としてその経過を發表した

九日(火)

○選舉投票當日を國民公休日決定

議會振興委員會の選舉肅正に關する小委員会は、投票當日を國民公休日とすることを決定した

○滿洲國、外蒙の不誠意を發表

滿洲國外交部は當局談の形式を以て察哈爾事件に關し外蒙には何等誠意が認められないと發表した

○關印、陶磁器輸入制限令を公布

關印政廳は陶磁器輸入制限令を公布し即日實施した

○伊工和協委員會、決裂に終る

オランダのスケヴェニンゲンに開催中であったイタリア、エチオピア和協委員會は遂に決裂して無期延期となつた

十日(水)

○海軍省、未曾有の大豫算要求を決定

海軍省の豫算省議による新規要求は三億一千萬圓の巨額に達し、基準豫算四億二百萬圓と合せて七億一千萬圓といふ未曾有の要求を提出することに決定した

駐日露國大使ユレニエフは、廣田外相に國境問題の處理に協定方式の基礎案を提議した

○北樺太の石油試掘期限二年延長さる

北樺太石油會社は外務省を通じて、北樺太の石油試掘期限延長につき折衝中のところ、ソヴェト側は人民委員の議を経て現に試掘中の十六本のみは、期限二ヶ年延長を容認する旨讓歩して來た

○英貨公債二十一萬ポンド買入銷却

政府は六分利付英貨公債二十一萬二千二百三十五磅(此買入代金、百八十六萬四千二百三十三圓四十五錢五厘)を買入銷却した

○宇部セメント製造の倍額増資

同社(資本金七百萬圓)は臨時總會の決議により倍額増資して一千四百萬圓となつた

○檢事、小川元鐵相等に上告棄却を痛罵

大審院法廷において控田檢事は、小川元鐵相、天岡元賞勳局長、藤田元東商會頭等の五私鐵、賣動、合同毛織三事件の併合上告棄に於て上告棄却の論告をなした

十一日(木)

○宇垣總督、陸相と朝鮮總督を會談

宇垣朝鮮總督は林陸相を訪問して約一時間餘の會談を行ひ、明年度豫算と、朝鮮總督問

題につき陸相の考慮を希望した

○日本雜貨中南米輸出組合聯合會の認可

商工省は日本の雜貨中南米輸出組合聯合會の設立を認可した

○自由民權の先覺者大石正巳死去

老政客大石正巳は千葉縣船形町の新山莊で死去した。享年八十一。安政二年四月高知藩士大石良則の次男に生れ十四歳の時會津戰爭に官軍の一兵士として參加、維新後は自由民權運動に従ひ明治二十年頃から政論雜誌社に據り後藤象次郎を推して藩閥政府に對する各政黨の大團結に努力した。四十二、三歳の頃韓國公使となり、明治三十一年隈板内閣の農商務大臣となつた。後桂公の傘下に走り立憲同志會を創立、代議士に當選すること六回六十歳にして政界を引退し雙葉居士として世の中を白眼視してゐた

十一日(金)

○板紙限産率五割に擴張

日本板紙同業會は例會を開き、八月の採短率につき協議の結果、現行限産率三割五分を一割五分擴張して五割となすことに決定した

○滿鐵社債、六倍の申込額到

滿鐵會社の社債三千萬圓(利率四分三厘)

は殘部二千二百萬圓に對し下請業者の申込み殺到し六倍に達する盛況となつた

○新帝展に反對し三部會旗幟揚げ

舊帝展第三部(彫塑)無鑑査組は協議會を開き、新帝展への絶対不出品を申合せ、去る八日結成された第二部會に呼應して第三部會を組織する運動を起した

十三日(土)

○第三次拂下げ米五十萬石と決定

農林省は政府所有米の第三回拂下につきその數量を五十萬石と決定した

○大阪鐵道鐵道山岡保體長召喚

大阪鐵道鐵道が發展して鐵道省大臣官房保健課長山岡祐章は警視廳に召喚を受けた

○北平軍事分會委員長何應欽辭職

何應欽は上海に到着して入院中の汪兆銘と會見後、北平軍事分會委員長を辭職する旨發表した

○カナダ首相、日本品防過を表明

カナダ首相ベネットは日本品を防過する旨の決意を表明した

十五日(月)

○田中飛行第五聯隊長機、墜落殉職す

立川飛行第五聯隊長田中毅一大佐は歌代少

尉操縱の偵察機に同乗飛行中機體に故障を生じ墜落して田中聯隊長は即死、歌代少尉も重傷を負ひ絶命した

○錢境事件の共同調査を露國側拒絶

楊木林子における露國兵の不法越境事件に關しわが方は共同調査を要望したが、露國側はこれを拒絶した

○日滿經濟共同委員會の設置

日滿經濟共同委員會設置に關する兩國協定は、日本側代表南駐滿全權と、滿洲國側孫財政部大臣、丁實業部大臣、張外交部大臣等との間に新京において調印式を終了委員を左の如く決定した

▽日本 關東軍參謀長西尾壽造▽關東局總長大野綠一郎▽大使館參事官谷正之▽關東軍經濟顧問竹内可吉▽滿洲 外交部大臣張

燕卿▽財政部大臣孫其昌▽實業部大臣丁鑑修▽國務院總務廳長長岡隆一郎

○日滿親善使節出滿大使出發

日滿親善使節出滿勝次大使は東京驛發渡津の途に就いた

○鐵道省、關門鐵道計畫實現に着手

關門海底トンネルの計畫は昭和十一年度鐵道豫算に計上されることになり、同省工務局